

横浜みどり税等について

1 横浜みどり税の検討について

市域の緑の減少に歯止めをかけ、緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは、市政にとって喫緊の課題であるため、平成 21 年度から「横浜みどりアップ計画」を実施しています。

「横浜みどり税」は、緑地保全制度による指定や買取への対応など、「横浜みどりアップ計画」の取組を各年度の財政状況に左右されずに着実に進めていくための安定的な財源として市民の皆さまのご理解に基づき、ご協力いただいているものです。

「横浜みどりアップ計画」の計画期間は、5 年となっており、「横浜みどり税」についても計画と合わせて見直しを行い、25 年度には課税期間を延長する条例改正を行いました。

30 年度は、第 2 期横浜みどりアップ計画（平成 26-30 年度）及び横浜みどり税の最終年度であることから、31 年度以降の「横浜みどり税」を含む財源のあり方について、今回お示しする「これからの緑の取組[2019-2023]」の原案をもとに、今後検討していきます。

検討にあたって、横浜市税制調査会に対して意見を求める旨の諮問を行い、その答申を踏まえ、平成 31 年度以降の横浜みどり税の取扱いについて、中期 4 か年計画の原案と併せてお示しできるよう進めていきます。

【参考】

< 第 2 期横浜みどりアップ計画策定時における事業費内訳 >
総事業費：約 485 億円（うち横浜みどり税：約 130 億円）

< 横浜みどり税の使途 >

- ① 樹林地・農地の確実な担保（公有地化）
- ② 身近な緑化の推進
- ③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ④ ボランティアなど市民参画の推進につながる事業

2 現行の横浜みどり税の概要

（1）課税方式及び税率

ア 課税方式

横浜みどり税の課税方式については、「横浜みどりアップ計画」の取組による受益は、広く市民（個人・法人）に及ぶことから、その財源については、広く薄く市民の負担を求めることとし、市民税（個人・法人）均等割への超過課税としています。

イ 税率

(ア) 個人

個人市民税の均等割に年間 900 円を上乗せ。

標準税率	横浜みどり税分
3,500 円*	900 円

※震災対策事業などの財源を確保するための均等割の引上げ分 (500 円) を含む

(イ) 法人

法人市民税の年間均等割額の 9%相当額を上乗せ。

法人の区分		均等割税率	
資本金等の額	従業者数	標準税率	横浜みどり税分
1 千万円以下	50 人 以下	50,000 円	4,500 円
	50 人 超	120,000 円	10,800 円
1 千万円超 1 億円以下	50 人 以下	130,000 円	11,700 円
	50 人 超	150,000 円	13,500 円
1 億円超 10 億円以下	50 人 以下	160,000 円	14,400 円
	50 人 超	400,000 円	36,000 円
10 億円超	50 人 以下	410,000 円	36,900 円
10 億円超 50 億円以下	50 人 超	1,750,000 円	157,500 円
50 億円超	50 人 超	3,000,000 円	270,000 円

(2) 課税期間・納税者数

	第 1 期	第 2 期	納税者数 (28 年度)
個人	H21~25 年度	H26~30 年度	約 187.6 万人
法人	H21. 4. 1~26. 3. 31*	H26. 4. 1~31. 3. 31*	約 9.8 万社

※この間に開始する事業年度が対象

(3) 税収等

(単位：百万円)

	26 年度 (決算)	27 年度 (決算)	28 年度 (決算)	29 年度 (予算)	30 年度 (予算)	計
市税全体	719,972	718,963	720,760	719,300	812,600	—
個人市民税	291,072	294,549	298,044	300,300	386,700	—
みどり税 (A)	1,645	1,658	1,681	1,700	1,700	8,384
法人市民税	64,610	60,464	54,604	50,100	53,900	—
みどり税 (B)	614	978	1,074	1,000	1,100	4,766
みどり税計 (A+B)	2,259	2,636	2,755	2,700	2,800	13,150

(4) 固定資産税等の軽減措置

緑地や農地の維持管理負担の軽減を図り、一層の市街地等の緑化誘導や農地の維持保全を図ることを目的として、固定資産税及び都市計画税に係る軽減措置を導入しています。

ア 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減措置

(ア) 制度の概要

敷地面積が 500 m²以上の建築物の敷地において、一定の緑化基準以上の緑化を行い、その緑地を横浜市と 10 年間保全する契約を締結した場合、建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税の税額の 4 分の 1 を 10 年間軽減

(イ) 適用実績及び軽減相当税額

	筆数	面積 (ha)	軽減相当税額 (千円)			
			26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
21～24 年認定	321	38.6	41,369	41,908	42,027	41,950
25 年認定	32	12.9	15,891	16,509	16,488	16,488
26 年認定	14	1.8	—	2,162	2,162	2,153
27 年認定	27	1.1	—	—	1,025	1,077
28 年認定	11	5.5	—	—	—	4,459
合計	405	59.9	57,260	60,579	61,702	66,127

イ 宅地内の農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減措置

(ア) 制度の概要

農地の保全を図るため、一定の条件を満たす場合、農家の住宅敷地内等にある農業用施設用地に対する固定資産税・都市計画税について、一般の農業用施設用地の税額との差額相当分を 10 年間軽減

(イ) 適用実績及び軽減相当税額

	筆数	面積 (ha)	軽減相当税額 (千円)			
			26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
21～24 年認定	116	1.5	6,543	6,498	6,232	6,262
25 年認定	44	3.6	1,604	1,638	1,639	1,637
26 年認定	16	1.6	—	389	681	681
27 年認定	19	1.3	—	—	1,173	1,251
28 年認定	9	0.7	—	—	—	467
合計	204	8.7	8,147	8,525	9,725	10,298

3 「これからの緑の取組 [2019-2023] 」について

(1) 経緯

- 平成 29 年 5 月 第 2 回市会定例会常任委員会で、横浜みどりアップ計画(計画期間：平成 26-30 年度)の 28 年度までの 3 か年の事業・取組の評価・検証を報告
- 平成 29 年 9 月 第 3 回市会定例会常任委員会で「これからの緑の取組」の検討の方向性を報告
- 平成 29 年 12 月 第 4 回市会定例会常任委員会で「これからの緑の取組[2019-2023]」の素案の内容を報告
- 平成 30 年 1 月～2 月 「これからの緑の取組[2019-2023]」(素案)に対する市民意見募集を実施

(2) 市民意見募集の結果 別紙 1

(3) 横浜みどりアップ計画(計画期間：平成 26-30 年度)の 4 か年(平成 26 年度～平成 29 年度)の事業・取組の評価・検証 別紙 2～5

(4) 「これからの緑の取組 [2019-2023] 」(原案)について

ア 素案から原案への主な変更点

- ・市民意見募集結果、市会常任委員会及び横浜市環境創造審議会での意見、横浜みどりアップ計画の 4 か年の事業・取組の評価・検証の反映
- ・他計画との整合(横浜市中期 4 か年計画、横浜市環境管理計画、横浜都市農業推進プラン等)
- ・時点修正等

イ 主な内容と事業費 別紙 6、7

(参考)

横浜みどり税条例(平成20年12月15日条例第51号)(抜粋)

(趣旨等)

第1条 この条例は、緑の保全及び創造に資する事業の充実を図るため、横浜市市税条例(昭和25年8月横浜市条例第34号。以下「市税条例」という。)に定める市民税の均等割の税率の特例並びに固定資産税及び都市計画税の特例措置に関し、必要な事項を定めるものとする。

2 市民税の均等割のうち、次条及び第3条第1項の規定により加算した額に係るものを横浜みどり税と称する。

(個人の市民税の均等割の税率の特例)

第2条 平成21年度から平成25年度までの各年度分の個人の市民税の均等割の税率は、市税条例第25条の規定にかかわらず、同条に定める額に900円を加算した額とする。この場合における市税条例第26条の規定の適用については、同条中「前条」とあるのは、「横浜みどり税条例第2条第1項」とする。

2 平成26年度から平成30年度までの各年度分の個人の市民税の均等割の税率は、市税条例附則第9条の4の2の規定にかかわらず、同条に定める額に900円を加算した額とする。この場合における市税条例第26条及び第33条の4第1項の規定の適用については、市税条例第26条中「前条」とあり、市税条例第33条の4第1項中「第25条」とあるのは、「横浜みどり税条例第2条第2項」とする。

(法人の市民税の均等割の税率の特例)

第3条 平成21年4月1日から平成31年3月31日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は各地方税法(昭和25年法律第226号)第312条第3項第4号に規定する期間(次項において「期間」という。)に係る法人の市民税の均等割の税率は、市税条例第26条の2第1項の規定にかかわらず、同項の表の左欄に掲げる法人の区分に応じ、それぞれ当該右欄に掲げる額に、当該額に100分の9を乗じて得た額を加算した額とする。この場合における同条第2項の規定の適用については、同項中「前項」とあるのは、「横浜みどり税条例第3条第1項」とする。

2 平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は各期間に限り、当該事業年度若しくは当該連結事業年度又は当該期間に係る法人の市民税の法人税割を課されない者に当該法人の市民税の法人税割が課されない事業年度若しくは連結事業年度又は期間に係る法人の市民税の均等割を課する場合については、前項の規定は、適用しない。

(基金への積立て)

第4条 市長は、横浜みどり税に係る収納額に相当する額を、緑の保全及び創造に資する事業の充実を図るための基金に積み立てるものとする。

(特定緑化部分に対して課する固定資産税等の特例)

第5条 次に掲げるそれぞれの割合に相当する緑化を行った部分(以下「基準緑化部分」という。)に加えて更に当該割合に5パーセントを加算した割合以上の緑化を行った場合における当該基準緑化部分を超えて緑化を行った部分(以下「特定緑化部分」という。)を有する建築物の敷地の用に供されている土地(面積が500平方メートル未満のものを除く。)について現に当該特定緑化部分が存するものと市長が認定し、かつ、当該土地に存する基準緑化部分及び特定緑化部分(以

下「緑化部分」と総称する。)に係る建築物の所有者又は管理者が当該緑化部分について10年間保全する契約を平成21年4月1日から平成30年12月31日までの間に締結した場合には、当該土地に対して課する固定資産税又は都市計画税については、当該契約を締結した日の属する年の翌年の1月1日を賦課期日とする年度から10年度分の固定資産税又は都市計画税に限り、当該土地に係る固定資産税額又は都市計画税額のうち当該特定緑化部分が当該土地に占める割合に相当するそれぞれの額のそれぞれ4分の1に相当する額を当該土地に係る固定資産税額又は都市計画税額から減額する。

- (1) 緑の環境をつくり育てる条例(昭和48年6月横浜市条例第47号)第6条第3項の規定に基づいて緑化が行われている建築物の敷地については、市長が基準として定める建築物の敷地面積に対する緑化が行われた面積の割合
- (2) 緑の環境をつくり育てる条例第9条第1項の規定により市長と協議した計画に係る建築物の敷地については、当該敷地に係る同条第2項の規定に基づく基準に定める建築物の敷地面積に対する緑化が行われた面積の割合
- (3) 横浜市開発事業の調整等に関する条例(平成16年3月横浜市条例第3号)第17条第1項の規定による市長の同意を得た計画に係る建築物の敷地については、同条例第18条第2項第4号ア又は同項第9号の規定により適合することとされている横浜市斜面地における地下室建築物の建築及び開発の制限等に関する条例(平成16年3月横浜市条例第4号)第5条第1項に規定する当該建築物の敷地面積に対する緑化又は既存の樹木の保存が行われた部分の面積の割合
- (4) 都市緑地法(昭和48年法律第72号)第34条第1項の規定に基づき都市計画に定められた緑化地域内において、当該建築物の存する区域の建築物に係る同条第2項の規定に基づき緑化地域に関する都市計画において定められた建築物の緑化率(同項に規定する緑化率をいう。以下同じ。)の最低限度(同法第35条第2項、第6項又は第9項の規定による建築物の緑化率に関する制限に係る建築物については、当該制限としての建築物の緑化率の最低限度)の割合が前3号に掲げる割合を超える場合には、前3号の規定にかかわらず、当該建築物の存する区域の建築物に係る同法第34条第2項同項の規定に基づき緑化地域に関する都市計画において定められた建築物の緑化率の最低限度(同法第35条第2項、第6項又は第9項の規定による建築物の緑化率に関する制限に係る建築物については、当該制限としての建築物の緑化率の最低限度)として定められた割合。ただし、当該建築物の敷地が、同法第34条第2項同項の規定に基づき緑化地域に関する都市計画において定められた建築物の緑化率の最低限度又は同法第35条第2項若しくは第6項の規定による建築物の緑化率に関する制限としての建築物の緑化率の最低限度の割合が異なる区域の2以上にわたる場合においては、同条第7項同法第35条第4項の規定の例により算出する当該建築物の存する区域の建築物に係る緑化率の最低限度の割合
- (5) 工場立地法(昭和34年法律第24号)第6条第1項に規定する特定工場の敷地については、前各号の規定にかかわらず、当該敷地が、横浜市工場立地法市準則条例(平成12年2月横浜市条例第9号)別表第1に定める第一種区域(以下この号において「第一種区域」という。)に存する場合にあっては同表に定める緑地の面積の敷地面積に対する割合、同条例別表第2に定める第二種区域(以下この号において「第二種区域」という。)に存する場合にあっては同表に定める緑地の

面積の敷地面積に対する割合又はこれら以外の区域に存する場合にあっては当該敷地に係る同法第4条第1項の規定に基づき公表される製造業等に係る工場又は事業場の立地に関する準則(以下この号において「法準則」という。)に定める緑地の面積の敷地面積に対する割合(当該敷地が第一種区域、第二種区域及びこれら以外の区域のうち2以上の区域にわたる場合においては、その敷地に占めるそれぞれの区域の割合につき、第一種区域のそれが最も多いときはその敷地の全部について同条例別表第1に定める緑地の面積の敷地面積に対する割合、第二種区域のそれが最も多いときはその敷地の全部について同条例別表第2に定める緑地の面積の敷地面積に対する割合又はこれら以外の区域のそれが最も多いときはその敷地の全部について法準則に定める緑地の面積の敷地面積に対する割合)

(農業用施設用地に対して課する固定資産税等の特例)

第6条 農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)第3条第3号又は第4号に規定する施設(以下「農業用施設」という。)の用に供する土地(固定資産評価基準(昭和38年自治省告示第158号)第1章第3節四本文の定める方法により評価されるものを除く。)の所有者が当該土地上に存する当該農業用施設について10年間保全する契約を平成21年4月1日から平成30年12月31日までの間に締結し、かつ、市長があらかじめ定める基準により都市部における緑地としての農地の保全に寄与することとなる農業用施設の用に供する土地として当該土地が指定された場合には、当該土地に対して課する固定資産税又は都市計画税については、当該指定の日の属する年の翌年の1月1日を賦課期日とする年度から10年度分の固定資産税又は都市計画税に限り、第1号に掲げる固定資産税額又は都市計画税額から第2号に掲げる固定資産税額又は都市計画税額に相当する額を減じて得たそれぞれの額に相当する額を当該土地に係る固定資産税額又は都市計画税額から減額するものとする。

- (1) 当該土地に係る当該年度分の固定資産税額又は都市計画税額
- (2) 当該土地に係る当該年度の固定資産税又は都市計画税の賦課期日において、当該土地を固定資産評価基準第1章第3節四本文の定める方法により評価される土地とみなして当該方法により当該土地を評価した場合に得られるべき固定資産税額又は都市計画税額に相当する額

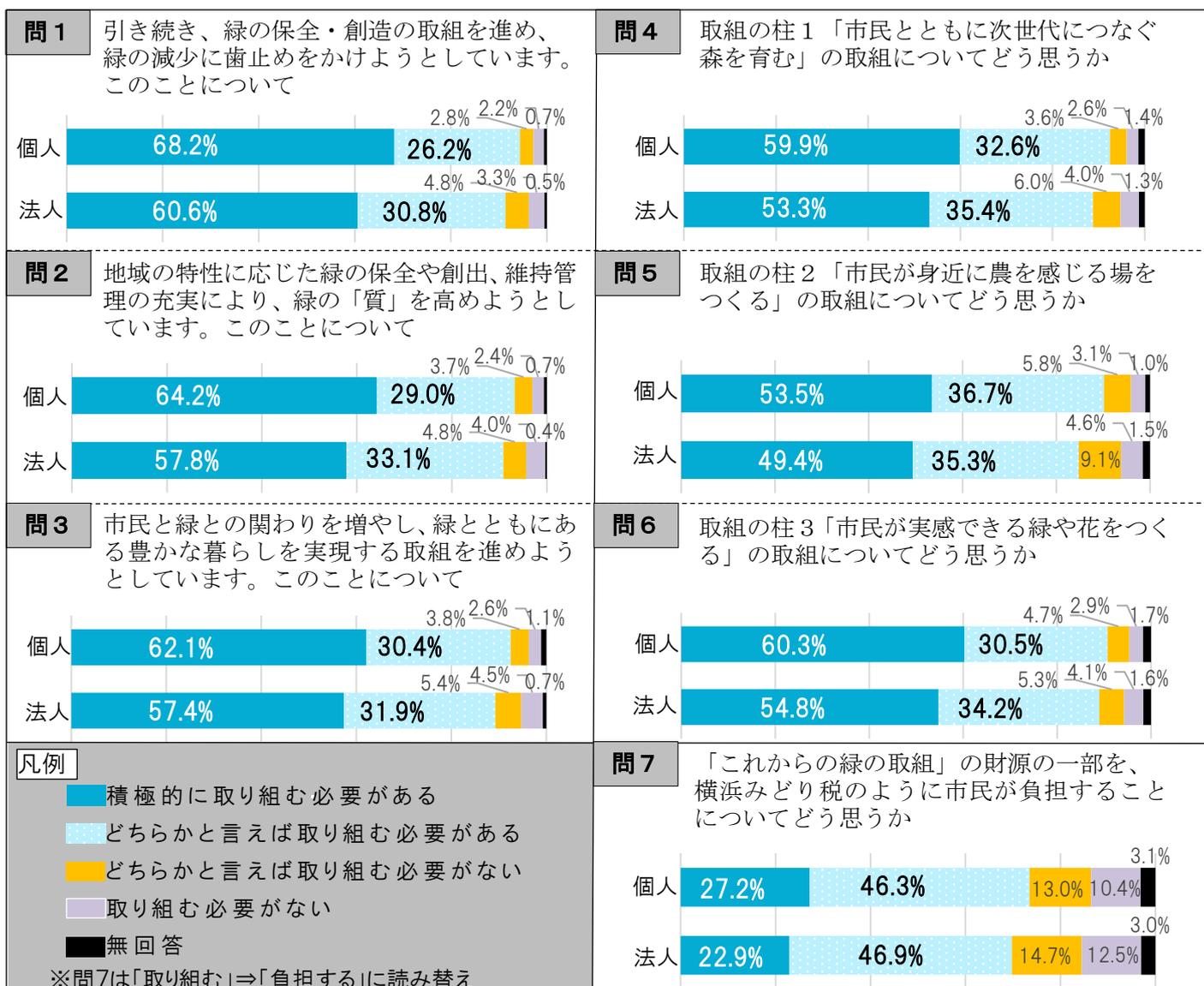
これからの緑の取組[2019-2023](素案)に対する市民意見募集の結果(概要)

1 市民意見募集の概要

	(ア) アンケート方式	(イ) 公募型自由記述方式
実施期間	平成 30 年 1 月 15 日 (月) から平成 30 年 2 月 16 日 (金) まで	
実施方法	① 個人 5,000 人 ※1 ② 法人 5,000 社 ※2 ※1 住民基本台帳の満 20 歳以上の市民から無作為抽出 ※2 法人市民税課税台帳から無作為抽出	素案の概要版パンフレットに添付のハガキ、Web フォーム、電子メール、FAX <概要版パンフレット配架場所> 各区役所の広報相談係、市民情報センター、図書館、PR ボックスなど、約 600 箇所
回収数	① 個人 1,372 人 回収率 27.4% ② 法人 1,101 社 回収率 22.0% 調査票の自由記入欄への意見記入数 ① 個人 598 人 (意見総数：947 件) ② 法人 291 社 (意見総数：390 件)	1,362 通 (意見総数：2,768 件)

2 アンケート方式の設問ごとの回答割合

(端数調整により合計値が 100%にならない場合があります。)



3 アンケート方式における自由記入欄でいただいた意見の分類

寄せられたご意見を分類すると、次の一覧のとおりです

分類	個人集計		法人集計	
1. 素案全体に関するご意見	269		84	
取組を支持するご意見	99		24	
理念や目標、計画の枠組みに関するご意見	64		38	
取組の進め方、優先順位についてのご意見	18		8	
取組の内容に関するご意見	87		14	
人材の育成・教育に関するご意見		22		6
その他のご意見		65		8
素案の表現に関するご意見	1		0	
2. 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	108		41	
柱1に関するご意見	0		0	
樹林地・緑地の保全に関するご意見	63		31	
開発規制に関するご意見		37		19
保全制度に関するご意見		11		5
その他のご意見		15		7
維持管理・良好な森の育成に関するご意見	36		10	
質の高い管理に関するご意見		19		5
維持管理の支援に関するご意見		1		1
その他のご意見		16		4
森を育む人材の育成に関するご意見	3		0	
市民が森に関わるきっかけづくりに関するご意見	6		0	
3. 柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	38		12	
柱2に関するご意見	1		1	
良好な農景観の保全に関するご意見	7		5	
農とふれあう場づくりに関するご意見	15		0	
地産地消の推進に関するご意見	15		6	
4. 柱3 市民が実感できる緑や花をつくる	136		58	
柱3に関するご意見	25		4	
全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承する取組に関するご意見		21		0
その他のご意見		4		4
まちなかでの緑の創出・育成に関するご意見	71		41	
公共施設・公有地での緑の創出・育成に関するご意見		5		2
街路樹に関するご意見		37		18
シンボリックな緑の創出・育成に関するご意見		1		0
その他のご意見		28		21
市民や企業と連携した緑のまちづくりに関するご意見	28		10	
子どもを育む空間での緑の創出・育成に関するご意見	4		1	
緑や花による魅力・賑わいの創出・育成に関するご意見	8		2	
5. 効果的な広報の展開	61		23	
市民が参加するための広報に関するご意見	6		1	
実績・成果の報告に関するご意見	10		6	
取組の広報に関するご意見	20		5	
その他のご意見	25		11	
6. これまでの成果に関するご意見	10		6	
7. 税、財源に関するご意見	201		103	
税を支持・容認するご意見	15		5	
税を支持しないご意見	44		20	
負担額低減や課税方法の変更を求めめるご意見	9		9	
財源の検討に関するご意見	49		22	
税の使途・情報提供に関するご意見	54		37	
その他のご意見	30		10	
8. その他	124		63	
総計	947		390	

4 アンケート方式における自由記入欄でいただいた主なご意見

1. 素案全体に関すること（個人 269 件）（法人 84 件）

主なご意見の主旨

- ・ [2019-2023]ではなく、ずっとやっていかなければいけないと思う。緑は人間にとって、必要だから。
- ・ 緑地がどんどん開発され、緑地が少なくなっている。我々の憩いの場がだんだん少なくなっている。私達の子や孫、それ以降の人達にも、緑地推進してほしい。
- ・ 野菜を作り、人を健康にし、緑を育み、人を癒し、街を作り、良い循環を生み出してほしい。
- ・ これからも継続して、取り組んでほしい。
- ・ みどりは市民にとっても共存する動植物にも大切なものだ。ぜひこれからも積極的に取り組んでいただきたい。
- ・ 現実的に、地球や人のためになるみどりの保全に取り組んでほしい。
- ・ 50年、100年後を考えて緑を育てるべきだと思う。
- ・ 観光客が多い街中だけでなく、実際に市民が住んでいる場所も力を入れて事業を進めてほしい。
- ・ 海浜地区では格段の取組が必要だと思う。
- ・ 緑を増やす又は維持するには、まず手入れが出来る人材を育ててほしい。
- ・ 公園管理者を含むボランティアには先ず生物の知識を研修してから従事させるべきである。
- ・ 市民の関心がないところに結果は生まれないものです。そのためには緑にかかわるものとして名所づくり（古木、並木道、森林探索 etc.）など考えてみてはどうか。
- ・ 何でも桜並木ばかりにするのはやめてほしい。街路樹には、中低木の常緑樹を増やしてほしい。

2. 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む（個人 108 件）（法人 41 件）

主なご意見の主旨

- ・ 横浜みどりアップ計画は賛成。だが、未だに山をくずし住宅など建設があとをたたない。これから始めてください。自然を損なわない計画で願います。
- ・ 不動産業者のスピードに負けないような保全手続のスピードアップを図らないと、本当に守りたいと周囲の住民が希望する緑が奪われる。マンション建設や、オリンピックに向けた動きが加速する中ではスピードが要求されると思う。
- ・ 森は一度なくなってしまうと取り戻すのが難しいと思うので、今ある森をできるだけ守ってほしい。これからの人材育成のためにも、子どもたちが自由に遊ぶことができる森がほしい。（森っばい公園でなくて自然の森）野山をかけまわってあそべるまちになったらすてきだなと思う。
- ・ 整備した森ではなく、自然の森を残してほしい。40年前の三保市民の森は、とても楽しい場所であった。
- ・ 遠くへ出掛けられない人にとって近所の緑も“癒し”になっています。鳥も蝶も来ます。そういう小さな林を残せるような取組もしてほしいです。
- ・ みどり税で集まった金額で、出来る事をやってください。わざわざ市民との関わり、子どもをまきこみ、企業を引っ張り出すと、余計な金がかかるだけ。税金でコツコツ土地を買い取り、ほったらかして木を生やし、森を作ってください。年々増えるはずだ。
- ・ 市民の森の手入れをしてほしい。トイレと水のみ場など。
- ・ ボランティア活動をもっとすすめた方がよい。緑を維持するためには、とても努力が必要。永年に渡って管理してほしい。出来ないのであるならばやめてほしい。整備されていない森は怖いイメージがあるので永年に渡って管理を出来るようにしてほしい。
- ・ 森林の管理やそのための人材の育成は、非常に重要だと思うので、積極的に取り組んでほしいと思う。

3.柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる（個人 38 件）（法人 12 件）

主なご意見の主旨

- ・ 横浜の人の大半が非農家で都市志向だ。水田の保持についても、高齢化が進み、放棄地が増えていくと思う。そちらの方を対策すべきではないか。
- ・ 農業事業者を育てろ。農地が宅地に開発されれば緑地はなくなる。
- ・ 市民農園等の拡大、増設を行う。以前農園を借りるのに5年待ちだったことから農（野菜作り）に興味のある人は、沢山いると思う。
- ・ 畑があっても、高齢化で、思うようにできず若い人は、まだ会社がありなかなか手伝えないのが現状だ。一方、市民菜園をやりたい人は沢山いて、何年も待っている状態。市で買いとって管理したらどうか。
- ・ 生産者の方と直接会話しながら野菜を買う時は嬉しい。
- ・ マルシェなどは、積極的に開催していただけると嬉しい。
- ・ フェア・青空市場などで利益を出し、今後、その資金を運営費として活用してほしい。
- ・ 青空市が遠すぎる（鶴見に住んでいるので）。

4.柱3 市民が実感できる緑や花をつくる（個人 136 件）（法人 58 件）

主なご意見の主旨

- ・ 昨年夏の花いっぱいの中区は見ごたえがあった。引き続いて実施してはどうか。
- ・ 里山ガーデンはこれからも色々な花を植えて見せてほしい。維持するのは大変だろうから入場料やその他花税でも取ってきれいに年2回位見せていただきたいと思う。
- ・ 恒常的なみどりは良いが、一時的に置くみどり（昨年、桜木町などにあったと思うが）には賛成できない。
- ・ みどりをもっと身近に感じるため、公園などの木や花に名前や説明をつけてくれると、子どもに話してあげやすい。
- ・ 緑を増やす取組は良いことなので、まず身近な市の所有するところ（役所や学校など）から緑を増やすのはどうか。
- ・ 公共施設における雨水利用・屋上緑化・芝生化及びビオトープの作成等を、まず積極的に推進する必要がある。
- ・ 現在有る公園や街路樹の、保全に力を入れて。
- ・ 街路樹の剪定は良くされていて有難いが、下草の手入れが遅れている場合がある。御配慮ください。
- ・ 街路樹の管理について、剪定ばかりしているが、毎年は必要無いと思う。もっと葉を茂らせて「日影」を作るべき。
- ・ 海外都市においても“緑が多い”“緑を大切にしている”と感じるのはキレイな街路樹が整備されているところである。横浜市においても、主要幹線道路に立派な街路樹が育つことを望む。
- ・ 山下公園通りの街路樹の整備された道路、又、歩道は大変美しく心和む通り。整備費用もかなりかかると思うが、人の心をなごませる景観は素晴らしいと思う。
- ・ 以前住んでいた市では住宅街の道路に花が植えられており、市民ボランティアが細めに世話をしており、年中通して花や緑のきれいな町だった。市民の大半が過ごす場所にも力を入れると良いと思う。
- ・ 団体支援だけでなく、個人（家庭）に向けて、緑と関わることができる仕組みがあれば嬉しい。
- ・ 補助金や税を考えて、都市部のビルの屋上の有効活用を考えてください。
- ・ ボランティア団体とタイアップして商店街にプランターを10個位陳列したのだが、ボランティア団体の解散によりできなくなった。誰かサポートしていただければ再度検討してみたい。

5.効果的な広報の展開（個人 61 件）（法人 23 件）

主なご意見の主旨

- ・ 会社員なので土日等しか参加できないかも知れないが、「緑の取組」の活動で一般市民も参加できる企画があれば、是非お声かけください。
- ・ 市民への周知の徹底が必要だと思う。
- ・ 私の近辺では、どう取り組んで、どう実績を上げてきたのか、具体的なものが見えない。具体的に実績が見えるようにしないと「緑豊かな」と言われてもピンと来ない。
- ・ 駅など目につく場所の一角で都市緑化のアピール（共存する形で）をもっとしても良いと思う。（電車に乗っている間に緑がみえたらこちらもハッピーになる）
- ・ 普段、生活をしている中で、本取組に触れ、意識する場面がほとんどない。今回のアンケートを通じ、この取組の存在を知った。今後、意識していきたい。
- ・ 他県での取組などの展示にも興味がある。

6.これまでの成果に関するご意見（個人 10 件）（法人 6 件）

主なご意見の主旨

- ・ 横浜みどり税が何に使われているのか全く見えないので、もう少し身近なものでわかる様に使ってほしい。例えばみどり税を使って木や花を植えたらプラカードや札等を立てる等してもらえるとわかりやすい。
- ・ 会社周辺では緑が増えていない。
- ・ 港南区しかわからないが、みどりアップ計画の成果が随分効果を実感して、充実していると感じている。

7.税、財源に関するご意見（個人 201 件）（法人 103 件）

主なご意見の主旨

- ・ “みどり税”を積極的に推進するのは賛成。
- ・ 緑がたくさんの大都市横浜市になってください。そのための、税金は、大いに結構だ。
- ・ これからも街の緑を守るためには、ある程度の負担は仕方ないと思っている。
- ・ みどりを増やす事に反対する人は限り無く少ないと思う。だからと言って増税でその財源にあてる事は短絡的であると思う。
- ・ 推進してほしいが、景気が悪いのに税金ばかりが増えるのはつらいものがある。
- ・ そもそも横浜市民税は高く、且つ、多額の赤字財政ゆえ、横浜みどりアップ計画は中止とし、税負担は無くすべきである。
- ・ これから、国でも環境に関する税金を徴収すると言い始めている。現在、地方自治体で徴収されているのに、国のものと重複するのかなど、疑問がある。
- ・ 法人税をもっと取る。（市民税以上に）緑化に積極的に取り組んだ企業・個人に対しては減税又は何かしら優遇する。
- ・ 横浜みどりアップ計画に参加すると免税になるというようにすれば、市民は積極的にこの計画に参加するのではないかと。横浜野菜を一定額購入すると免税にする、平日の仕事帰りにもスーパー感覚で立ち寄れるアンテナショップを横浜駅やその他のメインステーションに設置する、など。地産地消にもつながり良いのでは。
- ・ ふるさと納税のような制度にして募金を集めてはどうか。税控除も認めれば財源も集まると思う。
- ・ 新しい取組だからといって財源をそのために新しく確保するのではなく、現状でムダを見直しその中でできる計画を立案することが望ましい。

- ・ 負担をするに丸をつけたが、みどり税が何に使われているか知っているのだから丸を付けた。でも、市民の大半はなぜ払わなければいけないのか、何に使われているのかを細々と知らない。私は「横浜農業探検隊」に参加した。納得したので大事な事だと実感した。イベント、色々な体験等を通して、伝えてみてはどうか。
- ・ みどり税の使途について詳しく知る機会がないため広報活動をしてほしい。
- ・ 公共事業としてやるべき案件であると思われるが、将来的には民間企業が実施する事業として成り立つようなものにできないか検討してほしい。
- ・ みどり税に関しては、皆が均等に必ず負担できるようにしてほしい。また郊外から緑を増やしていることが多いと思うが、都市部へも還元できるよう配慮してほしい。

8.その他（個人 124 件）（法人 63 件）

主なご意見の主旨

- ・ アスファルトばかりなので、地面が土である場所を守り、そして増やしてほしい。
- ・ 公園などの樹木は手入れをしないと伸びて台風の時倒れると危険だが、真夏など日陰になり気分的にホッとするとし、花がある事で心も和む。小さな子どもさん達にも教育的にも良いと思う。
- ・ 里山があり、田んぼがあり、関内エリアのような文化遺産があって、みなとみらいのような新しい街がある、共生できる都市に魅力を感じる。
- ・ 自然との共生を創り出すことで、人も企業も活性化し、結果として税収増となることを願う。
- ・ まちなかに雑木林のようなものがあったても良い。芝の公園ばかりが公園とは思えない。

5 公募型自由記述方式でいただいた意見の分類

寄せられたご意見を分類すると、次の一覧のとおりです。

分類		集計	
1. 素案全体に関するご意見		476	
11. 取組を支持するご意見		21	
12. 理念や目標、計画の枠組みに関するご意見		402	
13. 取組の進め方、優先順位についてのご意見		15	
14. 取組の内容に関するご意見		29	
141. 人材の育成・教育に関するご意見			12
142. その他のご意見			17
15. 素案の表現に関するご意見		9	
2. 柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む		911	
21. 柱1に関するご意見		1	
22. 樹林地・緑地の保全に関するご意見		891	
221. 開発規制に関するご意見			869
222. 保全制度に関するご意見			21
223. その他のご意見			1
23. 維持管理・良好な森の育成に関するご意見		17	
231. 質の高い管理に関するご意見			9
232. 維持管理の支援に関するご意見			2
233. その他のご意見			6
24. 森を育む人材の育成に関するご意見		2	
25. 市民が森に関わるきっかけづくりに関するご意見		0	
3. 柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる		24	
31. 柱2に関するご意見		8	
32. 良好な農景観の保全に関するご意見		3	
33. 農とふれあう場づくりに関するご意見		7	
34. 地産地消の推進に関するご意見		6	
4. 柱3 市民が実感できる緑や花をつくる		848	
41. 柱3に関するご意見		810	
411. 全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承する取組に関するご意見			791
412. その他のご意見			19
42. まちなかでの緑の創出・育成に関するご意見		21	
421. 公共施設・公有地での緑の創出・育成に関するご意見			4
422. 街路樹に関するご意見			9
423. シンボリックな緑の創出・育成に関するご意見			8
424. その他のご意見			0
43. 市民や企業と連携した緑のまちづくりに関するご意見		9	
44. 子どもを育む空間での緑の創出・育成に関するご意見		1	
45. 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成に関するご意見		7	
5. 効果的な広報の展開		19	
51. 市民が参加するための広報について		0	
52. 実績・成果の報告について		8	
53. 取組の広報について		10	
54. その他のご意見		1	
6. これまでの成果に関するご意見		9	
7. 税、財源に関するご意見		446	
71. 税を支持・容認するご意見		34	
72. 税を支持しないご意見		8	
73. 負担額低減や課税方法の変更を求めるご意見		9	
74. 財源の検討に関するご意見		16	
75. 税の用途・情報提供に関するご意見		375	
76. その他のご意見		4	
8. その他		35	
総計		2768	

6 公募型自由記述方式でいただいた主なご意見

1.素案全体に関すること (476 件)

主なご意見の主旨

- ・ 5か年計画すばらしいと思う。ぜひ、目標達成してほしい。お手伝いできる事があれば、参加したいと思っている。
- ・ 緑の保全は大切なことだ。引き続き取り組んでほしい。
- ・ 引き続き量の確保、維持管理や緑の創出に取り組んでほしい。
- ・ 今ある緑地はこれ以上減らさず、また新規の緑地を創設し緑地の総量を増やしてほしい。みどりアップ計画の本来の目的は、樹林地を含む緑地を減少させず、緑地を増やす事のはずだが、この素案には「みどりアップ計画」を継承すると書いているにも関わらず、緑地保全制度での指定面積を増やすことが目標となってしまうている。全体の緑地が減少しても緑地指定地が増える（オフセットする）というやり方ではなく、具体的なルールを設け現存する緑地を算出し、これ以上は緑地を減少させない計画に変更してほしい。そして緑地を緑地指定としてではなく、実際の緑地を増やす取組にしてほしい。
- ・ 単に樹林、植物があれば良いのではなく、そこに動物、昆虫、野鳥といった生物も合わせて守れる保全でないと思わないと思う。
- ・ 森に執着しすぎている。現存しているわけだから、目を向けるべきは、緑がないところだ。
- ・ みどり税による緑地の買取をもっと積極的に行ってほしい。緑地は、すでにある森や林を残すことを優先し、造園などの緑の増加の優先順位は既存の森や林を残すことよりも低いことを明確にしてほしい。
- ・ 行政が主導しながらも多様な主体との連携、市民との協働が随所で語られているが、ここで言う市民は社会人及び子ども（小・中学生）で、これからの時代を近未来に担う若年層すなわち高校・大学生の世代がすっぱり抜け落ちている。
- ・ 地域緑のまちづくりなど、緑と名前がついているのに、花壇や花を植えている人の写真ばかりだ。

2.柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む (911 件)

主なご意見の主旨

- ・ どこかほかの緑地を保全したから、ほかの場所はオフセットとして開発を認め緑地は減っていないとする、あるいは一定の開発を認めることを条件に残った部分を緑地指定するという事は、絶対にやめてほしい。このような事例を認めてしまえば、横浜市の緑地は減少するばかりだ。
- ・ 地権者への緑地管理の指導を、より徹底してほしい。ルールを新たに設け、適切な緑地管理を義務化し、維持管理が難しいケースは市から積極的にみどり税を利用して買い取り、維持管理をできるようにしてほしい。現状では、地権者が土地の管理が不十分のために、事業者が土地を買い取り、開発を市へ申請し、市がそれを認可するようなケースが発生している。みどり税での買取が難しければ、地権者から行政に譲渡するなど、新しい形を考えても良いと思う。少なくとも、地権者の管理が難しいために開発するという流れを認めてしまえば、ますます横浜市の緑地はなくなってしまうと危惧している。
- ・ 市街化調整区域の市街化への転換のルールをより厳格にしてほしい。人口減少に向かって、調整区域の市街化転換は必要性が極めて限られている。調整区域となっている緑地を市街化区域に転換する場合は、調整区域の在り方答申を厳格に守るべきである。調整区域に建築されている違反建物などは移転を促進し、本来の緑地に戻す取組が必要である。違反建物を追認で市街化するなどは、もってのほかである。また、都市計画提案制度をもとにした市街化調整区域の市街化もあってはならないケースだと思う。より厳格なルールの制定をお願いする。

- ・ そもそも人口・世帯数減で住宅地の必要性はなく、全ての都市計画が基本とすべき国土利用計画の重点施策でも、これ以上宅地は増やさないとしている。また、各種の助成金や租税の免税など「みどり税」を使って緑地保全制度を適用した結果、緑地保全の実質的な成果はどれ程のものか十分検証する必要がある。すなわち、制度を適用していなくても、それほど緑地は減らなかったのではないか。
- ・ これまでの取組で、市有地となった樹林地が、増えているので、それを適切に維持管理してほしい。維持管理で発生した間伐材は処分せず材として活用する取組を進めるべき。

3.柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる（24件）

主なご意見の主旨

- ・ 生産緑地の2022年問題への対策に関する項目が無いように感じた。農とふれあう機会の提供、身近に農を感じる地産地消、防災や環境等の観点からも、市街化区域における農地のあり方を抜本的に見直し、対策を講じるべきではないか。
- ・ 水田は、治水対策、洪水対策上、必要な土地利用方法だと考える。洪水対策が進まない内は、10年といわず、長く継続してほしい。（遊水地として機能する水田に限る話。）
- ・ 農に接する機会が多くなり、内情もいろいろ知るようになった。青葉区、都筑区に残された農地も手がまわらず、放置されているところが見受けられる。住と農のマッチングを市がリードして、もっと多くの市民が農にかかわれたら良いと思っている。
- ・ 地産地消の具体的な例を写真で示してほしい。（一例、浜なし）

4.柱3 市民が実感できる緑や花をつくる（848件）

主なご意見の主旨

- ・ 緑化フェアは市のみどりアップの取組を知る良い機会となった。森や水田、河辺など心休まる景色をたくさん残してほしい。
- ・ 現状「横浜みどりアップ計画」の取組による受益者として、市民は横浜みどり税を負担してきたが、市民に実感できる税の使い方になってないと感じている。資料によると「みどりアップ計画を全く知らない人が半数（49.3%）」と、市民が実感できる「みどりアップ」は、一時的なイベントやフェアによってできるものでないことを示している。
- ・ イベントの後に廃棄するような緑の展示や花畑造成、告知するための印刷物や看板など貴重な資源と税金の無駄遣いであり、「市民の盛り上がりを醸成する」とは思えない。緑化フェアなどイベントのための緑の展示や花畑造成や広報（印刷物・看板等）などにみどり税の他、市民の税金を使うのではなく、その分を差し引いて減税するべきと考える。
- ・ 長い目で見て、街の並木などの更新をしたほうが良いと思う。
- ・ 「公開性のある緑空間の創出支援」について、想定箇所が10か所程度と記載があるが、対象の件数を定めずに、意欲ある事業者の広く一般に公開された魅力的な緑化整備について助成できるようお願いしたい。また、一律の助成率、助成額とせず、整備内容をふまえて評価されるような制度とすると質の高い緑化整備を誘導していけるのではないかと思う。
- ・ 公園のソメイヨシノが伐られてしまうことが多い。ちゃんとソメイヨシノで植えてほしい。花見文化がなくなってしまう。

5.効果的な広報の展開（19件）

主なご意見の主旨

- ・パンフレットではかなりの効果をあげていると書かれているが、市民としては実感がない。
- ・気にしていない方に伝わらない仕組みなのではないか。駅や区役所に、近いところの対象地域と計画を掲示してはどうか。
- ・イベントなどを行っていることはまだ耳にしたことがありませんでした。今回のアンケートを機に関心を持って見てみます。

6.これまでの成果に関するご意見（9件）

主なご意見の主旨

- ・都心臨海部の緑花はとても良かった。これまでの山下公園や港の見える丘公園のバラ園はあまりたいしたことがないと実感できるくらい変わった。

7.税、財源に関するご意見（446件）

主なご意見の主旨

- ・今まで通り「横浜みどり税」で良いと思う。全国的にも、誇らしい税だと思う。
- ・みどり税の徴収は止めてほしい。都会の中に生活している者には恩恵が感じられない。
- ・国内外からの観光客が本当に増えた。都心臨海部の山下公園などのみどりアップは横浜の売りになったと思う。来街者からもお金をとれる仕組みにしてほしい。
- ・みどり税での緑地の本来の目的での使用と、地権者の土地管理への指導を徹底すべき。みどり税の用途は、地権者の不測の事態に緑地買取申出があった場合に買い取ることが本来の目的である。事業者に開発を許可し、残った緑地を指定条件に買い取るとは、みどり税の趣旨に反している。また、新たに里山ガーデンのような緑地を作るために、もとある里山やその土地の森を切り、谷を埋める開発を行うのは、やめてほしい。もとある自然を破壊し開発し、それを維持するためにみどり税を使うのは、みどり税の趣旨と反していると感じる。
- ・国が検討している森林環境税としっかり区別してほしい。

8.その他（35件）

主なご意見の主旨

- ・山よりも公園の方が身近で大事。公園の大木を守るようにしてほしい。改修の時に伐られてしまうのは良くない。

横浜みどりアップ計画(計画期間:平成 26-30 年度)

4か年(平成 26 年度~平成 29 年度)の 事業・取組の評価・検証



平成 30 年 6 月
横浜市環境創造局





目次

1 横浜みどりアップ計画の概要

(1) 横浜みどりアップ計画の位置付け	1- 1
(2) 計画の方針	1- 2
(3) 計画の体系と取組内容	1- 3
ア 計画の体系	1- 3
イ 取組内容	1- 4
(4) 計画を進めるにあたって	1- 8
ア 計画を進めるための財源と会計のしくみ	1- 8
イ 横浜みどりアップ計画市民推進会議	1- 9

2 横浜みどりアップ計画4か年の主な成果と課題

(1) 取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	2- 2
(2) 取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	2- 4
(3) 取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる	2- 6

3 事業・取組の実績と評価・検証

(1) 評価の考え方	3- 1
(2) 4か年の事業・取組の評価一覧	3- 2
(3) 各事業・取組の実績と評価・検証	3- 5
ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む	3- 5
イ 市民が身近に農を感じる場をつくる	3- 35
ウ 市民が実感できる緑をつくる	3- 69
エ 効果的な広報の展開	3- 96
(4) 4か年の事業・取組の実績一覧(実績累計)	3-105
(5) 4か年の事業・取組の実績一覧(事業費累計)	3-109
(6) 平成29年度の事業・取組の実績一覧	3-113

4 横浜みどりアップ計画市民推進会議

(1) 横浜みどりアップ計画市民推進会議の概要	4- 1
(2) 平成29年度の活動実績	4- 2
ア 全体会議	4- 2
イ 部会	4- 2
ウ 広報誌の発行	4- 4
エ 報告書の発行	4- 4
(3) 評価と提案の概要	4- 5

※別冊

5 各区の実績

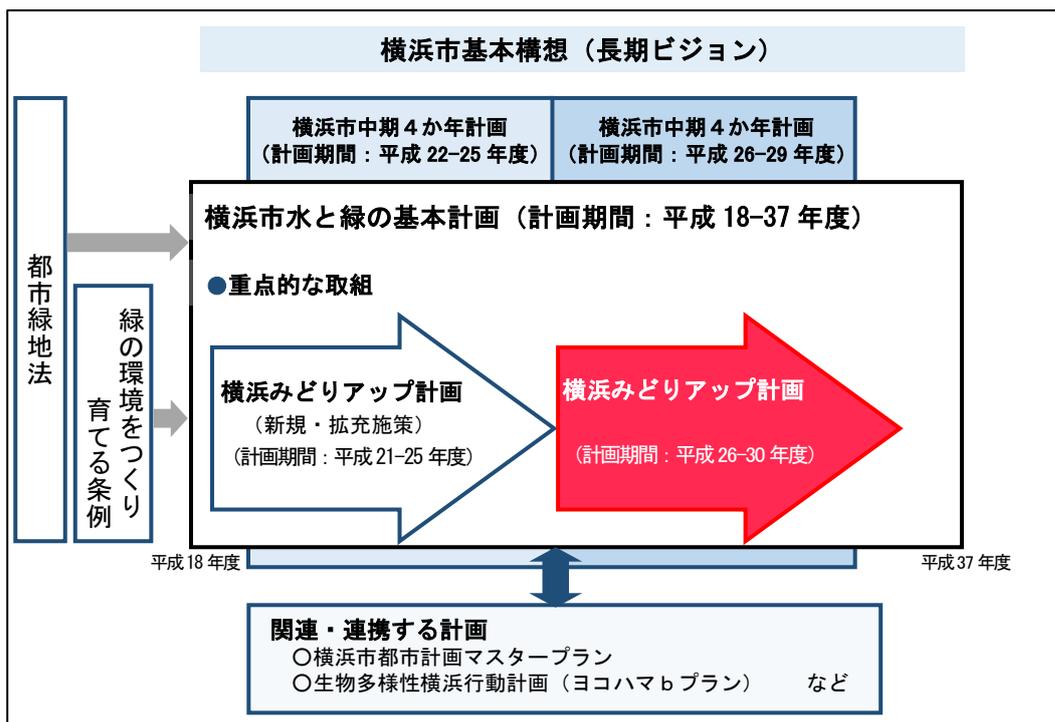
(1) 鶴見区	5- 2
(2) 神奈川区	5- 10
(3) 西区	5- 18
(4) 中区	5- 24
(5) 南区	5- 30
(6) 港南区	5- 36
(7) 保土ヶ谷区	5- 44
(8) 旭区	5- 52
(9) 磯子区	5- 62
(10) 金沢区	5- 68
(11) 港北区	5- 76
(12) 緑区	5- 84
(13) 青葉区	5- 94
(14) 都筑区	5-102
(15) 戸塚区	5-110
(16) 栄区	5-120
(17) 泉区	5-128
(18) 瀬谷区	5-136

1 横浜みどりアップ計画の概要

(1) 横浜みどりアップ計画とは

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に水や緑の環境を有しています。この緑の環境を生かし、また、次世代に引き継いでいくため、市は平成 18 年に策定した「横浜市水と緑の基本計画」に基づき、「横浜らしい水・緑環境の実現」に向けて、水と緑の環境を育む様々な取組を展開しています。さらに、平成 21 年度からは、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した重点的な取組として、「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」を推進してきました。

緑の保全・創造は継続的に取り組むことが重要であり、これまでの取組の成果や課題、市民意見募集の結果などを踏まえ、平成 26 年度以降に取り組む「横浜みどりアップ計画」（計画期間：平成 26-30 年度）を策定しました。市民や事業者の皆様とも連携しながら、計画の理念や目標の実現を目指します。



【図】横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）の位置付け

計画の理念：みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度の指定による樹林地の担保量が増加、水田の保全面積が増加、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など生物多様性に配慮した取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑とのかかわりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

(2) 計画の方針

この目標の実現に向けて、横浜みどりアップ計画では、次の3つの取組の柱と、効果的な広報に重点的に取り組みます。

取組の柱

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

景観や生物多様性の保全など農地が持つ環境面での役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農のかかわりを深める取組を展開します。

取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

街の魅力を高め賑わいづくりにつながる緑や地域の緑、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

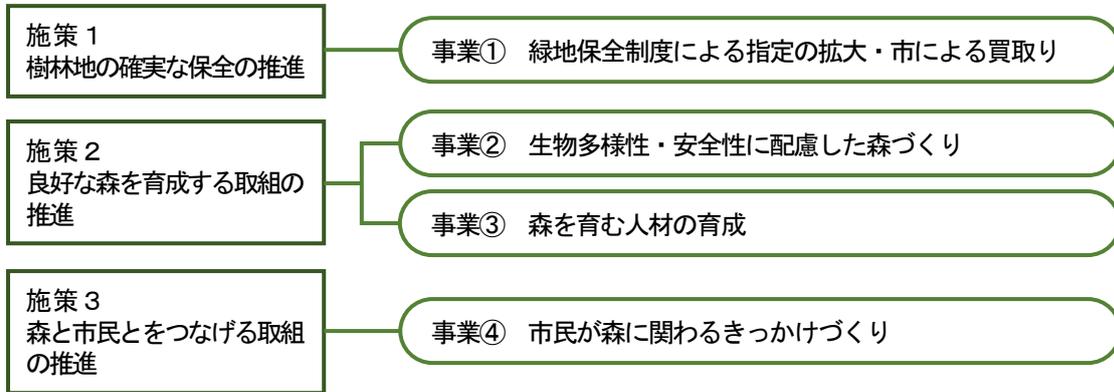
効果的な広報の展開



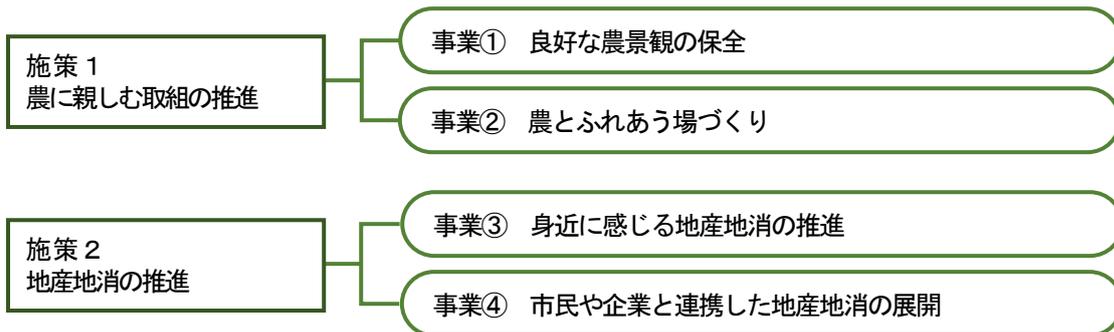
(3) 計画の体系と取組内容

ア 計画の体系

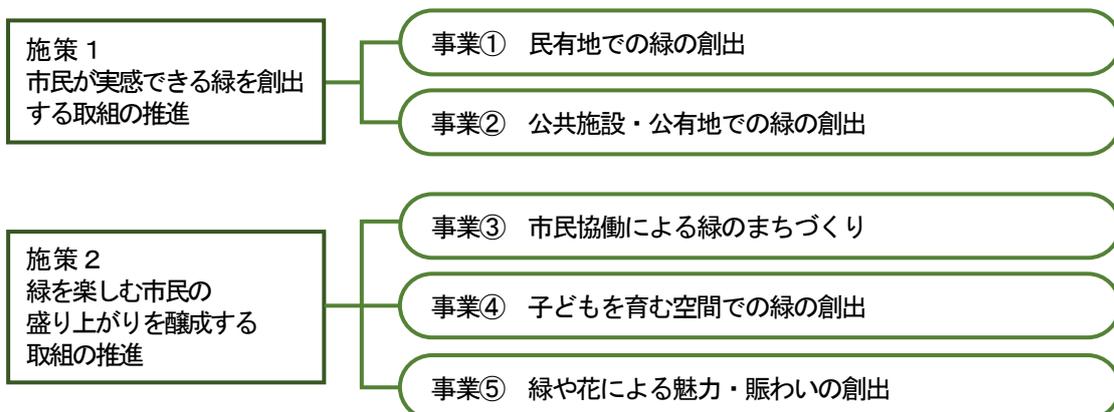
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる



効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

イ 取組内容



取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

まとまりのある緑の空間は、都市の骨格をつくり、クールスポットであると同時に生物生息の場であり、洪水抑制や避難場所となるなど防災・減災にも役立ちます。さらには、樹林地や農地が一体となって横浜らしく美しい景観を形成している地域も存在します。これらを次世代に引き継いでいくため、森のもつ多様な役割に配慮しながら、土地所有者や地域の住民など、市民・事業者とともにその保全や育成をより一層進めます。

●：横浜みどり税を充当した取組

施策	事業	取組番号	取組
施策1 樹林地の確実な保全の推進	①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	1	●緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
施策2 良好な森を育成する取組の推進	②生物多様性・安全性に配慮した森づくり	2	●森づくりガイドライン等を活用した森の育成
		3	●指定された樹林地における維持管理の支援
		4	●生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上
		5	●間伐材の有効利用
	③森を育む人材の育成	6	●森づくりを担う人材の育成
		7	●森づくり活動団体への支援
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	④市民が森に関わるきっかけづくり	8	●森の楽しみづくり
		9	●森に関する情報発信



取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

都市に潤いをもたらす横浜の農景観を保全し、次世代に引き継いでいくことが求められています。また、直売所で農畜産物を購入するなど、地産地消の取組に対する関心の高まりに加え、市民農園で自ら農作物を栽培するなど「農とのふれあい」への市民ニーズが高まっています。

そこで、景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での役割に着目した「良好な農景観の保全」や、「農とふれあう場づくり」、「地産地消の推進」を重点的に展開し、市民が身近に農を感じる場をつくります。

また、横浜の都市農業を支える農業振興策として、横浜みどりアップ計画とあわせ、農業経営の安定化、効率化に向けた農業振興、横浜の農業を支える多様な担い手に対する支援、農業生産の基盤となる農地の利用促進などの取組も引き続き進めていきます。

●：横浜みどり税を充当した取組

施策	事業	取組番号	取組
施策1 農に親しむ取組 の推進	①良好な農景観の保全	10	●水田の保全
		11	特定農業用施設保全契約の締結
		12	●農景観を良好に維持する取組の支援
		13	●多様な主体による農地の利用促進
	②農とふれあう場づくり	14	●様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
		15	市民が農を楽しみ支援する取組の推進
施策2 地産地消の推進	③身近に感じる地産地消の推進	16	地産地消にふれる機会の拡大
	④市民や企業と連携した地産地消の展開	17	地産地消を広げる人材の育成
		18	市民や企業等との連携



取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

都市の緑は、市民に潤いや安らぎをもたらすほか、街の良好な景観形成や賑わい創出、生き物の生息空間となるなどの重要な役割を果たし、都市の魅力を高めます。そうした緑があふれる都市で暮らす豊かさを、市民が「実感」できるような取組が求められています。

そこで、緑のネットワーク形成も念頭に置き、地域特性に応じた「質の高い緑」の創出により、横浜の魅力を高める取組を重点的に推進します。また、地域で緑を育む活動に取り組み市民や事業者を支援することで、市民が主体となる緑のまちづくりを推進します。

●：横浜みどり税を充当した取組

施策	事業	取組番号	取組
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進	①民有地での緑の創出	19	●民有地における緑化の助成
		20	建築物緑化保全契約の締結
		21	●名木古木の保存
		22	●人生記念樹の配布
	②公共施設・公有地での緑の創出	23	●公共施設・公有地での緑の創出・管理
		24	●公有地化によるシンボリックな緑の創出
25		●いきいきとした街路樹づくり	
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上げを醸成する取組の推進	③市民協働による緑のまちづくり	26	●地域緑のまちづくり
	④子どもを育む空間での緑の創出	27	●保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出
	⑤緑や花による魅力・賑わいの創出	28	●都心臨海部の緑花による賑わいづくり



効果的な広報の展開

市民の皆様のご理解とご協力を得ながら取組を推進するため、取組の内容や実績について、様々な媒体・手法を用いて効果的にお知らせし、理解を深めていただくとともに、緑に関わる活動に参加するきっかけとなる機会を提供します。

事業	取組番号	取組
①市民の理解を広げる広報の展開	29	計画の周知や実績報告

(4) 計画を進めるにあたって

ア 計画を進めるための財源と会計のしくみ

緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは、喫緊の課題です。また、緑は一旦失われると取り戻すことが困難です。緑の保全・創造のための取組については、市民からも多くの声が寄せられており、引き続き積極的に取り組んでいく必要があります。

「横浜みどり税」は、緑の保全・創造に取り組むための安定的な財源として、平成21年度から5年間、市民にご負担いただいていた。引き続き30年度まで5年間延長しています。

【表】平成26-30年度の横浜みどり税の税率と期間

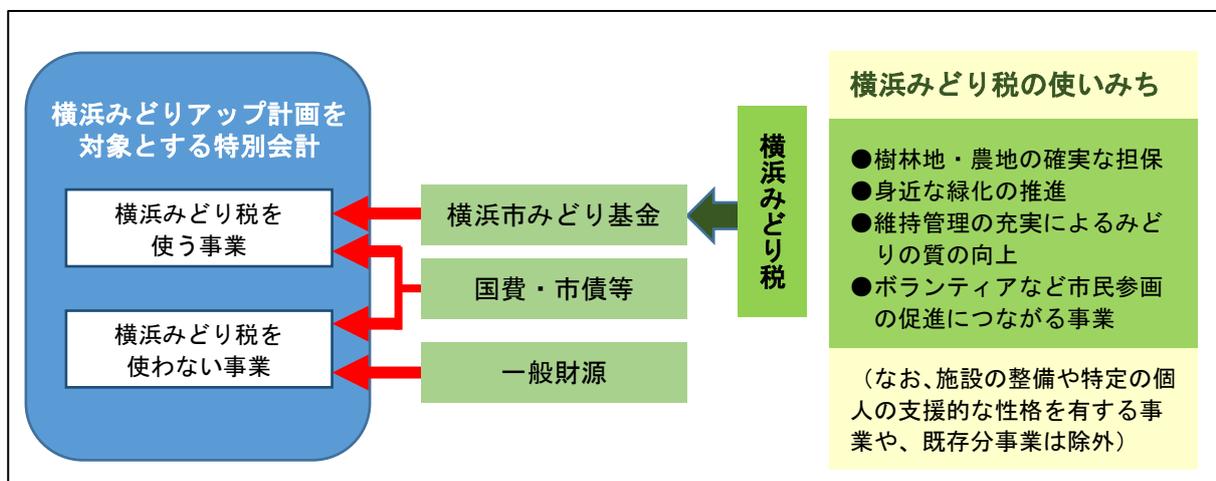
対象	税率	延長期間
個人	市民税の均等割に上乗せ900円/年※	平成26年度から平成30年度
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額/年	平成26年4月1日から平成31年3月31日までの間に開始する事業年度分

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方は課税対象から除く

「横浜みどり税」は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使いみちは「横浜みどりアップ計画」に限定されます。そこで、この税収を管理する基金（横浜市みどり基金）を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。

横浜みどり税の使いみちを明確にするためには、横浜みどり税を使う事業だけでなく、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにする必要があります。

そこで、横浜みどり税を使わない事業を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使いみちを明確にしています。



【図】横浜みどりアップ計画の会計の仕組みと横浜みどり税の使いみち

イ 横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の皆さんへの情報提供等をおこなうことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が平成21年に設置され、平成24年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。

市民推進会議では、全体会議や各種部会、現地調査などにより、みどりアップ計画の評価・提案に向けた議論を行っているほか、広報誌「みどりアップQ」や報告書を発行し、市民推進会議の活動内容や、横浜みどりアップ計画の取組を紹介しています。

活動		取組内容
全体会議		みどりアップ計画の事業目標や事業進捗状況について意見交換、報告書について検討
部 会	「森を育む」施策を 検討する部会	みどりアップ計画の事業分野ごとに、取組の内容と進捗状況について意見交換を行い、評価・提案について検討
	「農を感じる」施策を 検討する部会	
	「緑をつくる」施策を 検討する部会	
	広報・見える化部会	広報誌「みどりアップQ」の編集 みどり税やみどりアップ計画のわかりやすい伝え方の検討
	調査部会	みどりアップ計画の取組が進められている現場を調査
広報誌の発行		市民推進会議の活動内容や、横浜みどりアップ計画の取組を紹介する広報誌「みどりアップQ」を年3号発行
報告書の発行		横浜みどりアップ計画の評価・提案等を報告書として発行

1 横浜みどりアップ計画の概要



2 横浜みどりアップ計画4か年の主な成果と課題

平成26年度から平成29年度までに実施した事業の主な成果と課題は次のとおりです。



取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 土地所有者の理解と協力を得ながら、特別緑地保全地区などの制度指定により森の保全が進展しました。
- 森に関わるきっかけとなるイベントや講座の開催、市民と協働で良好な森を育成するための取組などにより、市民の森への関わりが広がり、深まりました。

課題

- ・ 指定した樹林地の維持管理 など



取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

- 市内の水田の保全など、良好な農景観を保全するための取組が進みました。
- 農園や農体験教室、農畜産物の直売所など、市民のニーズに合わせた農とのふれあいの場が着実に増加しました。

課題

- ・ 農を支える担い手の不足
- ・ 都心臨海部等での市民と農とのふれあいに対するニーズへの対応 など



取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

- 市民との協働により、市内 **42 地区**で緑のまちづくりが進展しました。
- 多くの市民や観光客が訪れる都心臨海部で、街の賑わいを生み出す緑の創出が進展し、全国都市緑化よこはまフェアの会場としても活用されました。
- 土地利用転換などの機会を捉えて用地を確保し、緑の少ない区に緑豊かな公園が開園しました。

課題

- ・ 緑化を行った地域や施設管理者へのフォローアップ
- ・ 創出した緑花の高質な育成・管理の継続
- ・ 個別の市民・事業者における緑化の取組への誘導 など

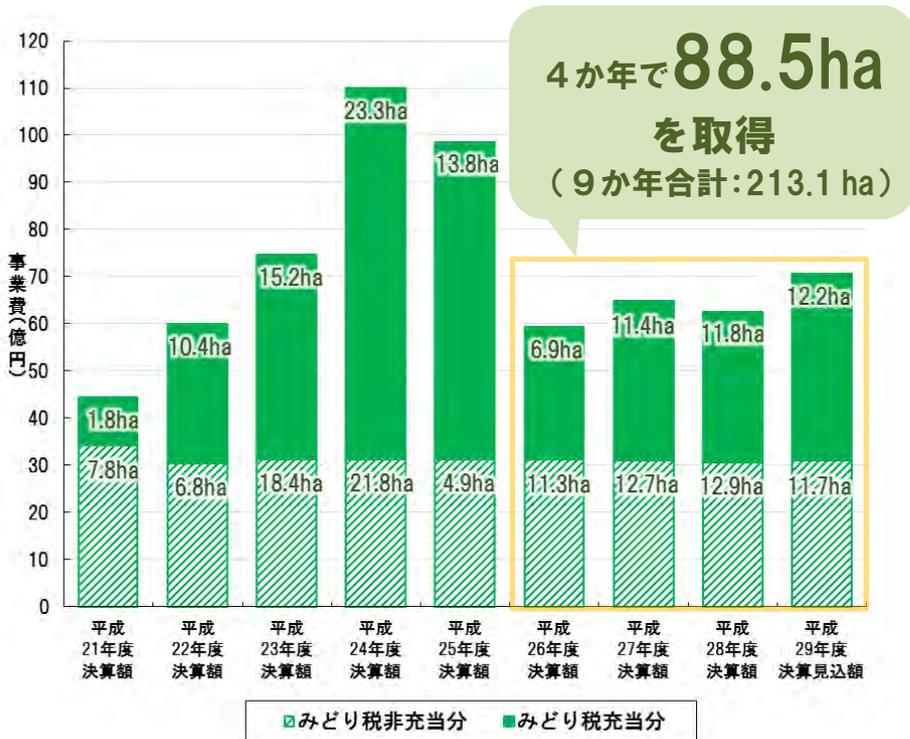
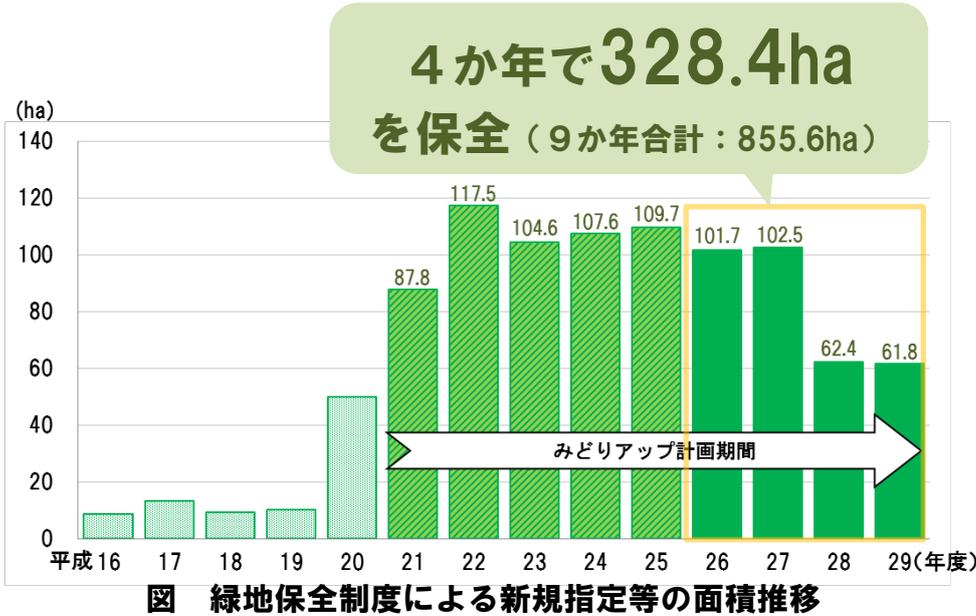
事業費・みどり税の執行状況

4か年事業費累計：36,317 百万円（うち横浜みどり税：10,071 百万円）
[5か年計画事業費：48,488 百万円（うち横浜みどり税：13,019 百万円）]

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森の保全が進展

「緑の10大拠点」をはじめとした市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、土地所有者の理解と協力を得ながら、特別緑地保全地区・市民の森・緑地保存地区などの制度指定を積極的に進めました。また、特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に、着実に対応しました。



森への関わりが広がり、深まる

森に関わるきっかけとなるイベントや講座を開催し、森に関わる市民の裾野を広げるとともに、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象とした研修などにより、森を育む人の技術の向上を図りました。また、市民の森や都市公園内のまとまった樹林等において、森の将来像や維持管理の考え方、作業内容を定めた「保安全管理計画」を策定し、生物多様性の保全や利用者の安全確保などのため、間伐や下草刈りなどの森の管理を愛護会等と連携しながら行いました。



鯉ヶ久保ふれあい樹林では平成26年に保安全管理計画を策定し、希少種であるキンラン、ギンランを守るために、下草刈りや落ち葉かきなどの林床管理と開花株数の調査を、ふれあいの樹林愛護会の皆さんが継続して行いました。その結果、平成27年から平成29年までの間にキンラン、ギンランともに開花株数が増加しています。

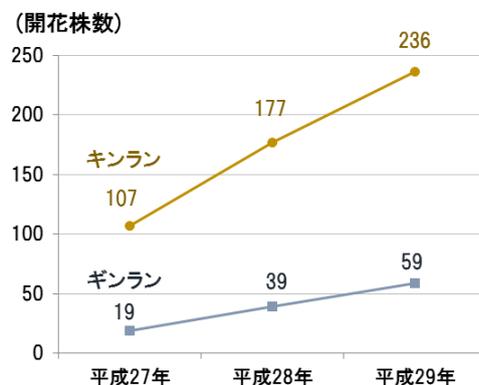


図 キンラン・ギンラン開花株数

- 指定された樹林地における維持管理の支援：405件 [5か年の目標：650件]
- ガイドライン等を活用した維持管理：のべ561か所 [5か年の目標：推進]
- 森づくり活動団体への支援：144団体 [5か年の目標：100団体]
- 4か年事業費累計：27,115百万円（うち横浜みどり税：5,769百万円） [5か年計画事業費：36,639百万円]

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

市内の水田を保全

貯水機能や景観形成などの市民共有の貴重な農景観である水田の減少を食い止めるため、水稻作付を10年間継続することを条件に土地所有者へ奨励金を交付し、市内の水田の119.8haを保全しました。



良好な農景観の保全が進展

農業者団体が実施する農地周辺の維持管理の取組を支援したほか、意欲ある担い手に農地を長期に貸し付け耕作されたことで、良好な農景観が保全されました。



- 良好に維持されている農地：675.0ha [5か年の目標：680ha]
- 長期貸付農地（累積）：109.9ha [5か年の目標：80ha]

農とのふれあいの場が着実に増加

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を進めました。

また、農体験教室の開催や直売所、青空市への支援など、楽しみながら農とふれあい、農畜産物などを味わえる機会を提供しました。

気軽に農を体験する

本格的に農を楽しむ



4か年で19.2haの農園を
開設支援・整備
(9か年合計：40.8ha)



- 農体験教室などの実施：356回 [5か年の目標：500回]
- 直売所等の支援：39件 [5か年の目標：52件] / 青空市運営支援：17件 [5か年の目標：25件]
- はまふっどコンシェルジュの活動支援：86件 [5か年の目標：100件]
- 4か年事業費累計：3,224百万円 (うち横浜みどり税：1,005百万円) [5か年計画事業費：3,985百万円]

取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる

42地区で緑のまちづくりが進展 緑を通じて地域も活性化

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めました。

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から緑化計画の提案を公募し、まちづくりや緑化の専門家による計画づくりの支援を行い、平成25年度以前から継続して取り組んでいる16地区に加えて4か年で26地区の団体と新たに協定を締結し、市内42地区において、様々な緑をつくる活動が行われ、地域で緑化を推進しました。



図 地域緑のまちづくり実施地区



横浜市内の
42地区で
緑のまちづくり

街の賑わいを生み出す緑や花の創出が進展

多くの市民が時間を過ごし、国内外からも多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部の都市公園、港湾緑地、街路樹などを中心に、質の高い緑や花の整備と管理を集中的に展開し、街の魅力の形成、賑わいづくりにつなげました。全国都市緑化よこはまフェアでは、これらの公園等を会場としても活用し、多くの方にお楽しみいただきました。



緑の少ない区に緑豊かな公園を開設

緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、土地利用転換などの機会を捉えて用地を確保し、緑豊かな公園の整備により緑を作り、町の魅力や賑わいづくりにつなげています。その第一号として、市立鶴見工業高校跡地の一角に「下野谷町三丁目公園」が開園しました。



- 民有地における緑化の助成：20件 [5か年の目標：65件]
- 公共施設・公有地での緑の創出：75か所 [5か年の目標：58か所]
- 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出：152か所 [5か年の目標：100か所]
- 4か年事業費累計：5,914百万円（うち横浜みどり税：3,297百万円） [5か年計画事業費：7,784百万円]

花や緑への関心が高まる ～全国都市緑化よこはまフェア～

平成29年春に開催された全国都市緑化よこはまフェアには、市の内外から大変多くの方々が訪れ、花や緑で美しく彩られた横浜の街を楽しんでいただきました。

よこはまフェア開催中に実施した来場者アンケート調査では、約93%の人が花や緑への関心が高まったと回答しており、このような取組や演出が、市民の花や緑への関心を高めることが分かりました。

また、よこはまフェアを通じて市民や地域、企業等、多様な主体が花や緑の活動に取り組むなど、花や緑を実感し、関わり、行動する機会にもつながりました。



3 事業・取組の実績と評価・検証

(1) 評価の考え方（4か年の事業・取組の評価）

平成26年度から平成29年度までの取組をふりかえり、4か年の事業・取組の実績・内容について、以下の方法により評価しました。

なお、評価にあたっては、横浜みどりアップ計画市民推進会議からの意見も参考にしています。（市民推進会議による4か年の評価・提案の概要はP4-5参照）

ア 進捗状況の評価

全29の取組ごとの、5か年の目標および計画事業費に対する4か年の進捗および執行率を、次の評価基準により評価しました。

〔進捗状況についての評価基準〕

◎:80%以上

○:50%以上～80%未満

△:50%未満

イ 4か年の総合評価

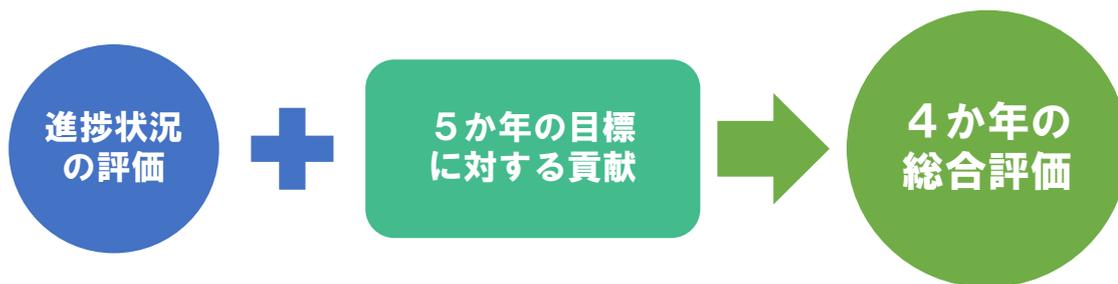
アに加えて緑の総量の維持、緑の質の向上や緑と関わる機会の増加など、計画全体としての5か年の目標に対する貢献も含めて、各事業・取組の成果を総合的に評価しました。

〔4か年の総合評価〕

A:計画を上回る成果

B:概ね計画通りの成果

C:計画を下回る成果



5か年の目標（再掲）

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度の指定による樹林地の担保量が増加、水田の保全面積が増加、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など生物多様性に配慮した取組の進展、緑や花の創出により町の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑とのかかわりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

3 事業・取組の実績と評価・検証
 (2) 4か年の事業・取組の評価一覧

(2) 4か年の事業・取組の評価一覧

取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む			
施策1 樹林地の確実な保全の推進			
事業①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	B	3-5
施策2：良好な森を育成する取組の推進			
事業②生物多様性・安全性に配慮した森づくり			
2	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	A	3-11
3	指定された樹林地における維持管理の支援	B	3-14
4	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	A	3-16
5	間伐材の有効利用	B	3-18
事業③森を育む人材の育成			
6	森づくりを担う人材の育成	B	3-21
7	森づくり活動団体への支援	A	3-24
施策3：森と市民とをつなげる取組の推進			
事業④市民が森に関わるきっかけづくり			
8	森の楽しみづくり	A	3-28
9	森に関する情報発信	B	3-32



取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる			
施策1 農に親しむ取組の推進			
事業①良好な農景観の保全			
10	水田の保全	B	3-35
11	特定農業用施設保全契約の締結	B	3-38
12	農景観を良好に維持する取組の支援	B	3-40
13	多様な主体による農地の利用促進	A	3-43
事業②農とふれあう場づくり			
14	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	B	3-46
15	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	A	3-51
施策2 地産地消の推進			
事業③身近に感じる地産地消の推進			
16	地産地消にふれる機会の拡大	B	3-56
事業④市民や企業と連携した地産地消の展開			
17	地産地消を広げる人材の育成	A	3-60
18	市民や企業等との連携	B	3-63



3 事業・取組の実績と評価・検証
 (2) 4か年の事業・取組の評価一覧

取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる			
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進			
事業①民有地での緑の創出			
19	民有地における緑化の助成	C	3-69
20	建築物緑化保全契約の締結	B	3-72
21	名木古木の保存	A	3-75
22	人生記念樹の配布	B	3-77
事業②公共施設・公有地での緑の創出			
23	公共施設・公有地での緑の創出・管理	A	3-79
24	公有地化によるシンボリックな緑の創出	B	3-82
25	いきいきとした街路樹づくり	B	3-84
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進			
事業③市民協働による緑のまちづくり事業			
26	地域緑のまちづくり	A	3-86
事業④子どもを育む空間での緑の創出事業			
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	B	3-90
事業⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業			
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	A	3-93
効果的な広報の展開			
事業①市民の理解を広げる広報の展開			
29	計画の周知や実績報告	B	3-96

<評価集計表>

総合評価	A	B	C
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	4	5	0
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場を作る	3	6	0
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる	4	5	1
効果的な広報の展開	0	1	0
合計	11	17	1



(3) 各事業・取組の実績と評価・検証

4か年の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。

ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- 市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。
- 市民の森において、市民が親しめるような散策路などの整備を行います。また、市が取得した樹林地での柵の設置などの初期整備を行います。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑地保全制度による新規指定		不測の事態による買取希望等への対応	
	平成 26 年度実績	101.7ha		18.2ha	
	平成 27 年度実績	102.5ha		24.1ha	
	平成 28 年度実績	62.4ha		24.7ha	
	平成 29 年度実績	61.8ha		21.5ha	
	4か年累積 [a]	328.4ha		88.5ha	
5か年目標・想定 [b]	目標	500ha		想定	108ha
4か年計画値 [c]	400ha		86.4ha		

目標・計画値に対する進捗率

		緑地保全制度による新規指定		不測の事態による買取希望等への対応	
5か年目標・想定に対する進捗率 [a/b×100]	66%	○		82%	◎
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	82%		100%		

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	5,878 百万円	677 百万円
	平成 27 年度決算額	6,390 百万円	1,151 百万円
	平成 28 年度決算額	6,250 百万円	913 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	5,750 百万円	948 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	24,270 百万円	3,689 百万円
5 か年計画額 [e]		32,494 百万円	3,556 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		75%	104%
		○	◎



4か年の評価・検証

- 土地所有者への働きかけを積極的に実施していますが、指定実績は、4か年計画値の約8割、328.4haとなっています。
- 近年では、比較的小規模な樹林地で指定の働きかけを進めている案件が多くなっており、大面積での指定案件は少なくなっています。この傾向は、今後も続いていくと考えられます。
- 指定地での買入の希望に対して、横浜みどり税を活用して確実に対応してきたことで、88.5ha（約22ha/年）の樹林地を市有地として保全していくことができました。
- みどりアップ計画の取組が、樹林地所有者の間で広く知られるようになり、以前は指定に至らなかった案件の中でも、再度の働きかけの際に指定できた案件も増えてきました。目標達成のためには、このような事業の周知やPR、再度の働きかけも重要と考えています。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 緑地保全制度による新規指定

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全 地区	149.7ha	鶴見	馬場五丁目地区 (0.4ha)、東寺尾六丁目地区 (0.9ha)、東寺尾六丁目南地区 (0.3ha)
		神奈川	片倉三丁目地区 (1.0ha)、三枚町牛道根地区 (0.2ha<指定拡大>)、三枚町矢崎地区 (0.2ha)、菅田町出戸谷地区 (0.2ha<指定拡大>)、菅田町堀上地区 (0.3ha<指定拡大>)、菅田町南出戸地区 (3.0ha)、羽沢町綿打地区 (0.4ha)、羽沢南三丁目地区 (0.4ha)、菅田町赤坂地区 (0.5ha)、羽沢町相原地区 (0.6ha)、羽沢南四丁目地区 (0.3ha)
		港南	野庭町地区 (3.7ha)、野庭・上永谷地区 (1.1ha)
		保土ヶ谷	今井町多子谷地区 (2.1ha)、今井町美立橋地区 (5.0ha)、上菅田町金草沢東地区 (1.0ha)、境木本町地区 (0.8ha)、仏向町地区 (1.9ha)、今井町大久保地区 (0.3ha)、仏向西地区 (0.4ha)
		旭	市沢町日向地区 (0.6ha)、上川井町堂谷地区 (3.5ha)、上白根町小池地区 (2.7ha)、川島町二ノ沢地区 (0.8ha)、市沢町地区 (2.4ha<指定拡大>)、上川井町露木谷地区 (10.3ha)、川井本町地区 (2.3ha)、都岡町地区 (1.6ha)、上白根町後谷地区 (2.5ha)、三保地区 (0.2ha<指定拡大>)、今川町地区 (1.0ha)、上川井町大竹谷地区 (1.0ha)、中沢二丁目地区 (1.0ha)
		磯子	氷取沢町地区 (2.2ha)
		金沢	朝比奈地区 (3.9ha<指定拡大>)、六浦東三丁目地区 (0.6ha)、関ヶ谷地区 (2.8ha)、大道二丁目地区 (2.3ha)、富岡東五丁目地区 (0.9ha)、富岡東三丁目地区 (1.6ha)
		港北	小机城址地区 (0.1ha<指定拡大>)、大曽根台地区 (0.7ha<指定拡大>)
		緑	北八朔町北地区 (1.2ha)、北八朔町中地区 (1.0ha)、北八朔町南地区 (2.5ha)、十日市場町笹山地区 (0.7ha)、長津田町深田地区 (1.5ha)、三保地区 (8.3ha<指定拡大>)、三保町東谷地区 (2.9ha)、三保町杉沢地区 (0.2ha)、三保町杉沢堰地区 (0.6ha)、寺山町本谷地区 (0.4ha)、長津田町馬ノ背地区 (0.8ha) 長津田町長月地区 (1.2ha)、天神の杜地区 (0.4ha <指定拡大>)
		青葉	恩田町地区 (4.4ha)、恩田町九郎治谷地区 (0.7ha)、恩田町番匠谷地区 (1.4ha)、恩田東部地区 (9.2ha<指定拡大>)、鉄町富士塚台地区 (0.8ha)、鉄町稲荷谷戸地区 (1.1ha)、奈良町宮ノ谷地区 (5.4ha)、元石川町平崎地区 (1.0ha)、元石川町平崎北地区 (1.2ha) 奈良町神戸地区 (0.4ha)、奈良町西ノ谷地区 (1.4ha)、恩田町日景山地区 (1.3ha)、鉄町下ノ谷戸地区 (1.2ha)、桜台地区 (0.8ha)
		都筑	大棚町地区 (0.5ha)、池辺町滝ヶ谷戸地区 (0.3ha<指定拡大>)
戸塚	下倉田町地区 (1.4ha)、名瀬・上矢部地区 (0.4ha)、東俣野町地区 (1.3ha)		

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

		栄	上郷・中野地区 (2.4ha<指定拡大>)、上郷町瀬上地区 (1.5ha)、上郷町石原地区 (10.9ha)、上郷町深田地区 (0.3ha)
		泉	和泉町関島地区 (1.5ha)、和泉町天王森地区 (0.6ha)、和泉町早稲田地区 (2.0ha)、岡津町金堀谷地区 (0.5ha)、新橋町地区 (2.2ha)
		瀬谷	阿久和南一丁目地区 (1.3ha)、本郷三丁目地区 (0.3ha)、宮沢三丁目地区 (0.3ha)
市民の森等	39.6ha	鶴見	獅子ヶ谷地区 (0.03ha<指定拡大>)
		保土ヶ谷	今井・境木地区 (0.6ha<指定拡大>)
		旭	今宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、追分地区 (0.2ha<指定拡大>)、南本宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、(仮称)上川井地区 (10.1ha)
		磯子	峯地区 (3.1ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (0.8ha<指定拡大>)
		金沢	朝比奈北地区 (0.7ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (9.7ha<指定拡大>)、釜利谷地区 (1.6ha<指定拡大>)、富岡東三丁目地区 (1.5ha<指定拡大>)
		緑	新治地区 (0.5ha<指定拡大>)、三保地区 (0.1ha<指定拡大>)、台村地区 (2.0ha)
		青葉	(仮称)恩田地区 (0.3ha<指定拡大>)
		都筑	池辺地区 (0.9ha<指定拡大>)
		戸塚	(仮称)名瀬・上矢部地区 (3.9ha<指定拡大>)、舞岡ふるさとの森 (0.03ha<指定拡大>)
		栄	上郷地区 (0.1ha<指定拡大>)、瀬上地区 (0.2ha<指定拡大>)
		泉	新橋地区 (1.0ha<指定拡大>)、古橋地区 (2.0ha)
		瀬谷	瀬谷地区 (0.1ha<指定拡大>)
緑地保存地区	32.6ha		107 地区
源流の森保存地区	98.4ha		174 地区
寄附緑地等	8.2ha		
【合計】	328.4ha		



【写真】恩田東部特別緑地保全地区 (青葉区)



【写真】名瀬・上矢部特別緑地保全地区 (戸塚区)

■ 買入れ申し出への対応

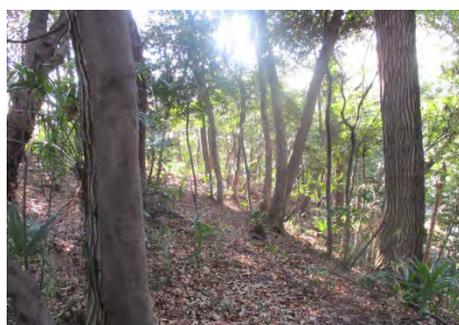
制度	区名	地区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 (予定地含む)	鶴見	駒岡・梶山地区、獅子ヶ谷・師岡地区、東寺尾六丁目地区、東寺尾六丁目南地区
	神奈川	三枚町地区、菅田町出戸谷地区、菅田町南出戸地区、神大寺二丁目地区、三枚町矢崎地区
	南	中里三丁目地区
	港南	芹が谷五丁目地区、野庭町地区
	保土ヶ谷	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区、上菅田町金草沢東地区、川島地区
	旭	市沢町地区、猪子山地区、上川井町大貫谷地区、上川井町堂谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川井本町地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、都岡町地区、鶴ヶ峰二丁目地区、南本宿地区、三保地区、追分地区
	磯子	円海山地区、峰地区、氷取沢地区
	金沢	朝比奈地区、大丸山地区、釜利谷地区、大道二丁目地区
	港北	大曽根台地区、小机城址地区、綱島地区、日吉地区
	緑	鴨居四丁目地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、寺山町本谷地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、西八朔町藤林地区、三保地区(再掲)、三保町杉沢地区、三保町東谷地区、鴨居原地区、長津田町馬ノ背地区
	青葉	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区、鉄町富士塚台地区、寺家地区、奈良町神戸地区、元石川町平崎地区、奈良町宮ノ谷地区
	都筑	池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区
	戸塚	下倉田町地区、汲沢四丁目地区、舞岡地区
	栄	飯島町地区、円海山地区、大丸山地区、鍛冶ヶ谷地区、上郷・中野地区、公田・荒井沢地区
泉	和泉町早稲田地区、岡津町金堀谷地区、鍋屋地区、古橋地区、新橋町地区	
瀬谷	本郷三丁目地区、宮沢三丁目地区	

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

市民の森等 	鶴見	獅子ヶ谷地区、東寺尾地区
	旭	追分地区、南本宿地区
	磯子	峯地区
	金沢	富岡東三丁目地区
	港北	篠原城址地区、綱島地区
	緑	新治地区
	戸塚	深谷地区、舞岡地区、上矢部地区
	栄	瀬上地区
	泉	新橋地区、中田地区
	瀬谷	瀬谷地区、東山地区
【合計】	95 地区 88.5ha	



【写真】日吉特別緑地保全地区
(港北区)



【写真】上川井町堂谷特別緑地保全地区
(旭区)

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

- 森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。
- 愛護会などと連携し、森ごとの具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定し、森づくりを推進します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	ガイドライン等を活用した 維持管理		保全管理計画の策定	
	(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)
平成 26 年度実績	109 か所	11 か所	3 か所	5 か所
平成 27 年度実績	121 か所	14 か所	3 か所	3 か所
平成 28 年度実績	131 か所	18 か所	2 か所	4 か所
平成 29 年度実績	128 か所	29 か所	4 か所	1 か所
4か年累積 [a]	489 か所	72 か所	12 か所	13 か所
5か年目標 [b]	推進	推進	15 か所	10 か所
4か年計画値 [c]	推進	推進	12 か所	8 か所

目標・計画値に対する進捗率

	ガイドライン等を活用した 維持管理		保全管理計画の策定			
	(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)		
5か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	—		80%	◎	130%	◎
4か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	—		100%		163%	

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	392 百万円	251 百万円
	平成 27 年度決算額	431 百万円	281 百万円
	平成 28 年度決算額	478 百万円	340 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	495 百万円	360 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	1,797 百万円	1,232 百万円
5 か年計画額 [e]		2,100 百万円	1,323 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		86%	◎	93%	◎



4か年の評価・検証

- 市民の森、まとまった樹林のある公園等において目標を上回る箇所で保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共通の認識を持ちながら、維持管理を進めることができました。
- 樹林地に手を入れることにより、森が明るくなったほか、作業の工夫によって里山にみられる希少な野草が増え、また鳥の生息が確認できるなど、生物多様性の保全につながる成果が表れています。
- 樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全に資するため、市民協働による保全管理計画の策定等を推進するとともに、作業の結果を調査・検証し、維持管理作業を見直しながら継続的に行っていくことが必要です。
- 市が取得した樹林地の総量は年々増加しており、これに対応した新たな管理手法の検討が必要です。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



【写真】維持管理を実施した樹林地
 (左：栄区/小菅ヶ谷北公園 右：港北区/綱島市民の森)

■ 保全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

	策定か所	区名
市民の森等	東寺尾ふれあいの樹林	鶴見
	境木ふれあいの樹林	保土ヶ谷
	善部町特別緑地保全地区	旭
	関ヶ谷市民の森	金沢
	朝比奈北市民の森	金沢
	綱島市民の森	港北
	もえぎ野ふれあいの樹林	青葉
	上郷市民の森	栄
	飯島市民の森	栄
	川和市民の森	都筑
	名瀬北特別緑地保全地区	戸塚
	まさかりが淵市民の森	戸塚
まとまった樹林地のある都市公園	久良岐公園	港南
	港南台中央公園	港南
	こども自然公園	旭
	北八朔公園	緑
	玄海田公園	緑
	大塚・歳勝土遺跡公園	都筑
	鴨池公園	都筑
	茅ヶ崎公園	都筑
	都筑中央公園	都筑
	小菅ヶ谷北公園	栄
	本郷ふじやま公園	栄
	瀬谷貉窪公園	瀬谷
	長屋門公園	瀬谷



【写真】保全管理計画の策定 検討会の様子
 (戸塚区/まさかりが淵市民の森)

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- 緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		維持管理の支援
	平成 26 年度実績	132 件
	平成 27 年度実績	103 件
	平成 28 年度実績	83 件
	平成 29 年度実績	87 件
	4か年累積 [a]	405 件
5か年目標 [b]		650 件
4か年計画値 [c]		520 件

目標・計画値に対する進捗率

		維持管理の支援	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	62%	○	
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	78%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	89 百万円	89 百万円
	平成 27 年度決算額	76 百万円	76 百万円
	平成 28 年度決算額	65 百万円	65 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	64 百万円	64 百万円
	4か年累積見込額 [d]	294 百万円	294 百万円
5か年計画額 [e]		600 百万円	600 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	49%	△		49%	△



4か年の評価・検証

- 緑地保存地区等において土地所有者への維持管理助成により、危険樹木除去等の管理を進め、樹林地の保全に寄与しました。
- 継続して取り組むことで、土地所有者による樹林地管理の負担感を軽減し、樹林地の継続保有への意欲につながっていると考えられます。
- 助成金を活用し、計画的な維持管理をしている土地所有者も増えてきています。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 指定された樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

<区別実績>

区名	件数	区名	件数
鶴見	11	金沢	36
神奈川	12	港北	36
西	3	緑	30
中	7	青葉	25
南	6	都筑	32
港南	23	戸塚	※52
保土ヶ谷	28	栄	※27
旭	25	泉	23
磯子	14	瀬谷	17
		合計	405

※戸塚区・栄区をまたがる実績が2件あり、合計が一致しません



【写真】
作業前（上）と作業後（下）（南区）



助成利用者の声

- ・ 自費だけでは多額の負担が出てしまう現場も自己負担を減らすことができました。
- ・ 道路や電線にかかり危険であった現場もきれいになり、長年の課題が解決しました。

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- 防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上
	平成 26 年度実績	施工中 1 箇所
	平成 27 年度実績	整備 3 箇所
	平成 28 年度実績	整備 5 箇所
	平成 29 年度実績	整備 4 箇所
	4か年累積 [a]	12 箇所
5か年目標 [b]		10 箇所
4か年計画値 [c]		8 箇所

目標・計画値に対する進捗率

		生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上
5か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	120%	◎
4か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	150%	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	68 百万円	68 百万円
	平成 27 年度決算額	114 百万円	68 百万円
	平成 28 年度決算額	125 百万円	125 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	158 百万円	158 百万円
	4か年累積見込額 [d]	465 百万円	420 百万円
5か年計画額 [e]		1,000 百万円	1,000 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	47%	△	42%	△



4か年の評価・検証

- 危険斜面の整備については、着実に進捗できました。
- 対象となる緑地の状況に合わせた工法およびその効果について、引き続き検証が必要です。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

危険な斜面地のある獅子ヶ谷市民の森（鶴見区・2か所）、白幡西緑地（神奈川区）、上山・白山特別緑地保全地区（緑区）、岡村一丁目緑地（磯子区）、宮田緑地（保土ヶ谷区）、川島特別緑地保全地区（保土ヶ谷区）、舞岡ふるさとの森（戸塚区・2か所）、舞岡特別緑地保全地区（戸塚区）、荒井沢市民の森（栄区）、上郷市民の森（栄区）において、生物多様性にも配慮した防災や安全性の対策工事を実施しました。



【写真】法面の整備
（保土ヶ谷区/川島特別緑地保全地区）



【写真】法面の整備
（栄区/上郷市民の森）

5 間伐材の有効利用

- チッパーの貸出しなどにより、間伐材の有効活用を推進します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		チッパーの貸出し
	平成 26 年度実績	20 回
	平成 27 年度実績	11 回
	平成 28 年度実績	8 回
	平成 29 年度実績	7 回
	4か年累積 [a]	46 回
5か年目標 [b]		推進
4か年計画値 [c]		推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	5 百万円	4 百万円
	平成 27 年度決算額	3 百万円	2 百万円
	平成 28 年度決算額	4 百万円	3 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	3 百万円	2 百万円
	4か年累積見込額 [d]	14 百万円	11 百万円
5か年計画額 [e]		45 百万円	40 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		31%	△	28%	△



4か年の評価・検証

- 森の手入れで発生した間伐材のチップ化作業支援により、チップを園路に敷くなど、間伐材を現地で活用することで、樹林地の維持管理に貢献しました。
- 森の手入れで発生した間伐材を使用して、新たにクラフトキットや樹名板の作成などの取組も開始し、イベント等で好評を得ました。こうした取組は森づくり活動を幅広い市民にアピールできる取組と考えられます。
- 今後は、市内で発生する材を活用して、横浜の森づくりやクラフトによる普及啓発を行う等、木材の地産地消を実践します

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 間伐材チップ化作業支援

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して園路に敷くなど有効活用を図るため、チップ化作業の支援を行いました。

実施か所	区	回数
川井特別緑地保全地区	旭	10
関ヶ谷市民の森	金沢	2
緑地保存地区（能見台東）	金沢	4
新治市民の森	緑	4
鴨居原市民の森	緑	3
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	7
茅ヶ崎公園	都筑	7
鯉ヶ久保ふれあいの樹林	泉	1
古橋特別緑地保全地区	泉	3
源流の森（和泉町）	泉	4
環境活動支援センター	保土ヶ谷	1
	【計】	46



【写真上】チップ化作業支援の様子/
【写真下】チップの敷均しの様子
(青葉区 もえぎ野ふれあいの樹林)



間伐材チップ化作業支援を利用した 森づくり活動団体の声

・自分たちで作業をすると危険で大変なので、民間事業者に作業をしてもらって助かりました。

■ 間伐材利活用方法の検討

市内で発生する間伐材を有効活用しながら、森への関心をより多くの方にもってもらうため、森の手入れで発生した間伐材を活用しクラフトキットや樹名板を作成しました。

作成数	平成 28 年度	平成 29 年度
マグネット	200	2,000
キーホルダー	100	2,000



【写真】市内産木材を使用した
樹名板とクラフト

6 森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。
また、森づくりに関する情報発信を行います。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森づくり活動団体向けの 研修の実施	森づくりボランティアへの 情報発信（ニュースレター発行）
	平成 26 年度実績	16 回	4 回
	平成 27 年度実績	14 回	4 回
	平成 28 年度実績	11 回	4 回
	平成 29 年度実績	12 回	3 回
	4か年累積 [a]	53 回	15 回
5か年目標 [b]		推進	推進
4か年計画値 [c]		推進	推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	9 百万円	9 百万円
	平成 27 年度決算額	6 百万円	6 百万円
	平成 28 年度決算額	6 百万円	6 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	5 百万円	5 百万円
	4か年累積見込額 [d]	26 百万円	26 百万円
5か年計画額 [e]		41 百万円	41 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		63%	63%
		○	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



4か年の評価・検証

- 森での管理に必要な知識や作業に関する研修を開催し、森づくりボランティアなどの育成を推進しました。
- 安全に配慮した作業に関する研修を実施し、森づくり活動団体の安全に関する意識の向上を図りました。
- 森づくり活動の場が年々増加することに加え、既存の団体でも高齢化などにより担い手が不足しているため、引き続き新たな人材の育成を進めるとともに、森づくり活動団体との橋渡しを継続的に行っていく必要があります。
- 今後は情報発信において、SNS の活用など、行政と市民ボランティアの双方向のコミュニケーションがとれるような内容の検討が必要です

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「森づくりリーダー養成講座」	4回	○	
「これも覚えよう！30種」(スキルアップ講座)	20回	○	○
「調査・モニタリング研修」(スキルアップ講座)	1回	○	
「作業実習」(スキルアップ講座)	4回	○	
「救急救命講習会」(スキルアップ講座)	2回	○	
「森づくりボランティア基本研修」(必須研修)	2回	○	
「森づくり活動団体基本研修」(必須研修)	6回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	12回		○
「ロープワーク実習」	2回	○	○
【計】	53回		



研修参加者の声

- ・樹皮だけで樹木を同定できない場合でも、冬芽を参考にすることで樹木判定に活かそう。(これも覚えよう！30種)
- ・横浜の森を守るためにいかにボランティアの力が大切かわかった。次世代に森を残すために自分も何かしたい。(入門講座)
- ・ハサミ・ノコギリの使い方、手入れの仕方は大変役に立った。非常に充実した研修会であった。(作業研修)
- ・ロープワーク大変参考になった。伐倒の際は妥協しないということがよくわかった。(作業研修)
- ・倒木の際のKY(危険予知)は非常に勉強になった。また、事故事例が多く示され、参考になった。(必須研修)



【写真】
 「森づくり活動団体基本研修」の様子
 (緑区/新治市民の森)

■ 森づくりボランティアの橋渡し

森づくり活動団体の行事のご案内を森づくりボランティア登録者へ年間で3回送付しました。

■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニュースレター』を年間で3回発行しました。

＜支援対象＞(平成29年度末時点)

森づくり活動団体	87団体
森づくりボランティア	127人

7 森づくり活動団体への支援

- 市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森づくり活動団体への支援	
		(樹林地)	(公園)
	平成 26 年度実績	延べ 22 団体	延べ 9 団体
	平成 27 年度実績	延べ 23 団体	延べ 9 団体
	平成 28 年度実績	延べ 34 団体	延べ 10 団体
	平成 29 年度実績	延べ 29 団体	延べ 8 団体
	4か年累積 [a]	延べ 108 団体	延べ 36 団体
5か年目標 [b]		延べ 50 団体	延べ 50 団体
4か年計画値 [c]		延べ 40 団体	延べ 40 団体

目標・計画値に対する進捗率

	森づくり活動団体への支援			
	(樹林地)		(公園)	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	216%	◎	72%	○
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	270%		90%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	3 百万円	3 百万円
	平成 27 年度決算額	6 百万円	6 百万円
	平成 28 年度決算額	7 百万円	7 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	5 百万円	5 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	21 百万円	21 百万円
5 か年計画額 [e]		28 百万円	28 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		75%	75%
		○	○



4か年の評価・検証

- 森づくり活動を行っている団体に対する道具の貸出しや助成等の支援を通じて、樹林地の効率的・効果的な維持管理を推進しました。
- 森づくりに関する技術研修の実施を支援をしたことにより、森づくり活動を担う会員の人材育成につながりました。
- 専門家の派遣により、生物多様性や安全性に配慮した保全管理作業のアドバイスを、活動団体のニーズに応える形で行うことができました。
- 今後は、森づくり活動の安全性向上のため、活動団体の安全管理の状況を把握し、より積極的な専門家派遣を行っていくことも必要です。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 道具の貸出し

カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具や、救急セットなど安全対策用の道具、腕章や帽子など活動をPRするための道具の貸出しを行いました。

■ 活動に対する助成

森づくり活動の内容や成果、団体の活動記録をまとめ、広く地域の方に配布するための広報誌作成や、森づくり活動を担う会員の森づくりに関する技術研修（動植物の生態情報調査・収集方法の研修）の実施に対して助成を行いました。

■ 専門家の派遣

団体が抱える課題の解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。

	団体	派遣内容
市民の森等	荒井沢市民の森愛護会	・森づくりボランティアによる谷戸の作業体験・活動支援による橋渡し
	飯島市民の森愛護会	・クヌギ林の枝打ちとそだ柵作り
	今宿市民の森愛護会	・ホタルの生息を目標にした湿地の環境整備 ・樹林地管理作業による環境変化の確認 ・樹林地や湿地の環境変化の確認（観察会）と今後の作業及び役割分担（愛護会と横浜市）の確認
	鍛冶ヶ谷市民の森愛護会	・危険斜面地における樹木管理の手法と意義 ・竹林の間伐材を活用した竹柵作り
	綱島市民の森愛護会	・植生調査及び健全な樹林とするための更新計画
	東寺尾ふれあいの樹林愛護会	・森の現状確認と森の魅力を引き出すための課題整理
	市民の森等愛護会、森づくり活動団体	・活動団体による検討会議の開催（橋渡しの課題や今後の方向性について共有）
	ガールスカウト横浜地区スカウトの森	・団体と森づくりボランティアの橋渡し（ロープを使用した伐採や落ち葉かき等を協働で実施） ・森の観察会及びKY活動や草刈実習を通じた安全管理の研修 ・生物多様性の環境整備、管理に伴う発生材の利用
	メゾンふじのき台保存緑地作業部会	・樹林地管理の中長期計画づくり
	境木ふれあいの樹林運営委員会	・ふれあい活動における樹木の観察学習プログラムの作成
	和泉の森を育む会	・森の現状確認と計画づくりのための魅力や課題整理
	殿山の森を守り隊 リコー環境ボランティア	・森の魅力や課題の整理、今後の森づくり作業のや計画づくり
	公園	陣ヶ下公園愛護会
茅ヶ崎公園愛護会		・生物多様性を向上させる林床育成方法
本郷ふじやま公園運営委員会 公園愛護会		・梅林の樹木せん定の方法 ・梅林の樹木せん定成果の確認および施肥の方法 ・植物別の管理の基礎知識



専門家派遣を受けた森づくり活動団体の声

- 役割分担を整理することができたので、よりよい環境づくりのために愛護会でできる作業を行いたい。
- 樹林地管理の方向性について、単なる外部専門家のアドバイスを超える提案をいただくことができた。



【写真】アドバイザー派遣による支援の様子
(磯子区/氷取沢市民の森)

8 森の楽しみづくり

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関わるきっかけとなる親子で参加できるイベントや広報活動を展開します。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座等を開催します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森に関わるイベント等の実施
	平成 26 年度実績	107 回
	平成 27 年度実績	132 回
	平成 28 年度実績	106 回
	平成 29 年度実績	124 回
	4か年累積 [a]	469 回
5か年目標 [b]		180 回
4か年計画値 [c]		144 回

目標・計画値に対する進捗率

		森に関わるイベント等の実施	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	261%	◎	
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	326%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	14 百万円	14 百万円
	平成 27 年度決算額	17 百万円	17 百万円
	平成 28 年度決算額	16 百万円	16 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	17 百万円	17 百万円
	4か年累積見込額 [d]	64 百万円	64 百万円
5か年計画額 [e]		100 百万円	100 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	64%	○	64% ○



4か年の評価・検証

- 5か年目標を上回る実績を上げることができました。引き続き、横浜の森について、多くの市民に理解してもらうため、取組を広げていきます。
- 大学や商工会議所等、多様な団体と協力して事業を進めたことで、市民が森に関わるきっかけをより大きな範囲に広げることにも貢献するとともに、実施者側にも横浜の森について知っていただくことができました。
- 森に関わるきっかけとなるイベント等が市民の側からも開催されるよう、インタープリターの養成講座やフォローアップ研修を実施しました。その結果、修了生によるイベントが市内各地で行われました。
- 今後は、市内で活動しているインタープリターを始めとした、地域で既に活動されている方々とも連携した取組を進めます。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

イベント	回数	参加人数
間伐材を活用したクラフト教室の開催	311回	29,900人
親子で参加できる森に親しむイベントの開催	91回	23,747人
樹林地を利用したウォーキングイベントの開催	36回	1,146人
図書館と連携したイベントの開催	18回	333人
森に関わるきっかけづくりパネル展示の実施	16回	—人
インタープリター養成講座	全16回	41人が修了
インタープリター養成講座フォローアップ研修	全12回	21人が受講

■ 間伐材を活用したクラフト教室の開催

間伐材に触れ、楽しみながら森づくりについて学ぶクラフト教室を市内各所で開催しました。



参加者の声

- ・楽しかった。自転車の鍵に付けました。
- ・子どもが身近に間伐材を使えるのは、良いなと思いました。

【写真】

・間伐材を利用した昆虫キーホルダー

■ 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」など市民を対象としたイベントを開催しました。



参加者の声

- ・楽しかったので、帰っても森遊びを楽しみたい。
- ・小さな子供でも遊びながら森の大切さ、森にいる生き物など教わることができてよかった。

【写真】「よこはま森の楽校～みんなで探そう創英の森～」の様子（緑区/横浜創英大学）

■ 樹林地を利用したウォーキングイベントの開催



参加者の声

- ・景色が良く気持ちよく歩いて体が軽くなった。
- ・自然観察ができ、植物の名前を教えてもらい、勉強になった。

【写真】「みどりアップ健康ウォーキング」の様子
(南区/こども植物園)

■ 図書館と連携したイベントの開催

子どもたちがネイチャーゲームを通して自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるイベントを市内5館の図書館と連携して開催しました。



【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
(瀬谷区/本郷三丁目公園)

イベント開催区
神奈川区
中区
保土ケ谷区
都筑区
瀬谷区

■ 森に関わるきっかけづくりパネル展示の開催

市内図書館等で、二十四節気パネルの展示会を行いました。二十四節気毎に里山での行事等を紹介し、横浜のみどりの魅力を発信しました。

【写真】「二十四節気パネル展示会」の様子
(金沢区/金沢図書館)



■ インタープリター養成講座フォローアップ研修の開催

自然と人との「仲介」し、その魅力を伝えるインタープリターの養成を目的とし、身近なフィールドで森を楽しむプログラムを自ら企画、運営できるようになることを目標に、講座を実施しました。

【写真】「インタープリター養成講座フォローアップ研修」の様子
(保土ケ谷区/環境活動支援センター)



9 森に関する情報発信

- 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ウェルカムセンター5館を運営し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	ガイドマップ作成	ウェルカムセンターの運営
平成 26 年度実績	3 地域	推進
平成 27 年度実績	2 地域	推進
平成 28 年度実績	2 地域	推進
平成 29 年度実績	1 地域	推進
4か年累積 [a]	8 地域	推進
5か年目標 [b]	推進	推進
4か年計画値 [c]	推進	推進

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	40 百万円	3 百万円
平成 27 年度決算額	42 百万円	3 百万円
平成 28 年度決算額	41 百万円	2 百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	42 百万円	4 百万円
4か年累積見込額 [d]	165 百万円	12 百万円
5か年計画額 [e]	230 百万円	30 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	72%	○	40%	△



4か年の評価・検証

- 新規に指定された市民の森を中心にガイドマップを作成したほか、ウェルカムセンターにおいて森の情報提供や講座の開催を行いました。ウェルカムセンターを紹介するガイドブックを作成するなど広報にも努め、市民が森を訪れ、学ぶ機会を増やすとともに、森の魅力や保全の意義について広く啓発することができました。
- 健康福祉局が30年4月に配信を予定している、よこはまウォーキングポイント歩数計アプリへのガイドマップ情報の掲載に向けた検討を行いました。

4か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

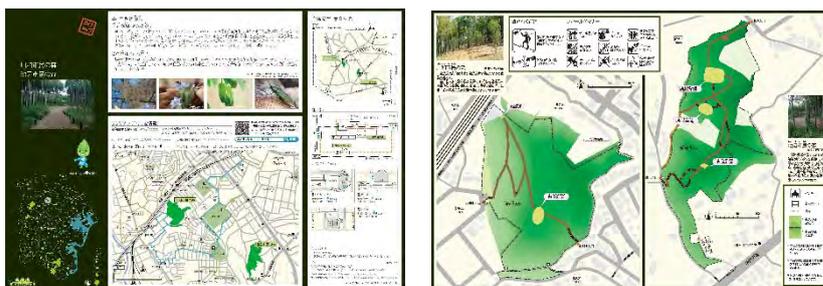


4か年の実績詳細

■ ガイドマップの作成

ウォーキング等の散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林を1枚にまとめたガイドマップを作成しました。

パンフレット作成地域	区
鍛冶ヶ谷市民の森	栄
南本宿市民の森・市沢ふれあいの樹林・境木ふれあいの樹林	旭、保土ヶ谷
今宿市民の森・鶴ヶ峰ふれあいの樹林	旭
川和市民の森	都筑
泉の森ふれあい樹林・中田宮の台市民の森、新橋市民の森	泉
柏町市民の森	旭
朝比奈北市民の森・峯市民の森	金沢、磯子
池辺市民の森	都筑



【写真】池辺市民の森
(都筑区)

■ ウェルカムセンターの運営

市内5か所にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行いました。



【写真】森の情報提供
(緑区/新治里山公園にいほる里山交流センター)



【写真】企業のCSR活動の支援
(栄区/横浜自然観察の森自然観察センター)

イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

10 水田の保全

- 横浜に残る貴重な水田景観を保全するため、水稻作付を 10 年間継続することを条件に、土地所有者に奨励金を交付します。
- 水田景観を保全するうえで必要な水源を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸の設置を支援します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	水田保全承認面積	水源確保施設整備
平成 26 年度実績	119.7ha	1 か所
平成 27 年度実績	120.1ha	1 か所
平成 28 年度実績	120.8ha	2 か所
平成 29 年度実績	119.8ha	3 か所
4か年累積 [a]	119.8ha	7 か所
5か年目標 [b]	125ha	10 か所
4か年計画値 [c]	123ha	8 か所

目標・計画値に対する進捗率

	水田保全承認面積		水源確保施設整備	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	96%	◎	70%	○
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	97%		88%	

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	49 百万円	35 百万円
	平成 27 年度決算額	36 百万円	34 百万円
	平成 28 年度決算額	58 百万円	34 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	67 百万円	33 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	210 百万円	135 百万円
5 か年計画額 [e]		343 百万円	183 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	61%	○	74%	○



4か年の評価・検証

- 4か年で新規に承認された水田保全面積は、8.5ha となりました。公共事業や耕作者の高齢化等により、4か年で 7.5ha の水田保全が中止されましたが、水田保全承認面積は、水田面積全体の約 9 割となり、事業がおおむね順調に進みました。
- 水田は畑作に比べて収益性が低いことに加え、耕作者の高齢化により水稲作付が困難になっている状況の中で、水田保全承認や水源確保のための井戸設置に対する支援は、水田の継続に対して一定の効果があったと考えられます。

4か年の総合評価	B
----------	---



4か年の実績詳細

■ 水田保全承認面積の区別内訳

区名	面積 (うち新規)	区名	面積 (うち新規)	区名	面積 (うち新規)
神奈川	0.1ha	港北	1.1ha	戸塚	9.7ha (0.5ha)
港南	0.7ha (0.1ha)	緑	36.0ha (3.4ha)	栄	2.4ha
保土ケ谷	0.2ha	青葉	37.8ha (2.5ha)	泉	20.9ha (1.2ha)
旭	0.9ha	都筑	5.9ha (0.4ha)	瀬谷	3.9ha (0.4ha)
				計	119.8ha (8.5ha)

※四捨五入の関係により面積の合計は119.8haと一致しません。



【写真】夏の水田(港北区)



【写真】秋の水田(泉区)

■ 水田保全の維持に必要な井戸の掘削とポンプの更新を支援しました。

水稲作付の継続に必要な水を確保するための井戸の掘削とポンプ更新を支援しました。

- ・井戸施設設置：1 か所 (緑区)
- ・井戸掘削：1 か所 (緑区)
- ・ポンプ更新：5 か所 (青葉区、緑区)



【写真】地下貯水槽の設置 (緑区)



【写真】老朽化したポンプ (左) と更新したポンプ (右) (緑区)

11 特定農業用施設保全契約の締結

- 市と契約を結び、市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		特定農業用施設保全契約の締結
	平成26年度実績	12件 (1,348㎡)
	平成27年度実績	14件 (2,065㎡)
	平成28年度実績	14件 (1,640㎡)
	平成29年度実績	8件 (1,011㎡)
	4か年累積 [a]	48件 (6,064㎡)
	5か年目標 [b]	制度運用
	4か年計画値 [c]	制度運用

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成26年度決算額	1百万円	0百万円
	平成27年度決算額	1百万円	0百万円
	平成27年度決算額	1百万円	0百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	1百万円	0百万円
	4か年累積見込額 [d]	3百万円	0百万円
	5か年計画額 [e]	5百万円	—百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
	5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	60%	◎
		—%	—



4か年の評価・検証

- 毎年度平均12件程度の契約を結んでおり、概ね計画通りの進捗となりました。
- 農家の負担が軽減されることで、農業用施設の維持や改善が図りやすくなり、その農家が耕作する農地を保全することにつながりました。

4か年の総合評価 **B**

4か年の実績詳細

■ 農業用施設の指定基準

- (1) 全て農業用に使用されている施設。
- (2) 施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合は、以下の要件を満たす施設。
 - ・ 農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
 - ・ 農業専用部分の床面積の合計が延床面積の2分の1以上であること
 - ・ 二階建て以上の場合、一階はすべて農業専用であること



【写真】指定された農業用施設（青葉区）



【写真】指定された農業用施設（栄区）

■ 区別指定一覧

区名	件数	指定面積
鶴見	1件	189㎡
神奈川	4件	427㎡
港南	1件	111㎡
保土ヶ谷	3件	291㎡
旭	3件	380㎡
港北	1件	39㎡
緑	2件	161㎡

区名	件数	指定面積
青葉	6件	1,020㎡
都筑	1件	23㎡
戸塚	17件	2,425㎡
栄	3件	281㎡
泉	3件	286㎡
瀬谷	3件	431㎡
合計	48件	6,064㎡

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。

12 農景観を良好に維持する取組の支援

- 生物多様性の保全に配慮し、周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、地域の農家が組織する団体の維持・管理の取組を支援します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	良好に維持されている農地の面積	田園景観保全 水路整備	共同利用設備の整備
平成 26 年度実績	704.3ha	1 地区	2 件
平成 27 年度実績	718.0ha	2 地区	1 件
平成 28 年度実績	723.0ha	3 地区	2 件
平成 29 年度実績	675.0ha	0 地区	9 件
4か年累積 [a]	675.0ha	6 地区	14 件
5か年目標 [b]	680ha	5 地区	25 件
4か年計画値 [c]	723ha	4地区	20 件

目標・計画値に対する進捗率

	良好に維持されている農地の面積		田園景観保全 水路整備		共同利用設備の整備	
5か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	99%	◎	120%	◎	56%	○
4か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	93%		150%		70%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	75 百万円	17 百万円
平成 27 年度決算額	96 百万円	17 百万円
平成 28 年度決算額	96 百万円	15 百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	107 百万円	21 百万円
4か年累積見込額 [d]	373 百万円	70 百万円
5か年計画額 [e]	562 百万円	200 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	66%	35%
	○	△



4か年の評価・検証

- 農地の保全活動に対して支援を行うことで、地域での水路清掃や景観植物の植栽などの維持管理活動が活発になり、まとまりのある農地の環境・農景観が良好に維持されました。
- 生物多様性等の環境に配慮した水路整備（田園景観保全水路整備）に対する支援は、水田の水路機能を健全に保つことで、水田の減少を抑制し、農景観の保全に効果があったと考えます。
- 地域団体が利用するたい肥化設備などの共同利用設備の整備の支援については、設備導入の条件を見直したことにより活用が増え、せん定枝等のたい肥化が進みました。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 農地とその周辺の農景観保全のための活動を支援しました

まとまりのある農地の維持管理活動を行っている、各地区の農家団体の支援として、農地周辺部の道路・水路の清掃・草刈りや、景観植物の植栽・管理といった取組に対して支援を行いました。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	農地維持管理団体への支援	52 団体	55 団体	57 団体	54 団体
②	道路・草刈りを行う団体への支援	46 団体	46 団体	51 団体	
③	景観植物の植栽・管理を行う団体への支援	5 団体	5 団体	5 団体	12 団体



【写真】地域団体により保全されている農景観（泉区）

■ 水路機能の維持のための水路改修及び環境に配慮した水路整備を支援しました

老朽化し、機能が低下している水路の改修と併せて、環境に配慮した水路整備について支援を行いました。



【写真】水路整備により保全をはかった水田（左：緑区、右：戸塚区）

■ 共同利用設備の整備

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等を堆肥化してリサイクルに取り組む団体に、必要な機械や設備の購入を支援しました。

区	件数	区	件数
鶴見区	1 件	緑区	1 件
神奈川区	1 件	青葉区	2 件
保土ケ谷区	2 件	栄区	1 件
旭区	1 件	泉区	2 件
港北区	2 件	瀬谷区	1 件



【写真】せん定枝チッパー（SSS 組合/青葉区）

13 多様な主体による農地の利用促進

- 意欲ある農家や新規参入を希望する企業等が農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける場合、農地所有者に対し支援します。
- 遊休化した農地を市が一時的に借り受けて復元し、農地の利用を希望する担い手に貸し付けます。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		累計貸付農地（長期貸付開始農地）
	平成 26 年度実績	66.4ha (4.1ha)
	平成 27 年度実績	77.0ha (10.6ha)
	平成 28 年度実績	93.6ha (16.6ha)
	平成 29 年度実績	109.9ha (16.3ha)
	4か年累積 [a]	109.9ha
5か年目標 [b]		80ha
4か年計画値 [c]		81ha

目標・計画値に対する進捗率

		長期貸付開始農地	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	137%	◎	
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	136%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	23 百万円	23 百万円
	平成 27 年度決算額	31 百万円	31 百万円
	平成 28 年度決算額	31 百万円	30 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	28 百万円	28 百万円
	4か年累積見込額 [d]	113 百万円	112 百万円
5か年計画額 [e]		177 百万円	177 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率（見込） [d/e×100]	64%	○	63% ○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



4か年の評価・検証

- 平成22年度から運用してきた農地の貸し借りを促進する制度が浸透し、目標を上回る進捗となりました。
- 3年間に一般的だった農地の貸借期間が、本事業実施により6年以上の長期の貸借が定着し、意欲のある担い手により農地が安定的に耕作されることで、営農環境が向上するとともに、良好な農景観が保全されました。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 長期間の農地貸付の支援を行いました

農地の遊休化を防ぐためには、安定的な農業経営が必要です。農地を長期間借りられるようになると今後の農業経営の見通しが立てやすくなり、農業経営の安定化に役立つため、市は6年以上の長期貸付を支援しています。

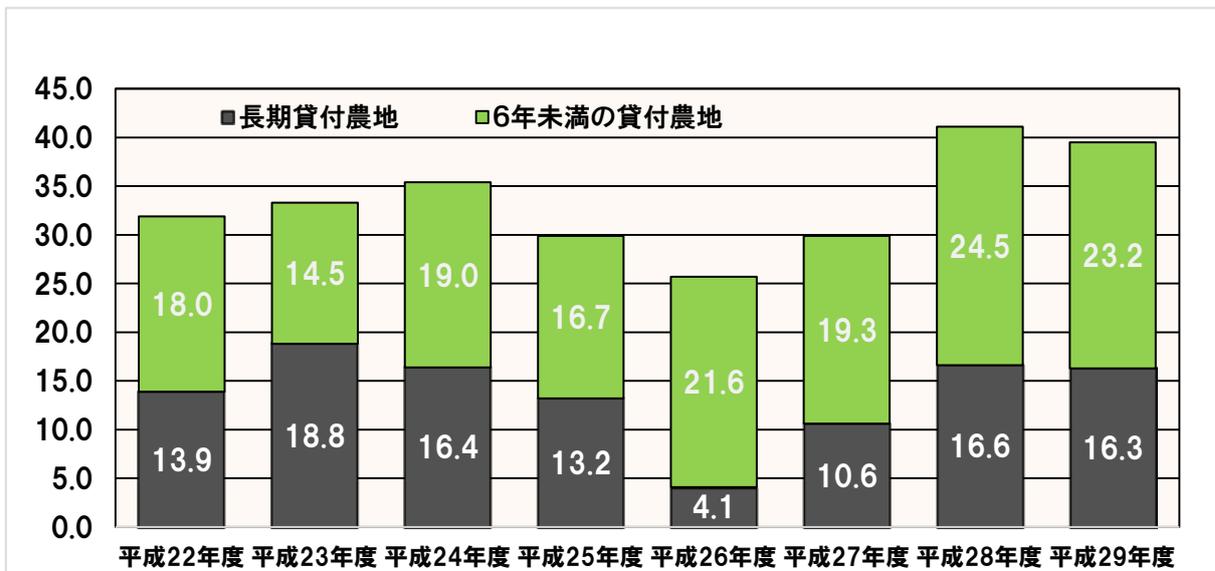
農家が長期間安定して耕作を行うことで、良好な農景観が維持されます。



【写真】長期貸付した農地（青葉区）



【写真】長期貸付した農地（戸塚区）



【図】長期貸付農地面積の推移



利用者の声

・意欲のある農業者の方に長期で借りていただくことができ助かります。

14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		様々な市民ニーズに合わせた農園の開設			
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
	平成 26 年度実績	5.7ha	1.5ha	2.8ha	1.4ha
	平成 27 年度実績	4.6ha	1.0ha	2.2ha	1.4ha
	平成 28 年度実績	5.6ha	2.5ha	2.1ha	1.0ha
	平成 29 年度実績	3.4ha	1.7ha	1.4ha	0.3ha
	4か年累積 [a]	19.2ha	6.6ha	8.5ha	4.1ha
5か年目標 [b]		25.8ha	12.5ha	6.0ha	7.3ha
4か年計画値 [c]		(20.6ha)	—	—	—
目標・計画値に対する進捗率					
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		74% ○	53% ○	142% ◎	56% ○
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		93%	—	—	—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	739 百万円	354 百万円
	平成 27 年度決算額	602 百万円	65 百万円
	平成 28 年度決算額	695 百万円	227 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	281 百万円	41 百万円
	4か年累積見込額 [d]	2,348 百万円	688 百万円
5か年計画額 [e]		2,514 百万円	1,101 百万円
計画額に対する進捗率			
		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		93% ◎	62% ○



4か年の評価・検証

- 開設支援や整備を行った農園を合計すると、4か年で19.2haとなり、果物のもぎとりや野菜の栽培など、市民が農を楽しむ場が多く作られました。
- 農業経営の取組のひとつとして農園の開設に関心を持つ農家も多く、継続して取り組むことで、市民だけでなく農家のニーズにもこたえることが可能です。
- 農園付公園は、4か年で整備が完了した7か所のほか、複数箇所で事業が進んでいます。

4か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



4か年の実績詳細

■ 収穫体験農園の開設支援

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました。

農園開設整備の支援		
神奈川区	1 か所	0.1ha
保土ヶ谷区	1 か所	0.03ha
旭区	3 か所	0.3ha
港北区	3 か所	0.3ha
緑区	5 か所	0.9ha
青葉区	5 か所	0.5ha
都筑区	5 か所	0.3ha
戸塚区	6 か所	0.6ha
泉区	8 か所	0.9ha
瀬谷区	4 か所	0.9ha

果樹苗木育成の支援	
13 件	2.59ha

イモ掘取り等の支援	
4 件	0.72ha

農園の内訳	
ナシ	14 か所
ブドウ	12 か所
カキ	3 か所
ミカン	3 か所
イチゴ	3 か所
キウイ	3 か所
ブルーベリー	5 か所
トマト	1 か所
イチゴ、トマト	1 か所

※四捨五入および重複か所があるため、内訳と合計は一致しません。

※市内の収穫体験農園：40 か所
(平成 30 年 3 月末時点)



農園開設者の声

・お客様の笑顔を楽しみに、品種等の勉強もしながら、日々、栽培に勤めています。



【写真】 開設を支援した収穫体験農園
(イチゴ/保土ヶ谷区)

■ 市民農園の開設支援

土地所有者が農園を開設するための支援を行い、4か年で8.5haの農園が開設されました。

- ・特区農園…区画貸しタイプの市民農園
- ・環境学習農園…児童・生徒などを対象に農家が指導を行う農園

区	特区農園	環境学習農園	計
鶴見	0.15ha	—	0.15ha
神奈川	0.49ha	—	0.49ha
港南	0.14ha	0.01ha	0.15ha
保土ヶ谷	0.34ha	—	0.34ha
旭	0.75ha	—	0.75ha
磯子	0.06ha	—	0.06ha
港北	0.65ha	—	0.65ha
緑	0.52ha	—	0.52ha
青葉	1.65ha	—	1.65ha
都筑	0.74ha	—	0.74ha
戸塚	1.49ha	0.14ha	1.63ha
栄	0.07ha	—	0.07ha
泉	1.32ha	0.07ha	1.39ha

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません



【写真】特区農園（鶴見区）



【写真】特区農園（青葉区）



農園利用者の声

- ・農家が野菜、米作りにかかる思いがよく伝わりました。
(環境学習農園を利用している小学校の生徒)
- ・家族で利用しており、とてもよい気分転換になっています。
(特区農園利用者)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 農園付公園の整備

平成 29 年 7 月に 1 か所 (0.3ha) が開園し、4 か年で 8 か所 (4.1ha) の農園付公園の整備を完了しました。

区	公園名	面積
鶴見	東寺尾一丁目ふれあい公園	0.3ha
神奈川	菅田町赤坂公園	0.4ha
保土ケ谷	今井の丘公園 (拡張)	0.6ha
港北	師岡町梅の丘公園	1.0ha
都筑	大榎杉の森ふれあい公園	1.0ha
戸塚	ハマヤク農園	0.4ha
泉	泉が丘公園 (拡張)	0.1ha
泉	岡津町ふれあい公園	0.3ha

●市内の農園付公園
4.5ha/9 か所 (平成 30 年 3 月末時点)
※平成 25 年度開園の南本宿第三公園
(0.4ha) を含む



【写真】岡津町ふれあい公園 (泉区)



農園付公園の利用者の声

- 野菜作りの経験はありませんでしたが、まわりの方からいろいろ助言をいただきながら野菜を育てています。
- 野菜の世話をするために毎日公園に行くので、地域の人たちが自然と集まる場所になっています。

15 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

- 市民と農家を結ぶ交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農と触れ合う機会を提供します。
- 農家と地域住民の協働により、連携して地域の農的環境の保全を図る取組を支援します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		農体験教室 などの実施	あぐりツアー の開催	農ある地域 づくり協定 実施件数	農体験講座
	平成 26 年度実績	94 回	3 件	- 件	5 回
	平成 27 年度実績	89 回	3 件	2 件	5 回
	平成 28 年度実績	87 回	4 件	1 件	5 回
	平成 29 年度実績	86 回	5 件	0 件	5 回
	4か年累積 [a]	356 回	15 件	3 件	20 回
5 か年目標 [b]		500 回	20 回	4 件	25 回
4 か年計画値 [c]		400 回	16 回	4 件	20 回
目標・計画値に対する進捗率					
		農体験教室 などの実施	あぐりツアー の開催	農ある地域 づくり協定 実施件数	農体験講座
5 か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]		71% ○	75% ○	75% ○	80% ◎
4 か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]		89%	94%	75%	100%

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	11 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	11 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	9 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	10 百万円	0 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	41 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [e]		62 百万円	0 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		66%	○
		—	—



4か年の評価・検証

- 事業全体として4か年目標に対して約9割の進捗となっており、概ね順調な進捗でした。
- 横浜ふるさと村、恵みの里での体験水田やみそ作り教室、サツマイモ等の収穫体験の取組が継続的に実施され、市民が農と触れ合う機会が増えました。
- 農のある地域づくり協定事業は、4か年目標である4件のうち、3件の進捗となりました。
- 農体験講座では、小学生とその家族と一緒に農作業を行い、農とふれあう機会を提供しました。農作業の体験だけでなく、収穫物の食べ方を紹介する等、引き続き楽しみながら農業を学ぶ講座の取組を進めます。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 農体験教室などの実施に対して支援しました

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施した農体験教室等に対して支援しました。

＜横浜ふるさと村、恵みの里の開催実績＞

場所	回数	詳細
舞岡ふるさと村	73回	トウモロコシ・ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
田奈恵みの里	87回	体験水田、農産加工教室、サツマイモ掘り等
新治恵みの里	94回	米・大麦・小麦作り教室、ジャガイモ収穫体験等
都岡地区恵みの里	69回	もち米、小麦・うどん作り教室、トウモロコシ収穫体験等
柴シーサイド恵みの里	33回	ミカン狩り、ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
合計	356回	



【写真】体験水田
 (田奈恵みの里の農業教室
 /青葉区田奈町)



【写真】梅もぎ
 (舞岡ふるさと村の収穫体験
 /戸塚区舞岡町)



【写真】ハクサイの収穫体験
 (都岡地区恵みの里の収穫体験
 /旭区下川井町)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 農ある横浜・あぐりツアーを開催しました

市民に向けて農業専用地区などの市内の農畜産物の生産現場や直売所の見学を行うことで、市内の農業を身近に感じるだけでなく、農業に対する理解も深めていただきました。

<あぐりツアー開催実績>

場所	時期	詳細
神奈川区	平成 26 年 8 月	農業専用地区の見学、浜なし・浜ぶどうの収穫体験
泉区	平成 26 年 9 月	直売所の見学とサツマイモ掘り
神奈川区、都筑区	平成 27 年 2 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
青葉区	平成 27 年 9 月	寺家ふるさと村の見学、浜なしの話・収穫体験
保土ケ谷区	平成 27 年 11 月	苺部大根の話と収穫体験、直売所見学
都筑区	平成 28 年 3 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
保土ケ谷区	平成 28 年 8 月	横浜の農業の話、環境活動支援センター見学、ナシ・ブドウの収穫体験
青葉区、緑区	平成 28 年 10 月	サツマイモ掘り、田奈恵みの里の話、四季菜館見学
保土ケ谷区	平成 28 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苺部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 28 年 12 月	柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド直売所見学
旭区	平成 29 年 7 月	トマトの収穫体験、直売所見学、トウモロコシの収穫体験、生産緑地と農用地の見学
戸塚区	平成 29 年 10 月	舞岡ふるさと村の見学、直売所見学、サツマイモ掘り
保土ケ谷区	平成 29 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苺部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 29 年 12 月	柴漁港の見学、地魚の昼食、柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド恵みの里直売所見学
神奈川区、戸塚区	平成 30 年 3 月	菅田羽沢農業専用地区の見学、イチゴの収穫体験、牧場見学、市内産イチゴと牛乳をジェラート実食



参加者の声

- ・新鮮な野菜を自分で収穫できて楽しかった。
- ・横浜にこんなに自然豊かな農地があり驚いた。
- ・農家のご苦労がわかった。地元の農産物を購入したい。



【写真】トウモロコシの収穫体験と農家による説明（旭区）



【写真】舞岡ふるさと村で農産物直売所見学（戸塚区）

■ 市民と農家の協働による「農のある地域づくり協定」を締結しました

農家と地域住民が協働で農的環境を維持・保全する活動に対して支援を行いました。

< 4か年の新規協定一覧協定一覧 >

区・町名	支援内容
神奈川区三枚町	援農、農産加工活動ほか
戸塚区舞岡町	援農、地域交流活動ほか
保土ヶ谷区上菅田町・ 緑区鴨居七丁目	援農、景観保全活動ほか



【写真】ジャガイモの栽培管理
 (保土ヶ谷区上菅田町)



活動に参加した
 住民の声

- ・ 植え付けから収穫まで一連の農作業を行うことで、農作業の楽しさや大変さを学ぶことができた。

■ 家族で学ぶ農体験講座を開催しました

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ヶ谷区）内の畑で開催しました。



参加者の声

- ・ 草取りをしたり肥料をやったり、色々な体験ができて、とてもおもしろかった。
- ・ 苗の植え付けから収穫まで一連の作業を行って、新たな発見や農家の人の苦勞が分かり、とても良かった。



【写真】サツマイモの
 植え付け



【写真】親子で一緒に
 一輪車体験

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援を実施するとともに、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の市民交流イベントの実施を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や、公共施設や農地の縁辺部等への植栽に活用します。
- 地産地消に関する情報誌・パンフレットの発行や、イベントの開催などによる情報発信・PRを実施します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		直売所等の支援		青空市の運営支援		緑化用植物の生産・配布		情報発信・PR活動	
	平成 26 年度実績	4 件		4 件		27,533 本		推進	
	平成 27 年度実績	11 件		5 件		26,108 本		推進	
	平成 28 年度実績	10 件		5 件		26,560 本		推進	
	平成 29 年度実績	14 件		3 件		26,856 本		推進	
	4か年累積 [a]	39 件		17 件		107,057 本		推進	
5か年目標 [b]		52 件		25 件		125,000 本		推進	
4か年計画値 [c]		42 件		20 件		100,000 本		推進	
目標・計画値に対する進捗率									
		直売所等の支援		青空市の運営支援		緑化用植物の生産・配布		情報発信・PR活動	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		75%	○	68%	○	86%	◎	—	
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		93%		85%		107%			

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	28 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	36 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	34 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	39 百万円	0 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	138 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [e]		257 百万円	0 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		54%	○
		—	—



4か年の評価・検証

- 旭区市沢町の直売所での備品購入のほか、39 件の直売所等の支援を通じて、市民が身近な所で市内産農畜産物を購入できる場等を増やしました。また、青空市でのイベントの支援により、農家との交流の機会を提供しました。
- 市民配布や公共緑化等を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出しました。
- 情報発信・PR活動については、生産者や事業者の取組やマルシェの情報などを記載した情報誌の発行に加え、新たに、都心臨海部にある地産地消サポート店を掲載したマップを発行する等、工夫を凝らした広報に取り組みました。また、イベントについても、普段“農”に触れる機会の少ない都心臨海部において、生産者、企業とも連携して開催することで、効果的に実施しました。
- 市民へのアンケートでも地産地消への関心は高いことから、引き続き、地産地消にふれる機会を拡大する必要があります。

4か年の総合評価	B
----------	---

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



4か年の実績詳細

■ 直売所、加工所の備品購入の支援を行いました

直売所等を支援することによって、市民がより身近に市内産農畜産物を購入できる機会を提供することができました。また、青空市のイベント開催を支援し、市民が農家と交流できる機会を提供することができました。

直売所等の支援	
神奈川区	3件
保土ケ谷区	2件
旭区	5件
港北区	7件
緑区	4件
都筑区	1件
戸塚区	5件
栄区	1件
泉区	10件
瀬谷区	1件
合計	39件



【写真】備品購入を支援した直売所
(直売所での焼芋販売/旭区市沢町)



【写真】運営を支援している青空市
(北八朔日曜朝市直売会/緑区)

青空市の運営支援		
西区	4件	みなとみらい農家朝市(高島中央公園)
保土ケ谷区	3件	横浜中部地区市民朝市(保土ケ谷公園ミニ運動場)
緑区	6件	長津田駅前直売所(横浜農協長津田支店前) 北八朔日曜朝市直売会(北八朔上自治会館前広場)
戸塚区	4件	東戸塚市民朝市 (東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1駐車場)
合計	17件	

■ 市内産の苗木・花苗をPRしました

市内産の苗木・花苗のイベントでの市民配布や公共緑化、区役所等での展示を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出するとともに、多様な横浜の農をPRしました。



【写真】配布した苗木の植樹
(公共空間の緑化/港南区)



【写真】花苗の配布・展示
(ワールドポーターズ/中区)

■ 情報発信・PR

市民が農を身近に感じるための取組として、4か年を通して「はまふうどナビ」等の情報誌を発行したほか、みなとみらい地区でPRイベント「横浜食と農の祭典」を開催するとともに「横浜農業の彩典」に参加しました。平成29年に開催した「横浜食と農の祭典2017」では「北仲マルシェ」で市内の生産者やはまふうどコンシェルジュ等による市内産農畜産物や加工品の販売、キッチンカーでの料理提供、「運河パーク」で農機具の展示、「日本丸メモリアルパーク」で市内産の花や植木等を使った「横浜の農」を再現する展示と、3つの会場において一体的に横浜の魅力ある農業と農畜産物を「横浜農場」としてPRしました。

はまふうどナビ	
第33号	横浜の夏 とうもろこし特集
第34号	太陽の下でたっぷりの水と栄養を吸って育った里芋特集
第35号	横浜農場物語 横浜を彩る花特集
第36号	横浜農場発 横浜のたまご特集
第37号	とれたてホクホク新じゃが特集
第38号	黄金色に輝く田園風景 横浜の米特集
第39号	はまふうど鍋特集 (市内産の野菜を用いた鍋)
第40号	畑とつながる横浜生まれのいいもの特集
第41号	横浜野菜サラダ図鑑
第42号	地産地消マルシェ&イベント特集
第43号	丸ごとシャキッと! 横浜キャベツ特集
第44号	よこはま花特集
第45号	濱のハイカウ農業女子
第46号	直売・マルシェ・青空市 特集
第47号	ミライの横浜農場



【写真】はまふうどナビ



【写真】「横浜食と農の祭典2017」(北仲通北第二公園他/中区)



横浜食と農の祭典2017 来場者の声

- ・新鮮な横浜市内産の野菜が買えてうれしい。
- ・トラクターが大きくて格好いい!

17 地産地消を広げる人材の育成

- 地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成するとともに、活動を支援します。
- 地産地消に関するフォーラムを、市民・企業等と連携して開催します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		はまふうどコンシェルジュの活動支援	フォーラムの開催
	平成 26 年度実績	14 件	1 回
	平成 27 年度実績	22 件	1 回
	平成 28 年度実績	27 件	1 回
	平成 29 年度実績	23 件	1 回
	4か年累積 [a]	86 件	4回
5か年目標 [b]		100 件	5 回
4か年計画値 [c]		80 件	4 回

目標・計画値に対する進捗率

		はまふうどコンシェルジュの活動支援		フォーラムの開催	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		86%	◎	80%	◎
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		108%		100%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	3 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	3 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	2 百万円	0 百万円
	4か年累積見込額 [d]	9 百万円	0 百万円
5か年計画額 [e]		22 百万円	0 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		41%	△
		—	—



4か年の評価・検証

- はまふうどコンシェルジュの育成は着実に進んでおり、市民向けのマルシェ、収穫体験等の活動が活発になっています。コンシェルジュによる自主的な活動の場や機会をさらに充実させるため、引き続き、きめ細やかに育成・支援を進める必要があります。
- フォーラムについては、毎年テーマを変えながら開催することで、生産者、事業者、市民の皆様の情報交換や交流の機会が年々拡大しており、地産地消に関わる方々のネットワークの充実が進んでいます。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ はまふうどコンシェルジュの活動支援を行いました

地産地消を広げる人材として、はまふうどコンシェルジュを育成するとともに、コンシェルジュが開催するマルシェや市民向けバスツアーなどの活動支援を行っています。

4か年で奨励事業 78 件・補助事業 8 件の計 86 件の活動支援を行いました。

はまふうどコンシェルジュの活動支援			
【奨励事業】 78 件		【補助事業】 8 件	
マルシェの開催	36 件	講演会の開催と印刷物の発行	1 件
農作業体験教室の開催（単日）	19 件	市民向けイベントの開催	7 件
農作業体験教室の開催（期間）	16 件		
市民向けバスツアーの開催	7 件		

はまふうどコンシェルジュ育成講座	
第1回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
第2回	横浜の「農」を味わう（中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等）
第3回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
第4回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
第5回	これからの地産地消（今後の活動などを考えるワークショップを実施）



【写真】マルシェ



【写真】農作業体験教室



【写真】バスツアー

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 「食と農のフォーラム」を実施しました

地産地消に取り組む市民・企業等の交流や情報交換等を行うフォーラムを、市民・企業と連携して開催しました。

年度	①開催日 ②開催場所 ③来場者数	内容
平成 26 年度	①平成 27 年 2 月 4 日 14 時～17 時 ②ヨハマ創造都市センター ③約 150 人	●基調講演 「あなたが地域を輝かせる 10 のヒント」 ●トークセッション ●交流会
平成 27 年度	①平成 28 年 2 月 9 日 15 時～17 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 80 人	●事例紹介 ・都市型マルシェ” 横浜北仲マルシェ” について ・新たな流通システム” SEND” の構築と展開について ・市と連携した農家と飲食店の交流について ●トークセッション ●交流会
平成 28 年度	①平成 29 年 2 月 14 日 13 時 30 分～16 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 30 人	●講義 「横浜の農業・野菜の魅力の伝え方」 ～「神奈川食べる通信」の制作を通じて～ ●グループワーク ●発表・意見交換会
平成 29 年度	①平成 30 年 3 月 20 日 11 時 00 分～15 時 00 分 ②YCC ヨハマ創造都市センター ③約 50 人	●講義 ・地産地消の弁当（商品）開発の事例について 等 ●グループワーク ●発表

【平成 29 年度フォーラムの様子】



【写真】講義



【写真】グループワーク



【写真】発表



フォーラム参加者の声

- ・それぞれの専門家の方の説明がとてもわかりやすかった。
- ・他業種/分野の方々と意見交換できたことがとても有意義で、勉強になった

18 市民や企業等との連携

- 地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。
- 市内の中小企業等を対象とした、地産地消に関するビジネスを創出するための支援を行います。
- 学校給食での市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携した小学生の料理コンクールやパンフレットの配布などを実施します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進
	平成 26 年度実績	5 件	推進	推進
	平成 27 年度実績	8 件	5 件	推進
	平成 28 年度実績	12 件	5 件	推進
	平成 29 年度実績	12 件	5 件	推進
	4か年累積 [a]	37 件	15 件	推進
5か年目標 [b]		50 件	25 件	推進
4か年計画値 [c]		35 件 (※)	20 件 (※)	推進

目標・計画値に対する進捗率

		企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	74%	○	60%	○	—
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	106%		75%		—

※各事業の年度ごとの計画値

	企業等との連携	ビジネス創出支援
平成 26 年度	5 件	—
平成 27 年度	5 件	5 件
平成 28 年度	10 件	7 件
平成 29 年度	15 件	8 件
平成 30 年度	15 件	5 件

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	1 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	4 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	11 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	15 百万円	0 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	30 百万円	0 百万円
5 か年計画額 [e]		43 百万円	0 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		70%	○
		—	—



4か年の評価・検証

- 地産地消に関する企業からの相談は多く、企業等との連携による、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催などの取組が進みました。
- 地産地消ビジネスの創出支援により、新規創業者による市内産農畜産物を使用した加工品（ドレッシング、ブルーベリー葉茶など）が新たに生まれ、マルシェ等で販売されるなど、様々な取組が広がっています。
- 小学校給食での市内産農産物（ダイコン、キャベツなど）の一斉供給を行うとともに、小学生が市内産農産物を使用した学校給食のメニューを提案する「はま菜ちゃん料理コンクール」の取組でも年々参加者が増加し、子どもたちに地産地消への関心が広がっています。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 企業等と連携しました

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。

平成 26 年度 連携実績 【連携件数：5 件】	
そごう等との連携によるマルシェの開催	4, 7, 11 月
ヤマザキ製パン(株)との連携による新商品の企画及びPR	10~12 月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
東京ガス(株)との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催	11 月 27 日
JR東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等	通年

平成 27 年度 連携実績 【連携件数：8 件】	
東日本旅客鉄道(株) 横浜支社との連携による市内産トマトソースを使った新商品の企画・PR	6~8 月
(株)ミツハシとの連携による市内産米の販売	9 月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による横濱ビーフを使った新商品の企画・PR	9~10 月
(株)そごう・西武 そごう横浜店との連携による市内産リンゴを使った新商品の企画	9~10 月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
(株)代官山ワークス等との連携による「横浜北仲マルシェ」への市内農家の参加	1~3 月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「ストロベリーフェスティバル」における市内産イチゴの販売	2 月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「鍋小屋 2016」における市内産春菊・シイタケの使用	2 月

平成 28 年度 連携実績 【連携件数：12 件】	
東日本旅客鉄道(株)横浜支社との連携による横浜線沿線でのマルシェの開催	4 月~
(株)ルミネ ルミネ横浜店との連携によるマルシェの開催	4 月~
バイクォーターにおけるイベントでの市内産農畜産物の販売	5 月
横浜農業協同組合との連携による横浜農場のPR	5 月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による市内産トマトを使用した新商品の企画・PR	7~8 月
(株)ルミネ ルミネ横浜店との連携によるイベント「FUN! NIPPON FESTIVAL」における、飲食店での横浜産野菜を使用した限定メニューの提供	8 月
カルビー(株)との連携による市内産農産物を使用した試食品の提供及び直売の実施	9 月
オーケー(株)との連携による店舗での市内産農産物の販売	9 月~
東京家政学院大学との連携による講義及び朝市へのアンケート調査の実施	10~11 月
市内レストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11 月
MARK IS・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展示会のPR(花の展示)	11 月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベントでの市内産イチゴの販売・PR	2 月

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

平成29年度 連携実績 【連携件数：12件】	
JR東日本との連携によるマルシェ開催	4月～
(株)グリーンピースとの連携による市内産トマトが入ったギフトセットの開発・販売	6月～
東京大学での農業経営に関する研究調査の実施	7月～
横浜国立大学での横浜市の地産地消に関する経済循環の研究の実施	8月～
NPO 法人森ノオトと連携した地産地消を次世代に受け継ぐ体験講座の開催	8月～
(株)香炉庵との浜なしを使用した新商品の開発・販売	9月～
東京家政大学での講義及び朝市でのアンケート調査の実施	10月～
市内のレストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11月
MARK IS・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会のPR	11～12月
JR 東日本と港北区役所との共催による小机駅イベントでの直売の実施	11月
(株)横浜赤レンガとの連携による「Yokohama Strawberry Festival 2018」における市内産イチゴの販売・PR	2月
JA 横浜・地産地消サポート店との連携による里山ガーデンフェスタでの横浜農場PRと市内産農産物等の販売	3月



【写真】

①香炉庵による新商品（浜なしゼリー） ②里山ガーデンフェスタでの市内産農産物等の販売 ③みなとみらいホテルでの地産地消フェアの実施 ④Yokohama Strawberry Festival 2017での横浜産イチゴの販売

■ 地産地消のビジネス創出を支援しました

ビジネスプラン策定を支援する育成講座を開催しました。また、平成26～28年度の育成講座を受講し、補助対象に選定された計15件の事業化を支援するとともに、平成30年度に事業化を支援する7件の事業を新たに選定しました。

<平成27年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
地産地消の店 まごころふぁーむ	横山 宜美	こだわって栽培したトマト「サンロード」を使用したオリジナル商品の開発と販売
旅するコンフィチュール ギフト商品開発	違 克美	市内産農産物等を使用したコンフィチュール（ジャム）のギフト商品開発
オフィスに届ける サラダランチ	有澤 厚子	市内産の野菜を使用したサラダランチを開発しオフィスにお届け
横浜青みかん商品化 プロジェクト	奥井 奈都美	摘果された青みかんを使用したドレッシングの開発と販売
こどもやさい検定 プロジェクト	和賀 康子	親子で実施できるやさい検定の企画と開発

<平成28年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
サッと炊ける フライパンごはん	東 みちよ	市内産の米を使用した、フライパンで調理できるごはんの開発と販売
腹ぺこキッズ プロジェクト	大滝 千香子	市内産食材を使用したスポーツをする子ども向けの高栄養メニューの提案と市内産農畜産物を使用したふりかけの開発
生産物直売所を鶴見に作る プロジェクト	阪田 守昭	新規就農者への販路提供とともに、直売所の少ない鶴見区に新鮮野菜と農体験を提供する場づくり
地産地消・食育ワークシ ョップ&ハンドブック	菅 千明	地産地消の食育ワークショップの企画・運営とそれに連動したハンドブックの制作・販売
横浜野菜たっぷり カレー	中尾 真紀子	市内産の野菜を使用したレトルトカレーの開発と販売

<平成29年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
ブルーベリーの葉を利用した 商品の開発	金子 明美	日本初のブルーベリー葉茶作り教室の開催と葉茶関連商品の販売
農家の食卓プロジェクト	小間 一貴	横浜野菜の魅力を伝える、農家の手作り加工品の販売
横浜の農作物とナッツを使用 した新たな観光土産の開発	坂本 奈緒子	ナッツと横浜産野菜・果物を使用した新たな横浜土産の開発・販売
生産者と消費者がつながる 「まちなかワイナリー」を 横浜につくる	町田 佳子	生産者と消費者をつなげる、横浜産の果物を使ったワインづくり
横浜野菜を使った野菜マフィ ンギフトの開発と販売	水島 綾子	通信販売による横浜野菜を使ったギフト商品の販売



【写真】平成29年度の支援対象事業 加工品

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

<平成30年度の支援対象予定事業>

事業名	事業者名	内容
横浜野菜を活かしたフレークの商品化・販売「はまベジフレーク」	荒木 典子	横浜野菜を使用したフレークの商品化・販売。 同商品を利用したレシピ提案・料理教室の開催。
収穫マイスター養成事業	河原 真友子	草取り選手権など、一風変わった農業体験の実施。 野菜毎の収穫マイスターを養成し、援農の実施。
農体験に関する有料のインターネット掲示板の構築	堀尾 保	インターネット掲示板を活用した収穫体験や研修生の募集を検討している生産者の情報の広報の実施。
親子☆横浜野菜キッチン	高崎順子	横浜の春夏秋冬の旬な野菜を収録したテキスト作成。 テキストの一部を活用した親子食育ワークショップの実施。
浜野菜のおじやでビジネスマンの健康を守る！	本橋 ゆり子	不規則な生活を送る方向けに、低カロリーで、横浜産の野菜たっぷりな間食・夜食用おじやの開発・販売
乾燥食材の製造及び販売	土井 和裕	鮮度保持を目的とした、横浜産の乾燥野菜の製造・販売。
よこはま野菜（横浜農業）ブランド化プロジェクト	藤原 寿子 三浦 妙子	横浜野菜のブランド化を目的とした、横浜産の飲食物・PRグッズの開発・販売及びマルシェの開催。

■ 学校給食での市内産農産物の利用を促進しました

J A横浜及び市内の農家等と連携し、市内の小学校・特別支援学校に、給食で使用する農産物を届け、子ども達に提供しました。

また、市内の小学生を対象に、市内産農産物を使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。

①市内の小学校・特別支援学校への一斉供給について

年度	供給品目	実施月	実施校数
平成26年度	キャベツ	11月	327校
平成27年度	キャベツ・ダイコン	11月	329校
平成28年度	米・ダイコン	7月・11月	332校・326校
平成29年度	キャベツ	11月	320校

②はま菜ちゃん料理コンクールについて

年度	テーマ食材	応募点数
平成26年度	キャベツ	1,362点
平成27年度	キャベツ・コマツナ	1,430点
平成28年度	ダイコン・コマツナ	1,595点
平成29年度	キャベツ	1,837点



【写真】はま菜ちゃん料理コンクール本選



コンクール参加者の声

- ・1日30品目の目標の内、15品目をとれるようにしました。
- ・栄養だけでなく、いれどりも良くなるように考えました。
- ・アレルギーの友だちも食べられるように工夫しました。

ウ 市民が実感できる緑をつくる

19 民有地における緑化の助成

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。(一般助成)
- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対しては、上限額の引き上げや、維持管理費用の一部などにも助成します。(拡充助成)



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑化の助成
	平成 26 年度実績	5 件
	平成 27 年度実績	5 件
	平成 28 年度実績	7 件
	平成 29 年度実績	3 件
	4か年累積 [a]	20 件
5か年目標 [b]		65 件
4か年計画値 [c]		52 件

目標・計画値に対する進捗率

		緑化の助成
5か年目標に対する 進捗率 $[a/b \times 100]$	30%	△
4か年計画値に対する 進捗率 $[a/c \times 100]$	38%	

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	2 百万円	1 百万円
	平成 28 年度決算額	2 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	4 百万円	4 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	10 百万円	5 百万円
5 か年計画額 [e]		148 百万円	123 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		7%	△	4%	△



4か年の評価・検証

- 全区での助成に加えて、緑の少ない5区では屋上緑化や壁面緑化だけでなく公開性や視認性の高い場所での地面の緑化に助成を拡充するなど、緑化の推進に取り組みました。
- 助成による緑化面積は着実に増えているものの、助成件数では4か年計画値の4割程度に留まりました。

4か年の総合評価	C
----------	---



4か年の実績詳細

■ 屋上・地面緑化の費用の一部を助成しました

4か年で、個人宅のバルコニーや、集合住宅の屋上や壁面の緑化を、一般助成として 15 件、また拡充助成として公開性のある地面緑化 5 件、合計 20 件に対して助成を行いました。

<区別の実績>

区名	町名	件数
鶴見	北寺尾四丁目	6 (拡充 3)
	駒岡四丁目	
	鶴見中央二丁目	
	東寺尾北台	
	鶴見中央四丁目	
大黒町		
神奈川	神奈川二丁目	2
	三ツ沢東町	
西	平沼一丁目	3
	みなとみらい四丁目 (2件)	
中	山手町	1 (拡充 1)
南	六ツ川二丁目	1 (拡充 1)
港南	上永谷五丁目	2
	港南六丁目	
保土ヶ谷	帷子町	1
磯子	西町	1
緑	鴨居五丁目	1
都筑	早渕二丁目	1
瀬谷	三ツ境	1



【写真】事例
 (鶴見区大黒町)



制度利用者の声

・助成金を活用したことで、身近な緑を増やすことができました。

20 建築物緑化保全契約の締結

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い保全することに対し、建築物所有者等の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑化の助成
	平成 26 年度実績	5 件 (約 2.4ha)
	平成 27 年度実績	7 件 (約 1.4ha)
	平成 28 年度実績	4 件 (約 5.9ha)
	平成 29 年度実績	0 件 (約 0ha)
	4か年累積 [a]	16 件
5か年目標 [b]		制度運用
4か年計画値 [c]		制度運用

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	0 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	0 百万円	0 百万円
	4か年累積見込額 [d]	0 百万円	0 百万円
5か年計画額 [e]		0 百万円	0 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		—	—



4か年の評価・検証

- この制度により、民有地で良好な緑地の保全につながっています。
- 平成 29 年度は新たな契約がなかったため、制度の周知を継続的に行うことも必要です。

4か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



4か年の実績詳細

■ 保全契約を締結しました

4か年で、個人宅7件、企業1件、集合住宅8件について保全契約を締結し、約9.7haの緑地が10年間保全されることになりました。



【写真】保全契約の事例（集合住宅）
（戸塚区前田町）



【写真】保全契約の事例（集合住宅）
（旭区左近山）

<区別の実績>

区名	町名	件数
神奈川	鶴屋町	1
中	諏訪町	1
南	中里三丁目	1
保土ヶ谷	川島町（2件）	2
旭	左近山（2件）	2
金沢	並木三丁目	1
緑	三保町	1
都筑	荏田南二丁目	1
戸塚	上倉田町 品濃町（3件） 前田町	5
瀬谷	相沢一丁目	1



制度利用者の声

- 生活空間の緑が、市の基準以上の緑化をしていると認定されうれしく思います。

21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。
- 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		名木古木の保存	
		新規指定	維持管理の助成
	平成 26 年度実績	19 本	51 本
	平成 27 年度実績	17 本	47 本
	平成 28 年度実績	9 本	43 本
	平成 29 年度実績	33 本	62 本
	4か年累積 [a]	78 本	203 本
5か年目標 [b]		推進	推進
4か年計画値 [c]		推進	推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	19 百万円	16 百万円
	平成 27 年度決算額	14 百万円	11 百万円
	平成 28 年度決算額	11 百万円	9 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	14 百万円	11 百万円
	4か年累積見込額 [d]	58 百万円	47 百万円
5か年計画額 [e]		109 百万円	100 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		53%	○	47%	△

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



4か年の評価・検証

- 4か年で新たに78本の名木古木を指定したほか、維持管理助成は、平成25年度までのみどりアップ計画を上回る、4か年で203本に対し助成を行うなど、順調な進捗となりました。
- また、10年を目安に行う定期調査では、樹木の専門家である樹木医により名木古木の生育状況を確認するとともに、所有者に対し維持管理に対する適切な助言を行うなど、都市の美観風致の維持に寄与しました。

4か年の総合評価	A
----------	---



4か年の実績詳細

名木古木保存事業

樹齢が概ね100年を超える樹木や、故事、来歴等のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

<区別の実績>

区名	新規指定	維持管理に対する助成
鶴見	4本	10本
神奈川	1本	10本
西	—	7本
中	15本	36本
南	3本	9本
港南	—	11本
保土ヶ谷	6本	5本
旭	—	13本
磯子	8本	8本
金沢	10本	19本
港北	22本	12本
緑	—	10本
青葉	—	11本
都筑	5本	10本
戸塚	1本	8本
栄	2本	2本
泉	—	12本
瀬谷	1本	10本
【計】	78本	203本

<維持管理の助成の内訳>

診断	治療	管理
23本	16本	164本

※名木古木の指定本数（平成30年3月末時点）：1003本



【写真】名木古木指定樹木の事例
(シダレウメ/港北区下田町)

22 人生記念樹の配布

- 人生の節目の記念に、希望した市民に対し苗木を無料配布します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		苗木の配布
	平成 26 年度実績	7,752 本
	平成 27 年度実績	7,865 本
	平成 28 年度実績	7,476 本
	平成 29 年度実績	7,343 本
	4か年累積 [a]	30,436 本
5か年目標 [b]		40,000 本
4か年計画値 [c]		32,000 本

目標・計画値に対する進捗率

		苗木の配布	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	76%	○	
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	95%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	11 百万円	3 百万円
	平成 27 年度決算額	12 百万円	4 百万円
	平成 28 年度決算額	12 百万円	4 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	9 百万円	4 百万円
	4か年累積見込額 [d]	44 百万円	14 百万円
5か年計画額 [e]		50 百万円	22 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	88%	◎		64%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



4か年の評価・検証

○ 目標本数に近い実績となっており、概ね順調に進捗しました。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 人生の節目を記念して、苗木をプレゼントしました

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、希望した苗木を無料で配布しました。

<申し込み対象となる記念>

出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人（20歳の誕生日）、就職、結婚、金婚（50年）、銀婚（25年）、賀寿（還暦や古希など7種類）、新市民（市外からの転入）、住宅の新築・購入、住宅の増改築

<配布実績>

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	1,545本	保土ヶ谷	1,467本	青葉	4,063本
神奈川	1,321本	旭	2,492本	都筑	1,950本
西	744本	磯子	1,563本	戸塚	2,936本
中	692本	金沢	2,098本	栄	1,113本
南	745本	港北	2,102本	泉	1,262本
港南	1,479本	緑	1,712本	瀬谷	1,152本
【合計】 30,436本					



利用者の声

・こどもの小学校入学の記念に申し込みました。こどもの成長とともに苗木の成長が楽しみです。



【写真】苗木配布の様子（港北区役所）



【写真】苗木配布の様子（泉区役所）

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進します。
特に、視認性が高く多くの市民が実感できる緑の創出を重点的に実施します。
- 充実を図った公共施設の緑について、良好に維持管理します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑の創出	創出した緑の維持管理
	平成 26 年度実績	16 か所	95 件
	平成 27 年度実績	22 か所	69 件
	平成 28 年度実績	18 か所	70 件
	平成 29 年度実績	19 か所	77 件
	4か年累積 [a]	75 か所	311 件
5か年目標 [b]		58 か所	推進
4か年計画値 [c]		50 か所	推進

目標・計画値に対する進捗率

		緑の創出	創出した緑の維持管理
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	129%	◎	—
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	150%		

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	213 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	413 百万円	213 百万円
	平成 28 年度決算額	286 百万円	52 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	195 百万円	0 百万円
	4か年累積見込額 [d]	1,117 百万円	265 百万円
5か年計画額 [e]		1,370 百万円	150 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	82%	◎	177% ◎

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



4か年の評価・検証

- 新総合庁舎整備（南区、金沢区、港南区）に伴う緑化整備をはじめ、各区の地区センター、コミュニティハウス等の公共施設や公有地で緑化に取り組み、計画を上回る進捗となりました。
- 各公共施設では、季節感を感じることでできる植栽、花を楽しめる植栽、屋上や壁面の緑化、生物多様性の向上につながる植栽など、多様な緑化により、市民が実感できる緑の創出が進みました。
- 引き続き、多くの市民が利用する公共施設から率先して緑化を進めながら、創出した緑を良好に維持管理することが必要です。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 市が所管する公共施設・公有地を緑化しました

市庁舎（くすのき広場）や鶴見区、西区、保土ヶ谷区、南区、金沢区、港南区や栄区の各庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

また、「横浜みどりアップ計画」により創出した緑を良好に維持するため、各施設において適切な維持管理が行われました。

<区別実績（創出）>

区名	施設名	施設数
鶴見	鶴見区庁舎ほか 1 か所	2
神奈川	三ツ沢せせらぎ緑道ほか 3 か所	4
中	市庁舎（くすのき広場）ほか 3 か所	4
西	西区庁舎ほか 12 か所	13
南	南区庁舎ほか 2 か所	3
港南	港南区庁舎ほか 8 か所	9
保土ヶ谷	保土ヶ谷区庁舎ほか 5 か所	6
旭	旭区民文化センターほか 11 か所	12
磯子	市道新杉田 1 1 7 号線ほか 3 か所	4
金沢	金沢区庁舎	1
港北	港北スポーツセンターほか 3 か所	4
緑	森の台 1 号雨水調整池ほか 2 か所	3
青葉	青葉区庁舎ほか 3 か所	4
都筑	横浜国際プール	1
戸塚	宇田川	1
栄	栄区庁舎	1
泉	泉土木事務所	1
瀬谷	相沢川水辺広場ほか 1 か所	2
合計		75



【写真】社会教育コーナー（磯子区）



【写真】西区庁舎（西区）

24 公有地化によるシンボリックな緑の創出

- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、緑豊かな公園を整備します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		シンボリックな緑の創出
	平成 26 年度実績	1 か所
	平成 27 年度実績	1 か所 (事業推進 4か所)
	平成 28 年度実績	4 か所 (事業推進 4か所)
	平成 29 年度実績	5 か所 (緑の創出 1 か所、事業推進 4か所)
	4か年累積 [a]	5 か所
5 か年目標 [b]		5 か所
4か年計画値 [c]		5 か所

目標・計画値に対する進捗率

シンボリックな緑の創出		
5 か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	100%	◎
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	100%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	301 百万円	21 百万円
	平成 27 年度決算額	1 百万円	1 百万円
	平成 28 年度決算額	445 百万円	38 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	432 百万円	70 百万円
	4か年累積見込額 [d]	1,179 百万円	130 百万円
5 か年計画額 [e]		1,650 百万円	324 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		71%	40%
		○	△



4か年の評価・検証

- 平成30年4月1日に、鶴見区の下野谷町三丁目公園が開園し、緑の少ない区において緑を創出することができました。
- 平成30年度中には西区、港南区の公園が完成する予定となっており、その他の候補地でも引き続き事業を進めていくことが必要です。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ 鶴見工業高校跡地の一角に「下野谷町三丁目公園」が開園

平成30年4月1日、JR 鶴見線「鶴見小野」駅そばの鶴見工業高校跡地の一角に「下野谷町三丁目公園」が開園しました。

園内には、様々な地域活動に利用できる広場や、防災に資する施設を設置したほか、緑の少ない鶴見区において緑豊かな公園を目指し、区の木であるサルスベリをはじめ、四季を通じて花と緑を楽しめる樹木や草花を、数多く植栽しました。



【写真】下野谷町三丁目公園（鶴見区）

区	事業予定地	面積	29年度実績
鶴見区	下野谷町三丁目公園 (鶴見工業高校跡地)	2,828m ²	完成
西区	伊勢町三丁目 (県職員宿舍跡地)	約 4,000m ²	工事中 (30年度中完成予定)
中区	山手町 (国家公務員宿舍跡地)	約 2,600m ²	一部用地取得 (32年度以降完成予定)
神奈川区	六角橋四丁目 (国家公務員宿舍跡地)	約 1,600m ²	設計中 (32年度以降完成予定)
港南区	最戸一丁目 (南土木事務所作業場跡地)	約 1,300m ²	設計中 (30年度中完成予定)

25 いきいきとした街路樹づくり

- 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乗せして実施します。
- 都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などの管理をより充実させます。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		街路樹の計画的なせん定
	平成 26 年度実績	18 区で推進（160 路線）
	平成 27 年度実績	18 区で推進（206 路線）
	平成 28 年度実績	18 区で推進（325 路線）
	平成 29 年度実績	18 区で推進（559 路線）
	4か年累積 [a]	18 区で推進
	5か年目標 [b]	18 区で推進
	4か年計画値 [c]	18 区で推進

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	262 百万円	262 百万円
	平成 27 年度決算額	277 百万円	277 百万円
	平成 28 年度決算額	277 百万円	277 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	272 百万円	272 百万円
	4か年累積見込額 [d]	1,088 百万円	1,088 百万円
	5か年計画額 [e]	1,445 百万円	1,445 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		75%	○	75%	○



4か年の評価・検証

- 市民の目にする機会が多い駅前広場や公共施設周辺、幹線道路などの街路樹のせん定を、目標とする樹形や切り方に配慮して行ったことで、良好に育成されました。
- 26年度から、都心臨海部や区の代表的な街路樹について低木の刈込や草刈等の頻度をあげて維持管理し、緑豊かな街の景観を維持しました。
- 老朽化している街路樹や空柵も見られ、街並みの美観向上に向けて再生の検討も必要です。

4か年の総合評価

B



4か年の実績詳細

■ せん定などの維持管理を実施しました。

街路樹を良好に育成するため、管理樹形図を作成し、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、計画的なせん定を実施しました。また、都心臨海部や各区の代表的な街路樹の植樹柵については、低木刈込、草刈や除草などの頻度をあげて行うことにより、より充実した管理を行いました。



【写真】（左：栄本町線 クスノキ、ツツジ（西区））（右：桜木町駅前広場 ケヤキ（中区））

26 地域緑のまちづくり

- 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		地域緑化推進事業
	平成 26 年度実績	22 地区 (うち新規：6 地区)
	平成 27 年度実績	26 地区 (うち新規：4 地区)
	平成 28 年度実績	29 地区 (うち新規：9 地区)
	平成 29 年度実績	25 地区 (うち新規：7 地区)
	4か年累積 [a]	42 地区
	5か年目標 [b]	46 地区
	4か年計画値 [c]	39 地区

目標・計画値に対する進捗率

		地域緑化推進事業	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	91%	◎	
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	108%		

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	196 百万円	196 百万円
	平成 27 年度決算額	151 百万円	151 百万円
	平成 28 年度決算額	165 百万円	165 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	180 百万円	180 百万円
	4か年累積見込額 [d]	692 百万円	692 百万円
	5か年計画額 [e]	931 百万円	931 百万円

		事業費		うち横浜みどり税		
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	74%	○		74%	○	



4か年の評価・検証

- 事業広報、事業説明会や専門家による提案計画づくりの支援等により、多くの提案応募がありました。短い期間での提案計画づくりですが、提案団体の皆さまの熱意と、充実した支援等により、目標を上回る地区と協定を締結することができました。
- 協定を締結したすべての地区で、緑化計画書に基づいた緑化や活動が行われました。また、緑のまちづくりをきっかけに、居住環境がよくなるだけでなく、地域のコミュニケーションがとて増え、地域コミュニティが醸成されています。
- 市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流を目的とした活動報告&交流会を開催しました。今後も、継続した活動につながる計画づくりを進めていく必要があります。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 新たに26地区と協定を締結しました

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、4か年で26地区の団体と新たに協定を締結しました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

<4か年の取組地区一覧>

<継続地区>

地区名	区名	協定締結年度
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
生麦・新子安地区	鶴見 神奈川	H24
みなとみらい21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい21 新港地区	中	H25
牛久保西地区	都筑	H25
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
合計		16地区

<新規地区>

地区名	区名	協定締結年度
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すすらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
東本郷地区	緑	H27
霧の里地区	緑	H27
初黄・日ノ出町地区	中	H27
上星川地区	保土ヶ谷	H27
菅田地区	神奈川	H28
鴨居・白山一丁目地区	緑	H28
大倉山つつみ通り地区	港北	H28
関内地区	中	H28
東山田四丁目地区	都筑	H28
石川町地区	中	H28
三保町宮根地区	緑	H28
日本大通り地区	中	H28
江田駅周辺地区	青葉	H28
中之丸地区	港南	H29
日野団地地区	港南	H29
汐見台2丁目地区	磯子	H29
磯子・岡村地区	磯子	H29
前田町桜の丘地区	戸塚	H29
武蔵中山台地区	緑	H29
霧が丘六丁目地区	緑	H29
合計		26地区

＜平成29年度取組状況＞

各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

地域のメイン道路を中心に宿根草や花による緑化をテーマにした地区では、道路を利用する方々から、「とてもきれいな花が季節ごとに楽しめて、とても素敵な地域になった。」「以前はポイ捨てが多かったが、この活動のおかげでゴミがなくなった。」などの声をいただいています。

また、地域緑のまちづくり推進団体の交流の場として、全地区の推進団体と地域緑のまちづくりに興味のある方を対象に、活動報告&交流会を実施しました。29年度の交流会は、「活動の連携と継続」をテーマに、集まった皆さまで熱心な意見交換などを行いました。



【写真】沿道の緑化
(石川町地区/中区)



【写真】花時計花壇の植替えの様子
(みなとみらい21新港地区/中区)



【写真】個人宅前の沿道の緑化
(大倉山つつみ通り地区/港北区)



【写真】集会所前の緑化
(東本郷地区/緑区)



【写真】桂台中学校植樹祭の様子
(湘南桂台地区/栄区)



【写真】活動報告&交流会の様子
(情報交換や地区同士の交流の場)



活動団体の声

・地域緑のまちづくりに取り組んで、まちに緑と花が増えたことで、地域のコミュニケーションが良くなったことを実感しています。今では、家族総出で活動に参加しています。

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑の創出	芝生等の維持管理
	平成 26 年度実績	50 か所	推進
	平成 27 年度実績	32 か所	推進
	平成 28 年度実績	36 か所	推進
	平成 29 年度実績	34 か所	推進
	4か年累積 [a]	152 か所	推進
5か年目標 [b]		100 か所	推進
4か年計画値 [c]		80 か所	推進

目標・計画値に対する進捗率

		緑の創出	芝生等の維持管理
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	152%	◎	—
4か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	190%		—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	70 百万円	10 百万円
	平成 27 年度決算額	64 百万円	9 百万円
	平成 28 年度決算額	57 百万円	11 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	60 百万円	4 百万円
	4か年累積見込額 [d]	251 百万円	34 百万円
5か年計画額 [e]		463 百万円	75 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	54%	○	45% △



4か年の評価・検証

- 園庭や校庭の芝生化のみならず、ビオトープや樹木による緑化等に対しても支援するよう事業内容を拡充した結果、4か年で5か年目標値を達成したほか、多様な緑を創出することにつながりました。
- 子どもたちが日常的に利用している創出した芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくことが課題です。なかでも施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援を行っていく必要があります。

4か年の総合評価

B

4か年の実績詳細

■ 緑の創出

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園	区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園
鶴見	12か所	4か所	金沢	2か所	1か所
神奈川	10か所	3か所	港北	2か所	5か所
西	3か所	—	緑	4か所	3か所
中	4か所	3か所	青葉	9か所	3か所
南	15か所	1か所	都筑	7か所	3か所
港南	6か所	1か所	戸塚	6か所	3か所
保土ヶ谷	8か所	2か所	栄	10か所	1か所
旭	3か所	3か所	泉	5か所	—
磯子	5か所	1か所	瀬谷	4か所	—
			【計】	115か所	37か所

<実施内容ごとの内訳>

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
46か所	49か所	45か所	32か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる

■ 芝生等の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するのと合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。また、ピオトープの整備や維持管理について、専門家による訪問指導を実施しました。

- ・費用の一部を支援した箇所数：のべ 400 か所以上
- ・芝生の維持管理について 研修会：11 回 専門家による訪問指導：132 回
- ・ピオトープの専門家による訪問指導：48 回



【写真】〔整備〕樹木による緑化
(三ツ境たんぼぼ保育園／旭区)



【写真】〔整備〕園庭の芝生化
(三春台保育園／南区)



【写真】〔管理〕芝生維持管理者向けの研修会
(山下公園／中区)



【写真】ピオトープ整備計画作りの訪問指導
(和泉小学校／泉区)

利用者の声

- ・芝生の維持管理方法についてとても参考になりました。
- ・ピオトープを通じて、生き物や生態系について学ぶことができました。

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
平成 26 年度実績	6 箇所	3 箇所
平成 27 年度実績	4 箇所	4 箇所
平成 28 年度実績	12 箇所	8 箇所
平成 29 年度実績	1 箇所	13 箇所
4か年累積 [a]	23 箇所	28 箇所
5か年目標 [b]	推進	推進
4か年計画値 [c]	推進	推進

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	173 百万円	146 百万円
平成 27 年度決算額	519 百万円	143 百万円
平成 28 年度決算額	513 百万円	483 百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	279 百万円	251 百万円
4か年累積見込額 [d]	1,484 百万円	1,023 百万円
5か年計画額 [e]	1,620 百万円	1,470 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	92% ◎	70% ○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



4か年の評価・検証

- 都市公園や港湾緑地、街路樹などの緑のネットワークにより街の回遊性が高まり、季節の花が街を華やかに彩りました。
- 山下公園、港の見える丘公園や新港中央広場などでは、バラ園や美しい花壇が全国都市緑化フェアの会場としても活用され、市民や観光客の目を楽しませました。
- 都心臨海部は、多くの市民や観光客が訪れる横浜の顔であり、引き続き質の高い維持管理を進めながら、緑や花によりエリア全体の魅力を高めていくことが重要です。

4か年の総合評価

A



4か年の実績詳細

■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりと維持管理を進めました

4か年でみなとみらい21地区から山下地区を中心としたのべ23か所で、緑や花による整備を進めました。また、山下公園や港の見える丘公園などのべ28か所で、バラ園や花壇等の維持管理を進めました。

実施か所	区名	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
山下公園	中区	—	実施
港の見える丘公園（西洋館含む）	中区	—	実施
元町公園（西洋館含む）	中区	—	実施
横浜公園	中区	—	実施
日本大通り	中区	—	実施
山下公園通り	中区	—	実施
新港中央広場	中区	—	実施
グランモール公園	西区	—	実施
山手イタリア山庭園	中区	実施	実施
赤レンガパーク	中区	—	実施
自動車道	中区	—	実施
象の鼻パーク	中区	—	実施
カップヌードルミュージアムパーク	中区	—	実施



【写真】山手イタリア山庭園の緑花整備（中区）



【写真】山下公園の維持管理（中区）



【写真】新港中央広場の維持管理（中区）

エ 効果的な広報の展開

29 市民の理解を広げる広報の展開

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）」を推進するため、様々な媒体を活用しながら、計画や取組実績の広報・PR を進めます。計画を所管する環境創造局と「横浜みどり税」を所管する財政局が連携し、財源（税）と用途（事業）の両面から市民に周知します。
- 「みどりアップ月間」を設定し、集中的な広報を実施します。
- これまでに実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施します。



4か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		計画の周知や実績報告
	平成 26 年度実績	推進
	平成 27 年度実績	推進
	平成 28 年度実績	推進
	平成 29 年度実績	推進
	4か年累積 [a]	推進
5か年目標 [b]		推進
4か年計画値 [c]		推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	16 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	17 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算額	16 百万円	0 百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	15 百万円	0 百万円
	4 か年累積見込額 [d]	百万円	0 百万円
5 か年計画額 [e]		80 百万円	0 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		80%	◎
		—	—



4か年の評価・検証

- 広報よこはまへの記事掲載、実績概要リーフレットの自治会・町内会への回覧など、広報効果の高い取組を毎年度実施し、取組及び事業実績の周知を着実に進めました。
- 財政局及び各区役所と連携し、市連会・区連会での実績説明、区民まつりでのブース出展を行い、横浜みどり税及びみどりアップ計画の周知を進めました。
- マスコットキャラクターをイベントで活用したほか、広報紙や交通広告でもキャラクターのイラストを生かした親しみやすいデザインづくりを進めました。またプロモーションビデオ、アニメーションを制作し、視覚的に横浜の緑の魅力やみどりアップ計画の取組を感じて頂けるよう、映像を用いた PR を実施しました。
- 平成 26 年度から実施している調査では、計画・税ともに約半数が知っていると回答し、29 年度の調査では計画を知っていると答えた割合が 48% となり増加しました。また、計画を知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いていますが、若年層で知っている割合は着実に増加してきています。今後は、引き続き効果の高い「広報よこはま等の広報紙」・「自治会・町内会の回覧」等での情報提供を行うとともにキャラクターや映像を用いるなど手法・媒体を工夫し、若年層向けにも積極的に広報していきます。

4か年の総合評価

B



平成 29 年度の実績

■ イベントなどによる広報

<イベント出展による PR 活動>

- ・全国都市緑化よこはまフェアでの PR (平成 29 年 3 月 24 日から 6 月 4 日)
 - ・よこはま花と緑のスプリングフェア 2017 (平成 29 年 4 月 7 日~4 月 9 日)
 - ・子どもアドベンチャー 2017 (平成 29 年 8 月 17 日~8 月 18 日)
 - ・里山ガーデン秋の大花壇公開 (平成 29 年 9 月 22 日~10 月 22 日)
 - ・はまりんフェスタ (平成 29 年 10 月 28 日)
 - ・みどりアップ月間 2017 期間中の各種イベント (平成 29 年 10 月~11 月に多数開催)
 - ・野毛山動物園 第 12 回 動物たちの SOS 展 (平成 29 年 3 月 4 日~3 月 5 日)
 - ・金沢動物園春まつり (平成 29 年 3 月 18 日~3 月 20 日)
- など



【写真】よこはま花と緑のスプリングフェア 2017



【写真】はまりんフェスタ



【写真】子どもアドベンチャー 2017

<展示によるPR活動>

- ・市庁舎市民広間での展示
- ・図書館での企画展示

■ 区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

- ・市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
- ・イベントへの共同出展（環境創造局、財政局税務課）
- ・横浜みどり税 PR チラシの配布（財政局税務課）
- ・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
- ・各区区民祭りでのブース出展（各区税務課）



■ 各種媒体を活用した広報

<広報誌等への掲載>

- ・広報よこはま
 (市版特集ページ：9月号)
 (区版：栄区版8月号、戸塚区版8月号・9月号、港北区版9月号、
 緑区版4~9月号(連載コラム))
- ・季刊誌「みどり」(平成29年夏号、秋号)
- ・かんきょう横浜
 (平成29年7月号、9月号、平成30年3月号)
- ・よこはま農委だより(平成29年11月号)

【図】 広報よこはま
 (市版：平成29年9月号)

<リーフレット・チラシ・報告書>

- ・平成28年度の実績概要リーフレット(140,000部作成)
- ・平成28年度事業報告書



【図】 平成28年度の実績概要リーフレット

<メディアを活用した広報>

- ・横断幕の掲出
 動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
- ・市営バス、公用車等へのPR用マグネットシートの貼付掲出(約4,000枚配布)
 (平成24年11月~)
- ・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行(毎月1日に発行)
- ・日産スタジアムでの広告設置
- ・PRTIMES(プレスリリース配信サービス)を活用したイベント周知
- ・ツイッターを活用した広報

<事業実施場所でのPR>

- ・事業実施場所での現地表示



【図】 実施場所での現地表示

■ マスコットキャラクターを活用した広報

市民の皆様へ、より横浜みどりアップに親しんでいただくため、平成 27 年度に作成したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱ」について、各イベントで活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画を PR しました。また、リーフレットやみどりアップ月間・交通広告のポスター等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の目に留まる工夫をしました。



【写真】 イベントでの PR

【写真】 公共施設での PR

【写真】 キャラクターを活用した交通広告

■ 映像を活用した PR

<プロモーションビデオの活用>

- ・プロモーションビデオの放映

視覚的にみどりアップ計画の取組に親しんでいただくため、イベント等でプロモーションビデオを放映しました。

- ・CM 用プロモーション動画の制作

新たに 15 秒、30 秒の CM 用プロモーション動画を作成し、区役所、デジタルサイネージや横浜市営地下鉄ブルーライン等の車内ビジョンで放映しました。

- ・QR コードを活用した取組

リーフレットや広報紙に QR コードを記載し、Youtube でプロモーションビデオをご覧いただけるよう工夫しました。



【図】 プロモーションビデオ

<ハンド・メイドアニメーション・グランプリを通じた PR>

- ・横浜賞の募集

若手アニメーション作家の育成・支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト、「ハンドメイド・アニメーション・グランプリ (HAG)」に横浜賞環境創造部門を設け、「横浜みどりアップ」をテーマに作品案を募集しました。

- ・アニメーションの活用

アニメーションは、首都圏 26 館のイオンシネマで放映された他、桜木町駅の観光案内所等のデジタルサイネージも活用しました。また、Youtube でも公開しています。

- ・アニメーションデザインを用いた広報

アニメーションのデザインを活用し、PR 用のクリアファイル、イベントのチラシを作成しました。複数の媒体でデザインを活用し、アニメーションとの相乗効果を意識した PR を実施しました。



【図】 横浜みどりアップのアニメーション

■みどりアップ月間

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を拡げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しています。

<概要>

【期 間】 毎年 10月～11月

【主な内容】

- ・集中的な広報によるPRの強化
 鉄道・バスなどの交通広告、苗木配布、クラフト教室、
 ポスター掲示、市民広間での企画展示、
 各種パンフレット・チラシの発行など
- ・みどりアップ月間のコアイベントの実施
 農と緑のふれあい祭り
- ・イベントによるPR
 よこはま森の楽校、よこはま食と農の祭典 2017 等



【図】みどりアップ月間ポスター

<主なイベント実績>

日付	イベント名	内容	開催場所
9月22日(土)～ 10月22日(日)	里山ガーデン秋の大花壇	里山ガーデンの大花壇の公開にあわせて、パネル展示やワークショップの開催。	里山ガーデン
10月21日(土)	みどりアップ健康ウォーキング in 泉区	植物などの自然観察をしながら、市内の豊かな自然を楽しむウォーキング。	下飯田駅(スタート)～ 俣野別邸庭園(ゴール)
11月3日(金・祝)	馬 車 道 ま つ り 木のマイスプーンづくり教室	間伐材でマイスプーンづくり。	馬車道商店街
11月3日(金・祝)	農と緑のふれあい祭り	野菜の収穫体験や農畜産物の販売、自然素材を利用した工作教室などを実施。	環境活動支援センター、 横浜市児童遊園地、こども 植物園
11月18日(土)・ 19日(日)	よこはま食と農の祭典 2017	新鮮でおいしい横浜野菜や加工品の販売、市内産の花や植木の展示などを実施	北仲通北第二公園 他
11月19日(日)	よこはま森の楽校 ～楽しいこと森たくさん！～	大学生が主体となって企画し、森の恵みを生かしたクラフトづくりやワークショップを開催。	クイーンズサークル
10月1日(土)～ 11月30日(水)	ウェルカムセンター5館回遊スタンプラリー	市内5か所のウェルカムセンターで、10～11月のみどりアップ月間に合わせてスタンプラリーを開催	・寺家ふるさと村四季の家 ・新治里山公園 にはる里山交流センター ・環境活動支援センター ・舞岡ふるさと村 虹の家 ・横浜自然観察の森 自然観察センター



【写真】農と緑のふれあい祭り



【写真】よこはま森の楽校



【写真】みどりアップ健康ウォーキング

■ 交通広告を活用した広報

特に若年層を中心により幅広い層に取組をPRするため、みどりアップ月間に合わせ9月～11月にかけて集中的に交通広告を活用した広報を実施しました。

<掲出実績>

市営地下鉄

- ・ブルーライン・グリーンラインアドトレイン貸切車内ポスター
(平成29年10月17日～10月30日)
- ・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア(平成29年10月18日～10月31日)
- ・ブルーラインLED広告(平成29年10月10日～11月30日)
- ・ブルーライン ブルービジョン及びグリーンライン グリーンビジョン映像放映
(平成29年10月10日～11月30日)

市営バス

- ・バス車内ポスター(窓上広告・全車)(平成29年10月10日～11月30日)

相模鉄道

- ・中吊りポスター(平成29年10月8日～10月25日)
- ・駅貼りポスター(平成29年10月8日～10月25日)

京浜急行線

- ・窓上ポスター(平成29年11月1日～11月30日)

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター(平成29年10月16日～11月19日)

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター(平成29年10月23日～11月17日)



【写真】市営地下鉄車内ビジョン



【写真】はまりん号貸切車内ポスター



【写真】ホームドア広告(横浜駅)

■ 『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の実施

実施した広報手法の検証、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を毎年実施しています。29年度は、「横浜の緑に関する市民意識調査」の中で計画や税の認知度、広報手法について調査を実施しました。

(1) 調査の概要

調査の対象：市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）

実施期間：平成 29 年 7 月 6 日（木）から 7 月 21 日（金）

回収数等：1,675 票（回収率 33.5%）

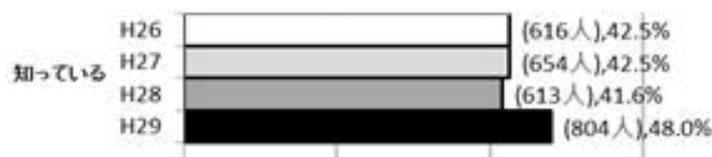
設 問：広報に関する質問項目は以下の 3 問

「横浜みどりアップ計画を知っているか」、「横浜みどり税を知っているか」、
 「何で知ったか」

(2) 主な調査結果（平成 26～29 年度の 4 年間）

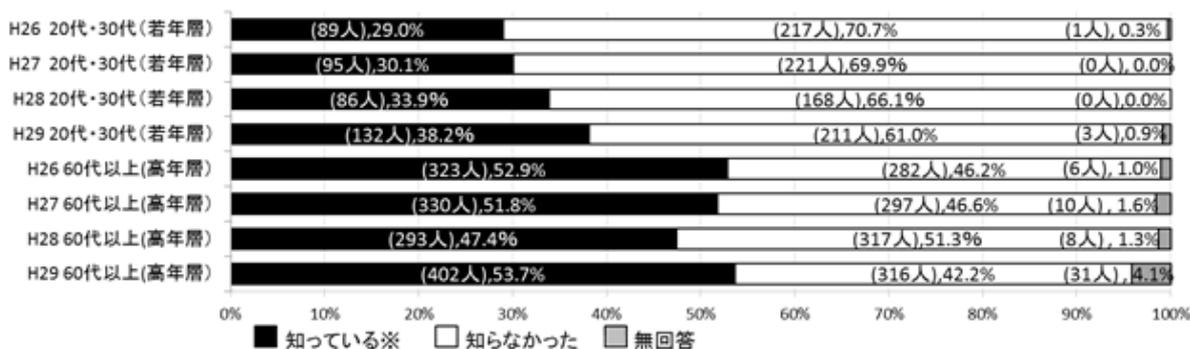
①. 「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

計画を知っている割合は約半数で推移。



②年代別の傾向

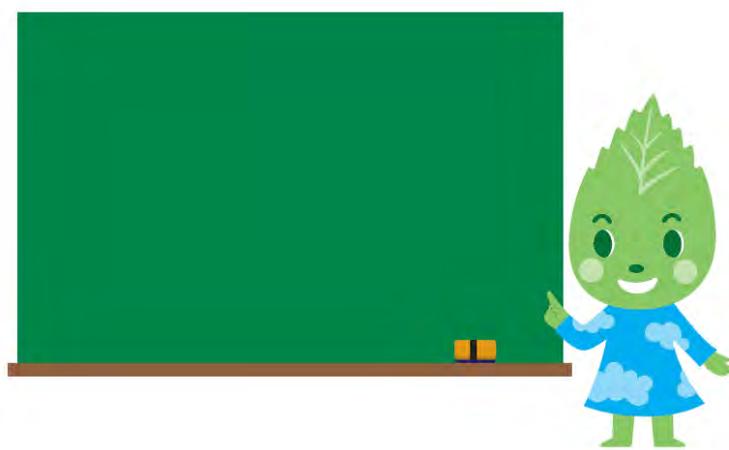
知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。



※「知っている」は、「取り組み内容を知っている」、「あることを知っている」、
 「名称を見たことや聞いたことがある」の合計

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー エ 効果的な広報の展開



(4) 4か年の事業・取組の実績一覧(実績累計)

施策方針/事業・取組		単位	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	実績累計 (4か年)	5か年 目標	
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む										
施策1 樹林地の確実な保全の推進										
事業①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り										
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	緑地保全制度による新規指定面積	ha	101.7	102.5	62.4	61.8	-	328.4	500
		買取面積	ha	18.2	24.1	24.7	21.5	-	88.5	108
施策2：良好な森を育成する取組の推進										
事業②生物多様性・安全性に配慮した森づくり										
2	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	ガイドライン等を活用した維持管理	-	推進	推進	推進	推進	-	-	推進
		(樹林地)	か所	109	121	131	128	-	489	-
		(公園)	か所	11	14	18	29	-	72	-
		保全管理計画の策定：(樹林地)	か所	3	3	2	4	-	12	15
	：(公園)	か所	5	3	4	1	-	13	10	
3	指定された樹林地における維持管理の支援	樹林地維持管理助成	件	132	103	83	87	-	405	650
4	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	法面の整備	か所	1 (施工中)	3 (整備) 2 (施工中)	5 (整備)	4 (整備)	-	12 (整備)	10
5	間伐材の有効利用	チップの貸出し	回	20	11	8	7	-	46	推進
事業③森を育む人材の育成										
6	森づくりを担う人材の育成	森づくり活動団体(個人)の育成：研修の実施	回	16	14	11	12	-	53	推進
		森づくりボランティアへの情報発信、広報、PRの充実：ニュースレターの発行	回	4	4	4	3	-	15	推進
7	森づくり活動団体への支援	(樹林地)	団体	22	23	34	29	-	108	延べ50
		(公園)	団体	9	9	10	8	-	36	延べ50
施策3：森と市民をつなげる取組の推進										
事業④市民が森に関わるきっかけづくり										
8	森の楽しみづくり	イベント実施及び広報活動：イベント等の実施	回	107	132	106	124	-	469	180
9	森に関する情報発信	市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成	地域	3	2	2	1	-	8	推進
		ウェルカムセンター(5館)の運営	-	推進	推進	推進	推進	-	-	推進

3 事業・取組の実績と評価・検証

(4) 4か年の事業・取組の実績一覧（実績累計）

施策方針/事業・取組		単位	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	実績累計 (4か年)	5か年 目標	
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる										
施策1 農に親しむ取組の推進										
事業①良好な農景観の保全										
10	水田の保全	水田保全承認面積	ha	119.7	120.1	120.8	119.8	-	119.8	125
		水源確保施設整備	か所	1	1	2	3	-	7	10
11	特定農業用施設保全契約の締結	契約の締結	件	12	14	14	8	-	48	制度運用
			m2	1,348	2,065	1,640	1,011	-	6,064	
12	農景観を良好に維持する取組の支援	良好に維持されている農地の面積	ha	704.3	718.0	723.0	675.0	-	675.0	680
		田園景観保全水路整備	地区	1	2	3	0	-	6	5
		共同利用設備の整備	件	2	1	2	9	-	14	25
13	多様な主体による農地の利用促進	長期貸付開始農地	ha	4.1	10.6	16.6	16.3	-	47.6	80
		(累計貸付農地)	ha	66.4	77.0	93.6	109.9	-	109.9	
事業②農とふれあう場づくり										
14	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	ha	5.7	4.6	5.6	3.4	-	19.2	25.8
		収穫体験農園の開設支援	ha	1.5	1.0	2.5	1.7	-	6.6	12.5
		市民農園の開設支援	ha	2.8	2.2	2.1	1.4	-	8.5	6.0
		農園付公園の整備	ha	1.4	1.4	1.0	0.3	-	4.1	7.3
15	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	農体験教室などの実施	回	94	89	87	86	-	356	500
		めぐりツアーの開催	回	3	3	4	5	-	15	20
		農ある地域づくり協定実施件数	件	-	2	1	0	-	3	4
		農体験講座	回	5	5	5	5	-	20	25
施策2 地産地消の推進										
事業③身近に感じる地産地消の推進										
16	地産地消にふれる機会の拡大	直売所等の支援	件	4	11	10	14	-	39	52
		青空市運営支援	件	4	5	5	3	-	17	25
		緑化用植物の生産・配布	本	27,533	26,108	26,560	26,856	-	107,057	125,000
		情報発信・PR活動	-	推進	推進	推進	推進	-	推進	推進
17	地産地消を広げる人材の育成	はまふうどコンシェルジュの活動支援	件	14	22	27	23	-	86	100
		フォーラムの開催	回	1	1	1	1	-	4	5
事業④市民や企業と連携した地産地消の展開										
18	市民や企業等との連携	企業等との連携	件	5	8	12	12	-	37	50
		ビジネス創出支援	件	推進	5	5	5	-	15	25
		学校給食での市内産農産物の利用促進	-	推進	推進	推進	推進	-	推進	推進

3 事業・取組の実績と評価・検証
 (4) 4か年の事業・取組の実績一覧(実績累計)

施策方針/事業・取組		単位	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	実績累計 (4か年)	5か年 目標	
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる										
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進										
事業①民有地での緑の創出										
19	民有地における緑化の助成	緑化の助成	件	5	5	7	3	-	20	65
20	建築物緑化保全契約の締結	緑地保全契約締結	件	5	7	4	0	-	16	制度運用
			ha	約2.4	約1.4	約5.9	0	-	約9.7	
21	名木古木の保存	新規指定	本	19	17	9	33	-	78	推進
		維持管理の助成	本	51	47	43	62	-	203	
22	人生記念樹の配布	苗木の配布	本	7,752	7,865	7,476	7,343	-	30,436	40,000
事業②公共施設・公有地での緑の創出										
23	公共施設・公有地での緑の創出・管理	緑の創出	か所	16	22	18	19	-	75	58
		創出した緑の維持管理	件	95	69	70	77	-	311	推進
24	公有地化によるシンボリックな緑の創出	事業推進	か所	1 (事業推進)	1 (事業推進)	4 (事業推進)	1 (創出) 4 (事業推進)	-	1 (創出) 4 (事業推進)	5
25	いきいきとした街路樹づくり	18区で推進	- (路線)	推進 (160)	推進 (206)	推進 (325)	推進 (559)	-	推進	18区で推進
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進										
事業③市民協働による緑のまちづくり										
26	地域緑のまちづくり	地域緑化推進事業	地区	22	26	29	25	-	42	46
		(新規地区)	地区	6	4	9	7	-	26	
		(継続地区)	地区	16	22	20	18	-	16	
事業④子どもを育む空間での緑の創出										
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	緑の創出	か所	50	32	36	34	-	152	100
		芝生等の維持管理	-	推進	推進	推進	推進	-	推進	推進
事業⑤緑や花による魅力・賑わいの創出										
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	都心臨海部の緑花	か所	6	4	12	1	-	23	推進
		緑化の維持管理	か所	3	4	8	13	-	28	推進
効果的な広報の展開										
事業①市民の理解を広げる広報の展開										
29	計画の周知や実績報告	計画の目的、内容及び進捗状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進	-	推進	推進	推進	推進	-	推進	推進

3 事業・取組の実績と評価・検証
(4) 4か年の事業・取組の実績一覧(実績累計)



(5) 4か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）

【事業費欄の見方】
 上段：事業費
 下段：うち横浜みどり税

※1：平成30年4月30日時点の数値

（単位：百万円）

施策方針/事業・取組	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算見込額 ※1	平成30年度	累計 (4か年)	5か年 事業費
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む							
施策1 樹林地の確実な保全の推進							
事業①							
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	5,878 677	6,390 1,151	6,250 913	5,750 948	- -	24,270 3,689	32,494 3,556
1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	5,878 677	6,390 1,151	6,250 913	5,750 948	- -	24,270 3,689	32,494 3,556
施策2：良好な森を育成する取組の推進							
事業②							
生物多様性・安全性に配慮した森づくり	554 412	624 427	672 533	721 585	- -	2,570 1,957	3,745 2,963
2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成	392 251	431 281	478 340	495 360	- -	1,797 1,232	2,100 1,323
3 指定された樹林地における維持管理の支援	89 89	76 76	65 65	64 64	- -	294 294	600 600
4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	68 68	114 68	125 125	158 158	- -	465 420	1,000 1,000
5 間伐材の有効利用	5 4	3 2	4 3	3 2	- -	14 11	45 40
事業③							
森を育む人材の育成	12 12	12 12	13 13	10 10	- -	47 47	69 69
6 森づくりを担う人材の育成	9 9	6 6	6 6	5 5	- -	26 26	41 41
7 森づくり活動団体への支援	3 3	6 6	7 7	5 5	- -	21 21	28 28
施策3：森と市民をつなげる取組の推進							
事業④							
市民が森に関わるきっかけづくり	54 17	59 21	57 18	59 20	- -	229 76	330 130
8 森の楽しみづくり	14 14	17 17	16 16	17 17	- -	64 64	100 100
9 森に関する情報発信	40 3	42 3	41 2	42 4	- -	165 12	230 30
取組の柱1 合計	6,498 1,118	7,085 1,611	6,992 1,476	6,466 1,563	- -	27,115 5,769	36,639 6,719

※ 端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(5) 4か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）

【事業費欄の見方】

上段：事業費

下段：うち横浜みどり税

※1：平成30年4月30日時点の数値

（単位：百万円）

施策方針/事業・取組	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算見込額 ※1	平成30年度	累計 (4か年)	5か年 事業費
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる							
施策1 農に親しむ取組の推進							
事業① 良好な農景観の保全	147 75	164 83	186 78	203 82	- -	699 318	1,087 560
10 水田の保全	49 35	36 34	58 33	67 33	- -	210 135	343 183
11 特定農業用施設保 全契約の締結	1 0	1 0	1 0	1 0	- -	3 0	5 -
12 農景観を良好に維 持する取組の支援	75 17	96 17	96 15	107 21	- -	373 70	562 200
13 多様な主体による 農地の利用促進	23 23	31 31	31 30	28 28	- -	113 112	177 177
事業② 農とふれあう場づくり	750 354	613 65	704 227	281 41	- -	2,348 688	2,576 1,101
14 様々な市民ニーズ に合わせた農園の 開設	739 354	602 65	695 227	270 41	- -	2,306 688	2,514 1,101
15 市民が農を楽しみ 支援する取組の推 進	11 0	11 0	9 0	10 0	- -	41 0	62 -
施策2 地産地消の推進							
事業③ 身近に感じる地産地消 の推進	28 0	36 0	34 0	39 0	- -	138 0	257 -
16 地産地消にふれる 機会の拡大	28 0	36 0	34 0	39 0	- -	138 0	257 -
事業④ 市民や企業と連携した 地産地消の展開	3 0	7 0	13 0	16 0	- -	39 0	65 -
17 地産地消を広げる 人材の育成	2 0	3 0	3 0	2 0	- -	9 0	22 -
18 市民や企業等との 連携	1 0	4 0	11 0	15 0	- -	30 0	43 -
取組の柱2 合計	928 429	820 148	937 305	539 124	- -	3,224 1,005	3,985 1,661

※ 各端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

3 事業・取組の実績と評価・検証
 (5) 4か年の事業・取組の実績一覧(事業費累計)

【事業費欄の見方】
 上段：事業費
 下段：うち横浜みどり税

※1：平成30年4月30日時点の数値

(単位：百万円)

施策方針/事業・取組	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算見込額 ※1	平成30年度	累計 (4か年)	5か年 事業費
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる							
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進							
事業① 民有地での緑の創出	31 18	28 15	25 12	28 19	- -	112 65	306 245
19 民有地における緑化の助成	2 0	2 1	2 0	4 4	- -	10 5	148 123
20 建築物緑化保全契約の締結	0 0	0 0	0 0	0 0	- -	0 0	- -
21 名木古木の保存	19 16	14 11	11 9	14 11	- -	58 47	109 100
22 人生記念樹の配布	11 3	12 4	12 4	9 4	- -	44 14	50 22
事業② 公共施設・公有地での緑の創出	776 283	691 491	1,008 367	899 342	- -	3,374 1,483	4,465 1,919
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理	213 0	413 213	286 52	195 0	- -	1,107 265	1,370 150
24 公有地化によるシンボリックな緑の創出	301 21	1 1	445 38	432 0	- -	1,179 130	1,650 324
25 いきいきとした街路樹づくり	262 262	277 277	277 277	272 272	- -	1,088 1,088	1,445 1,445
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進							
事業③ 市民協働による緑のまちづくり	196 196	151 151	165 165	180 180	- -	692 692	931 931
26 地域緑のまちづくり	196 196	151 151	165 165	180 180	- -	692 692	931 931
事業④ 子どもを育む空間での緑の創出	70 10	64 9	57 11	60 4	- -	251 34	463 75
27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	70 10	64 9	57 11	60 4	- -	251 34	463 75
事業⑤ 緑や花による魅力・賑わいの創出	173 146	519 143	513 483	279 251	- -	1,484 1,023	1,620 1,470
28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり	173 146	519 143	513 483	279 251	- -	1,484 1,023	1,620 1,470
取組の柱3 合計	1,247 654	1,454 809	1,768 1,038	1,445 796	- -	5,914 3,297	7,784 4,639

※ 各端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(5) 4か年の事業・取組の実績一覧（事業費累計）

【事業費欄の見方】
 上段：事業費
 下段：うち横浜みどり税

※1：平成30年4月30日時点の数値

（単位：百万円）

施策方針/事業・取組	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算見込額 ※1	平成30年度	累計 (4か年)	5か年 事業費
効果的な広報の展開							
事業① 市民の理解を広げる広報の展開	16 -	17 -	16 -	15 -	- -	64 -	80 -
29 計画の周知や実績報告	16 -	17 -	16 -	15 -	- -	64 -	80 -
広報の展開 合計	16 -	17 -	16 -	15 -	- -	64 -	80 -

横浜みどりアップ計画 事業費総計							
（単位：百万円）							
平成26年度 決算額	平成27年度 決算額	平成28年度 決算額	平成29年度 決算見込額 ※1	平成30年度	累計 (4か年)	5か年 事業費	
8,689	9,376	9,712	8,540	-	36,317	48,488	
2,200	2,569	2,819	2,483	-	10,071	13,019	

※端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

(6) 平成29年度の事業・取組の実績一覧

※ 平成29年度決算見込額：平成30年4月末現在の数値

取組 番号	施策方針/事業・取組	平成29年度 決算見込額※ [百万円]		平成29年度 事業目標	平成29年度 事業実績	実績の 掲載ページ の 詳細	
		総額	横浜 みどり税 充当額				
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む							
施策1 樹林地の確実な保全の推進							
事業①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り							
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	5,750	(948)	緑地保全制度による 新規指定面積：100ha 買取り見込面積：22.0ha	新規指定面積： 61.8ha 買取り面積：21.5ha	3-5	
施策2：良好な森を育成する取組の推進							
事業②生物多様性・安全性に配慮した森づくり							
2	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	721	(585)	ガイドライン等を活用した維持管理：推進 (対象：市民の森、ふれあいの樹林地等、まとまった樹林地のある公園)	ガイドライン等を活用した維持管理 (樹林地) 128か所 (公園) 29か所	3-11	
				保安全管理計画の策定： (樹林地) 3か所 (公園) 1か所	保安全管理計画の策定： (樹林地) 4か所 (公園) 1か所		
3	指定された樹林地における維持管理の支援			樹林地維持管理助成： 130件	樹林地維持管理助成： 87件		3-14
4	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上			法面の整備：4か所	法面の整備：4か所		3-16
5	間伐材の有効利用			チップターの貸出し：推進	チップターの貸出し： 7回		3-18

3 事業・取組の実績と評価・検証

(6) 平成29年度の事業・取組の実績一覧

取組番号	施策方針/事業・取組	平成29年度 決算見込額※ [百万円]		平成29年度 事業目標	平成29年度 事業実績	実績の 掲載ページ 詳細
		総額	横浜 みどり税 充当額			
事業③森を育む人材の育成						
6	森づくりを担う人材の育成	10	(10)	森づくり活動団体（個人）の育成等：推進 森づくりボランティアへの情報発信、広報・PRの充実：推進	研修の実施：12回 森づくりボランティア等へニュースレターを発行：3回	3-21
7	森づくり活動団体への支援			森づくり活動団体への支援 (樹林地)：延べ10団体 (公園)：延べ10団体	森づくり活動団体への支援 (樹林地)：延べ29団体 (公園)：延べ8団体	
施策3：森と市民とをつなげる取組の推進						
事業④市民が森に関わるきっかけづくり						
8	森の楽しみづくり	59	(20)	イベント実施及び広報活動 イベント等の実施：36回	イベント実施及び広報活動 イベント等の実施：124回	3-28
9	森に関する情報発信			市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成：推進 ウェルカムセンター（5館）の運営：推進	市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成：1地域 ウェルカムセンター（5館）の運営：推進	



※ 平成29年度決算見込額：平成30年4月末現在の数値

取組 番号	施策方針/事業・取組	平成29年度 決算見込額※ [百万円]		平成29年度 事業目標	平成29年度 事業実績	実績の 詳細 掲載ページ
		総額	横浜 みどり税 充当額			
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる						
施策1 農に親しむ取組の推進						
事業①良好な農景観の保全						
10	水田の保全	203	(82)	水田保全承認面積： 総計 123ha	水田保全承認面積： 119.8ha	3-35
				水源確保施設整備： 2か所	水源確保施設整備： 3か所	
11	特定農業用施設保全契約の締結			制度運用	契約の締結： 8件	3-38
12	農景観を良好に維持する取組の支援			良好に維持されている農地の面積：723ha	良好に維持されている農地の面積：675.0ha	3-40
		田園景観保全水路整備： 1地区	田園景観保全水路整備： 0地区			
		共同利用設備の整備： 5件	共同利用設備の整備： 9件			
13	多様な主体による農地の利用促進			長期貸付開始農地： 2.0ha（累計81.0ha）	長期貸付開始農地： 16.3ha（累計109.9ha）	3-43
事業②農とふれあう場づくり						
14	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	281	(41)	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設：3.7ha	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設：3.4ha	3-46
				収穫体験農園の開設支援：2.5ha	収穫体験農園の開設支援：1.7ha	
				市民農園の開設支援：1.2ha	市民農園の開設支援：1.4ha	
				農園付公園の整備：事業推進3.2ha	農園付公園の整備：0.3ha（1か所）	
15	市民が農を楽しむ支援する取組の推進			農体験教室などの実施：100回	農体験教室などの実施：86回	3-51
		あぐりツアーの開催：4回	あぐりツアーの開催：5回			
		農ある地域づくり協定：4件	農ある地域づくり協定：0件			
		農体験講座：5回	農体験講座：5回			

3 事業・取組の実績と評価・検証

(6) 平成 29 年度の事業・取組の実績一覧

取組 番号	施策方針/事業・取組	平成 29 年度 決算見込額※ [百万円]		平成 29 年度 事業目標	平成 29 年度 事業実績	実績の 掲載ページ の 詳細
		総額	横浜 みどり税 充当額			
施策 2 地産地消の推進						
事業③身近に感じる地産地消の推進						
16	地産地消にふれる機会 の拡大	39	(-)	直売所等の支援： 15 件	直売所等の支援： 14 件	3-56
				青空市運営支援： 5 件	青空市運営支援： 3 件	
				緑化用植物の生産・配布 ：26,000 本	緑化用植物の生産・配布 ：26,856 本	
				情報発信・PR 活動： 推進	情報発信・PR 活動： 推進	
事業④市民や企業と連携した地産地消の展開						
17	地産地消を広げる人材 の育成	16	(-)	はまふうどコンシェル ジュの活動支援： 20 件	はまふうどコンシェル ジュの活動支援： 23 件	3-60
				フォーラムの開催： 1 回	フォーラムの開催： 1 回	
18	市民や企業等との連携			企業等との連携：15 件	企業等との連携：12 件	3-63
				ビジネス創出支援： 8 件	ビジネス創出支援： 5 件	
				学校給食での市内産農 産物の利用促進：推進	学校給食での市内産農 産物の利用促進：推進	



※ 平成29年度決算見込額：平成30年4月末現在の数値

取組番号	施策方針/事業・取組	平成29年度 決算見込額※ [百万円]		平成29年度 事業目標	平成29年度 事業実績	掲載ページ 実績の詳細
		総額	横浜 みどり税 充当額			
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる						
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進						
事業①民有地での緑の創出事業						
19	民有地における緑化の助成	28	(19)	緑化の助成：13件	緑化の助成：3件	3-69
20	建築物緑化保全契約の締結			制度運用	緑地保全契約締結：0件	3-72
21	名木古木の保存			推進	新規指定：33本 維持管理の助成：62本	3-75
22	人生記念樹の配布			苗木の配布：8,000本	苗木の配布：7,343本	3-77
②公共施設・公有地での緑の創出事業						
23	公共施設・公有地での緑の創出・管理	899	(342)	緑の創出：15か所 創出した緑の維持管理：推進	緑の創出：19か所 創出した緑の維持管理：77件	3-79
24	公有地化によるシンボリックな緑の創出			事業推進：5か所	創出：1か所 事業推進：5か所	3-82
25	いきいきとした街路樹づくり			18区で推進	18区で推進	3-84
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進						
事業③市民協働による緑のまちづくり事業						
26	地域緑のまちづくり	180	(180)	地域緑化推進事業：23地区 (新規5地区、継続18地区)	地域緑化推進事業：25地区 (新規7地区、継続18地区)	3-86
事業④子どもを育む空間での緑の創出事業						
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	60	(4)	緑の創出：20か所 芝生等の維持管理：推進	緑の創出：34か所 芝生等の維持管理：推進	3-90
事業⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業						
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	279	(251)	都心臨海部で推進 緑花の維持管理：推進	都心臨海部の緑花：1か所 緑花の維持管理：13か所	3-93



3 事業・取組の実績と評価・検証

(6) 平成 29 年度の事業・取組の実績一覧

※ 平成 29 年度決算見込額：平成 30 年 4 月末現在の数値

取組 番号	施策方針/事業・取組	平成 29 年度 決算見込額※ [百万円]		平成 29 年度 事業目標	平成 29 年度 事業実績	実績の 掲載ページ 詳細
		総額	横浜 みどり税 充当額			
効果的な広報の展開						
事業①市民の理解を広げる広報の展開						
29	計画の周知や実績報告	15	(-)	広報よこはまの特集 ページの利用 計画、実績概要の作成・ 配付 交通広告や各種メディ アの活用 市の工事等の現場に統 一的な看板等を設置 公共施設などで横断幕 等による PR PR 用動画の制作・配付 マスコットキャラクター の作成・活用	推進	3-96



4 横浜みどりアップ計画市民推進会議

(1) 横浜みどりアップ計画市民推進会議の概要

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の皆さんへの情報提供等をおこなうことを目的として、平成21年に設置し、平成24年からは条例設置の附属機関に位置付けました。これまでに全体会議や専門部会の開催に加え、参加市民を公募した現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価、提案を行ってきました。

みどりアップ計画を推進するうえで、市民推進会議のこのような取組は大きな役割を果たしており、平成26年度からのみどりアップ計画についても、継続して活動しています。

【表】委員名簿（50音順・敬称略、平成30年3月31日時点）

氏名	所属部会	区分	備考
相川 健志	・「農を感じる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
網代 宗四郎	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜市町内会連合会 委員
東 みちよ	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会部会長	公募市民	
池田 信彦	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
池邊 このみ	・「緑をつくる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究科教授
岩本 誠	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
大竹 斎子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
加茂 千津子	・「森を育む」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
清水 靖枝	・「森を育む」施策を検討する部会委員	関係団体	長屋門公園管理運営委員会 事務局長
進士 五十八	・座長	学識経験者	福井県立大学 学長
蔦谷 栄一	・副座長 ・「農を感じる」施策を検討する部会部会長	学識経験者	農的社会デザイン研究所代表
長瀬 里佳	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・広報・見える化部会委員	公募市民	
野路 幸子	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜市中央農業委員会委員
望月 正光	・「森を育む」施策を検討する部会部会長 ・広報・見える化部会委員	学識経験者	関東学院大学 経済学部 教授
靱山 功	・「農を感じる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜農業協同組合 常務理事
若林 史郎	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員	関係団体	横浜商工会議所 常任参与

(2) 平成 29 年度の活動実績

ア 全体会議

全体会議、現地調査、部会での議論をもとに「横浜みどりアップ計画の評価・提案」（横浜みどりアップ計画市民推進会議報告書）について検討しました。

	開催日	主な討議内容
第 26 回会議	平成 29 年 5 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画 3 か年（平成 26 年度～平成 28 年度）の進捗状況について 市民推進会議 平成 28 年度報告書（案）について 市民推進会議 平成 29 年度の取組について
第 27 回会議	平成 30 年 2 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> 横浜みどりアップ計画の進捗状況について 市民推進会議平成 29 年度報告書について

イ 部会

《施策別専門部会》

横浜みどりアップ計画の事業分野ごとに、取組の内容と進捗状況について意見交換を行い、評価・提案について検討しました。

会議	開催日	主な討議内容
第 10 回「森を育む」 施策を検討する部会	平成 30 年 3 月 6 日	・「森を育む」施策の評価・提案について
第 10 回「農を感じる」 施策を検討する部会	平成 30 年 3 月 19 日	・「農を感じる」施策の評価・提案について
第 10 回「緑をつくる」 施策を検討する部会	平成 30 年 3 月 2 日	・「緑をつくる」施策の評価・提案について

《広報・見える化部会》

市民推進会議の広報誌「みどりアップQ」の編集を行いました。

みどりアップ計画の取組を実際に取材し、その課題に着目した内容を「みどりアップQ」に加えました。

市民の視点から、横浜みどりアップ計画と横浜みどり税を市民の皆さまへわかりやすく伝える方法について検討しました。

会議	開催日	主な討議内容
第 33 回	平成 29 年 7 月 20 日	・みどりアップQ 第 10 号について
第 34 回	平成 29 年 9 月 26 日	・みどりアップQ 第 11 号について

会議	開催日	主な討議内容
第 35 回	平成 29 年 12 月 19 日	・みどりアップ Q 第 12 号について
第 36 回	平成 30 年 2 月 27 日	・横浜みどりアップ計画「効果的な広報の展開」の評価・ 提案について ・みどりアップ Q 第 13 号以降のテーマについて

《調査部会》

横浜みどりアップ計画の取組を実感し、現場で活動する方々の声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

会議	開催日	主な討議内容
第 17 回	平成 29 年 11 月 11 日	<p><場所></p> <p>①茅ヶ崎公園（都筑区） ②メゾンふじのき台（都筑区） ③ささぶねのみち、大原みねみち公園（都筑区）</p> <p><内容></p> <p>茅ヶ崎公園や大原みねみち公園の緑道を歩き、良好な森を育成する取組の推進について、愛護会や森づくり活動団体、都筑土木事務所職員から説明を受けた後、都筑区役所で一般参加者と意見交換を行いました。</p>

【写真】現地調査の様子



ウ 広報誌の発行

「みどりアップQ」を3号（平成29年9月、12月、平成30年2月）発行しました。



【図】「みどりアップQ」の表紙

エ 報告書の発行

横浜みどりアップ計画市民推進会議平成29年度報告書を発行します。
（平成30年6月）



【図】報告書の表紙

(3) 評価と提案の概要

※「横浜みどりアップ計画4か年の評価・提案（横浜みどりアップ計画市民推進会議平成29年度報告書）」より抜粋

計画全体として、柱ごとに数多くの取組で着実な推進が図られています。

「取組の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、みどりアップ計画の根幹である樹林地の指定は、目標を達成できていませんが、小面積の指定が多くなった背景なども踏まえ、土地所有者へ丁寧な働きかけに努めていることを評価します。また、民有樹林地の維持管理の支援は、所有者が土地を持ち続けることに大いに役立っていることから、引き続き支援を行うとともに、利用者の声を聴くなど、ニーズに沿った支援内容の検討も必要です。

「取組の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」については、水田の保全奨励など、主要な取組については概ね目標を達成していることを評価します。取組開始から10年目が近づいていますので、引き続き継続していけるよう努めてください。また、特区農園の開設を支援する「市民農園コーディネーター」の活用により、市民が利用しやすい農園の開設や運営の支援をさらに進めていくことを期待します。

「取組の柱3：市民が実感できる緑をつくる」については、民有地における緑化の助成については、目標を下回る助成件数となっています。今後は、美しい緑化の実績写真などを効果的に使いながら、市民や事業者へPRすることが必要ですが、より利用しやすい制度へ見直す時期が来ています。また、都心臨海部の緑花による賑わいづくりでは、市民の皆様の緑や花への関心が高まっていますので、今後もこの事業が、市民の誇りとなり、横浜の魅力の向上に寄与することを期待します。

「効果的な広報の展開」については、広報よこはまの特集ページで、「みどりアップの楽しみ方」という新しい切り口の紹介で効果的な広報に取り組んでいることが見て取れました。引き続き、区ごとの特徴を捉え、わかりやすく、市民の目につく広報を期待します。また、今後は知ってもらっただけではなく、理解してもらい、参加してもらい、参加してもらうことも必要です。これからは、それらのステップを意識した広報に取り組まれることを期待します。

平成30年度はみどりアップ計画の最終年度となります。今までは行政主導型でしたが、これからは、市民や企業、地域等が主体性を持って自発的に緑の保全・創造に取り組んでいく道筋をつけることが大きな課題です。





平成 30 年 6 月発行

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜市中区港町 1-1 電話 045-671-2712 / FAX 045-224-6627

横浜みどりアップ計画(計画期間:平成 26-30 年度)

4か年(平成 26 年度~平成 29 年度)の 事業・取組の評価・検証

別冊 各区の実績



平成 30 年 6 月
横浜市環境創造局





5 各区の実績

4か年の実績を、区ごとにまとめています。

なお、制度検討や、市域全体からひろく参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは、各区の実績には含めていません。

- (1) 鶴見区 5- 2
- (2) 神奈川区 5- 10
- (3) 西区 5- 18
- (4) 中区 5- 24
- (5) 南区 5- 30
- (6) 港南区 5- 36
- (7) 保土ヶ谷区 5- 44
- (8) 旭区 5- 52
- (9) 磯子区 5- 62
- (10) 金沢区 5- 68
- (11) 港北区 5- 76
- (12) 緑区 5- 84
- (13) 青葉区 5- 94
- (14) 都筑区 5-102
- (15) 戸塚区 5-110
- (16) 栄区 5-120
- (17) 泉区 5-128
- (18) 瀬谷区 5-136



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

鶴見区

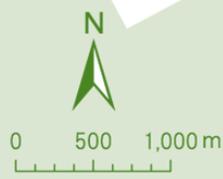
-  緑地保全制度による指定の拡大
3.3ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.5ha
-  地域緑のまちづくり
3 地区



〈凡例〉

 次世代につなぐ森を育む	 特別緑地保全地区
 農を感じる場をつくる	 市民の森・ふれあいの樹林
 実感できる緑をつくる	 公園緑地
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	 主な道路
	 高速道路
	 鉄道・鉄道駅

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。



市民とともに次世代につなぐ森を育む

土地所有者の不測の事態等による土地の買取り



1

特別緑地保全地区／獅子ヶ谷・師岡地区

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



2

二ツ池公園(外来種の駆除)

市民が身近に農を感じる場をつくる

市民農園の開設支援



14

特区農園／獅子ヶ谷二丁目

農園付公園の整備



14

農園付公園／東寺尾一丁目ふれあい公園

市民が実感できる緑をつくる

公共施設・公有地での緑の創出



23

大黒緑地

地域緑のまちづくり



26

北寺尾地区

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

- 特別緑地保全地区：1.6ha
 - [平成26年度] 0.9ha 東寺尾六丁目地区
 - [平成27年度] 0.7ha 馬場五丁目地区、東寺尾六丁目南地区
- 市民の森：0.03ha
 - [平成26年度] 0.03ha 獅子ケ谷市民の森（指定拡大）
- 緑地保存地区：1.4ha
 - [平成26年度] 0.5ha 東寺尾六丁目（2件）
 - [平成27年度] 0.1ha 上末吉四丁目
 - [平成28年度] 0.8ha 駒岡三丁目、馬場二丁目
- 寄附緑地等：0.002ha
 - [平成28年度] 0.002ha 獅子ケ谷三丁目
- 地区計画緑地：0.3ha
 - [平成27年度] 0.3ha 鶴見一丁目地区計画

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

- 特別緑地保全地区：計4地区
 - [平成26年度] 1地区 獅子ケ谷・師岡地区
 - [平成27年度] 2地区 獅子ケ谷・師岡地区、東寺尾六丁目地区
 - [平成28年度] 3地区 駒岡・梶山地区、東寺尾六丁目南地区、獅子ケ谷・師岡地区
 - [平成29年度] 1地区 獅子ケ谷・師岡地区
- 市民の森・ふれあいの樹林：計2地区
 - [平成26年度] 2地区 獅子ケ谷市民の森、東寺尾ふれあいの樹林
 - [平成27年度] 1地区 東寺尾ふれあいの樹林
 - [平成29年度] 1地区 獅子ケ谷市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ23か所

[平成26年度] 5か所 獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

[平成27年度] 6か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

[平成28年度] 6か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

[平成29年度] 6か所 駒岡・梶山特別緑地保全地区、獅子ケ谷・師岡特別緑地保全地区、駒岡中郷市民の森、獅子ケ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林

・ 公 園：のべ2か所

[平成28年度] 1か所 ニツ池公園

[平成29年度] 1か所 ニツ池公園

■ 保全管理計画の策定

・ 樹林地：1か所

[平成28年度] 1か所 東寺尾ふれあいの樹林

3 指定された樹林地における維持管理の支援

・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：11件

[平成26年度] 3件 駒岡一丁目、馬場一丁目、馬場四丁目

[平成27年度] 4件 上末吉一丁目、北寺尾五丁目、馬場五丁目、東寺尾三丁目

[平成28年度] 2件 上の宮二丁目、駒岡三丁目

[平成29年度] 2件 駒岡三丁目、東寺尾二丁目

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

・ 法面の整備：のべ2か所

[平成27年度] 1か所 獅子ケ谷市民の森

[平成28年度] 1か所 獅子ケ谷市民の森

市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

11 特定農業用施設保全契約の締結
• 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成26年度] 1件 北寺尾七丁目
12 農景観を良好に維持する取組の推進
• 共同利用設備の整備：1件 [平成29年度] 1件 北寺尾五丁目
13 多様な主体による農地の利用促進
• 6年以上の長期貸付を開始した農地：0.2ha [平成26年度] 0.2ha 獅子ケ谷三丁目
14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
• 市民農園の開設支援：0.15ha [平成29年度] 0.15ha 獅子ケ谷二丁目、獅子ケ谷三丁目
• 農園付公園の整備：1か所（0.3ha） [平成26年度] 1か所（0.3ha） 東寺尾一丁目ふれあい公園

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：6件 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 1件 鶴見中央二丁目 [平成27年度] 2件 駒岡四丁目、東寺尾北台 [平成28年度] 1件 北寺尾四丁目 [平成29年度] 2件 大黒町、鶴見中央四丁目
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：4本 <ul style="list-style-type: none"> [平成29年度] 4本 岸谷一丁目（4本） 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：10本 <ul style="list-style-type: none"> [平成27年度] 4本 仲通（3本）、市場上町 [平成29年度] 6本 岸谷一丁目、北寺尾二丁目（5本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,545本 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 447本 [平成27年度] 395本 [平成28年度] 351本 [平成29年度] 352本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：2か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 1か所 鶴見区庁舎 [平成29年度] 1か所 大黒西緑地 創出した緑の維持管理：1か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成28年度] 1か所 北部第二水再生センター
24 公有地化によるシンボリックな緑の創出
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：1か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成29年度] 1か所 下野谷町三丁目公園（鶴見工業高校跡地）

25 いきいきとした街路樹づくり

- 街路樹の計画的な剪定：のべ56路線

[平成26年度] 9路線

[平成27年度] 10路線

[平成28年度] 11路線

[平成29年度] 26路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：3地区

[平成24-28年度] 2地区 生麦・新子安地区（鶴見区・神奈川区）、末広地区

[平成25-29年度] 1地区 北寺尾地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：16か所

[平成26年度] 4か所 わおわお東寺尾保育園、SEA KID保育園、馬場保育園、潮田小学校

[平成27年度] 2か所 聖ヨゼフ学園小学校、トイボックス江ヶ崎園

[平成28年度] 5か所 寛政中学校、下野谷小学校、鶴見小学校、豊岡小学校、平安小学校

[平成29年度] 5か所 入船小学校、下野谷小学校、寺尾小学校、豊岡小学校、平安小学校

- 芝生等の維持管理：のべ11か所

[平成26年度] 4か所 芦穂崎保育園、潮田保育園、潮田小学校、新鶴見小学校

[平成27年度] 2か所 潮田小学校、新鶴見小学校

[平成28年度] 2か所 潮田小学校、新鶴見小学校

[平成29年度] 3か所 入船小学校、潮田小学校、新鶴見小学校

5 各区の実績
(1) 鶴見区



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

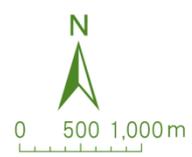
神奈川区

-  緑地保全制度による指定の拡大
11.2ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.6ha
-  地域緑のまちづくり
2 地区



<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次世代につなぐ森を育む ■ 農を感じる場をつくる ■ 実感できる緑をつくる <p>(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別緑地保全地区 ■ 市民の森・ふれあいの樹林 ■ 公園緑地 — 主な道路 — 高速道路 ○-○ 鉄道・鉄道駅 - - - 新幹線 ■ 農業専用地区 /// 市街化調整区域
--	--

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。



 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



特別緑地保存地区／菅田町赤坂地区

緑地保全制度による新規指定



特別緑地保存地区／羽沢町相原地区

 市民が身近に農を感じる場をつくる



特定農業用施設保全契約の締結



羽沢町

多様な主体による農地の利用促進



菅田町

 市民が実感できる緑をつくる



地域緑のまちづくり



菅田地区

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出



ビオトープ／青木小学校

4か年事業・取組実績詳細

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■緑地保全制度による新規指定等

・特別緑地保全地区：7.1ha

[平成26年度] 1.0ha 片倉三丁目地区

[平成27年度] 4.3ha 三枚町牛道根地区（指定拡大）、三枚町矢崎地区、菅田町出戸谷地区（指定拡大）、菅田町堀上地区（指定拡大）、菅田町南出戸地区、羽沢綿打地区

[平成28年度] 0.4ha 羽沢南三丁目地区

[平成29年度] 1.4ha 菅田町赤坂地区、羽沢町相原地区、羽沢南四丁目地区

・緑地保存地区：0.4ha

[平成26年度] 0.4ha 三枚町、西寺尾三丁目

・源流の森保存地区：3.7ha

[平成26年度] 1.4ha 三枚町、菅田町

[平成27年度] 0.8ha 菅田町、羽沢町

[平成28年度] 0.3ha 菅田町

[平成29年度] 1.2ha 三枚町、菅田町（2件）

・寄附緑地等：0.005ha

[平成27年度] 0.005ha 菅田町

■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・特別緑地保全地区：計5地区

[平成26年度] 2地区 三枚町地区、菅田町出戸谷地区

[平成28年度] 2地区 菅田町南出戸地区、菅田町出戸谷地区

[平成29年度] 2地区 神大寺二丁目地区、三枚町矢崎地区

<良好な森を育成する取組の推進>

<p>2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成</p>
<p>■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹林地：のべ10か所 <p>[平成26年度] 2地区 豊顕寺市民の森、白幡西緑地</p> <p>[平成27年度] 2地区 豊顕寺市民の森、白幡西緑地</p> <p>[平成28年度] 3地区 豊顕寺市民の森、三枚町牛道根特別緑地保全地区、白幡西緑地</p> <p>[平成29年度] 3地区 豊顕寺市民の森、三枚町牛道根特別緑地保全地区、白幡西緑地</p>
<p>3 指定された樹林地における維持管理の支援</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：12件 <p>[平成26年度] 1件 羽沢町</p> <p>[平成27年度] 7件 片倉三丁目、神大寺二丁目、神大寺四丁目、菅田町（2件）三ツ沢下町、西寺尾三丁目</p> <p>[平成28年度] 2件 片倉三丁目、菅田町</p> <p>[平成29年度] 2件 菅田町、羽沢町</p>
<p>4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法面の整備：1か所 <p>[平成29年度] 1か所 白幡西緑地</p>

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none">水田保全承認面積：0.1ha [実施箇所] 菅田町
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none">農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：4件 [平成26年度] 1件 菅田町 [平成27年度] 1件 菅田町 [平成28年度] 1件 羽沢町 [平成29年度] 1件 羽沢町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none">地域の農地管理を行う団体への支援：32.1ha（1団体） [実施箇所] 神奈川農地整備組合共同利用設備の整備：1件 [平成29年度] 1件 三枚町
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none">6年以上の長期貸付を開始した農地：2.5ha [平成26年度] 0.2ha 羽沢町 [平成28年度] 1.3ha 神大寺四丁目、菅田町 [平成29年度] 1.0ha 神大寺四丁目、菅田町、羽沢町
14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
<ul style="list-style-type: none">収穫体験農園の開設支援：0.08 ha [平成27年度] 0.08ha 菅田町市民農園の開設支援：0.49ha [平成26年度] 0.13ha 菅田町 [平成28年度] 0.36ha 神大寺四丁目（2件）農園付公園の整備：1か所（0.4ha） [平成28年度] 1か所（0.4ha） 菅田町赤坂公園

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大
<ul style="list-style-type: none"> 直売所等の支援：3件 [平成26年度] 2件 羽沢町（2件） [平成28年度] 1件 菅田町

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：2件 [平成27年度] 1件 神奈川二丁目 [平成28年度] 1件 三ツ沢東町
20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成26年度] 1件 鶴屋町
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：1本 [平成27年度] 1本 白楽 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：10本 [平成26年度] 4本 高島台（2本）、松見町（2本） [平成27年度] 2本 白楽、松見町 [平成28年度] 1本 東神奈川二丁目 [平成29年度] 3本 松見町、三ツ沢下町
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,321本 [平成26年度] 347本 [平成27年度] 346本 [平成28年度] 305本 [平成29年度] 323本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

• 緑の創出：4か所

[平成26年度] 1か所 三ツ沢せせらぎ緑道

[平成27年度] 3か所 松見町2丁目子どもの遊び場、砂田川親水護岸、三ツ沢せせらぎ緑道

• 創出した緑の維持管理：のべ18か所

[平成26年度] 4か所 神奈川区庁舎、神奈川土木事務所、砂田川花壇、三ツ沢公園青少年野外活動センター

[平成27年度] 4か所 片倉消防出張所、神奈川区庁舎、神奈川土木事務所、砂田川花壇

[平成28年度] 4か所 片倉消防出張所、神奈川区庁舎、神奈川土木事務所、砂田川花壇

[平成29年度] 6か所 片倉消防出張所、神奈川区庁舎（3件）、神奈川土木事務所、砂田川花壇

24 公有地化によるシンボリックな緑の創出

• 緑の創出：1か所

[実施箇所] 1か所 国家公務員宿舎跡地（六角橋四丁目）

25 いきいきとした街路樹づくり

• 街路樹の計画的なせん定：のべ79路線

[平成26年度] 8路線

[平成27年度] 12路線

[平成28年度] 12路線

[平成29年度] 47路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区
[平成24-28年度] 1地区 生麦・新子安地区（鶴見区・神奈川区）
[平成28-30年度] 1地区 菅田地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：13か所
[平成26年度] 2か所 菅田保育園、西寺尾小学校
[平成27年度] 4か所 浦島小学校、幸ヶ谷小学校、捜真小学校、ニューライフ幼稚園
[平成28年度] 4か所 捜真学院ANNEX、菅田保育園、浦島小学校、幸ヶ谷小学校
[平成29年度] 3か所 神大寺保育園、青木小学校、浦島小学校
- 芝生等の維持管理：のべ136か所
[平成26年度] 28か所 池上小学校、幸ヶ谷小学校、白幡小学校、三ツ沢小学校、市立盲特別学校ほか
[平成27年度] 30か所 神大寺保育園、菅田保育園、松見保育園、浦島小学校、大口台小学校ほか
[平成28年度] 49か所 西菅田保育園、青木小学校、大口台小学校ほか
[平成29年度] 29か所 神奈川小学校、子安小学校、西寺尾小学校、南神大寺小学校ほか



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

西区

-  指定された樹林地における維持管理の支援
3件
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.3ha
-  地域緑のまちづくり
3地区





 市民とともに次世代につなぐ森を育む

指定された樹林地における維持管理の支援

3



南軽井沢

 市民が身近に農を感じる場をつくる

青空市運営支援

16



みなとみらい農家朝市／高島中央公園

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出

23



西区庁舎

公共施設・公有地での緑の創出

23



横浜市民ギャラリー

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

27



花壇／南浅間保育園

都心臨海部の緑花による賑わいづくり

28



グランモール公園

4 か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<良好な森を育成する取組の推進>

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：3件
[平成26年度] 2件 南軽井沢（2件）
[平成29年度] 1件 南軽井沢

市民が身近に農を感じる場をつくる



<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

- ・青空市運営支援：4件
[平成26年度] 1件 高島中央公園
[平成27年度] 1件 高島中央公園
[平成28年度] 1件 高島中央公園
[平成29年度] 1件 高島中央公園
- ・情報発信・PR活動：4件
[平成26年度] 1件 クイーンズスクエア横浜（よこはま食と農の祭典2014）
[平成27年度] 1件 クイーンズスクエア横浜（よこはま食と農の祭典2015）
[平成28年度] 1件 グランモール公園（横浜農業の彩典2016）
[平成29年度] 1件 日本丸メモリアルパーク他（よこはま食と農の祭典2017）

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：3件 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 1件 平沼一丁目 [平成27年度] 1件 みなとみらい四丁目 [平成28年度] 1件 みなとみらい四丁目
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：7本 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 1本 久保町 [平成27年度] 1本 西戸部町 [平成28年度] 5本 中央一丁目（5本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：744本 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 210本 [平成27年度] 208本 [平成28年度] 170本 [平成29年度] 156本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：13か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 4か所 西区庁舎、中央図書館、横浜市民ギャラリー、けやき通り（MM3号線） [平成27年度] 5か所 日本丸メモリアルパーク、さくら通り（MM4号線）、霞ヶ丘、中央図書館、横浜美術館 [平成28年度] 4か所 さくら通り（MM4号線）、横浜美術館、クイーンモール橋、はまみらいウォーク 創出した緑の維持管理：のべ14か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 2か所 市長公舎、横浜市民ギャラリー [平成27年度] 4か所 西区庁舎、市長公舎、みなとみらい大橋、横浜市民ギャラリー [平成28年度] 4か所 西区庁舎、市長公舎、中央図書館、横浜市民ギャラリー [平成29年度] 4か所 西区庁舎、市長公舎、中央図書館、横浜市民ギャラリー

24	公有地化によるシンボリックな緑の創出
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：1か所 [実施箇所] 1か所 県職員宿舎跡地（伊勢町） 	
25	いきいきとした街路樹づくり
<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の計画的なせん定：のべ144路線 [平成26年度] 25路線 [平成27年度] 17路線 [平成28年度] 48路線 [平成29年度] 54路線 	

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26	地域緑のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区 [平成24-28年度] 1地区 みなとみらい21中央地区 [平成26-30年度] 1地区 みなとみらい21横浜駅東口・中央地区 	
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：3か所 [平成26年度] 2か所 南浅間保育園、浅間台小学校 [平成29年度] 1か所 南浅間保育園 芝生等の維持管理：のべ10か所 [平成26年度] 2か所 南浅間保育園、稲荷台小学校 [平成27年度] 2か所 南浅間保育園、稲荷台小学校 [平成28年度] 3か所 南浅間保育園、稲荷台小学校、岡野中学校 [平成29年度] 3か所 南浅間保育園、稲荷台小学校、岡野中学校 	
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり
<ul style="list-style-type: none"> 都心臨海部での緑花の推進：1か所 [平成26年度] 1か所 日本丸メモリアルパーク 緑花の維持管理：のべ4か所 [平成26年度] 1か所 グランモール公園 [平成27年度] 1か所 グランモール公園 [平成28年度] 1か所 グランモール公園 [平成29年度] 1か所 グランモール公園 	



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

中区

 緑地保全制度による指定の拡大
1.0ha

 地域緑のまちづくり
7 地区



● 次世代につなぐ森を育む	特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	市民の森・ふれあいの樹林
■ 実感できる緑をつくる	公園緑地
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅
	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



緑地保存地区／本牧町

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



三溪園緑地

 市民が実感できる緑をつくる

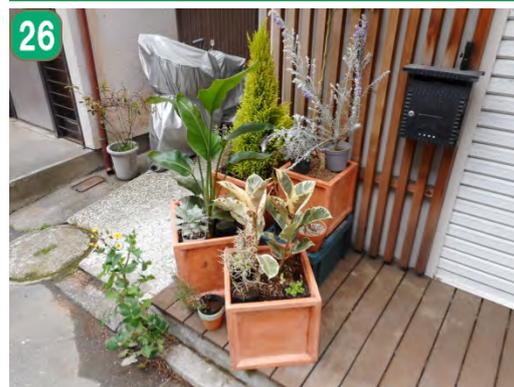


地域緑のまちづくり



関内地区

地域緑のまちづくり



石川町地区

都心臨海部の緑花による賑わいづくり



山手イタリア山庭園

都心臨海部の緑花による賑わいづくり



新港中央広場

4 か年事業・取組実績詳細



市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

- ・ 緑地保存地区：0.5ha

[平成29年度] 0.5ha 池袋、本牧町

- ・ 地区計画緑地：0.2ha

[平成27年度] 0.2ha 山手町西部文教地区計画

- ・ 寄附緑地等：0.3ha

[平成26年度] 0.3ha 元町

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

- ・ 樹林地：のべ16か所

[平成26年度] 4か所 三溪園緑地、加曽台緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

[平成27年度] 4か所 三溪園緑地、加曽台緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

[平成28年度] 4か所 三溪園緑地、加曽台緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

[平成29年度] 4か所 三溪園緑地、加曽台緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- ・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：7件

[平成26年度] 4か所 北方町、本牧荒井、本牧町、本牧満坂

[平成28年度] 3か所 本郷町、本牧大里町、本牧間門

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：1件 [平成28年度] 1件 山手町
20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成26年度] 1件 諏訪町
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：15本 [平成26年度] 2本 竹之丸（2本） [平成27年度] 6本 日本大通（2本）、山手町（4本） [平成28年度] 1本 山手町 [平成29年度] 6本 豆口台、山手町（5本） 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：36本 [平成26年度] 12本 妙香寺台、山手町（7本）山元町（4本） [平成27年度] 10本 仲尾台、山手町（3本）、山元町（6本） [平成28年度] 5本 山元町（5本） [平成29年度] 9本 日本大通、元町（2本）、山手町、山元町五丁目（5本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：692本 [平成26年度] 162本 [平成27年度] 174本 [平成28年度] 178本 [平成29年度] 178本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

• 緑の創出：4か所

[平成26年度] 2か所 市庁舎くすのき広場、関内本牧線

[平成27年度] 1か所 山下公園通り

[平成29年度] 1か所 野毛地区センター

• 創出した緑の維持管理：のべ8か所

[平成26年度] 1か所 市庁舎

[平成27年度] 3か所 市庁舎、関内ホール、中本牧コミュニティハウス

[平成28年度] 2か所 市庁舎、中本牧コミュニティハウス

[平成29年度] 2か所 市庁舎、中本牧コミュニティハウス

24 公有地化によるシンボリックな緑の創出

• 緑の創出：1か所

[実施箇所] 1か所 国家公務員宿舎跡地（山手町）

25 いきいきとした街路樹づくり

• 街路樹の計画的なせん定：のべ143路線

[平成26年度] 12路線

[平成27年度] 19路線

[平成28年度] 31路線

[平成29年度] 81路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>**26 地域緑のまちづくり**

• 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：7地区

[平成23-27年度] 2地区 馬車道地区、山手地区

[平成25-29年度] 1地区 みなとみらい21新港地区、

[平成27-29年度] 1地区 初黄・日ノ出町地区

[平成28-30年度] 3地区 関内地区、石川町地区、日本大通り地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

• 緑の創出：7か所

[平成26年度] 2か所 ポピンスナーサリースクール馬車道、元街小学校

[平成27年度] 1か所 本牧南小学校

[平成28年度] 3か所 聖母幼稚園、錦保育園、打越保育園

[平成29年度] 1か所 竹之丸保育園

• 芝生等の維持管理：のべ14か所

[平成26年度] 2か所 竹之丸保育園、錦保育園

[平成27年度] 4か所 竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校、元街小学校

[平成28年度] 4か所 竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校、元街小学校

[平成29年度] 4か所 竹之丸保育園、錦保育園、間門小学校、本町小学校

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

• 都心臨海部での緑花の推進：22か所

[平成26年度] 6か所 アメリカ山公園、桜木町駅前西口広場、新港中央広場、港の見える丘公園、山下公園、横浜公園

[平成27年度] 4か所 港の見える丘公園、元町公園（西洋館含む）、山下公園、横浜公園

[平成28年度] 11か所 赤レンガパーク、カップヌードルミュージアムパーク、自動車道、象の鼻パーク、東横線跡地（桜木町駅前）、日本大通り、港の見える丘公園、元町公園（西洋館含む）、山下公園、山手イタリア山庭園（西洋館含む）、横浜公園

[平成29年度] 1か所 山手イタリア山庭園

• 緑花の維持管理：のべ24か所

[平成26年度] 2か所 新港中央広場、山下公園

[平成27年度] 3か所 新港中央広場、港の見える丘公園、山下公園

[平成28年度] 7か所 新港中央広場、日本大通り、港の見える丘公園、元町公園（西洋館含む）、山下公園、山下公園通り、横浜公園

[平成29年度] 12か所 赤レンガパーク、カップヌードルミュージアムパーク、自動車道、新港中央広場、象の鼻パーク、日本大通り、山下公園通り、港の見える丘公園、元町公園、山下公園、山手イタリア山庭園、横浜公園



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

南区

 緑地保全制度による指定の拡大
 1.7ha
 地域緑のまちづくり
 2 地区



<凡例> ● 次世代につなぐ森を育む ■ 農を感じる場をつくる ■ 実感できる緑をつくる (凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	■ 特別緑地保全地区 ■ 市民の森・ふれあいの樹林 ■ 公園緑地 — 主な道路 — 高速道路 - - - 鉄道・鉄道駅 ▨ 市街化調整区域
--	---

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定

1



緑地保存地区／蒔田町

指定された樹林地における維持管理の支援

3



別所二丁目

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出

23



蒔田消防署

公共施設・公有地での緑の創出

23



大岡川プロムナード

公共施設・公有地での緑の創出

23



南区庁舎

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

27



園庭芝生／三春台保育園

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 緑地保存地区：0.4ha

[平成26年度] 0.1ha 大岡一丁目

[平成29年度] 0.3ha 蒔田町、南太田一丁目

・ 寄附緑地等：1.3ha

[平成28年度] 0.7ha 中里三丁目地区

[平成29年度] 0.6ha 中里三丁目地区

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区（予定地）：計1地区

[平成28年度] 1地区 中里三丁目地区

[平成29年度] 1地区 中里三丁目地区

<良好な森を育成する取組の推進>

② 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ8か所

[平成26年度] 2か所 大岡特別緑地保全地区、永田東緑地

[平成27年度] 2か所 大岡特別緑地保全地区、永田東緑地

[平成28年度] 2か所 大岡特別緑地保全地区、永田東緑地

[平成29年度] 2か所 大岡特別緑地保全地区、永田東緑地

③ 指定された樹林地における維持管理の支援

・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：6件

[平成26年度] 2件 蒔田町、六ツ川四丁目

[平成27年度] 1件 大岡一丁目

[平成28年度] 2件 永田北二丁目、別所三丁目

[平成29年度] 1件 別所二丁目

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：1件 [平成26年度] 1件 六ツ川二丁目
20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成27年度] 1件 中里三丁目
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：3本 [平成26年度] 2本 三春台（2本） [平成28年度] 1本 六ツ川四丁目 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：9本 [平成26年度] 2本 三春台（2本） [平成27年度] 4本 山王町（3本）、睦町 [平成29年度] 3本 永田北一丁目、三春台、六ツ川四丁目
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：745本 [平成26年度] 196本 [平成27年度] 161本 [平成28年度] 229本 [平成29年度] 159本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

• 緑の創出：3か所

[平成27年度] 2か所 南区庁舎、蒔田消防出張所

[平成29年度] 1か所 大岡川プロムナード

• 創出した緑の維持管理：のべ37か所

[平成26年度] 27か所 南区庁舎、南スポーツセンター、大岡地区センター、清水ヶ丘地域ケアプラザ、蒔田コミュニティハウス、男女共同参画センター横浜南、永田みなみ台こどもログハウス、横浜商業高校、横浜国立大学教育人間科学部附属特別支援学校 ほか

[平成27年度] 2か所 唐沢公園、睦町さくら公園

[平成28年度] 4か所 南区庁舎、唐沢公園、睦町さくら公園、蒔田消防出張所

[平成29年度] 4か所 南区庁舎、唐沢公園、睦町さくら公園、蒔田消防出張所

25 いきいきとした街路樹づくり

• 街路樹の計画的なせん定：のべ43路線

[平成26年度] 13路線

[平成27年度] 7路線

[平成28年度] 13路線

[平成29年度] 10路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区

[平成24-28年度] 1地区 平楽地区

[平成26-28年度] 1地区 六ツ川・永田地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：16か所

[平成26年度] 6か所 井土ヶ谷小学校、別所小学校、南小学校、六ツ川西小学校、南が丘中学校

[平成27年度] 5か所 石川小学校、井土ヶ谷小学校、永田台小学校、藤の木小学校、南太田小学校

[平成28年度] 2か所 くらき永田保育園、大岡小学校

[平成29年度] 3か所 三春台保育園、永田小学校、日枝小学校

- 芝生等の維持管理：のべ136か所

[平成26年度] 46か所 井戸ヶ谷保育園、日枝小学校、南吉田小学校、六ツ川小学校、六ツ川台小学校、永田中学校、藤の木中学校、南中学校ほか

[平成27年度] 30か所 清水ヶ丘保育園、しろばら保育園、石川小学校、井戸ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、共進中学校ほか

[平成28年度] 30か所 永田保育園、永田小学校、永田台小学校、中村小学校、藤の木小学校、南吉田小学校、平楽中学校、南が丘中学校ほか

[平成29年度] 30か所 三春台保育園、別所小学校、蒔田小学校、南太田小学校、南小学校、六ツ川西小学校、蒔田中学校ほか



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

港南区

-  緑地保全制度による指定の拡大
10.3ha
-  水田の保全
0.7ha
-  地域緑のまちづくり
2 地区



 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



緑地保存地区／日野中央二丁目

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



下永谷市民の森

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



野庭町

市民農園の開設支援



特区農園／野庭町

 市民が実感できる緑をつくる



人生記念樹の配布



人生記念樹の配布(港南区庁舎)

公共施設・公有地での緑の創出



港南桜道プロムナード

4か年事業・取組実績詳細

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：4.8ha

[平成26年度] 1.1ha 野庭・上永谷地区

[平成27年度] 3.7ha 野庭町地区

・ 緑地保存地区：0.4ha

[平成26年度] 0.1ha 笹下一丁目、笹下二丁目

[平成27年度] 0.1ha 日野六丁目

[平成29年度] 0.2ha 日野中央二丁目

・ 源流の森保存地区：5.1ha

[平成26年度] 1.5ha 野庭町（6件）

[平成27年度] 0.8ha 野庭町（3件）

[平成28年度] 1.9ha 野庭町（2件）

[平成29年度] 0.9ha 野庭町

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区：計2地区

[平成26年度] 1地区 芹が谷五丁目地区

[平成28年度] 1地区 野庭町地区

[平成29年度] 1地区 野庭町地区

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ11か所

[平成26年度] 2か所 下永谷市民の森、下永谷長町緑地

[平成27年度] 3か所 下永谷市民の森、港南一丁目特別緑地保全地区、下永谷長町緑地

[平成28年度] 3か所 下永谷市民の森、港南一丁目特別緑地保全地区、下永谷長町緑地

[平成29年度] 3か所 下永谷市民の森、港南一丁目特別緑地保全地区、下永谷長町緑地

・ 公園：のべ3か所

[平成27年度] 1か所 港南台中央公園

[平成28年度] 1か所 港南台中央公園

[平成29年度] 1か所 港南台中央公園

■ 保全管理計画の策定

・ 公園：2か所

[平成26年度] 1か所 久良岐公園

[平成27年度] 1か所 港南台中央公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援

・ 緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理の助成：23件

[平成26年度] 10件 上永谷町、上永谷五丁目、港南二丁目（2件）、港南台八丁目、笹下三丁目、笹下五丁目、野庭町、日野二丁目、日野四丁目

[平成27年度] 4件 笹下二丁目、笹下三丁目、野庭町（2件）

[平成28年度] 4件 笹下一丁目、野庭町（2件）、日野中央二丁目

[平成29年度] 5件 港南二丁目、最戸二丁目笹下一丁目、野庭町（2件）、日野中央二丁目

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
• 水田保全承認面積：0.7ha [実施箇所] 野庭町
11 特定農業用施設保全契約の締結
• 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成28年度] 1件 港南台八丁目
13 多様な主体による農地の利用促進
• 6年以上の長期貸付を開始した農地：0.35ha [平成28年度] 0.35ha 野庭町
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
• 市民農園の開設支援：0.15ha [平成28年度] 0.14ha 野庭町（2件） [平成29年度] 0.01ha 野庭町

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：2件 <ul style="list-style-type: none"> [平成28年度] 1件 上永谷五丁目 [平成29年度] 1件 港南六丁目
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：11本 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 3本 上永谷五丁目（2本）、最戸一丁目 [平成27年度] 3本 野庭町（2本）、最戸一丁目 [平成29年度] 5本 上永谷五丁目、港南三丁目（2本）、港南五丁目、最戸一丁目
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,479本 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 382本 [平成27年度] 326本 [平成28年度] 371本 [平成29年度] 400本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

• 緑の創出：9か所

[平成26年度] 1か所 東永谷地区センター

[平成27年度] 3か所 港南台北公園こどもログハウス、港南図書館、横浜藤沢線

[平成28年度] 2か所 港南区庁舎、横浜藤沢線

[平成29年度] 3か所 上大岡コミュニティハウス、港南桜道プロムナード、横浜藤沢線

• 創出した緑の維持管理：のべ25か所

[平成26年度] 4か所 港南図書館、上大岡コミュニティハウス、日野南コミュニティハウス、下野庭スポーツ会館

[平成27年度] 4か所 港南図書館、上大岡コミュニティハウス、日野南コミュニティハウス、下野庭スポーツ会館

[平成28年度] 8か所 港南図書館、上大岡コミュニティハウス、桜道コミュニティハウス、日野南コミュニティハウス、港南地区センター、日野地区センター、下野庭スポーツ会館、横浜藤沢線

[平成29年度] 9か所 港南図書館、上大岡コミュニティハウス、桜道コミュニティハウス、日野南コミュニティハウス、港南地区センター、野庭地区センター、日野地区センター、下野庭スポーツ会館、横浜藤沢線

25 いきいきとした街路樹づくり

• 街路樹の計画的なせん定：のべ49路線

[平成26年度] 4路線

[平成27年度] 13路線

[平成28年度] 7路線

[平成29年度] 25路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区
[平成29-31年度] 2地区 中之丸地区、日野団地地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

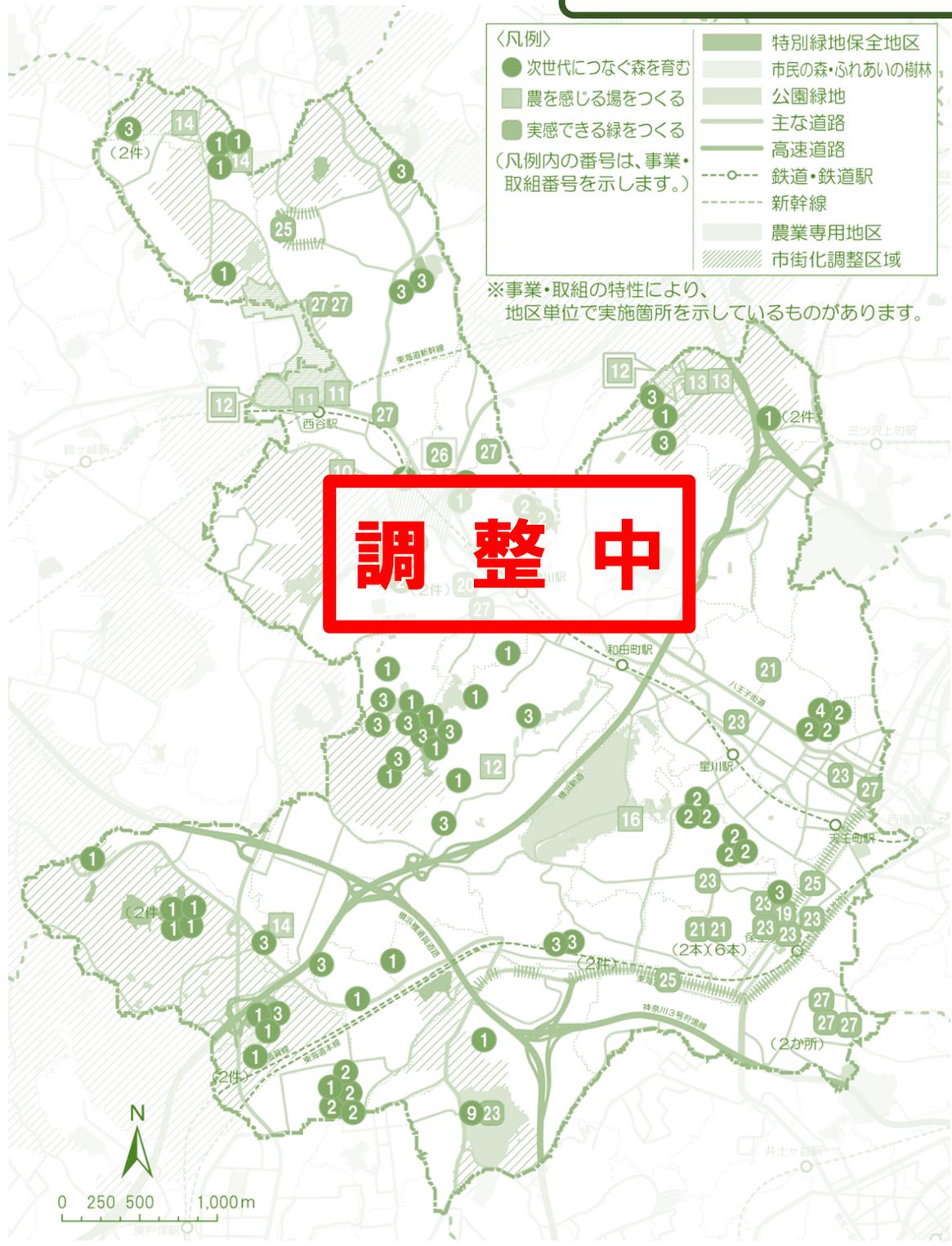
- 緑の創出：7か所
[平成26年度] 3か所 大久保保育園、港南台保育園、下永谷小学校
[平成27年度] 1か所 野庭第二保育園
[平成28年度] 1か所 野庭聖佳幼稚園
[平成29年度] 2か所 日野南小学校、吉原小学校
- 芝生等の維持管理：のべ10か所
[平成26年度] 1か所 桜岡小学校
[平成27年度] 2か所 大久保保育園、桜岡小学校
[平成28年度] 3か所 大久保保育園、野庭第二保育園、桜岡小学校
[平成29年度] 4か所 大久保保育園、野庭聖佳幼稚園、野庭第二保育園、桜岡小学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

保土ヶ谷区

-  緑地保全制度による指定の拡大
25.6ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.9ha
-  地域緑のまちづくり
1地区



市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による新規指定



特別緑地保全地区／仏向西地区

生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上



川島特別緑地保全地区

市民が身近に農を感じる場をつくる

地域の農地管理を行う団体への支援



峰沢町(峰沢地区農地保全協議会)

収穫体験農園の開設支援



川島町

市民が実感できる緑をつくる

公共施設・公有地での緑の創出



保土ヶ谷区庁舎

地域緑のまちづくり



上星川地区

4 か年事業・取組実績詳細



市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：11.5ha

[平成26年度] 2.1ha 今井町多子谷地区

[平成27年度] 8.7ha 今井町美立橋地区、上菅田町金草沢東地区、境木本町地区、仏向町地区

[平成29年度] 0.7ha 今井町大久保地区、仏向西地区

・ 市民の森：0.6ha

[平成29年度] 0.6ha (仮称) 今井・境木市民の森

・ 緑地保存地区：3.0ha

[平成26年度] 0.3ha 上星川二丁目、東川島町

[平成27年度] 1.2ha 仏向町、仏向西(2件)、法泉一丁目、法泉三丁目

[平成28年度] 0.5ha 上星川二丁目、狩場町、坂本町

[平成29年度] 1.0ha 霞台、瀬戸ヶ谷町

・ 源流の森保存地区：8.4ha

[平成26年度] 3.9ha 今井町(2件)、上菅田町、常盤台、仏向町、峰沢町(2件)

[平成27年度] 1.6ha 新井町、今井町、境木町(2件)

[平成29年度] 2.9ha 川島町、上菅田町、権太坂二丁目、仏向町、峰沢町(2件)

・ 寄附緑地等：2.1ha

[平成26年度] 0.7ha 川島町、仏向町

[平成27年度] 1.4ha 仏向町

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区：計4地区

[平成26年度] 1地区 川島地区

[平成27年度] 2地区 今井町多子谷地区、今井町美立橋地区

[平成28年度] 2地区 上菅田町金草沢東地区、今井町美立橋地区

[平成29年度] 2地区 今井町多子谷地区、今井町美立橋地区

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

• 樹林地：のべ27か所

[平成26年度] 6か所 川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地

[平成27年度] 7か所 上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地

[平成28年度] 7か所 上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地

[平成29年度] 7か所 上星川一丁目特別緑地保全地区、川島特別緑地保全地区、境木ふれあいの樹林、川島向台緑地、神戸緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地

• 公園：1か所

[平成29年度] 1か所 環境活動支援センター

■ 保全管理計画の策定

• 樹林地：1か所

[平成27年度] 1か所 境木ふれあいの樹林

3 指定された樹林地における維持管理の支援

• 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：28件

[平成26年度] 9件 岩崎町、上菅田町（3件）、境木町、常盤台（2件）、仏向町（2件）

[平成27年度] 6件 岩崎町（2件）、月見台、仏向町、仏向西、法泉三丁目

[平成28年度] 8件 今井町、岩崎町、上菅田町（2件）、仏向町（3件）、仏向西

[平成29年度] 5件 今井町、上星川一丁目、坂本町、仏向町（2件）

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

• 法面の整理：2か所

[平成28年度] 1か所 宮田緑地

[平成29年度] 1か所 川島特別緑地保全地区

5 間伐材の有効利用
<ul style="list-style-type: none"> • チッパーの貸し出し：1回 [平成29年度] 1回 環境活動支援センター
9 森に関する情報発信
<ul style="list-style-type: none"> • ウェルカムセンターの運営：1館 [実施箇所] 環境活動支援センター交流スペース

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none"> • 水田保全承認面積：0.2ha [実施箇所] 川島町
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none"> • 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：3件 [平成26年度] 1件 西谷町 [平成27年度] 1件 西谷町 [平成28年度] 1件 西谷町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none"> • 地域の農地管理を行う団体への支援：16.4ha（2団体） [実施箇所] 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、峰沢地区農地保全協議会 • 共同利用設備の整備：2件 [平成27年度] 1件 仏向町 [平成29年度] 1件 峰沢町
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none"> • 6年以上の長期貸付を開始した農地：0.43ha [平成28年度] 0.28ha 峰沢町 [平成29年度] 0.15ha 上菅田町

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験農園の開設支援：0.03 ha
[平成29年度] 0.03ha 川島町
- 市民農園の開設支援：0.34ha
[平成26年度] 0.15ha 上菅田町
[平成28年度] 0.19ha 上菅田町
- 農園付公園の整備：1か所（0.6ha）
[平成28年度] 1か所（0.6ha） 今井の丘公園（拡張）

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所等の支援：2件
[平成29年度] 2件 西谷町、仏向町
- 青空市運営支援：3件
[平成26年度] 1件 保土ヶ谷公園ミニ運動場
[平成27年度] 1件 保土ヶ谷公園ミニ運動場
[平成28年度] 1件 保土ヶ谷公園ミニ運動場

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：1件 [平成26年度] 1件 帷子町
20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件 [平成26年度] 2件 川島町（2件）
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：6本 [平成27年度] 6本 霞台（6本） 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：5本 [平成27年度] 1本 峰岡町 [平成28年度] 2本 霞台（2本） [平成29年度] 2本 霞台（2本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,467本 [平成26年度] 360本 [平成27年度] 369本 [平成28年度] 390本 [平成29年度] 348本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：6か所 [平成26年度] 2か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷ピオガーデン [平成28年度] 2か所 環境活動支援センター、市道天王町第225号線 [平成29年度] 2か所 環境活動支援センター、市道天王町第225号線 創出した緑の維持管理：のべ10か所 [平成26年度] 2か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷駅前公園 [平成27年度] 2か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷駅前公園 [平成28年度] 3か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷ピオガーデン、西谷町第三公園 [平成29年度] 3か所 保土ヶ谷区庁舎、保土ヶ谷ピオガーデン、西谷町第三公園

25 いきいきとした街路樹づくり

- 街路樹の計画的なせん定：のべ40路線

[平成26年度] 3路線

[平成27年度] 18路線

[平成28年度] 10路線

[平成29年度] 9路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：1地区

[平成27-29年度] 1地区 上星川地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：10か所

[平成26年度] 3か所 梅の木保育園、富士見台小学校、岩井原中学校

[平成27年度] 4か所 エルアンジュ保育園、上星川小学校、富士見台小学校（2件）

[平成28年度] 2か所 上菅田小学校、富士見台小学校

[平成29年度] 1か所 富士見台小学校

- 芝生等の維持管理：のべ14か所

[平成26年度] 4か所 岩井保育園、保土ヶ谷保育園、上菅田小学校、富士見台小学校

[平成27年度] 4か所 岩井保育園、梅の木保育園、保土ヶ谷保育園、上菅田小学校

[平成28年度] 3か所 岩井保育園、エルアンジュ保育園、上菅田小学校

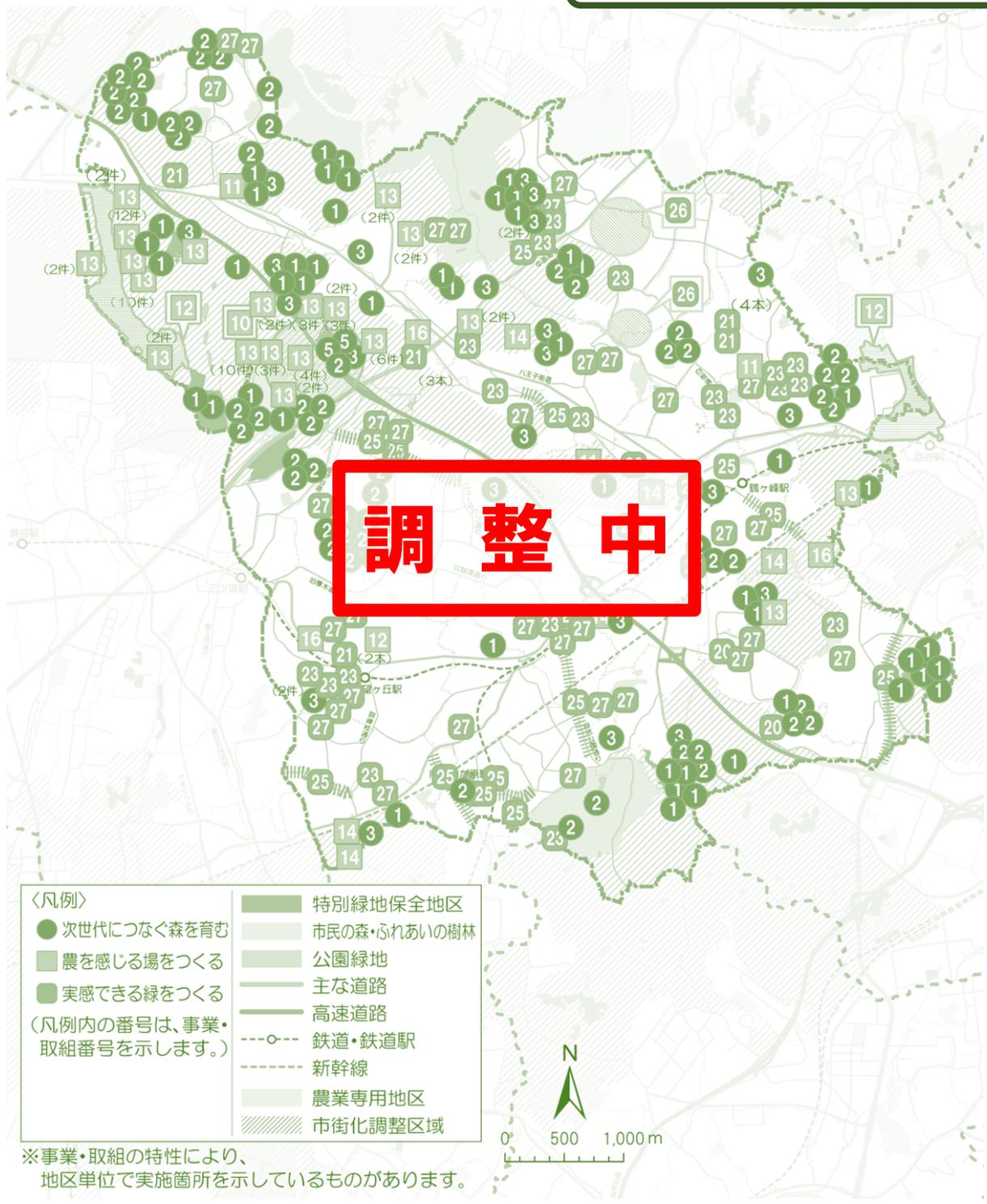
[平成29年度] 3か所 岩井保育園、上菅田小学校、富士見台小学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

旭区

-  緑地保全制度による指定の拡大
62.1ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
1.1ha
-  地域緑のまちづくり
2 地区



市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による新規指定



特別緑地保全地区／今川町地区

保全管理計画の策定



善部町特別緑地保全地区

市民が身近に農を感じる場をつくる

収穫体験農園の開設支援



収穫体験農園／川島町

直売所等の支援



市沢町

市民が実感できる緑をつくる

公共施設・公有地での緑の創出



旭図書館

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出



三ツ境たんぼぼ保育園

4か年事業・取組実績詳細

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■緑地保全制度による新規指定等

・特別緑地保全地区：29.9ha

[平成26年度] 7.3ha 市沢町日向地区、上川井町堂谷地区、上白根町小池地区、川島町二ノ沢地区

[平成27年度] 15.8ha 市沢町地区（指定拡大）、上川井町露木谷地区、上白根町小池地区（指定拡大）、川井本町地区、都岡町地区、三保地区（指定拡大）

[平成28年度] 3.8ha 市沢町地区（指定拡大）、上白根町後谷地区、川井本町地区（指定拡大）

[平成29年度] 3.0ha 今川町地区、上川井町大竹谷地区、中沢二丁目地区

・市民の森：10.5ha

[平成26年度] 10.5ha 今宿市民の森（指定拡大）、追分市民の森（指定拡大）、南本宿市民の森（指定拡大）、（仮称）上川井市民の森

[平成27年度] 0.01ha 南本宿市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区：0.8ha

[平成27年度] 0.1ha さちが丘

[平成28年度] 0.4ha 市沢町、下川井町

[平成29年度] 0.3ha 万騎が原

・源流の森保存地区：20.5ha

[平成26年度] 3.1ha 今川町、上川井町、上白根町、川井本町

[平成27年度] 1.4ha 市沢町、上白根町、川井本町（2件）、西川島町、南本宿町

[平成28年度] 9.5ha 市沢町、今宿東町、上川井町（7件）、上白根町（2件）、川井本町、桐が作、南本宿町

[平成29年度] 6.5ha 今宿一丁目、今宿西町（3件）、今宿南町（4件）、金が谷、上白根町（3件）

・寄附緑地等：0.4ha

[平成26年度] 0.1ha 今宿町

[平成27年度] 0.2ha 市沢町

[平成28年度] 0.1ha 市沢町

■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

• 特別緑地保全地区（予定地含む）：計14地区

[平成26年度] 3地区 市沢町地区、猪子山地区、上川井町堀谷地区

[平成27年度] 6地区 上川井町大貫谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、南本宿地区

[平成28年度] 6地区 市沢町地区、上川井町堂谷地区、川井本町地区、都岡町地区、鶴ヶ峰二丁目地区、三保地区

[平成29年度] 4地区 市沢町地区、追分地区、上川井町堂谷地区、都岡町地区

• 市民の森、ふれあいの樹林等：計2地区

[平成27年度] 1地区 南本宿市民の森

[平成28年度] 1地区 追分市民の森

[平成29年度] 1地区 追分市民の森

＜良好な森を育成する取組の推進＞

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ66か所

[平成26年度] 14か所 今宿市民の森、追分市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

[平成27年度] 17か所 猪子山特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

[平成28年度] 19か所 猪子山特別緑地保全地区、川井特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

[平成29年度] 16か所 猪子山特別緑地保全地区、今宿市民の森、追分市民の森、柏町市民の森、南本宿市民の森、矢指市民の森、市沢ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿第二緑地、上白根南の森、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、二俣川ニュータウン緑地、若葉台一丁目緑地、若葉台四丁目緑地

・ 公園：のべ15か所

[平成26年度] 3か所 大貫谷公園、桧山公園、若葉台公園

[平成27年度] 3か所 大貫谷公園、桧山公園、若葉台公園

[平成28年度] 4か所 大貫谷公園、こども自然公園、桧山公園、若葉台公園

[平成29年度] 5か所 大貫谷公園、こども自然公園、四季美台ふれあい公園、桧山公園、若葉台公園

■ 保全管理計画の策定

・ 樹林地：1か所

[平成29年度] 1か所 善部町特別緑地保全地区

・ 公園：1か所

[平成27年度] 1か所 こども自然公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援

• 緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理の助成：25件

[平成26年度] 9件 上川井町（2件）、川島町、下川井町、白根六丁目、中希望が丘、中沢二丁目、南本宿町、万騎が原

[平成27年度] 6件 川井本町、白根二丁目、善部町、都岡町、鶴ヶ峰一丁目、本宿町

[平成28年度] 8件 今宿南町、今宿東町（2件）、上白根町（3件）、川井本町（2件）

[平成29年度] 2件 市沢町、白根六丁目

5 間伐材の有効利用

• チッパーの貸し出し：10回

[平成26年度] 4回 川井特別緑地保全地区

[平成27年度] 2回 川井特別緑地保全地区

[平成28年度] 2回 川井特別緑地保全地区

[平成29年度] 2回 川井特別緑地保全地区

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
• 水田保全承認面積：0.9ha [実施箇所] 下川井町、矢指町
11 特定農業用施設保全契約の締結
• 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：3件 [平成26年度] 1件 上川井町 [平成27年度] 1件 白根三丁目 [平成28年度] 1件 今川町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
• 地域の農地管理を行う団体への支援：29.2ha（2団体） [実施箇所] 西谷農業専用地区協議会（保土ヶ谷区・旭区）、上川井農業専用地区協議会 • 共同利用設備の整備：1件 [平成28年度] 1件 東希望が丘
13 多様な主体による農地の利用促進
• 6年以上の長期貸付を開始した農地：9.0ha [平成26年度] 0.1ha 上川井町 [平成27年度] 4.5ha 今宿西町、上川井町、下川井町、 [平成28年度] 3.1ha 小高町、川井宿町、西川島町、矢指町 [平成29年度] 1.3ha 上川井町
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
• 収穫体験農園の開設支援：0.33ha [平成27年度] 0.17ha 善部町（2件） [平成29年度] 0.16ha 川島町 • 市民農園の開設支援：0.75ha [平成26年度] 0.41ha 今宿西町、川島町、二俣川2丁目 [平成27年度] 0.34ha 今川町

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所等の支援：5件
 [平成26年度] 1件 東希望が丘
 [平成27年度] 1件 下川井町
 [平成28年度] 1件 川島町
 [平成29年度] 2件 市沢町、川島町

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）

- 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件
 [平成26年度] 1件 左近山
 [平成28年度] 1件 左近山

21 名木古木の保存

- 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：13本
 [平成26年度] 4本 白根六丁目（4本）
 [平成27年度] 6本 上川井町、下川井町（3本）、東希望が丘（2本）
 [平成28年度] 1本 白根六丁目
 [平成29年度] 2本 白根六丁目（2本）

22 人生記念樹の配布

- 人生記念樹の配布：2,492本
 [平成26年度] 729本
 [平成27年度] 652本
 [平成28年度] 641本
 [平成29年度] 470本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

• 緑の創出：12か所

[平成26年度] 2か所 上白根大池公園こどもログハウス、南希望が丘中央会こどもの遊び場

[平成27年度] 3か所 帷子川今宿南町河川事業用地、希望が丘地区センター、老人福祉センター福寿荘

[平成28年度] 2か所 旭区民文化センター、丸子中山茅ヶ崎線、

[平成29年度] 5か所 旭スポーツセンター、今宿箒沢第三公園、上白根大池公園こどもログハウス、白根地区センター、本村スポーツ会館

• 創出した緑の維持管理：のべ51か所

[平成26年度] 12か所 旭区庁舎、上白根コミュニティハウス、こども自然公青少年野外活動センター、旭土木事務所、老人福祉センター福寿荘 ほか

[平成27年度] 12か所 旭図書館、希望が丘地区センター、白根地区センター、都岡地区センター ほか

[平成28年度] 12か所 市沢地区センター、今宿地区センター、上白根大池公園こどもログハウス、鶴ヶ峰コミュニティハウス ほか

[平成29年度] 15か所 旭区庁舎、旭図書館、旭区民文化センター、希望が丘地区センター ほか

25 いきいきとした街路樹づくり

• 街路樹の計画的なせん定：のべ56路線

[平成26年度] 12路線

[平成27年度] 14路線

[平成28年度] 11路線

[平成29年度] 19路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区
[平成23-27年度] 2地区 上白根国際地区、白根台第九地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：6か所
[平成26年度] 1か所 ひまわり愛児園
[平成27年度] 1か所 SAFARI KID保育園
[平成28年度] 2か所 川井小学校、南本宿小学校
[平成29年度] 2か所 三ツ境たんぼぼ保育園、左近山中学校
- 芝生等の維持管理：のべ69か所
[平成26年度] 3か所 左近山保育園、横浜昭和幼稚園、若葉台保育園
[平成27年度] 22か所 ひまわり愛児園、左近山保育園、若葉台保育園、市沢小学校、今宿小学校、希望ヶ丘小学校、笹野台小学校、四季の森小学校ほか
[平成28年度] 24か所 東希望ヶ丘小学校、本宿小学校、万騎が原小学校、南本宿小学校、若葉台小学校、今宿中学校、希望ヶ丘中学校、鶴ヶ峯中学校ほか
[平成29年度] 20か所 さちが丘小学校、善部小学校、鶴ヶ峯小学校、二俣川小学校、不動丸小学校、旭中学校、上白根中学校、万騎が原中学校ほか



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

磯子区

-  緑地保全制度による指定の拡大
8.3ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.1ha
-  地域緑のまちづくり
4 地区



 市民とともに次世代につなぐ森を育む

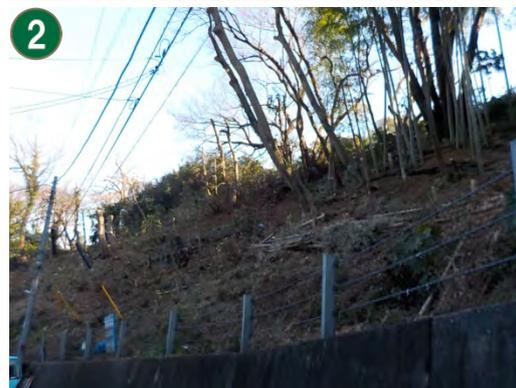


緑地保全制度による新規指定



源流の森保存地区／峰町

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



岡村一丁目緑地

 市民が身近に農を感じる場をつくる



地域の農地管理を行う団体への支援



氷取沢町(氷取沢畑地かんがい組合)

市民農園の開設支援



特区農園／氷取沢町

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出



杉田臨海緑地

地域緑のまちづくり



磯子・岡村地区

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

- ・ 特別緑地保全地区：2.2ha

[平成28年度] 2.2ha 氷取沢町地区

- ・ 市民の森：3.9ha

[平成26年度] 0.5ha 峯市民の森（指定拡大）

[平成27年度] 1.0ha 氷取沢市民の森（指定拡大）、峯市民の森（指定拡大）

[平成28年度] 2.4ha 峯市民の森（指定拡大）

- ・ 緑地保存地区：0.6ha

[平成26年度] 0.3ha 上中里町

[平成27年度] 0.3ha 岡村一丁目

- ・ 源流の森保存地区：1.6ha

[平成27年度] 0.7ha 氷取沢町、峰町

[平成29年度] 0.9ha 氷取沢町、峰町

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

- ・ 特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：計3地区

[平成26年度] 1地区 峰地区

[平成27年度] 1地区 円海山地区

[平成28年度] 1地区 円海山地区

[平成29年度] 2地区 円海山地区、氷取沢町地区

- ・ 市民の森：1地区

[平成26年度] 1地区 峯市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

- ・ 樹林地：のべ33か所

[平成26年度] 9か所 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

[平成27年度] 9か所 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

[平成28年度] 9か所 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、森浅間社緑地

[平成29年度] 6か所 峯市民の森、岡村一丁目緑地、上中里緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、森浅間社緑地

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- ・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：14件

[平成26年度] 5件 岡村四丁目、上中里町、上町、中原四丁目、森五丁目

[平成27年度] 4件 岡村一丁目、岡村二丁目、上町、峰町

[平成28年度] 2件 岡村四丁目、氷取沢町

[平成29年度] 3件 上町、上中里町、岡村二丁目

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- ・ 法面の整備：1か所

[平成27年度] 1か所 岡村一丁目緑地

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

12 農景観を良好に維持する取組の推進

- ・ 地域の農地管理を行う団体への支援：5.5 ha（1団体）

[実施箇所] 氷取沢畑地かんがい組合

13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none"> 6年以上の長期貸付を開始した農地：0.2ha [平成27年度] 0.1ha 氷取沢町 [平成28年度] 0.1ha 氷取沢町
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の開設支援：0.1ha [平成27年度] 0.1ha 氷取沢町

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：1件 [平成26年度] 1件 西町
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：8本 [平成27年度] 2本 原町（2本） [平成28年度] 4本 森二丁目（4本） [平成29年度] 2本 栗木二丁目（2本） 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：8本 [平成26年度] 3本 栗木二丁目（2本）、中浜町 [平成27年度] 3本 原町（2本）、中浜町 [平成29年度] 2本 原町（2本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,563本 [平成26年度] 345本 [平成27年度] 396本 [平成28年度] 410本 [平成29年度] 412本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

・緑の創出：4か所

[平成26年度] 1か所 磯子アベニュー

[平成28年度] 2か所 市道新杉田第117号線、杉田臨海緑地

[平成29年度] 1か所 社会教育コーナー

・創出した緑の維持管理：のべ11か所

[平成26年度] 3か所 磯子区庁舎、滝頭コミュニティハウス、横浜こども科学館

[平成27年度] 2か所 磯子区庁舎、滝頭コミュニティハウス

[平成28年度] 2か所 磯子区庁舎、滝頭コミュニティハウス

[平成29年度] 4か所 磯子区庁舎、市道新杉田第117号、杉田臨海緑地、滝頭コミュニティハウス

25 いきいきとした街路樹づくり

・街路樹の計画的なせん定：のべ50路線

[平成26年度] 11路線

[平成27年度] 10路線

[平成28年度] 12路線

[平成29年度] 17路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：4地区

[平成26-28年度] 2地区 中原三丁目地区、洋光台一丁目地区

[平成29-31年度] 2地区 磯子・岡村地区、汐見台2丁目地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

・緑の創出：6か所

[平成26年度] 3か所 岡村小学校、洋光台第四小学校、洋光台第二中学校

[平成27年度] 2か所 屏風ゆめの森保育園 洋光台第四小学校

[平成29年度] 1か所 洋光台第二小学校

・芝生等の維持管理：のべ12か所

[平成26年度] 2か所 東滝頭保育園、岡村小学校

[平成27年度] 3か所 東滝頭保育園、洋光台第二保育園、岡村小学校

[平成28年度] 4か所 滝頭保育園、東滝頭保育園、岡村小学校、根岸中学校

[平成29年度] 3か所 洋光台第二保育園、岡村小学校、根岸中学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

金沢区

-  緑地保全制度による指定の拡大
36.9ha
-  多様な主体による農地の利用促進
0.2ha
-  地域緑のまちづくり
1地区

〈凡例〉

- 次世代につなぐ森を育む
- 農を感じる場をつくる
- 実感できる緑をつくる
- (凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)

- 特別緑地保全地区
- 近郊緑地特別保全地区
- 市民の森・心れあいの樹林
- 公園緑地
- 主な道路
- 高速道路
- 鉄道・鉄道駅
- 新幹線
- 農業専用地区
- 市街化調整区域

※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。



 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定

1



特別緑地保全地区／富岡東三丁目地区

森づくりガイドライン等を活用した森の育成

2



釜利谷特別緑地保全地区

 市民が身近に農を感じる場をつくる



多様な主体による農地の利用促進

13



長浜

多様な主体による農地の利用促進

13



柴町

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出

23



長浜水路

いきいきとした街路樹づくり

25



能見台(ケヤキ)

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：12.1ha

[平成26年度] 4.5ha 朝比奈地区（指定拡大）、六浦東三丁目地区

[平成27年度] 6.0ha 関ヶ谷地区、大道二丁目地区、富岡東五丁目地区

[平成29年度] 1.6ha 富岡東三丁目地区

・ 市民の森：13.6ha

[平成26年度] 7.6ha 朝比奈北市民の森（指定拡大）、（仮称）富岡東三丁目市民の森、氷取沢市民の森（指定拡大）

[平成27年度] 1.8ha 釜利谷市民の森（指定拡大）、（仮称）富岡東三丁目市民の森（指定拡大）

[平成28年度] 4.2ha 氷取沢市民の森（指定拡大）

・ 緑地保存地区：7.7ha

[平成26年度] 6.3ha 釜利谷南一丁目（2件）、釜利谷東八丁目、大道一丁目、大道二丁目、東朝比奈一丁目（2件）、六浦東三丁目、谷津町

[平成27年度] 0.3ha 能見台東

[平成28年度] 0.7ha 富岡西七丁目

[平成29年度] 0.4ha 大川、瀬戸

・ 源流の森保存地区：1.0ha

[平成26年度] 1.0ha 朝比奈町、釜利谷東八丁目・釜利谷西二丁目

・ 寄附緑地等：2.5ha

[平成26年度] 2.5ha 釜利谷町

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：計4地区

[平成27年度] 2地区 朝比奈地区、大丸山地区

[平成28年度] 4地区 釜利谷地区、大道二丁目地区、大丸山地区、朝比奈地区

[平成29年度] 3地区 大丸山地区、釜利谷地区、大道二丁目地区

・ 市民の森、ふれあいの樹林等：計1地区

[平成27年度] 1地区 （仮称）富岡東三丁目市民の森

[平成28年度] 1地区 （仮称）富岡東三丁目市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ52か所

[平成26年度] 13か所 朝比奈特別緑地保全地区、柴・長浜特別緑地保全地区、朝比奈北市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、片吹緑地、釜利谷東三丁目緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地

[平成27年度] 13か所 釜利谷特別緑地保全地区、柴・長浜特別緑地保全地区、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、片吹緑地、釜利谷南二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦五丁目緑地、六浦三艘緑地

[平成28年度] 12か所 朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区、柴・長浜特別緑地保全地区、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、片吹緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦三艘緑地

[平成29年度] 14か所 朝比奈特別緑地保全地区、釜利谷特別緑地保全地区、柴・長浜特別緑地保全地区、朝比奈北市民の森、釜利谷市民の森、金沢市民の森、称名寺市民の森、関ヶ谷市民の森、片吹緑地、釜利谷南二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦五丁目緑地（協働の森）

・ 公園：9か所

[平成27年度] 1か所 金沢緑地

[平成28年度] 3か所 釜利谷五号緑地、釜利谷六号緑地、能見堂緑地

[平成29年度] 5か所 阿王ヶ台公園、釜利谷五号緑地、釜利谷六号緑地、釜利谷南公園、釜利谷緑道

■ 保全管理計画の策定

・ 樹林地：2か所

[平成26年度] 1か所 関ヶ谷市民の森

[平成29年度] 1か所 朝比奈北市民の森

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- ・ 緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理の助成：36件

[平成26年度] 10件 釜利谷東三丁目、釜利谷南一丁目、柴町、富岡西二丁目、富岡東四丁目、能見台東、六浦町、六浦東三丁目、六浦南四丁目、谷津町

[平成27年度] 12件 朝比奈町、釜利谷東三丁目、釜利谷東四丁目、釜利谷南一丁目、釜利谷南二丁目、柴町、大道一丁目、大道二丁目、富岡西二丁目、富岡東五丁目、六浦東一丁目、六浦南四丁目

[平成28年度] 7件 朝比奈町、釜利谷東七丁目、釜利谷南一丁目、瀬戸、大道二丁目、富岡東六丁目、六浦南四丁目

[平成29年度] 7件 釜利谷東三丁目、釜利谷東八丁目、柴町、瀬戸（2件）、富岡東四丁目、六浦南四丁目

5 間伐材の有効利用

- ・ チッパーの貸し出し：6回

[平成26年度] 4回 緑地保存地区（能見台東）

[平成28年度] 2回 関ヶ谷市民の森

市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

12 農景観を良好に維持する取組の推進

- ・ 地域の農地管理を行う団体への支援：9.8ha（1団体）

[実施箇所] 柴農業機械利用組合

13 多様な主体による農地の利用促進

- ・ 6年以上の長期貸付を開始した農地：0.2ha

[平成26年度] 0.1ha 柴町

[平成29年度] 0.1ha 柴町、長浜

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成28年度] 1件 並木三丁目
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：10本 [平成26年度] 3本 富岡東五丁目（2本）、六浦五丁目 [平成28年度] 2本 六浦東一丁目（2本） [平成29年度] 5本 釜利谷南一丁目（2本）、瀬戸（3本） 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：19本 [平成26年度] 2本 富岡東三丁目（2本） [平成27年度] 1本 釜利谷南二丁目 [平成28年度] 3本 富岡東四丁目、六浦五丁目、六浦東二丁目 [平成29年度] 13本 釜利谷南一丁目（5本）、柴町、瀬戸（5本）、六浦東一丁目（2本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：2,098本 [平成26年度] 546本 [平成27年度] 597本 [平成28年度] 451本 [平成29年度] 504本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：1か所 [平成27年度] 1か所 金沢区庁舎 創出した緑の維持管理：のべ11か所 [平成26年度] 2か所 金沢区庁舎、横浜市野島青少年研修センター [平成27年度] 3か所 金沢区庁舎、釜利谷消防出張所、長浜水路管理用地 [平成28年度] 3か所 金沢区庁舎、釜利谷消防出張所、長浜水路管理用地 [平成29年度] 3か所 金沢区庁舎、釜利谷消防出張所、長浜水路管理用地

25 いきいきとした街路樹づくり

- 街路樹の計画的なせん定：のべ74路線

[平成26年度] 8路線

[平成27年度] 9路線

[平成28年度] 18路線

[平成29年度] 39路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：1地区

[平成26-28年度] 1地区 金沢文庫すずらん通り地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：3か所

[平成26年度] 2か所 並木第二保育園、富岡小学校

[平成28年度] 1か所 とみおかスマイル保育園

- 芝生等の維持管理：のべ8か所

[平成26年度] 2か所 金沢ふたば保育園、八景小学校

[平成27年度] 2か所 金沢ふたば保育園、八景小学校

[平成28年度] 2か所 金沢ふたば保育園、八景小学校

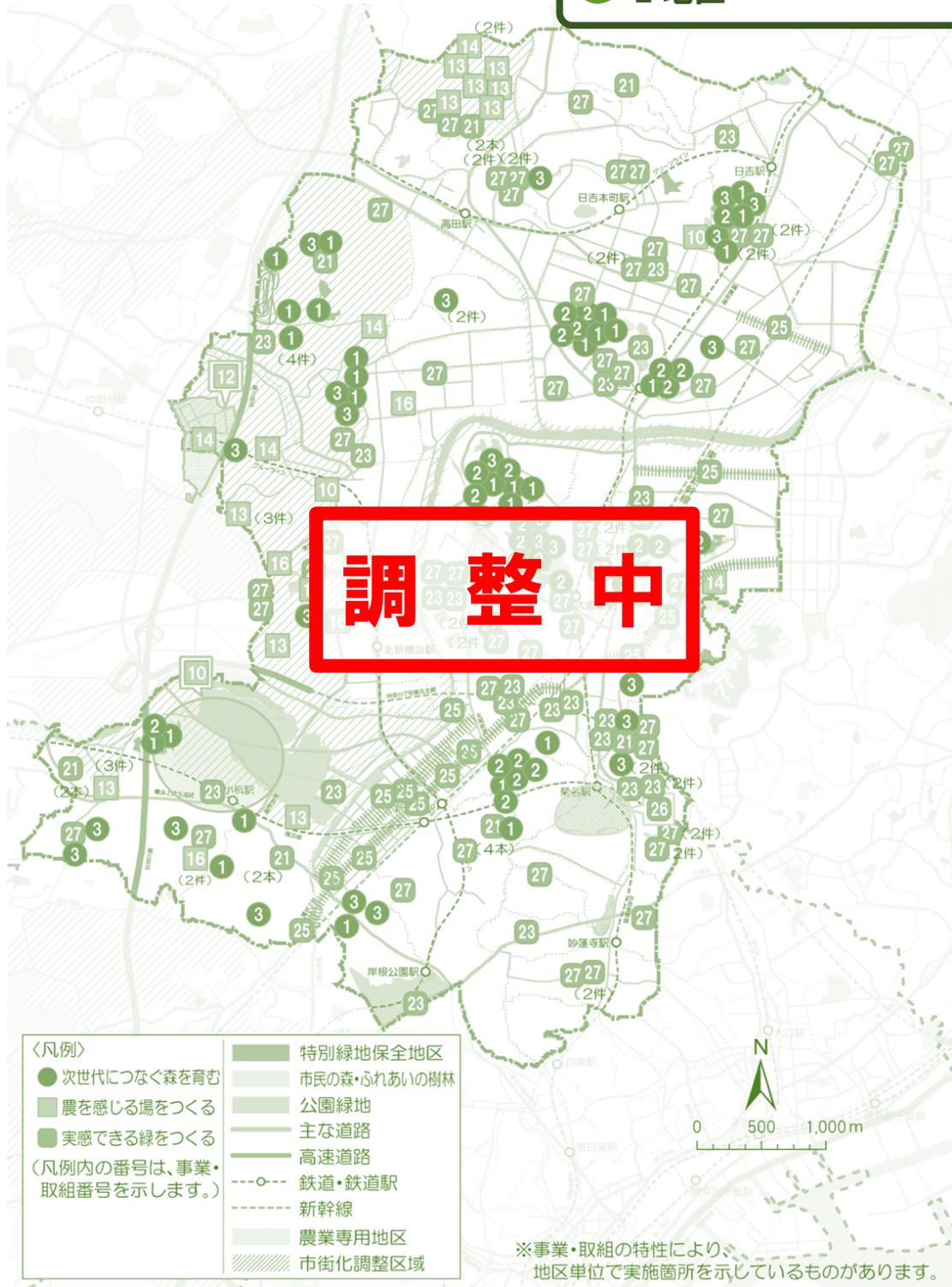
[平成29年度] 2か所 金沢ふたば保育園、八景小学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

港北区

-  緑地保全制度による指定の拡大
4.8ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
1.9ha
-  地域緑のまちづくり
2 地区



 市民とともに次世代につなぐ森を育む

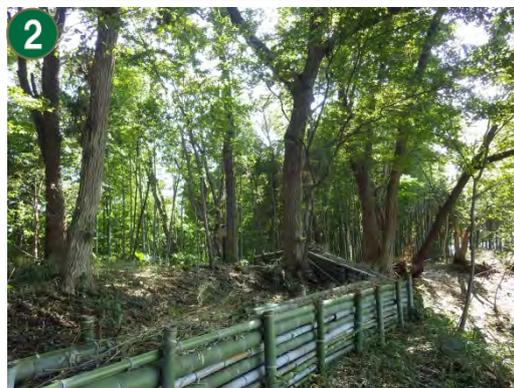


緑地保全制度による新規指定



緑地保存地区／新吉田東一丁目

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



綱島市民の森

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



小机町

収穫体験農園の開設支援



新羽町

 市民が実感できる緑をつくる



名木古木の保存



篠原町(ソメイヨシノ)

公共施設・公有地での緑の創出



大倉山つつみ通り地区

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■緑地保全制度による新規指定等

・特別緑地保全地区：0.8ha

[平成26年度] 0.1ha 小机城址地区（指定拡大）

[平成27年度] 0.7ha 大曽根台地区（指定拡大）

・緑地保存地区：1.4ha

[平成26年度] 0.6ha 岸根町、綱島東二丁目、鳥山町（2件）

[平成27年度] 0.1ha 大曽根台

[平成28年度] 0.2ha 篠原町、大豆戸町

[平成29年度] 0.5ha 大倉山二丁目、篠原町、新吉田東一丁目、日吉本町六丁目

・源流の森保存地区：2.5ha

[平成26年度] 2.0ha 新吉田町（8件）

[平成27年度] 0.3ha 新吉田町（3件）

[平成28年度] 0.2ha 新吉田町（1件）

・寄附緑地等：0.1ha

[平成26年度] 0.1ha 大曽根台、綱島台、箕輪町三丁目

[平成28年度] 0.003ha 箕輪町三丁目

■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・特別緑地保全地区（予定地含む）：計4地区

[平成26年度] 1地区 綱島地区

[平成27年度] 2地区 小机城址地区、綱島地区

[平成28年度] 2地区 大曽根台地区、日吉地区

[平成29年度] 2地区 大曽根台地区、日吉地区

・市民の森、ふれあいの樹林等：2地区

[平成26年度] 1地区 篠原城址緑地

[平成27年度] 1地区 綱島市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

• 樹林地：のべ42か所

[平成26年度] 6か所 大倉山特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、綱島市民の森、綱島東二丁目緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

[平成27年度] 10か所 大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

[平成28年度] 13か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

[平成29年度] 13か所 大倉山特別緑地保全地区、大曽根台特別緑地保全地区、日吉特別緑地保全地区、熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大倉山二丁目緑地、篠原城址緑地、綱島東二丁目緑地、太尾緑地、棒田谷緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地

■ 保全管理計画の策定

• 樹林地：1か所

[平成27年度] 1か所 綱島市民の森

3 指定された樹林地における維持管理の支援

• 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：36件

[平成26年度] 11件 大倉山二丁目、大倉山六丁目、菊名五丁目、岸根町、新吉田東一丁目（2件）、新羽町、日吉本町六丁目、大豆戸町、箕輪町三丁目（2件）

[平成27年度] 10件 大倉山二丁目、大曽根台、菊名五丁目、岸根町、小机町、新吉田町、鳥山町、新羽町、箕輪町三丁目、師岡町

[平成28年度] 6件 岸根町、小机町（2件）、新吉田町（2件）、綱島東二丁目

[平成29年度] 9件 菊名五丁目、篠原町、新吉田町、新吉田東一丁目、鳥山町、新羽町、日吉本町六丁目、箕輪町三丁目（2件）

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none">水田保全承認面積：1.1ha [実施箇所] 小机町、新羽町、箕輪町
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none">農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成29年度] 1件 小机町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none">地域の農地管理を行う団体への支援：15.7ha（1団体） [実施箇所] 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）共同利用設備の整備：2件 [平成29年度] 2件 高田町、新羽町
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none">6年以上の長期貸付を開始した農地：2.1ha [平成26年度] 0.3ha 高田町 [平成27年度] 0.3ha 高田町、小机町 [平成28年度] 0.7ha 高田町、鳥山町、新羽町 [平成29年度] 0.8 ha 高田町、新羽町
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
<ul style="list-style-type: none">収穫体験農園の開設支援：0.29ha [平成27年度] 0.1ha 新羽町 [平成29年度] 0.19ha 新羽町（2件）市民農園の開設支援：0.65ha [平成26年度] 0.3ha 高田町（2件） [平成27年度] 0.22ha 新羽町 [平成28年度] 0.13ha 新吉田町、新羽町農園付公園の整備：1か所 [平成26年度] 1か所（1.0ha） 師岡町梅の丘公園

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

• 直売所等の支援：7件

[平成27年度] 2件 新羽町（2件）

[平成28年度] 3件 小机町（2件）、新吉田東

[平成29年度] 2件 新羽町（2件）

市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

21 名木古木の保存

- 名木古木の新規指定：22本
[平成26年度] 6本 篠原町（4本）、鳥山町（2本）
[平成29年度] 16本 篠原町（16本）
- 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：12本
[平成26年度] 3本 下田町三丁目、高田町（2本）
[平成28年度] 4本 菊名五丁目、小机町（2本）、新吉田町
[平成29年度] 5本 篠原町（2本）、下田町三丁目（2本）、高田町

22 人生記念樹の配布

- 人生記念樹の配布：2,102本
[平成26年度] 495本
[平成27年度] 542本
[平成28年度] 530本
[平成29年度] 535本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 緑の創出：4か所
[平成27年度] 1か所 菊名コミュニティハウス、
[平成28年度] 3か所 岸根町歩道植樹帯、港北スポーツセンター、綱島公園こどもロ
グハウス
- 創出した緑の維持管理：のべ34か所
[平成26年度] 15か所 菊名地区センター、篠原地区センター、城郷小机地区センター、
綱島地区センター、新田地区センター、日吉地区センターほか
[平成27年度] 15か所 新吉田地域ケアプラザ、樽町地域ケアプラザ、日吉本町地域ケ
アプラザ、大豆戸地域ケアプラザ、港北スポーツセンター、横浜ラポー
ルほか
[平成28年度] 2か所 菊名コミュニティハウス、港北土木事務所
[平成29年度] 2か所 港北土木事務所（2件）

25 いきいきとした街路樹づくり

- ・街路樹の計画的なせん定：のべ104路線

[平成26年度] 6路線

[平成27年度] 7路線

[平成28年度] 6路線

[平成29年度] 85路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- ・地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区

[平成24-28年度] 1地区 錦が丘地区

[平成28-30年度] 1地区 大倉山つつみ通り地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- ・緑の創出：7か所

[平成26年度] 3か所 大倉山保育園、第二尚花愛児園、パレット保育園・大豆戸

[平成27年度] 1か所 新羽どろんこ保育園

[平成28年度] 1か所 木下の保育園 綱島東

[平成29年度] 2か所 太尾保育園、綱島小学校

- ・芝生等の維持管理：のべ79か所

[平成26年度] 41か所 大曽根保育園、港北保育園、菊名保育園、太尾保育園、南日吉保育園、箕輪保育園、大綱中学校、城郷中学校、高田中学校、樽町中学校、新羽中学校、日吉台中学校ほか

[平成27年度] 33か所 大綱小学校、菊名小学校、北綱島小学校、駒林小学校、篠原小学校、篠原西小学校、新吉田小学校、新吉田第二小学校、綱島小学校、新田小学校、新羽小学校、日吉南小学校、太尾小学校、師岡小学校、矢上小学校ほか

[平成28年度] 3か所 おおくらやまえきまへのぞみ保育園、第二尚花愛児園、高田東小学校

[平成29年度] 2か所 第二尚花愛児園、高田東小学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

緑区

-  緑地保全制度による指定の拡大
32.9ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
1.4ha
-  地域緑のまちづくり
7 地区



<p>〈凡例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次世代につなぐ森を育む ■ 農を感じる場をつくる ■ 実感できる緑をつくる <p>(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特別緑地保全地区 ■ 市民の森・ふれあいの樹林 ■ 公園緑地 — 主な道路 — 高速道路 ---○--- 鉄道・鉄道駅 ----- 新幹線 ■ 農業専用地区 /// 市街化調整区域
--	--

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



特別緑地保全地区／長津田町長月地区

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



新治市民の森

市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



長津田町

水源確保施設整備



十日市場町(地下貯水槽の設置)

市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出



緑区庁舎

地域緑のまちづくり



三保町宮根地区

4 か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：21.7ha

[平成26年度] 4.5ha 北八朔町北地区、三保町東谷地区、三保町杉沢堰地区

[平成27年度] 10.4ha 北八朔町中地区、北八朔町南地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、三保地区、三保町杉沢地区

[平成28年度] 2.6ha 寺山町本谷地区、長津田町馬ノ背地区、北八朔町北地区（指定拡大）、北八朔町南地区（指定拡大）

[平成29年度] 4.2ha 天神の杜地区（指定拡大）、長津田町長月地区、三保地区（指定拡大）

・ 市民の森：2.5ha

[平成26年度] 0.4ha 新治市民の森（指定拡大）

[平成28年度] 0.1ha 三保市民の森（指定拡大）、新治市民の森（指定拡大）

[平成29年度] 2.0ha （仮称）台村市民の森

・ 緑地保存地区：2.2ha

[平成26年度] 1.9ha 竹山二丁目、竹山四丁目

[平成28年度] 0.2ha 長津田七丁目

[平成29年度] 0.1ha 台村町

・ 源流の森保存地区：6.5ha

[平成26年度] 1.7ha 北八朔町、寺山町、長津田町

[平成27年度] 0.7ha 台村町、寺山町

[平成28年度] 2.5ha 長津田町、新治町（2件）、三保町

[平成29年度] 1.6ha 小山町、長津田町

■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

• 特別緑地保全地区：計12地区

[平成26年度] 2地区 鴨居四丁目地区、西八朔町藤林地区

[平成27年度] 3地区 北八朔町中地区、三保町杉沢地区、三保町東谷地区

[平成28年度] 6地区 北八朔町中地区、北八朔町南地区、寺山町本谷地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、三保地区

[平成29年度] 5地区 鴨居原地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、長津田町馬ノ背地区、三保地区

• 市民の森、ふれあいの樹林等：計1地区

[平成26年度] 1地区 新治市民の森

[平成28年度] 1地区 新治市民の森

[平成29年度] 1地区 新治市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ36か所

[平成26年度] 8か所 天神の杜特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

[平成27年度] 9か所 上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

[平成28年度] 10か所 上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、三保特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

[平成29年度] 9か所 上山・白山特別緑地保全地区、天神の杜特別緑地保全地区、鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、長津田みなみ台二丁目緑地、三保中道緑地、三保不動緑地

・ 公園：のべ7か所

[平成26年度] 1か所 北八朔公園

[平成27年度] 2か所 北八朔公園、玄海田公園

[平成28年度] 2か所 北八朔公園、玄海田公園

[平成29年度] 2か所 北八朔公園、玄海田公園

■ 保全管理計画の策定

・ 公園：2か所

[平成26年度] 2か所 北八朔公園、玄海田公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援

・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：30件

[平成26年度] 8件 鴨居四丁目、北八朔町、寺山町（2件）、長津田町、東本郷六丁目、三保町（2件）

[平成27年度] 9件 北八朔町（2件）、小山町、寺山町（2件）、長津田町（2件）、東本郷四丁目、三保町

[平成28年度] 7件 寺山町（2件）、長津田町、新治町、白山二丁目、東本郷一丁目、三保町

[平成29年度] 6件 鴨居四丁目、長津田七丁目、新治町、東本郷六丁目、三保町（2件）

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上
<ul style="list-style-type: none"> 法面の整備：1か所 [平成27年度] 1か所 上山・白山特別緑地保全地区
5 間伐材の有効利用
<ul style="list-style-type: none"> チップターの貸し出し：6回 [平成27年度] 5回 新治市民の森、鴨居原市民の森 [平成29年度] 1回 鴨居原市民の森
9 森に関する情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ウェルカムセンターの運営：1館 [実施箇所] 新治里山公園にいはる里山交流センター

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none">• 水田保全承認面積：36.0ha [実施箇所] いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、三保町• 水源確保施設整備：5か所 [平成26年度] 1か所 小山西八朔用水組合 [平成28年度] 2か所 小山西八朔用水組合、十日市場農業専用地区協議会 [平成29年度] 2か所 小山西八朔用水組合、田奈地区・水利耕作組合連絡協議会（柳町水利組合）
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none">• 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件 [平成26年度] 1件 長津田町 [平成27年度] 1件 鴨居四丁目
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none">• 地域の農地管理を行う団体への支援：128.3ha（12団体） [実施箇所] 御嶽堂水利組合、向原地区畑地かんがい組合、長津田後谷戸耕作組合、新林水利組合、柳町水利組合、新治町水利組合、十日市場農業専用地区協議会、鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、小山西八朔用水組合、北八朔農業専用地区協議会、岡部谷戸水利組合• 田園景観保全水路整備：1地区 [平成28年度] 1地区 新治町水利組合• 共同利用設備の整備：1件 [平成28年度] 1件 長津田町
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none">• 6年以上の長期貸付を開始した農地：6.6ha [平成26年度] 0.1ha 北八朔町、小山町 [平成27年度] 0.9ha 北八朔町、十日市場町、長津田町、新治町 [平成28年度] 3.3ha いぶき野、鴨居町、小山町、長津田町、新治町、東本郷町 [平成29年度] 2.3ha 小山町、十日市場町、長津田町、新治町、西八朔町、東本郷町

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験農園の開設支援：0.91ha

[平成27年度] 0.10ha 北八朔町

[平成28年度] 0.53ha 小山町、東本郷町

[平成29年度] 0.28ha 北八朔町、東本郷町

- 市民農園の開設支援：0.52ha

[平成26年度] 0.25ha 北八朔町、西八朔町（2件）

[平成27年度] 0.11ha 北八朔町、小山町

[平成28年度] 0.16ha 小山町、十日市場町

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所等の支援：4件

[平成27年度] 3件 鴨居二丁目、北八朔町（2件）

[平成28年度] 1件 北八朔町

- 青空市運営支援：6件

[平成26年度] 1件 横浜農協長津田支店前

[平成27年度] 2件 横浜農協長津田支店前、北八朔上自治会館前広場

[平成28年度] 2件 横浜農協長津田支店前、北八朔上自治会館前広場

[平成29年度] 1件 北八朔上自治会館前広場

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：1件 [平成28年度] 1件 鴨居五丁目
20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成27年度] 1件 三保町
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：10本 [平成26年度] 5本 長津田町（5本） [平成27年度] 3本 長津田町、新治町（2本） [平成28年度] 2本 小山町、西八朔町
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,712本 [平成26年度] 459本 [平成27年度] 449本 [平成28年度] 418本 [平成29年度] 386本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：3か所 [平成26年度] 1か所 森の台1号雨水調整池 [平成29年度] 2か所 緑区庁舎、十日市場駅前広場（南口） 創出した緑の維持管理：のべ2か所 [平成26年度] 1か所 緑区庁舎 [平成28年度] 1か所 緑区庁舎

25 いきいきとした街路樹づくり

- 街路樹の計画的なせん定：のべ35路線

[平成26年度] 2路線

[平成27年度] 6路線

[平成28年度] 8路線

[平成29年度] 19路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：7地区

[平成26-28年度] 1地区 竹山三丁目地区

[平成27-39年度] 2地区 東本郷地区、霧の里地区

[平成28-30年度] 2地区 鴨居・白山一丁目地区、三保町宮根地区

[平成29-31年度] 2地区 霧が丘六丁目地区、武蔵中山台地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：7か所

[平成26年度] 3か所 明日葉保育園長津田園、鴨居保育園、森の台保育園

[平成27年度] 2か所 鴨居保育園、新治小学校

[平成28年度] 2か所 おひさますまいる保育園、長津田第二小学校

- 芝生等の維持管理：のべ6か所

[平成26年度] 1か所 鴨居保育園

[平成27年度] 1か所 鴨居保育園

[平成28年度] 2か所 明日葉保育園長津田園、鴨居保育園

[平成29年度] 2か所 おひさますまいる保育園、鴨居保育園



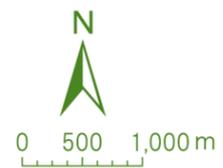
横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

青葉区

-  緑地保全制度による指定の拡大
45.3ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
2.1ha
-  地域緑のまちづくり
2 地区



〈凡例〉	
	次世代につなぐ森を育む
	農を感じる場をつくる
	実感できる緑をつくる
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	
	特別緑地保全地区
	市民の森・ふれあいの樹林
	公園緑地
	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅
	新幹線
	農業専用地区
	市街化調整区域



※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



特別緑地保全地区／鉄町下ノ谷戸地区

土地所有者の不測の事態等による土地の買取り



特別緑地保全地区／恩田東部地区

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



田奈町

市民農園の開設支援



特区農園／たちばな台一丁目

 市民が実感できる緑をつくる



地域緑のまちづくり



江田駅周辺地区

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出



ビオトープ／黒須田小

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：30.3ha

[平成26年度] 11.8ha 恩田町地区、恩田町九郎治谷地区、恩田町番匠谷地区、恩田東部地区（指定拡大）、鉄町富士塚台地区

[平成27年度] 7.7ha 恩田東部地区（指定拡大）、鉄町稲荷谷戸地区、奈良町宮ノ谷地区、元石川町平崎地区、元石川町平崎北地区

[平成28年度] 6.7ha 恩田町地区（指定拡大）、恩田東部地区（指定拡大）、奈良町神戸地区、奈良町西ノ谷地区、奈良町宮ノ谷地区

[平成29年度] 4.1ha 恩田町日影山地区、恩田東部地区（指定拡大）、鉄町下ノ谷戸地区、桜台地区

・ 市民の森：0.3ha

[平成28年度] 0.3ha （仮称）恩田市民の森（指定拡大）

・ 緑地保存地区：3.5ha

[平成27年度] 1.4ha 荏田北二丁目、荏田町、奈良四丁目

[平成28年度] 1.8ha 鴨志田町

[平成29年度] 0.3ha 荏田町（2件）

・ 源流の森保存地区：10.6ha

[平成26年度] 3.8ha 恩田町（3件）、奈良町

[平成27年度] 1.7ha 恩田町（3件）、鉄町（2件）、奈良町（2件）

[平成28年度] 2.8ha 恩田町（2件）、寺家町（2件）、奈良町（2件）

[平成29年度] 2.3ha 恩田町、寺家町（2件）

・ 寄附緑地等：0.6ha

[平成26年度] 0.06ha 奈良町

[平成28年度] 0.4ha 恩田町、奈良五丁目、元石川町

[平成29年度] 0.1ha 奈良五丁目

<p>■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別緑地保全地区：計7地区 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 2地区 恩田東部地区、寺家地区 [平成27年度] 5地区 恩田町番匠谷地区、恩田東部地区、鉄町富士塚台地区、寺家地区、元石川町平崎地区 [平成28年度] 2地区 恩田東部地区、奈良町神戸地区 [平成29年度] 3地区 恩田東部地区、寺家地区、奈良町宮ノ谷地区 ・市民の森・ふれあいの樹林：計1地区 <ul style="list-style-type: none"> [平成29年度] 1地区 恩田市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

<p>2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成</p> <p>■森づくりガイドライン等を活用した維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹林地：のべ16か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 4か所 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、恩田緑地、榎が丘緑地 [平成27年度] 4か所 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、恩田緑地、榎が丘緑地 [平成28年度] 4か所 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、恩田緑地、榎が丘緑地 [平成29年度] 4か所 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、恩田緑地、榎が丘緑地 <p>■保全管理計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹林地：1か所 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 1か所 もえぎ野ふれあいの樹林
<p>3 指定された樹林地における維持管理の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：25件 <ul style="list-style-type: none"> [平成26年度] 8件 荏田町（2件）、恩田町（2件）、大場町、鉄町、寺家町、奈良四丁目 [平成27年度] 5件 荏子田二丁目、恩田町、寺家町（2件）、奈良町 [平成28年度] 7件 恩田町（3件）、奈良町（3件）、もえぎ野 [平成29年度] 5件 荏田北二丁目、恩田町、鴨志田町、寺家町、奈良四丁目

5 間伐材の有効利用
• チッパーの貸し出し：7回 [平成26年度] 4回 もえぎ野ふれあいの樹林 [平成27年度] 2回 もえぎ野ふれあいの樹林 [平成29年度] 1回 もえぎ野ふれあいの樹林
9 森に関する情報発信
• ウェルカムセンターの運営：1館 [実施箇所] 寺家ふるさと村四季の家

市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
• 水田保全承認面積：37.8ha [実施箇所] 市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町
• 水源確保施設整備：2か所 [平成27年度] 1か所 田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（杉山耕作組合） [平成29年度] 1か所 鉄大場市ヶ尾水利組合
11 特定農業用施設保全契約の締結
• 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：6件 [平成27年度] 1件 あざみ野南一丁目 [平成28年度] 2件 松風台、大場町 [平成29年度] 3件 恩田町、黒須田、みたけ台

12 農景観を良好に維持する取組の推進

- 地域の農地管理を行う団体への支援：99.5ha（16団体）

[実施箇所] 杉山耕作組合、奈良堰下水利組合、白山谷戸水利組合、鴨志田町上耕地水利組合、じじ池水利組合、宮前水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、下市ケ尾水利組合、上谷本地区農用地利用改善組合、恩田水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ケ尾水利組合、保木農用地利用改善組合、番匠谷かんがい組合

- 田園景観保全水路整備：2地区

[平成28年度] 2地区 寺家農用地利用組合、田奈地区水利・耕作組合連絡協議会（杉山耕作組合）

- 共同利用設備の整備：2件

[平成29年度] 2件 鉄町、田奈町

13 多様な主体による農地の利用促進

- 6年以上の長期貸付を開始した農地：5.7ha

[平成26年度] 0.8ha 市ケ尾町、恩田町、上谷本町、元石川町

[平成28年度] 2.0ha 市ケ尾町、恩田町、上谷本町、さつきが丘、寺家町

[平成29年度] 2.9ha 市ケ尾町、恩田町、上谷本町、鴨志田町、鉄町、さつきが丘、寺家町、下谷本町、田奈町

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験農園の開設支援：0.45ha

[平成28年度] 0.10ha 鴨志田町

[平成29年度] 0.35ha 寺家町、奈良町、元石川町

- 市民農園の開設支援：1.65ha

[平成26年度] 0.80ha 荇子田二丁目、荇子田三丁目、荇田北一丁目、鉄町（2件）、若草台（2件）

[平成27年度] 0.41ha 鉄町、下谷本町、元石川町（3件）

[平成28年度] 0.24ha あかね台一丁目、寺家町（2件）

[平成29年度] 0.20ha 市ケ尾町、たちばな台一丁目

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：11本 [平成26年度] 3本 恩田町、しらとり台（2本） [平成27年度] 1本 荏田町 [平成28年度] 7本 鉄町、田奈町、もえぎ野（5本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：4,063本 [平成26年度] 981本 [平成27年度] 1,107本 [平成28年度] 998本 [平成29年度] 977本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：4か所 [平成26年度] 1か所 奈良地区センター [平成27年度] 1か所 奈良地区センター [平成28年度] 1か所 青葉区庁舎 [平成29年度] 1か所 美しが丘（たまプラーザ駅周辺） 創出した緑の維持管理：のべ15か所 [平成26年度] 1か所 青葉区庁舎（公会堂） [平成27年度] 4か所 青葉区庁舎（公会堂）、青葉消防署、大場みすずが丘地区センター、鴨志田消防出張所 [平成28年度] 4か所 青葉区庁舎（2件）、青葉消防署、鴨志田消防出張所、 [平成29年度] 6か所 青葉区庁舎（3件）、青葉消防署、大場みすずが丘地区センター、鴨志田消防出張所
25 いきいきとした街路樹づくり
<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の計画的なせん定：のべ156路線 [平成26年度] 17路線 [平成27年度] 28路線 [平成28年度] 77路線 [平成29年度] 34路線

＜緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進＞

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区

[平成26-28年度] 1地区 柿の木台地区

[平成28-30年度] 1地区 江田駅周辺地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：12か所

[平成26年度] 4か所 美しが丘保育園、さつきが丘小学校、藤が丘小学校、鴨志田中学校

[平成27年度] 2か所 トイボックスたまプラーザ園、美しが丘東小学校

[平成28年度] 4か所 愛和太陽幼稚園、もみの木台保育園、美しが丘小学校、つつじが丘小学校

[平成29年度] 2か所 黒須田小学校、つつじが丘小学校

- 芝生等の維持管理：のべ11か所

[平成26年度] 1か所 鴨志田中学校

[平成27年度] 2か所 美しが丘保育園、鴨志田中学校

[平成28年度] 4か所 美しが丘保育園、鉄小学校、つつじが丘小学校、鴨志田中学校

[平成29年度] 4か所 美しが丘保育園、鉄小学校、つつじが丘小学校、鴨志田中学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

都筑区

-  緑地保全制度による指定の拡大
10.1ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
2.1ha
-  地域緑のまちづくり
2地区



調整中

〈凡例〉	
	次世代につなぐ森を育む
	農を感じる場をつくる
	実感できる緑をつくる
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	
	特別緑地保全地区
	市民の森・ふれあいの樹林
	公園緑地
	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅
	新幹線
	農業専用地区
	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

市民とともに次世代につなぐ森を育む

緑地保全制度による新規指定



1 源流の森保存地区／東山田町

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



2 池辺市民の森

市民が身近に農を感じる場をつくる

地域の農地管理を行う団体への支援



12 折本町(折本農業専用地区協議会)

市民農園の開設支援



14 特区農園／池辺町

市民が実感できる緑をつくる

地域緑のまちづくり



26 東山田四丁目地区

地域緑のまちづくり



26 牛久保西地区

4か年事業・取組実績詳細

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■緑地保全制度による新規指定等

- ・特別緑地保全地区：0.8ha

[平成26年度] 0.5ha 大瀬町地区

[平成28年度] 0.3ha 池辺町滝ヶ谷戸地区（指定拡大）

- ・市民の森：0.9ha

[平成26年度] 0.5ha 池辺市民の森（指定拡大）

[平成27年度] 0.4ha 池辺市民の森（指定拡大）

- ・緑地保存地区：4.6ha

[平成26年度] 0.3ha 荏田東四丁目、北山田七丁目

[平成27年度] 4.1ha 北山田三丁目、茅ヶ崎東三丁目、中川二丁目、仲町台五丁目、東山田三丁目、東山田四丁目、南山田一丁目

[平成28年度] 0.2ha 茅ヶ崎南二丁目

- ・源流の森保存地区：3.5ha

[平成26年度] 1.0ha 池辺町、勝田町

[平成27年度] 0.6ha 池辺町、勝田町、東方町

[平成28年度] 1.3ha 荏田南町、折本町

[平成29年度] 0.6ha 東方町（2件）、東山田町

- ・寄附緑地等：0.3ha

[平成26年度] 0.3ha 大瀬町

■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

- ・特別緑地保全地区：計2地区

[平成26年度] 2地区 池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区

[平成27年度] 1地区 池辺町滝ヶ谷戸地区

[平成28年度] 1地区 池辺町滝ヶ谷戸地区

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ16か所

[平成26年度] 3か所 川和特別緑地保全地区、川和緑地、茅ヶ崎緑地

[平成27年度] 4か所 川和特別緑地保全地区、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

[平成28年度] 4か所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

[平成29年度] 5か所 池辺町八所谷戸特別緑地保全地区、池辺市民の森、川和市民の森、川和緑地、茅ヶ崎緑地

・ 公園：のべ15か所

[平成26年度] 3か所 鴨池公園、葛ヶ谷公園、鳥山公園

[平成27年度] 1か所 鴨池公園

[平成28年度] 2か所 牛久保公園、茅ヶ崎公園

[平成29年度] 9か所 大塚・歳勝土遺跡公園、鴨池公園、葛ヶ谷公園、せきれいのみち、茅ヶ崎公園、都筑中央公園、東方公園、東山田公園、ゆうばえのみち

■ 保全管理計画の策定

・ 樹林地：1か所

[平成29年度] 1か所 川和市民の森

・ 公園：4か所

[平成26年度] 1か所 鴨池公園

[平成27年度] 1か所 茅ヶ崎公園

[平成28年度] 2か所 大塚・歳勝土遺跡公園、都筑中央公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援

・ 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：32件

[平成26年度] 12件 荏田東二丁目、荏田東三丁目、荏田南一丁目、大棚西、折本町（2件）、加賀原二丁目、北山田七丁目、佐江戸町、新栄町、茅ヶ崎南四丁目、仲町台三丁目

[平成27年度] 5件 大熊町、大丸、勝田町、川和町、東方町

[平成28年度] 4件 大棚町、勝田町、佐江戸町、茅ヶ崎南四丁目

[平成29年度] 11件 池辺町（3件）、荏田南町、荏田東二丁目、荏田南一丁目（2件）、大丸、北山田七丁目、茅ヶ崎南四丁目、仲町台三丁目

5 間伐材の有効利用

- チッパーの貸し出し：7回
[平成26年度] 2回 茅ヶ崎公園
[平成27年度] 2回 茅ヶ崎公園
[平成28年度] 2回 茅ヶ崎公園
[平成29年度] 1回 茅ヶ崎公園

市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全

- 水田保全承認面積：5.9ha
[実施箇所] 荏田東町、荏田南町、大熊町、川向町、中川四丁目

11 特定農業用施設保全契約の締結

- 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件
[平成27年度] 1件 川向町

12 農景観を良好に維持する取組の推進

- 地域の農地管理を行う団体への支援：127.5ha（9団体）
[実施箇所] 新羽大熊農業専用地区協議会（港北区・都筑区）、大熊下水利組合、荏田中川水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、横浜市都筑区東方西部土地改良区、川向水利組合、折本農業専用地区協議会、横浜市都筑区東方北部土地改良区、横浜市都筑区都田第一土地改良区

13 多様な主体による農地の利用促進

- 6年以上の長期貸付を開始した農地：5.7ha
[平成26年度] 0.5ha 池辺町、折本町、東方町
[平成27年度] 0.7ha 池辺町、佐江戸町、東方町
[平成28年度] 2.5ha 池辺町、大熊町、折本町、東方町
[平成29年度] 2.0ha 池辺町、荏田南町、大熊町、折本町、川和町、東方町

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験農園の開設支援：0.31ha
[平成26年度] 0.04ha 折本町
[平成27年度] 0.06ha 池辺町、東方町
[平成29年度] 0.21ha 中川三丁目、東方町（2件）
- 市民農園の開設支援：0.74ha
[平成27年度] 0.07ha 大棚町
[平成28年度] 0.16ha 池辺町、南山田町（2件）
[平成29年度] 0.51ha 池辺町（2件）、佐江戸町
- 農園付公園の整備：1か所（1.0ha）
[平成27年度] 1か所（1.0ha） 大棚杉の森ふれあい公園

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所等の支援：1件
[平成27年度] 1件 仲町台四丁目

市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成

- 緑化の助成：1件
[平成27年度] 1件 早淵二丁目

20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）

- 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件
[平成27年度] 1件 荏田南二丁目

21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：5本 [平成26年度] 5本 池辺町（2本）、川和町、佐江戸町（2本） 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：10本 [平成26年度] 3本 佐江戸町（2本）、仲町台 [平成27年度] 1本 大棚町 [平成28年度] 3本 池辺町、大棚町、茅ヶ崎中央 [平成29年度] 3本 茅ヶ崎三丁目、東方町（2本）
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,950本 [平成26年度] 500本 [平成27年度] 481本 [平成28年度] 495本 [平成29年度] 474本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：1か所 [平成27年度] 1か所 横浜国際プール 創出した緑の維持管理：のべ20か所 [平成26年度] 5か所 都筑区庁舎、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館、都筑区芸術活動場（都筑の文化 夢スタジオ） [平成27年度] 4か所 都筑区庁舎、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館 [平成28年度] 5か所 都筑区庁舎、中川西地区センター、仲町台地区センター、大熊スポーツ会館、都筑区芸術活動場（都筑の文化 夢スタジオ） [平成29年度] 6か所 大熊スポーツ会館、北山田地区センター、都筑区庁舎、都筑の文化夢スタジオ、中川西地区センター、仲町台地区センター
25 いきいきとした街路樹づくり
<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の計画的なせん定：のべ81路線 [平成26年度] 8路線 [平成27年度] 14路線 [平成28年度] 13路線 [平成29年度] 46路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区

[平成25-29年度] 1地区 牛久保西地区

[平成28-30年度] 1地区 東山田四丁目地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：10か所

[平成26年度] 5か所 大熊保育園、キッズフォレ東山田、パレット保育園・牛久保西、
ブライツ保育園横浜佐江戸、茅ヶ崎中学校

[平成28年度] 3か所 都筑小学校、南山田小学校、川和中学校

[平成29年度] 2か所 中川西保育園、中川西小学校

- 芝生等の維持管理：のべ13か所

[平成26年度] 3か所 大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園

[平成27年度] 3か所 大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園

[平成28年度] 4か所 大熊保育園（2件）、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園

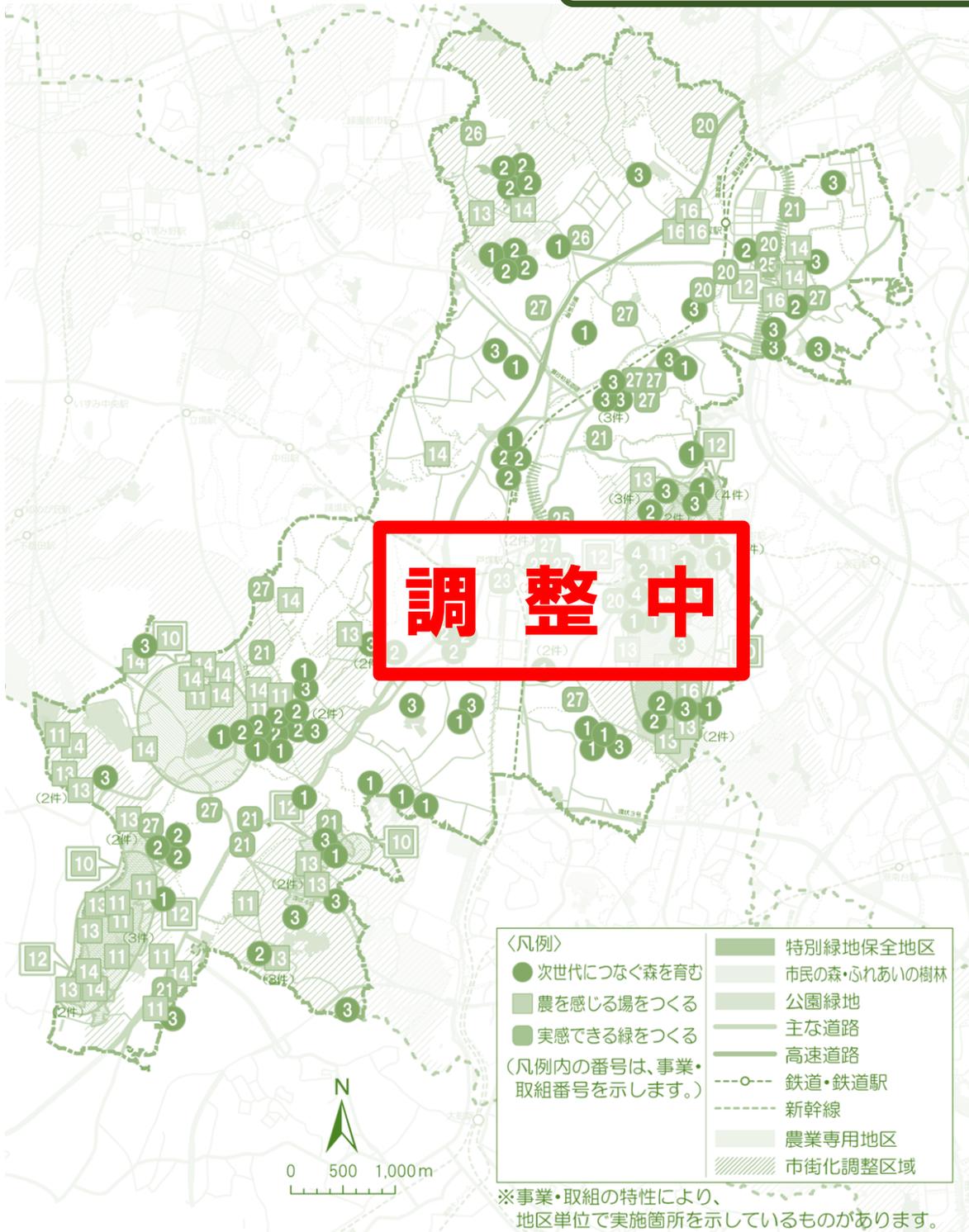
[平成29年度] 3か所 大熊保育園、茅ヶ崎南保育園、みどり保育園



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

戸塚区

-  緑地保全制度による指定の拡大
18.5ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
2.8ha
-  地域緑のまちづくり
2 地区



 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



特別緑地保全地区／東俣野町地区

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



まさかりが淵市民の森

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



舞岡町

地域の農地管理を行う団体への支援



小雀町(横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会)

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出



宇田川

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出



小雀小学校

4 か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



< 樹林地の確実な保全の推進 >

① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：3.1ha

[平成26年度] 1.4ha 下倉田町地区

[平成29年度] 1.7ha 名瀬・上矢部地区、東俣野町地区

・ 市民の森：3.9ha

[平成26年度] 2.8ha (仮称)名瀬・上矢部市民の森(指定拡大)、舞岡ふるさとの森(指定拡大)

[平成27年度] 1.1ha (仮称)名瀬・上矢部市民の森(指定拡大)

・ 緑地保存地区：2.3ha

[平成26年度] 0.7ha 上矢部町、名瀬町、前田町

[平成27年度] 1.2ha 上倉田町(2件)、上矢部町、戸塚町、舞岡町

[平成28年度] 0.3ha 秋葉町、上柏尾町、戸塚町、原宿三丁目

[平成29年度] 0.1ha 柏尾町、上矢部町

・ 源流の森保存地区：9.2ha

[平成26年度] 1.5ha 小雀町、舞岡町(6件)

[平成27年度] 4.8ha 小雀町、戸塚町(3件)、東俣野町、深谷町、舞岡町(2件)

[平成28年度] 0.8ha 舞岡町

[平成29年度] 2.1ha 汲沢町(2件)、名瀬町

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区：計3地区

[平成27年度] 1地区 下倉田町地区

[平成28年度] 2地区 下倉田町地区、汲沢四丁目地区

[平成29年度] 2地区 汲沢四丁目地区、舞岡町地区

・ 市民の森、ふれあいの樹林等：計3地区

[平成26年度] 1地区 深谷市民の森

[平成27年度] 2地区 深谷市民の森、舞岡ふるさとの森

[平成28年度] 1地区 舞岡ふるさとの森

[平成29年度] 1地区 上矢部ふれあいの樹林

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ42か所

[平成26年度] 10か所 名瀬北特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、ウイトリッヒの森、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、深谷市民の森、舞岡ふるさとの森、まさかりが淵市民の森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

[平成27年度] 10か所 名瀬北特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、ウイトリッヒの森、深谷市民の森、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、舞岡ふるさとの森、まさかりが淵市民の森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

[平成28年度] 11か所 名瀬北特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、ウイトリッヒの森、深谷市民の森、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、舞岡ふるさとの森、まさかりが淵市民の森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

[平成29年度] 11か所 名瀬北特別緑地保全地区、舞岡特別緑地保全地区、俣野特別緑地保全地区、ウイトリッヒの森、深谷市民の森、(仮称)名瀬・上矢部市民の森、舞岡ふるさとの森、まさかりが淵市民の森、上矢部ふれあいの樹林、富塚八幡緑地、舞岡町緑地

・ 公園：のべ7か所

[平成26年度] 3か所 白旗山公園、平戸みはらし公園、宮谷西公園

[平成27年度] 2か所 小雀公園、舞岡公園

[平成28年度] 1か所 舞岡公園

[平成29年度] 1か所 舞岡公園

■ 保全管理計画の策定

・ 樹林地：2か所

[平成28年度] 1か所 名瀬北特別緑地保全地区

[平成29年度] 1か所 まさかりが淵市民の森

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：52件

[平成26年度] 18件 影取町、柏尾町（3件）、上矢部町、川上町、汲沢四丁目、小雀町（2件）、下倉田町、戸塚町（2件）、平戸三丁目、平戸五丁目、平戸町（2件）、舞岡町（2件）

[平成27年度] 17件 柏尾町、上柏尾町、上矢部町、川上町、汲沢町（2件）、小雀町（3件）、戸塚町、平戸三丁目、平戸町、深谷町、舞岡町（2件）、前田町、南舞岡四丁目

[平成28年度] 6件 柏尾町、戸塚町、平戸町、舞岡町（2件）、俣野町

[平成29年度] 11件 秋葉町、柏尾町、上矢部町、小雀町、戸塚町、平戸三丁目、平戸五丁目、舞岡町（4件）

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- 法面の整備：3か所

[平成28年度] 2か所 舞岡ふるさとの森、舞岡特別緑地保全地区

[平成29年度] 1か所 舞岡ふるさとの森

9 森に関する情報発信

- ウェルカムセンターの運営：1館

[実施箇所] 舞岡ふるさと村虹の家

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none"> 水田保全承認面積：9.7ha [実施箇所] 小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：17件 [平成26年度] 4件 東俣野町（3件）、舞岡町 [平成27年度] 6件 影取町、汲沢町、東俣野町（2件）、深谷町、舞岡町 [平成28年度] 5件 汲沢町、小雀町、東俣野町（2件）、俣野町 [平成29年度] 2件 東俣野町、舞岡町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none"> 地域の農地管理を行う団体への支援：56.4ha（4団体） [実施箇所] 横浜市戸塚区平戸農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会、東俣野水利組合 田園景観保全水路整備：2か所 [平成26年度] 1か所 東俣野水利組合 [平成27年度] 1か所 横浜市舞岡農業専用地区協議会
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none"> 6年以上の長期貸付を開始した農地：3.8ha [平成26年度] 0.7ha 小雀町、東俣野町、舞岡町、俣野町 [平成27年度] 0.8ha 汲沢町、小雀町、東俣野町、舞岡町、俣野町 [平成28年度] 0.8ha 小雀町、名瀬町、舞岡町、俣野町 [平成29年度] 1.5ha 汲沢町、小雀町、東俣野町、舞岡町

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

• 収穫体験農園の開設支援：0.65ha

[平成26年度] 0.28ha 汲沢六丁目、東俣野町

[平成27年度] 0.23ha 平戸町

[平成28年度] 0.06ha 東俣野町、平戸町

[平成29年度] 0.08ha 影取町

• 市民農園の開設支援：1.63ha

[平成26年度] 0.41ha 鳥が丘、深谷町（2件）

[平成27年度] 0.54ha 名瀬町、深谷町（2件）、俣野町

[平成28年度] 0.68ha 汲沢町、深谷町、舞岡町

• 農園付公園の整備：1か所（0.4ha）

[平成27年度] 1か所（0.4ha）ハマヤク農園

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

• 直売所等の支援：5件

[平成26年度] 1件 舞岡町

[平成27年度] 3件 平戸町、川上町、舞岡町

[平成29年度] 1件 舞岡町

• 青空市運営支援：4件

[平成26年度] 1件 東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1 駐車場

[平成27年度] 1件 東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1 駐車場

[平成28年度] 1件 東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1 駐車場

[平成29年度] 1件 東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1 駐車場

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：5件 [平成27年度] 3件 上倉田町、品濃町（2件） [平成28年度] 2件 品濃町、前田町
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：1本 [平成27年度] 1本 舞岡町 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：8本 [平成26年度] 2本 品濃町、原宿二丁目 [平成27年度] 1本 影取町 [平成28年度] 3本 汲沢町、原宿二丁目（2件） [平成29年度] 2本 名瀬町、舞岡町
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：2,936本 [平成26年度] 676本 [平成27年度] 731本 [平成28年度] 707本 [平成29年度] 822本
23 公共施設・公有地での緑の創出・管理
<ul style="list-style-type: none"> 緑の創出：1か所 [平成29年度] 1か所 宇田川 創出した緑の維持管理：のべ5か所 [平成26年度] 2か所 戸塚区庁舎（屋上）、舞岡ふるさと村虹の家 [平成27年度] 2か所 戸塚区庁舎（屋上）、舞岡ふるさと村虹の家 [平成28年度] 1か所 舞岡ふるさと村虹の家

25 いきいきとした街路樹づくり

- 街路樹の計画的なせん定：のべ20路線

[平成26年度] 2路線

[平成27年度] 2路線

[平成28年度] 2路線

[平成29年度] 14路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：2地区

[平成23-27年度] 1地区 名瀬たかの台地区

[平成29-31年度] 1地区 前田町桜の丘地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：9か所

[平成26年度] 3か所 倉田小学校、俣野小学校、平戸中学校

[平成28年度] 2か所 東台幼稚園、大正小学校

[平成29年度] 4か所 東台幼稚園、ハートの森保育園、小雀小学校、平戸中学校

- 芝生等の維持管理：のべ17か所

[平成26年度] 5か所 柏尾スマイル保育園、倉田小学校、東戸塚小学校（2件）、俣野小学校

[平成27年度] 6か所 柏尾スマイル保育園、銀杏保育園、倉田小学校、東戸塚小学校（2件）、俣野小学校

[平成28年度] 6か所 柏尾スマイル保育園、倉田小学校、東戸塚小学校（2件）、俣野小学校、汲沢中学校

[平成29年度] 5か所 柏尾スマイル保育園、倉田小学校、東戸塚小学校（2件）、汲沢中学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

栄区

-  緑地保全制度による指定の拡大
40.7ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.1ha
-  地域緑のまちづくり
1地区



〈凡例〉

	次世代につなぐ森を育む		特別緑地保全地区
	農を感じる場をつくる		近郊緑地特別保全地区
	実感できる緑をつくる		市民の森・ふれあいの樹林
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)			公園緑地
			主な道路
			高速道路
			鉄道・鉄道駅
			新幹線
			農業専用地区
			市街化調整区域

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定

1



源流の森保存地区／長尾台町

森づくりガイドライン等を活用した森の育成

2



上郷九号緑地

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全

10



上郷町

多様な主体による農地の利用促進

13



田谷町

 市民が実感できる緑をつくる



地域緑のまちづくり

23



湘南桂台地区

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

27



ビオトープ／飯島小学校

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：15.1ha

[平成26年度] 2.4ha 上郷・中野地区（指定拡大）

[平成27年度] 1.5ha 上郷町瀬上地区

[平成29年度] 11.2ha 上郷町石原地区、上郷町深田地区

・ 市民の森：0.3ha

[平成26年度] 0.02ha 上郷市民の森（指定拡大）

[平成27年度] 0.3ha 上郷市民の森（指定拡大）、瀬上市民の森（指定拡大）

・ 緑地保存地区：2.5ha

[平成26年度] 0.2ha 亀井町

[平成27年度] 0.1ha 小菅ケ谷二丁目

[平成28年度] 0.1ha 小菅ケ谷三丁目、小菅ケ谷四丁目

[平成29年度] 2.1ha 飯島町、鍛冶ケ谷町、亀井町、小菅ケ谷二丁目

・ 源流の森保存地区：22.8ha

[平成26年度] 0.5ha 田谷町（2件）

[平成27年度] 10.4ha 上郷町、田谷町、東上郷町

[平成28年度] 10.8ha 上郷町、公田町

[平成29年度] 1.1ha 上郷町（2件）、田谷町、長尾台町（4件）

・ 寄附緑地等：0.01ha

[平成27年度] 0.01ha 小菅ケ谷二丁目

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区：計6地区

[平成26年度] 4地区 飯島町地区、大丸山地区、鍛冶ケ谷地区、公田・荒井沢地区

[平成27年度] 3地区 円海山地区、上郷・中野地区、公田・荒井沢地区

[平成28年度] 1地区 上郷・中野地区

・ 市民の森、ふれあいの樹林等：1地区

[平成26年度] 1地区 瀬上市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ50か所

[平成26年度] 12か所 公田近郊緑地特別保全地区、飯島町特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地、横浜自然観察の森

[平成27年度] 11か所 公田近郊緑地特別保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地、横浜自然観察の森

[平成28年度] 13か所 公田近郊緑地特別保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地、横浜自然観察の森

[平成29年度] 14か所 公田近郊緑地特別保全地区、金井特別緑地保全地区、上郷・中野特別緑地保全地区、公田・荒井沢特別緑地保全地区、野七里特別緑地保全地区、荒井沢市民の森、飯島市民の森、鍛冶ケ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、小菅ケ谷緑地、小菅ケ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地、横浜自然観察の森

・ 公園：のべ7か所

[平成26年度] 1か所 上郷七号緑地

[平成27年度] 2か所 小菅ケ谷北公園、上郷九号緑地

[平成28年度] 2か所 小菅ケ谷北公園、上郷九号緑地

[平成29年度] 2か所 小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

■ 保全管理計画の策定

・ 樹林地：2か所

[平成26年度] 1か所 上郷市民の森

[平成27年度] 1か所 飯島市民の森

・ 公園：2か所

[平成28年度] 2か所 小菅ケ谷北公園、本郷ふじやま公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援
<ul style="list-style-type: none">緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理の助成：27件 [平成26年度] 10件 鍛冶ケ谷二丁目、金井町、上郷町、公田町、小菅ケ谷二丁目、田谷町（5件） [平成27年度] 6件 飯島町、鍛冶ケ谷一丁目、上郷町、田谷町（3件） [平成28年度] 4件 飯島町、鍛冶ケ谷一丁目、小菅ケ谷二丁目、小菅ケ谷四丁目 [平成29年度] 7件 鍛冶ケ谷一丁目、金井町、上郷町、小菅ケ谷二丁目、田谷町（3件）
4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上
<ul style="list-style-type: none">法面の整備：2か所 [平成28年度] 1か所 荒井沢市民の森 [平成29年度] 1か所 上郷市民の森
9 森に関する情報発信
<ul style="list-style-type: none">ウェルカムセンターの運営：1館 [実施箇所] 横浜自然観察の森自然観察センター

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none"> 水田保全承認面積：2.4ha [実施箇所] 上郷町、田谷町
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：3件 [平成27年度] 1件 長尾台町 [平成28年度] 1件 田谷町 [平成29年度] 1件 上郷町
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none"> 地域の農地管理を行う団体への支援：4.8ha（1団体） [実施箇所] 横浜市栄区长尾台土地改良区 共同利用設備の整備：1件 [平成26年度] 1件 田谷町
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none"> 6年以上の長期貸付を開始した農地：0.2ha [平成26年度] 0.1ha 田谷町、長倉町 [平成29年度] 0.1ha 田谷町
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
<ul style="list-style-type: none"> 市民農園の開設支援：0.07ha [平成26年度] 0.07ha 長倉町

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大
<ul style="list-style-type: none"> 直売所等の支援：1件 [平成29年度] 1件 長沼町

市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

21 名木古木の保存

- 名木古木の新規指定：2本
[平成26年度] 1本 中野町
[平成28年度] 1本 上郷町
- 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：2本
[平成27年度] 1本 金井町
[平成28年度] 1本 小菅ケ谷四丁目

22 人生記念樹の配布

- 人生記念樹の配布：1,113本
[平成26年度] 256本
[平成27年度] 289本
[平成28年度] 271本
[平成29年度] 297本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 緑の創出：1か所
[平成28年度] 1か所 栄区庁舎
- 創出した緑の維持管理：10か所
[平成26年度] 9か所 栄区庁舎、栄図書館、さかえ次世代交流ステーション、翠風荘、豊田地域ケアプラザ、笠間地域ケアプラザ、小菅ケ谷地域ケアプラザ、中野地域ケアプラザ、栄土木事務所
[平成29年度] 1か所 栄区庁舎

25 いきいきとした街路樹づくり

- 街路樹の計画的な剪定：のべ44路線
[平成26年度] 9路線
[平成27年度] 6路線
[平成28年度] 18路線
[平成29年度] 11路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：1地区

[平成26-30年度] 1地区 湘南桂台地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：11か所

[平成26年度] 3か所 桂台保育園、やまゆり幼稚園、桂台小学校

[平成27年度] 4か所 飯島保育園、飯島小学校、桂台小学校、公田小学校

[平成28年度] 1か所 公田保育園

[平成29年度] 3か所 飯島小学校、桂台小学校、本郷小学校

- 芝生等の維持管理：のべ29か所

[平成26年度] 5か所 桂台保育園、上郷保育園、小山台小学校、千秀小学校、本郷小学校

[平成27年度] 6か所 桂台保育園、飯島小学校、小山台小学校、公田小学校、千秀小学校、本郷小学校

[平成28年度] 9か所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、小山台小学校、公田小学校、千秀小学校、本郷小学校

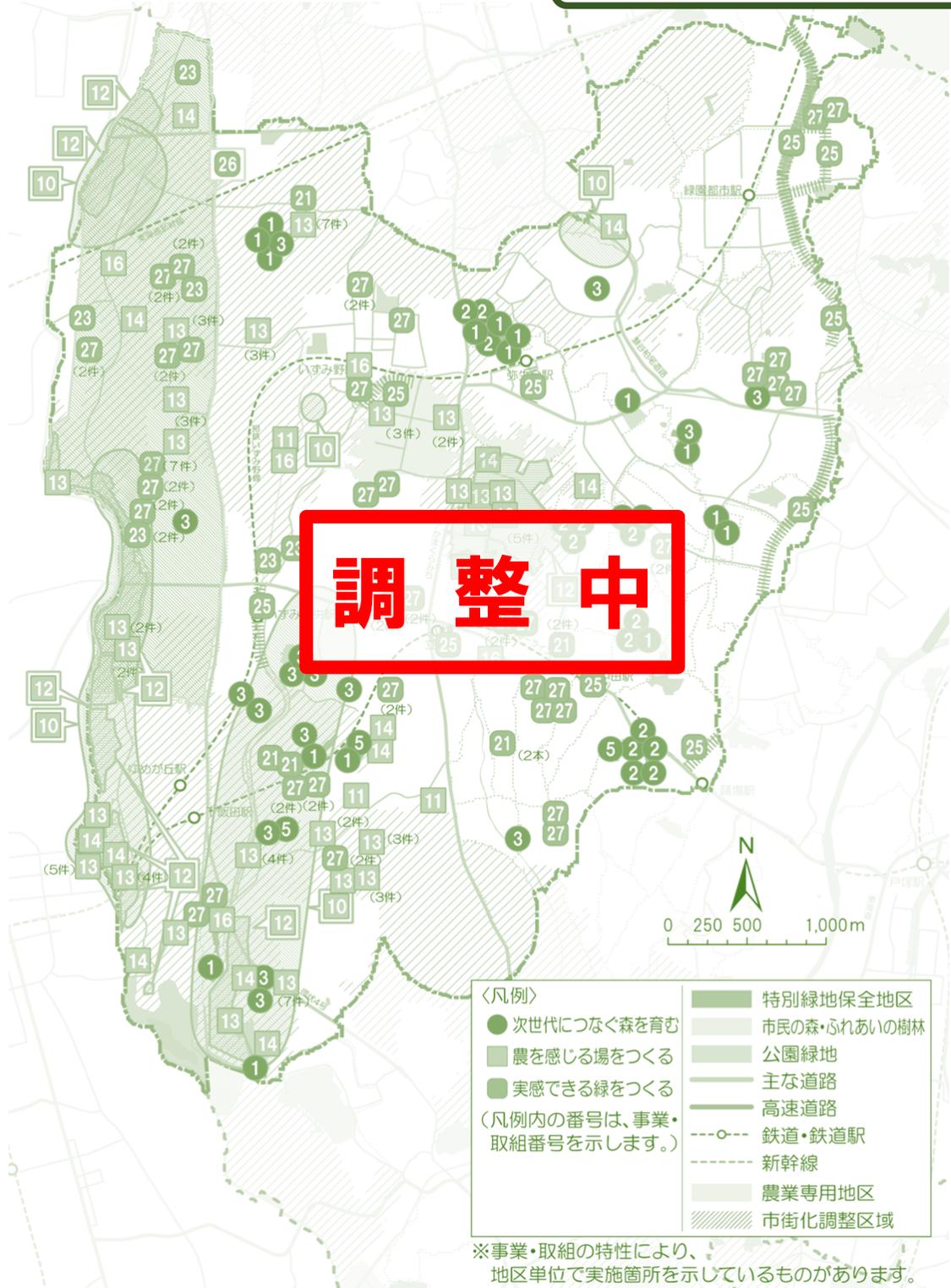
[平成29年度] 9か所 飯島保育園、桂台保育園、上郷保育園、公田保育園、飯島小学校、小山台小学校、公田小学校、千秀小学校、本郷小学校



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

泉区

-  緑地保全制度による指定の拡大
12.0ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
2.8ha
-  地域緑のまちづくり
1地区



● 次世代につなぐ森を育む	特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	市民の森・ふれあいの樹林
■ 実感できる緑をつくる	公園緑地
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	主な道路
	高速道路
	鉄道・鉄道駅
	新幹線
	農業専用地区
	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



(仮称)古橋市民の森

緑地保全制度による新規指定



特別緑地保全地区／和泉町早稻田地区

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



下飯田町

農園付公園の整備



岡津町ふれあい公園

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出



上飯田団地入口付近

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出



ビオトープ／和泉小学校

4か年事業・取組実績詳細

 市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■緑地保全制度による新規指定等

・特別緑地保全地区：6.8ha

[平成26年度] 1.8ha 和泉町早稲田地区

[平成27年度] 2.7ha 岡津町金堀谷地区、新橋町地区

[平成28年度] 2.1ha 和泉町関島地区、和泉町天王森地区

[平成29年度] 0.2ha 和泉町早稲田地区（指定拡大）

・市民の森：3.0ha

[平成28年度] 0.03ha 新橋市民の森（指定拡大）

[平成29年度] 3.0ha （仮称）古橋市民の森、新橋市民の森（指定拡大）

・緑地保存地区：0.6ha

[平成27年度] 0.6ha 岡津町、新橋町

・源流の森保存地区：1.6ha

[平成26年度] 0.4ha 和泉町

[平成28年度] 0.9ha 新橋町

[平成29年度] 0.3ha 和泉町

■土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・特別緑地保全地区：計5地区

[平成26年度] 1地区 古橋地区

[平成27年度] 2地区 和泉町早稲田地区、鍋屋地区

[平成28年度] 2地区 岡津町金堀谷地区、鍋屋地区

[平成29年度] 1地区 新橋町地区

・市民の森、ふれあいの樹林等：2地区

[平成26年度] 1地区 新橋市民の森

[平成28年度] 1地区 中田ふれあいの樹林

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

• 樹林地：のべ23か所

[平成26年度] 5か所 新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、中田ふれあいの樹林

[平成27年度] 5か所 鯉ヶ久保特別緑地保全地区、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林

[平成28年度] 6か所 鯉ヶ久保特別緑地保全地区、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、中田ふれあいの樹林、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林

[平成29年度] 7か所 鯉ヶ久保特別緑地保全地区、(仮称)古橋市民の森、新橋市民の森、中田宮の台市民の森、中田ふれあいの樹林、泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林

• 公園：のべ1か所

[平成29年度] 1か所 天王森泉公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援

• 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成：23件

[平成26年度] 4件 和泉町（2件）、岡津町、新橋町

[平成27年度] 5件 和泉町（4件）、中田西四丁目

[平成28年度] 7件 和泉町（4件）、和泉中央南五丁目、岡津町、上飯田町

[平成29年度] 7件 和泉町、岡津町（3件）、上飯田町（2件）、中田西二丁目

5 間伐材の有効利用

• チッパーの貸し出し：8回

[平成26年度] 6回 (仮称)古橋市民の森、源流の森保存地区(和泉町)

[平成28年度] 1回 鯉ヶ久保ふれあいの樹林

[平成29年度] 1回 (仮称)古橋市民の森

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
<ul style="list-style-type: none">水田保全承認面積：20.9ha [実施箇所] 和泉町、上飯田町、下飯田町、新橋町
11 特定農業用施設保全契約の締結
<ul style="list-style-type: none">農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：3件 [平成26年度] 2件 和泉が丘二丁目、和泉町 [平成28年度] 1件 和泉が丘一丁目
12 農景観を良好に維持する取組の推進
<ul style="list-style-type: none">地域の農地管理を行う団体への支援：95.7ha（6団体） [実施箇所] 柳明水利組合、下和泉農地利用組合、中下水利組合、泉区下飯田町水利組合、横浜市泉区中田土地改良区、横浜市並木谷農業専用地区協議会田園景観保全水路整備：1か所 [平成27年度] 1か所 泉区下飯田町水利組合共同利用設備の整備：2件 [平成29年度] 2件 下飯田町（2件）
13 多様な主体による農地の利用促進
<ul style="list-style-type: none">6年以上の長期貸付を開始した農地：9.8ha [平成26年度] 0.8ha 和泉町、上飯田町、中田町 [平成27年度] 2.5ha 和泉町、上飯田町、下飯田町、中田町 [平成28年度] 2.7ha 和泉町、上飯田町、下飯田町、中田町 [平成29年度] 3.8ha 和泉町、岡津町、上飯田町、下飯田町、中田町

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験農園の開設支援：1.02ha

[平成27年度] 0.29ha 上飯田町、新橋町、中田町

[平成28年度] 0.45ha 下飯田町（3件）

[平成29年度] 0.28ha 和泉町、上飯田町、中田南三丁目

- 市民農園の開設支援：1.39ha

[平成26年度] 0.28ha 和泉町、新橋町

[平成27年度] 0.46ha 和泉が丘三丁目、上飯田町、中田北三丁目

[平成28年度] 0.10ha 和泉町

[平成29年度] 0.55ha 和泉町（3件）

- 農園付公園の整備：2か所（0.4ha）

[平成26年度] 1か所（0.1ha） 泉が丘公園（拡張）

[平成29年度] 1か所（0.3ha） 岡津町ふれあい公園

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 直売所等の支援：10件

[平成27年度] 1件 中田西二丁目

[平成28年度] 4件 和泉町（3件）、上飯田町

[平成29年度] 5件 和泉町、和泉中央南一丁目、上飯田町（2件）、中田町

市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

21 名木古木の保存

- ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：12本

[平成26年度] 2本 中田西二丁目（2本）

[平成27年度] 1本 和泉町

[平成28年度] 4本 和泉町（2本）、中田東三丁目（2本）

[平成29年度] 5本 和泉町（2本）、中田南一丁目（3本）

22 人生記念樹の配布

- ・人生記念樹の配布：1,262本

[平成26年度] 307本

[平成27年度] 358本

[平成28年度] 289本

[平成29年度] 308本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- ・緑の創出：1か所

[平成28年度] 1か所 泉土木事務所

- ・創出した緑の維持管理：のべ17か所

[平成26年度] 2か所 泉区庁舎、上飯田地区センター

[平成27年度] 3か所 泉区庁舎、上飯田地区センター、旧いちょう小学校

[平成28年度] 5か所 泉区庁舎、上飯田団地入口付近、上飯田地区センター、旧いちょう小学校、日向山公園、

[平成29年度] 7か所 泉区庁舎、泉土木事務所、上飯田団地入口付近、上飯田地区センター、旧いちょう小学校、日向山公園、向ヶ丘自治会館横市有地

25 いきいきとした街路樹づくり

- ・街路樹の計画的なせん定：のべ47路線

[平成26年度] 5路線

[平成27年度] 8路線

[平成28年度] 20路線

[平成29年度] 14路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

26 地域緑のまちづくり

- 地域緑のまちづくりによる地域緑化の推進：1地区

[平成23-27年度] 1地区 上飯田地区

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 緑の創出：5か所

[平成26年度] 1か所 和泉保育園

[平成27年度] 1か所 中田小学校

[平成28年度] 1か所 中田小学校

[平成29年度] 2か所 和泉小学校、中田小学校

- 芝生等の維持管理：のべ89か所

[平成26年度] 31か所 和泉保育園、飯田北いちょう小学校、いずみ野小学校、伊勢山小学校、泉が丘中学校、いずみ野中学校ほか

[平成27年度] 14か所 北上飯田保育園、上飯田小学校、下飯田小学校、下和泉小学校、中田小学校、岡津中学校、上飯田中学校ほか

[平成28年度] 23か所 葛野小学校、中和田小学校、西が丘小学校、緑園東小学校、中田中学校、中和田中学校 ほか

[平成29年度] 21か所 和泉小学校、中和田南小学校、岡津小学校ほか



横浜みどりアップ計画 4か年の成果と実績

瀬谷区

-  緑地保全制度による指定の拡大
4.2ha
-  様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
0.9ha
-  地域緑のまちづくり
-地区



 市民とともに次世代につなぐ森を育む



緑地保全制度による新規指定



源流の森保存地区／阿久和南一丁目

森づくりガイドライン等を活用した森の育成



瀬谷貉窪公園

 市民が身近に農を感じる場をつくる



水田の保全



瀬谷町

水田の保全



目黒町

 市民が実感できる緑をつくる



公共施設・公有地での緑の創出



二ツ橋公園

保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出



芝生管理／原小学校

4か年事業・取組実績詳細

市民とともに次世代につなぐ森を育む



<樹林地の確実な保全の推進>

1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

■ 緑地保全制度による新規指定等

・ 特別緑地保全地区：1.9ha

[平成26年度] 1.3ha 阿久和南一丁目地区

[平成27年度] 0.3ha 本郷三丁目地区

[平成28年度] 0.3ha 宮沢三丁目地区

・ 市民の森：0.1ha

[平成26年度] 0.05ha 瀬谷市民の森（指定拡大）

・ 緑地保存地区：0.1ha

[平成28年度] 0.1ha 下瀬谷二丁目、宮沢二丁目

・ 源流の森保存地区：2.1ha

[平成26年度] 0.9ha 阿久和南一丁目

[平成27年度] 0.03ha 宮沢四丁目

[平成28年度] 0.2ha 阿久和南三丁目

[平成29年度] 1.0ha 阿久和南一丁目、阿久和南三丁目

■ 土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

・ 特別緑地保全地区：計2地区

[平成27年度] 1地区 本郷三丁目地区

[平成29年度] 1地区 宮沢三丁目地区

・ 市民の森、ふれあいの樹林等：計2地区

[平成26年度] 1地区 瀬谷市民の森

[平成27年度] 2地区 瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林

[平成28年度] 1地区 瀬谷市民の森

<良好な森を育成する取組の推進>

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

・ 樹林地：のべ18か所

[平成26年度] 4か所 宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林

[平成27年度] 5か所 宮沢特別緑地保全地区、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林

[平成28年度] 5か所 宮沢特別緑地保全地区、宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林

[平成29年度] 4か所 宮沢・蟹沢特別緑地保全地区、瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林

・ 公園：のべ5か所

[平成27年度] 2か所 瀬谷貉窪公園、長屋門公園

[平成28年度] 2か所 瀬谷貉窪公園、長屋門公園

[平成29年度] 1か所 瀬谷貉窪公園

■ 保全管理計画の策定

・ 公園：2か所

[平成26年度] 1か所 瀬谷貉窪公園

[平成29年度] 1か所 長屋門公園

3 指定された樹林地における維持管理の支援

・ 緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理の助成：17件

[平成26年度] 7件 阿久和南一丁目（3件）二ツ橋町、本郷三丁目、南台二丁目、宮沢三丁目

[平成27年度] 2件 阿久和南一丁目、宮沢四丁目

[平成28年度] 4件 相沢五丁目、阿久和南一丁目（2件）、阿久和南四丁目

[平成29年度] 4件 阿久和南一丁目、北新（2件）、下瀬谷二丁目

 市民が身近に農を感じる場をつくる



<農に親しむ取組の推進>

10 水田の保全
• 水田保全承認面積：3.9ha [実施箇所] 瀬谷町、目黒町
11 特定農業用施設保全契約の締結
• 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：3件 [平成26年度] 1件 下瀬谷三丁目 [平成27年度] 1件 中屋敷一丁目 [平成28年度] 1件 阿久和東一丁目
12 農景観を良好に維持する取組の推進
• 地域の農地管理を行う団体への支援：81.9ha（2団体） [実施箇所] 八幡耕地整理組合、上瀬谷農業専用地区協議会 • 共同利用設備の整備：1か所 [平成26年度] 1か所 橋戸三丁目
13 多様な主体による農地の利用促進
• 6年以上の長期貸付を開始した農地：1.0ha [平成26年度] 0.3ha 瀬谷町 [平成27年度] 0.3ha 瀬谷町 [平成29年度] 0.4ha 瀬谷町
14 様々なニーズに合わせた農園の開設
• 収穫体験農園の開設支援：0.90ha [平成26年度] 0.90ha 阿久和西四丁目、下瀬谷一丁目、瀬谷町、本郷一丁目

<地産地消の推進>

16 地産地消にふれる機会の拡大
• 直売所等の支援：1件 [平成29年度] 1件 阿久和南三丁目

 市民が実感できる緑をつくる



<市民が実感できる緑を創出する取組の推進>

19 民有地における緑化の助成
<ul style="list-style-type: none"> 緑化の助成：1件 [平成28年度] 1件 三ツ境
20 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [平成27年度] 1件 相沢一丁目
21 名木古木の保存
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：1本 [平成27年度] 1本 竹村町 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：10本 [平成26年度] 2本 相沢三丁目（2本） [平成27年度] 4本 相沢三丁目（2本）、阿久和東四丁目、中屋敷一丁目 [平成28年度] 2本 上瀬谷町、竹村町 [平成29年度] 2本 上瀬谷町、竹村町
22 人生記念樹の配布
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹の配布：1,152本 [平成26年度] 354本 [平成27年度] 284本 [平成28年度] 272本 [平成29年度] 242本

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

• 緑の創出：2か所

[平成27年度] 1か所 相沢川水辺広場

[平成29年度] 1か所 二ツ橋公園

• 創出した緑の維持管理：のべ16か所

[平成26年度] 3か所 瀬谷土木事務所、二ツ橋公園、宮沢ふれあいの水辺

[平成27年度] 4か所 阿久和消防出張所、瀬谷土木事務所、二ツ橋公園、宮沢ふれあ
い広場

[平成28年度] 4か所 阿久和消防出張所、瀬谷土木事務所、二ツ橋公園、宮沢ふれあ
い広場

[平成29年度] 5か所 阿久和消防出張所、瀬谷土木事務所、二ツ橋公園、宮沢ふれあ
い広場（2件）

25 いきいきとした街路樹づくり

• 街路樹の計画的なせん定：のべ30路線

[平成26年度] 6路線

[平成27年度] 6路線

[平成28年度] 9路線

[平成29年度] 9路線

<緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進>

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

• 緑の創出：4か所

[平成27年度] 2か所 下瀬谷保育園、中屋敷保育園

[平成28年度] 2か所 瀬谷第二保育園、下瀬谷中学校

• 芝生等の維持管理：のべ21か所

[平成26年度] 5か所 中屋敷保育園、原小学校（2件）南瀬谷小学校（2件）

[平成27年度] 5か所 中屋敷保育園、原小学校（2件）南瀬谷小学校（2件）

[平成28年度] 5か所 中屋敷保育園、原小学校（2件）南瀬谷小学校（2件）

[平成29年度] 6か所 中屋敷保育園、原小学校（2件）南瀬谷小学校（2件）、二ツ橋
高等特別支援学校





平成 30 年 6 月発行

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜市中区港町 1-1 電話 045-671-2712 / FAX 045-224-6627

2019年度以降の取組についても検討を進めています！

「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）」は、2018（平成30）年度末までの計画ですが、緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。そこで、これまでの取組の成果などを踏まえ、2019（平成31）年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組[2019-2023]」の素案をまとめ、1月から2月に素案に対する市民意見募集を実施しました。この市民意見募集で寄せられたご意見などを踏まえ、「これからの緑の取組[2019-2023]」の原案を策定し、検討を進めています。

横浜みどりアップ計画
（計画期間：平成26-30年度）
【2014-2018年度】

このリーフレットで
実績を報告
しています

これからの緑の取組
[2019-2023]
【2019-2023年度】

現在、検討を
進めています

「これからの緑の取組[2019-2023]」(原案)の概要

取組の理念 → みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

- 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

取組の柱1
市民とともに次世代に
つなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定された樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施

取組の柱2
市民が身近に
農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進

取組の柱3
市民が実感できる
緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを集中的に展開



この3つの取組と合わせ、効果的な広報の展開に取り組めます

「これからの緑の取組[2019-2023]」(原案)の総事業費は502億円です。この取組における横浜みどり税を含めた財源の検討も進めています。

「横浜みどりアップ計画」の4か年の評価・検証及び「これからの緑の取組」(原案)は、次の場所で閲覧できます

- 各区役所広報相談係
- 市民情報センター(市庁舎1階)
- 環境創造局政策課

環境創造局のウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>

問合せ

「横浜みどりアップ計画」及び「これからの緑の取組[2019-2023]」(原案)について ▶ 環境創造局政策課 … TEL 045-671-4214 FAX 045-641-3490
「横浜みどりアップ計画」の各事業について ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 … TEL 045-671-2712 FAX 045-224-6627
「横浜みどり税」について ▶ 各区役所税務課又は財政局税務課 … [財政局税務課] TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

平成30年6月発行：横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画

計画期間
平成26-30年度

4か年の実績 概要 (平成26~29年度)



HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)2017横浜賞 作家：胡ゆえんゆえん



池辺市民の森(都筑区)



田奈恵みの里(青葉区)



山下公園(中区)

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、

「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

横浜市では、平成26~29年度の4年間を振り返り、「横浜みどりアップ計画」の事業・取組の評価・検証を行いました。

このリーフレットでは、その概要版として4か年の事業の実績をまとめています。

横浜みどりアップ計画 4か年の実績 概要(平成26-29年度)



取組の柱 1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

森の保全が進展 328.4ha指定 88.5ha買取り

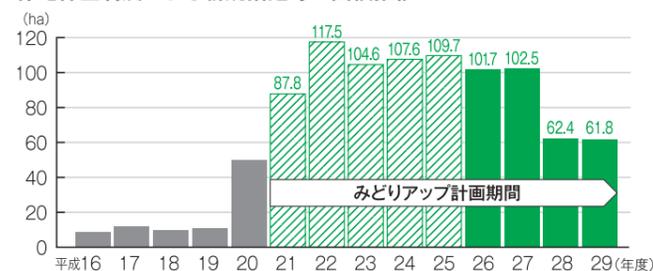
特別緑地保全地区、市民の森などの制度による指定を積極的に進めました。また、特別緑地保全地区などの指定地で、土地所有者の不測の事態などによる買入れ申し出に、着実に対応しました。

緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り



新規指定した特別緑地保全地区(金沢区) 土地の買取りをした市民の森(旭区)

緑地保全制度による新規指定等の面積推移



森への関わりが広がり、深まる

森に関わるきっかけとなるイベントを開催したほか、生物多様性への配慮や利用者の安全確保など、愛護会などと連携しながら良好な森を育成するための取組を進めました。

森づくりガイドライン等を活用した森の育成

森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全に配慮した森づくりを推進 **維持管理した森のべ561か所**

樹林地維持管理助成

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の維持管理作業を支援 **405件**

森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内の樹林地等で活動する団体に対して、森づくり活動を支援 **のべ144団体**



森づくり活動団体への専門家派遣による研修(磯子区) みどりアップ健康ウォーキング(南区)



取組の柱 3

市民が実感できる緑をつくる

緑のまちづくりが進展 42地区

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民と協働して進めました。

地域緑のまちづくり



地域緑のまちづくり(栄区)



地域緑のまちづくり(緑区)

緑や花で街の賑わいを創出

都心臨海部において、花や緑による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開しました。全国都市緑化よこはまフェアの会場として多くの方が訪れ、花や緑を楽しみました。

都心臨海部の緑花による賑わいづくり



港の見える丘公園(中区)

グランモール公園(西区)

緑の少ない区に緑豊かな公園を開設

緑の少ない区(鶴見、神奈川、西、中、南)において緑豊かな公園の整備により緑を作り、街の魅力や賑わいづくりにつなげています。

公有地化によるシンボリックな緑の創出



下野谷町三丁目公園(鶴見区)



取組の柱 2

市民が身近に農を感じる場をつくる

市内の水田の9割を保全 119.8ha保全

水稻作付の10年間継続を条件に土地所有者への奨励金を交付し、貴重な農景観である水田を保全しました。

水田の保全



保全された水田(瀬谷区)

保全された水田(港南区)

良好な農景観の保全が進展

農業者団体が実施する農地周辺の維持管理の取組を支援したほか、意欲ある担い手に農地を長期に貸し付け耕作されたことで、良好な農景観が保全されました。

多様な主体による農地の利用促進 109.9ha



長期貸付を開始した農地(泉区)

長期貸付を開始した農地(神奈川区)

農とのふれあいの場が着実に増加 農園の開設 19.2ha

市民ニーズに応じた多様な農園の開設のほか、直売所等への支援や農体験教室の開催を進めました。

様々なニーズに合わせた農園の開設

収穫体験から本格的な農作業まで、多様な農園の開設支援や整備を推進



収穫体験農園(戸塚区)

環境学習農園(戸塚区)

農園付公園(港北区)

気軽に農を体験する

本格的に農を楽しむ



効果的な広報の展開

みどりアップ計画の取組内容や実績について、様々な方法で広報しています。

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績概要リーフレットの自治会・町内会回覧
- イベントによるPR
- 電車・バスなどの交通広告



横浜みどりアップ 葉っぱ



電車やバスの広告



イベントによるPR(保土ヶ谷区)

横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画の評価・提案、市民の皆さんへの情報提供をする、市民参加の組織です。現地調査や会議を実施するほか、広報誌を編集・発行しています。また、計画の推進に向けた評価・提案などを毎年報告書としてまとめています。



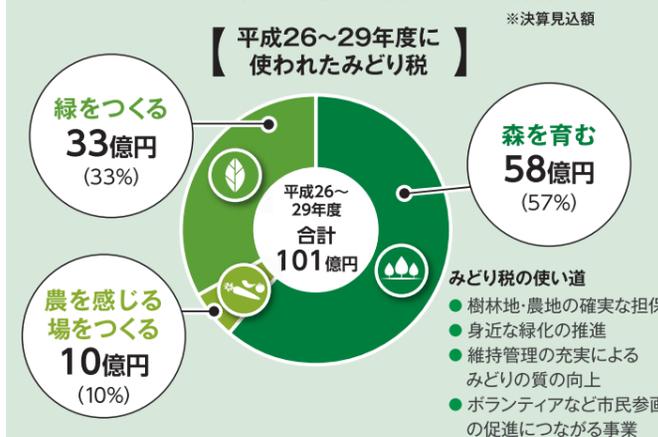
広報誌「みどりアップQ」

市民推進会議

検索

事業費と横浜みどり税(平成26~29年度の累計)

平成26~29年度の事業費：363億円
(みどり税充当分：101億円)



横浜みどり税の課税方式

- 個人 市民税の均等割に上乗せ 900円/年※
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く。
- 法人 年間均等割額の 9%相当額/年

事業・取組の実績と評価・検証

(1) 評価の考え方(4か年の事業・取組の評価)

平成 26 年度から平成 29 年度までの取組をふりかえり、4か年の事業・取組の実績・内容について、以下の方法により評価しました。

なお、評価にあたっては、横浜みどりアップ計画市民推進会議からの意見も参考にしています。(市民推進会議による4か年の評価・提案の概要は P4-5 参照)

ア 進捗状況の評価

全 29 の取組ごとの、5 か年の目標および計画事業費に対する4か年の進捗および執行率を、次の評価基準により評価しました。

〔進捗状況についての評価基準〕

◎:80%以上

○:50%以上~80%未満

△:50%未満

イ 4か年の総合評価

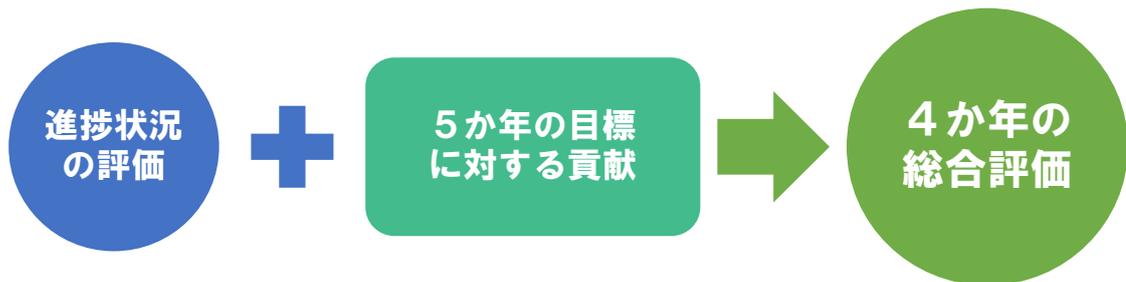
アに加えて緑の総量の維持、緑の質の向上や緑と関わる機会の増加など、計画全体としての5か年の目標に対する貢献も含めて、各事業・取組の成果を総合的に評価しました。

〔4か年の総合評価〕

A:計画を上回る成果

B:概ね計画通りの成果

C:計画を下回る成果



5か年の目標(再掲)

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度の指定による樹林地の担保量が増加、水田の保全面積が増加、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など生物多様性に配慮した取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑とのかかわりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

(2) 4か年の事業・取組の評価一覧

取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む			
施策1 樹林地の確実な保全の推進			
事業①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	B	3-5
施策2：良好な森を育成する取組の推進			
事業②生物多様性・安全性に配慮した森づくり			
2	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	A	3-11
3	指定された樹林地における維持管理の支援	B	3-14
4	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	A	3-16
5	間伐材の有効利用	B	3-18
事業③森を育む人材の育成			
6	森づくりを担う人材の育成	B	3-21
7	森づくり活動団体への支援	A	3-24
施策3：森と市民とをつなげる取組の推進			
事業④市民が森に関わるきっかけづくり			
8	森の楽しみづくり	A	3-28
9	森に関する情報発信	B	3-32



取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる			
施策1 農に親しむ取組の推進			
事業①良好な農景観の保全			
10	水田の保全	B	3-35
11	特定農業用施設保全契約の締結	B	3-38
12	農景観を良好に維持する取組の支援	B	3-40
13	多様な主体による農地の利用促進	A	3-43
事業②農とふれあう場づくり			
14	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	B	3-46
15	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	A	3-51
施策2 地産地消の推進			
事業③身近に感じる地産地消の推進			
16	地産地消にふれる機会の拡大	B	3-56
事業④市民や企業と連携した地産地消の展開			
17	地産地消を広げる人材の育成	A	3-60
18	市民や企業等との連携	B	3-63



取組番号	事業名	総合評価	掲載ページ
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる			
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進			
事業①民有地での緑の創出			
19	民有地における緑化の助成	C	3-69
20	建築物緑化保全契約の締結	B	3-72
21	名木古木の保存	A	3-75
22	人生記念樹の配布	B	3-77
事業②公共施設・公有地での緑の創出			
23	公共施設・公有地での緑の創出・管理	A	3-79
24	公有地化によるシンボリックな緑の創出	B	3-82
25	いきいきとした街路樹づくり	B	3-84
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進			
事業③市民協働による緑のまちづくり事業			
26	地域緑のまちづくり	A	3-86
事業④子どもを育む空間での緑の創出事業			
27	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	B	3-90
事業⑤緑や花による魅力・賑わいの創出事業			
28	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	A	3-93
効果的な広報の展開			
事業①市民の理解を広げる広報の展開			
29	計画の周知や実績報告	B	3-96

<評価集計表>

総合評価	A	B	C
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	4	5	0
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場を作る	3	6	0
取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる	4	5	1
効果的な広報の展開	0	1	0
合計	11	17	1



これからの緑の取組 [2019-2023] (原案概要版)

1 これからの緑の取組 [2019-2023] と横浜みどりアップ計画 本編 P.2,3

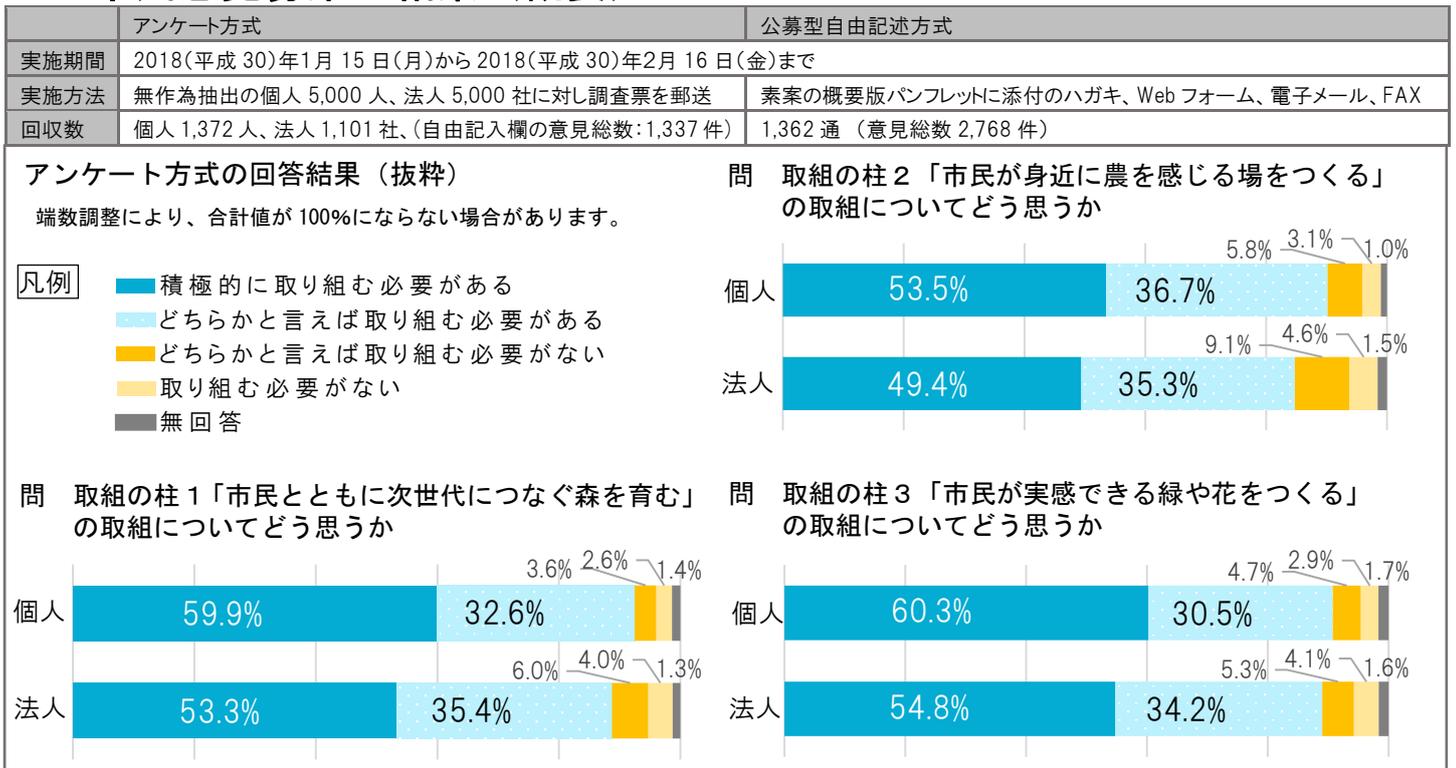
横浜みどり
アップ計画

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地などの多様な緑を有しています。これらの緑を次世代に引き継ぐため、「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として、2009(平成 21)年度から「横浜みどり税」を財源の一部に活用した「横浜みどりアップ計画」を推進しています。

これからの
緑の取組
[2019-2023]

現行の「横浜みどりアップ計画」は、2018(平成 30)年度末までの計画ですが、緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組む必要があります。そこで、素案に対する市民意見募集の結果などを踏まえ、2019(平成 31)年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組[2019-2023]」の原案をとりまとめました。

2 市民意見募集の結果 (概要)



3 これからの緑の取組の特徴

これまで取り組んできた「横浜みどりアップ計画」は、緑地保全制度による樹林地の保全や、地域での緑の創出が進むなどの成果があがっていることから、計画の理念や目標像、基本的な枠組みや主な取組は継承します。

また、これまでの取組の成果や課題、市民意識調査の結果、全国都市緑化よこはまフェアの開催による緑や花への関心の高まりなどを反映します。

(1) 近年の新規指定実績などを踏まえ、樹林地の新規指定目標は 300ha とし、緑の 10 大拠点内の樹林地や市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進します。(現計画の新規指定目標:500ha/5年)



(2) 樹林地を所有する方が、できるだけ樹林地として持ち続けられるよう、維持管理の負担を軽減するための支援を拡充します。

(3) 街路樹は市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上にも寄与します。老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生を新たに実施します。



(4) 全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承し、都心臨海部や里山ガーデンなどにおいて緑や花による魅力ある空間づくりを進めるとともに、緑や花に関わる市民の盛り上げりを醸成する、地域に根差した各区での取組などを新たに実施します。



4 これからの緑の取組 [2019-2023] (原案) の概要

取組の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5 年間の目標

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

これからの緑の取組[2019-2023]の事業費 : 502 億円

【内訳】	取組の柱 1	市民とともに次世代につなぐ森を育む	: 367 億円
	取組の柱 2	市民が身近に農を感じる場をつくる	: 41 億円
	取組の柱 3	市民が実感できる緑や花をつくる	: 93 億円
		効果的な広報の展開	: 0.8 億円

※端数調整により、合計値が整合しない場合があります

取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む 367 億円

本編 P.12~19

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

5 年間の主な取組

- ・ 300ha の樹林地を新規指定し、買入れ申し出に着実に対応
- ・ 森が持つ多様な機能が発揮できるよう、良好な森づくりを推進
- ・ 指定された樹林地における維持管理の支援を充実
- ・ 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施

施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り 327 億円

- ・ 優遇措置の適用などが可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地等を保全(300ha)
- ・ 土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に着実に対応(113haを想定)
- ・ 市民の森において、散策路などの市民が自然に親しむために必要な施設を整備

施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業② 良好な森の育成 36 億円

- ・ 市民の森などのまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、良好な森づくりを推進
- ・ 土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分などの費用の一部を助成(500 件)

事業③ 森を育む人材の育成 1 億円

- ・ 森づくりに取り組む団体への活動に対する助成や、専門家派遣による支援を実施(150 団体)

施策3 森と市民をつなげる取組の推進

事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり 3 億円

- ・ 各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり、環境を学ぶ機会にもなるイベントを実施(180 回)
- ・ ウェルカムセンターにおいて、市民が森について理解を深めるための取組を推進



市内に残るまとまりのある樹林地



森の中でのイベント

効果的な広報の展開 0.8 億円 本編 P.40

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します。

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる 41億円 本編 P.20~30

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

5か年の 主な取組

- ・ 多様な機能を有する水田の継続的な保全を支援
- ・ 様々な市民ニーズに合わせた農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- ・ 身近に農を感じ、市民や企業と連携した地産地消の推進

取組

施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全 12億円

- ・ 水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稻の作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付(125ha)
- ・ 農地縁辺部への植栽や土砂流出防止対策など、農景観を良好に維持する活動を支援
- ・ 多様な主体へ農地を貸し付けられるよう、遊休化した農地の復元を支援(1.5ha)

事業② 農とふれあう場づくり 25億円

- ・ 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園を開設(22.8ha)
- ・ 横浜ふるさと村や恵みの里で農体験教室などを実施(450回)

一覧

施策2 地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進 3億円

- ・ 直売所や加工所に必要な設備の導入や、青空市・マルシェの開催等を支援(285件)
- ・ 「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションを強化

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開 0.7億円

- ・ 地産地消を広げる人材(はまふうどコンシェルジュ)の育成や活動の支援(150件)
- ・ 生産者と企業等とのマッチングなどにより、連携を推進(50件)



保全された水田



青空市の開催

取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる 93億円 本編 P.31~39

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

5か年の 主な取組

- ・ 地域で愛されている並木を再生
- ・ 地域が主体となった地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- ・ 子どもが多くの時間を過ごす場での緑を創出する取組を推進
- ・ 多くの市民が訪れる場所で緑や花による魅力ある空間づくりを集中的に展開

取組

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成 55億円

- ・ 各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進(36か所)
- ・ 老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、街路樹を良好に維持管理することにより、街路樹による良好な景観を創出・育成
- ・ 花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースや、多くの人の目に触れる場所を、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出・育成



地域で愛されている桜並木

一覧

施策2 緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり 7億円

- ・ 地域が主体となり、地域にふさわしい緑の創出を支援(新規30地区)
- ・ 緑や花に親しむ市民の盛り上げを醸成する、地域に根差した各区での取組を推進

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成 4億円

- ・ 保育園、幼稚園、小中学校などの子どもが多くの時間を過ごす場での緑を創出する取組を推進(100か所)

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成 27億円

- ・ 都心臨海部や全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデンなど、多くの市民が訪れる場所で、季節感ある緑花による魅力ある場づくりを集中的に展開



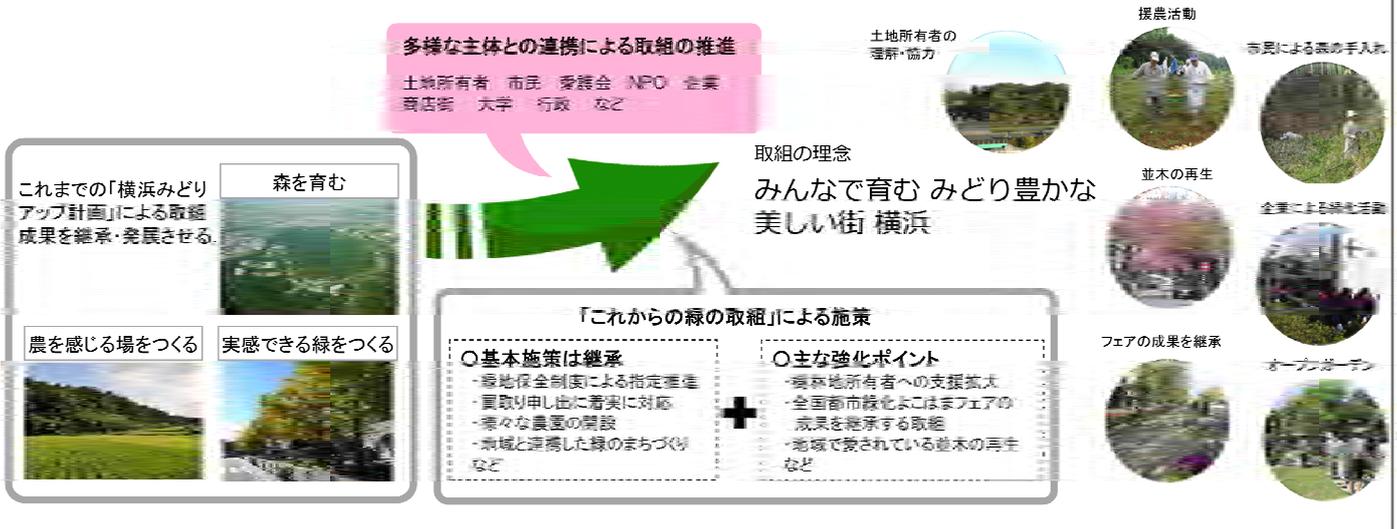
花による魅力・賑わいの創出

5 これからの緑の取組の進め方

本編 P.8

「横浜みどりアップ計画」に基づき、土地所有者の理解と協力をいただきながら緑地保全制度に基づく指定による樹林地の保全を進めてきたほか、市民の森の愛護会や森づくり活動団体など、様々な主体との連携により、樹林地や農地の保全・活用、街の魅力を高める緑や花の創出・育成に取り組んできました。

「これからの緑の取組」では、全国都市緑化よこはまフェアによって大いに高まった緑や花に親しむ機運を継承し、樹林地や農地の土地所有者、市民、企業、学校などの多様な主体との連携を一層推し進めながら、「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を目指していきます。

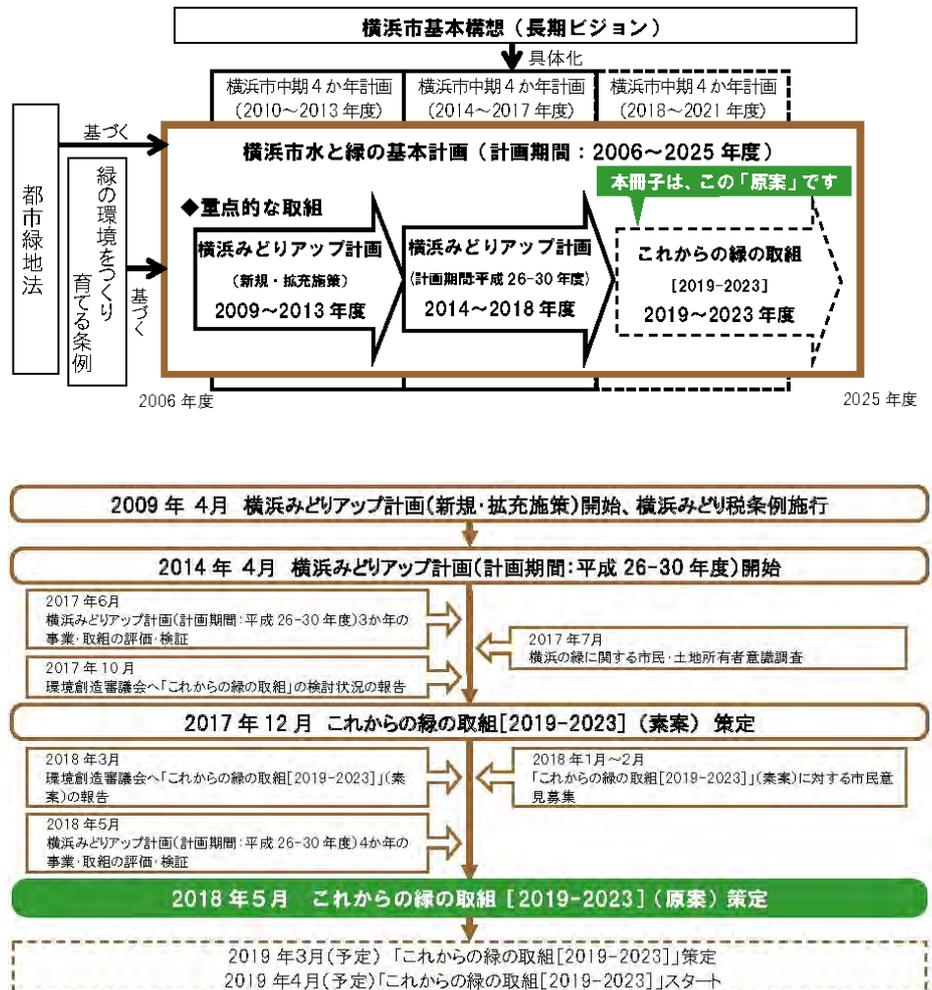


6 これからの緑の取組の位置付けと策定の流れ

本編 P.3

市では、これまでの取組の成果や課題、市民意識調査の結果などを踏まえ、2019(平成 31)年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組[2019-2023]」の素案を 2017(平成 29)年 12 月にとりまとめました。

この素案に対し、2018(平成 30)年 1 月 15 日から 2 月 16 日まで市民意見募集を行い、その結果や、「横浜市中期 4 年計画」「横浜市環境管理計画」などの諸計画の改定内容を反映し、「これからの緑の取組[2019-2023]」の原案としてとりまとめました。



これからの緑の取組

[2019-2023]

(原案)

2018年5月

横浜市環境創造局

目次

第1章 横浜の緑の取組と方向性	1
1 横浜市の緑の取組	2
2 緑がもつ多様な役割と機能	4
3 これからの緑の取組の方向性	6
4 これからの緑の取組の進め方	8
第2章 これからの緑の取組	9
1 取組の方針	10
2 取組の体系	11
3 取組の内容	12
4 取組一覧・事業費	41
資料編	46
1 横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査の結果（概要）	47

第1章

横浜の緑の取組と方向性

1 横浜市の緑の取組

横浜市水と緑の基本計画と横浜みどりアップ計画

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地などの多様な緑を有しています。横浜市では、これらの緑を次世代に引き継ぐため、「横浜市水と緑の基本計画（以下、水と緑の基本計画）」を2006（平成18）年に策定し、2016（平成28）年の改定で「多様なライフスタイルを実現できる水・緑豊かな都市環境」を目標像に掲げ、水と緑の環境を育む様々な取組を展開しています。

水と緑の基本計画では、3つの推進計画のひとつとして「拠点となる水と緑、特徴ある水と緑をまもり・つくり・育てます」を掲げ、郊外部のまとまりのある樹林地や農地を中心とする緑の拠点の保全と活用を進めるほか、都心臨海部などのまちなかでの緑の創出や充実を進めることで、風格があり魅力ある街並みの形成を推進しています。

2009（平成21）年度からは、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した重点的な取組として「横浜みどりアップ計画」を推進しています。2014（平成26）年度から、横浜みどりアップ計画は、「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を計画の理念とし、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」「市民が身近に農を感じる場をつくる」「市民が実感できる緑をつくる」という3つの柱に「効果的な広報の展開」を加え、進めてきました。



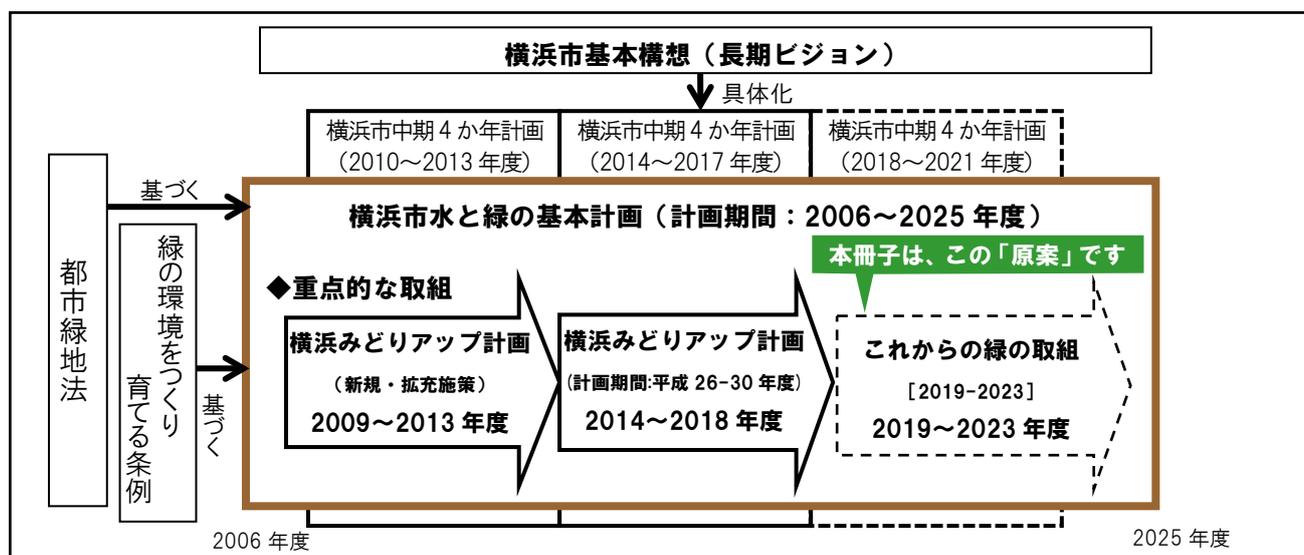
緑の10大拠点



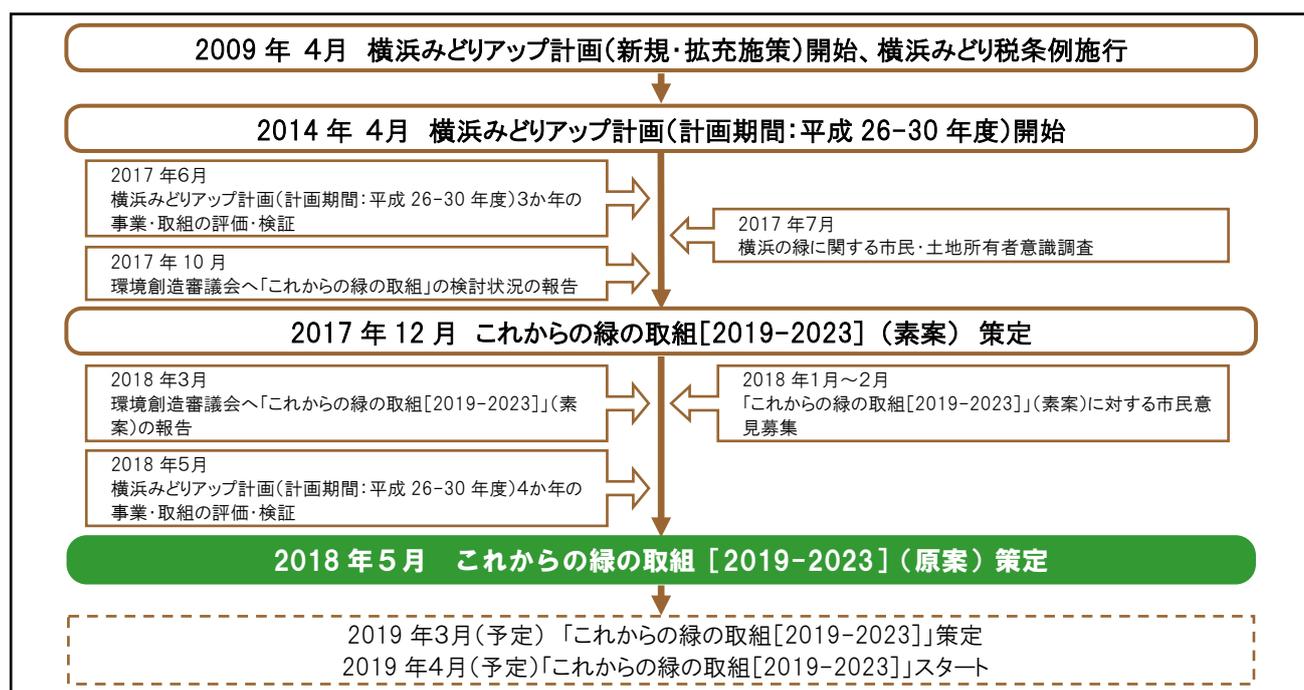
これからの緑の取組 [2019-2023]

現行の「横浜みどりアップ計画」は、2018（平成 30）年度末までの計画ですが、緑の保全や創出は長い時間をかけて継続的に取り組むことが必要です。また、計画期間中の社会の変化にも対応しながら、取組の成果を市民の「実感」につなげていくことが求められています。

そこで、市では、これまでの取組の成果や課題、市民意識調査の結果などを踏まえ、2019（平成 31）年度以降に重点的に取り組む「これからの緑の取組 [2019-2023]」の素案をとりまとめました。この素案に対し、市民意見募集を行い、その結果や、「横浜市中期 4 か年計画」「横浜市環境管理計画」などの諸計画の改定内容を反映し、「これからの緑の取組 [2019-2023]」の原案として本冊子を取りまとめました。



「これからの緑の取組[2019-2023]」の位置付け



「これからの緑の取組[2019-2023]」策定の流れ

2 緑がもつ多様な役割と機能

緑とともにある市民の暮らし

みなとみらい 21 地区に象徴される横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、住宅地のすぐそばの畑で農作業をしている人や、住宅や農地に寄り添うように残された森で散策する人を見かけたり、その先には大きな森や農地が現れたりします。横浜は、370 万人を超える人が暮らす大都市ですが、まだまだいろいろな場所にたくさんの緑が残っています。

横浜では戦後、急激な人口増加にともなって開発が進み、多くの森や農地が宅地化されてきました。こうした状況のなか、緑を守り、市民が憩う場として、全国に先駆け「市民の森」制度を創設し、市民と市の協働により、森の手入れを進めるなどの取組も行われています。

市民の森へは、駅やバス停から少し歩くだけで、気軽に行くことができ、多くの市民に親しまれています。



また、青葉区の寺家ふるさと村のように、散策の帰りに地元でとれた新鮮な野菜を買うことができる場所もあります。

大都市にもかかわらず、横浜には、市民の憩いの場となる森、地産地消を支える農地、地域の魅力となる緑や花、このように多様な緑が身近な場所にたくさんあり、横浜の魅力の一つとなっています。

暮らしを支え、豊かにする緑の存在

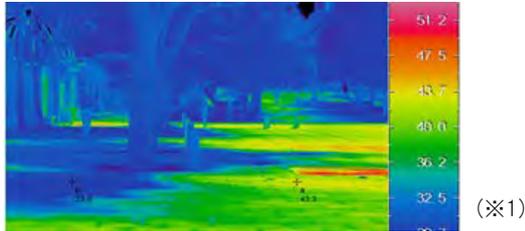
緑には、防災・減災に資する機能をはじめ、生物多様性を保全する機能、ヒートアイランド現象の緩和など都市環境を保全する機能、豊かな水環境形成につながる雨水貯留・かん養機能や、美しい街をつくる景観形成機能などがあります。これら緑の持つ多様な機能を発揮し、グリーンインフラとしての活用を推進することで、SDGs（※）の達成に寄与し、気候変動の影響に対する適応策にもなります。市民の暮らしを支え、豊かにするために、緑の多様な機能が十分に発揮される環境を整えていく必要があります。

（※ SDGs（持続可能な開発目標）：2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成）

緑の多様な機能

環境保全機能

ヒートアイランド現象の緩和、大気浄化、騒音防止、防塵等の効果で、都市の過酷な環境を改善し、市民の生活環境を保全



生物多様性保全機能

樹林地や農地が、健全に保たれ、まとまりやつながりを持つことで、生物多様性を保全



貯留・かん養機能

樹林地や農地などの緑は、雨を大地にしみ込ませ、蓄えることで、河川や地下水の水量を豊かにし、健全な水循環に寄与



防災・減災機能

雨水のピーク流出量を抑制して浸水被害を軽減。また、オープンスペースとして避難場所や火災延焼防止の効果



環境教育・コミュニティ機能

次世代を担う子どもたちの自然体験の場と機会を提供し、住民の交流の場となり地域コミュニティの強化に寄与



レクリエーション機能

散策や農体験など多様なレクリエーション利用を通じた市民の身近な遊び場、憩いの場、健康づくりの場として活用



景観形成機能

快適で美しく潤いのある都市景観や自然と歴史に基づく個性と風格ある都市景観の形成に寄与



街の魅力向上・賑わい創出機能

都市の魅力的な緑や花により、賑わいの創出や不動産価値向上など、都市全体の魅力向上に寄与



(※1 グランモール公園での熱環境調査の写真：赤いほど温度が高く、青いほど低い)

(※2 国土交通省資料より、阪神淡路大震災の神戸市長田区大国公園の焼け止まり効果：赤円が公園、公園から左下側の街は火災を免れた)

3 これからの緑の取組の方向性

これまでの「横浜みどりアップ計画」の基本的な枠組みや主な取組を継承

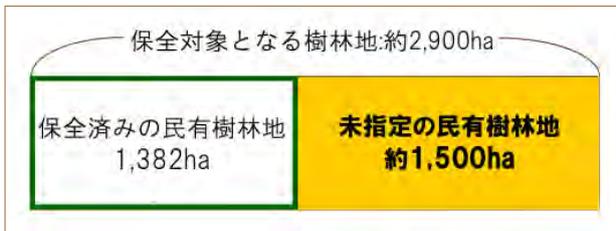
これまで取り組んできた「横浜みどりアップ計画」は、緑地保全制度による樹林地の保全や、地域での緑の創出が進むなどの成果があがっています。これらの成果を踏まえ、計画の理念や目標像、基本的な枠組みや主な取組を継承します。

●緑地保全制度による指定が進んだ一方で、市内には保全すべき樹林地が多く残っており、引き続きまとまりのある樹林地の保全に取り組めます

「横浜みどりアップ計画」開始以降、緑地保全制度に基づく地区指定により樹林地を積極的に保全してきましたが、未指定の民有樹林地は約1,500ha残っています。

また、指定地での買取り申し出に着実に対応し、2009（平成21）年度から9年間で211.2haの樹林地を市有地としましたが、今後買取りが発生する可能性のある既指定樹林地の総面積は約450haあります。

横浜の緑の減少に歯止めをかけるため、今後も継続した取組を進めていく必要があります。



▲保全対象の未指定民有樹林地の総量（2016年度末時点）



▲買取りが発生する可能性のある既指定樹林地の総面積推移

●農にふれあう場づくりを進めます

横浜の貴重な農景観である水田の減少を食い止めるため、引き続き保全の取組を進めます。

イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験や一年を通じた野菜の栽培などができる多様な農園のほか、横浜の農畜産物を買う、食べることでできる場など、農にふれあう場や機会が求められています。



▲良好に保全された農景観

▲保全された水田



▲「農」に関することで今後おこなってみたいこと（横浜の緑に関する市民意識調査：2017年7月）

●コミュニティの活性化にもつながる、地域での緑のまちづくりを継続します

地域緑のまちづくり 地域緑化計画策定地区



地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組である地域緑のまちづくりが、多くの地域で取り込まれ、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとしたコミュニティ活動も盛んになりました。今後も継続して、地域緑のまちづくりを進めます。

保全・創出した緑の適切な育成を推進

これまでの取組により、保全した樹林地や農地、創出した緑や花が増えています。緑のもつ多様な機能や役割を発揮できるよう、適切な育成を推進します。

●取得した樹林地の多様な機能や役割を発揮させるための取組を進めます

今後増加が見込まれる市が取得した樹林地について、地域の特性に合わせた維持管理や、市民が地域の緑を楽しむ活用できる場づくりが求められています。



▲森づくりボランティアによる活動（栄区/上郷市民の森）

▲森の中を歩くウォーキングイベント（磯子区/峯市民の森）

●緑や花の創出が進展し、これらの緑や花を適切に維持管理します



これまでに創出した公共施設の緑や、多くの人が訪れ、街の賑わいを生み出す都心臨海部での緑や花などがその機能を発揮できるよう、適切な維持管理が必要です。

市民が緑を実感でき、街の魅力を高める取組を強化

2017（平成29）年3月から6月にかけて、第33回全国都市緑化よこはまフェア（以下、フェア）を開催しました。緑や花が街の魅力や賑わいの創出に大きく貢献し、さらにフェア開催を通じて緑や花への関心が高まるなど、新たな横浜の魅力を生み出すことができました。

この成果を生かし、市民が緑を実感でき、街の魅力を高める取組を強化していきます。

●フェアの開催を契機に、緑や花への関心が高まっています

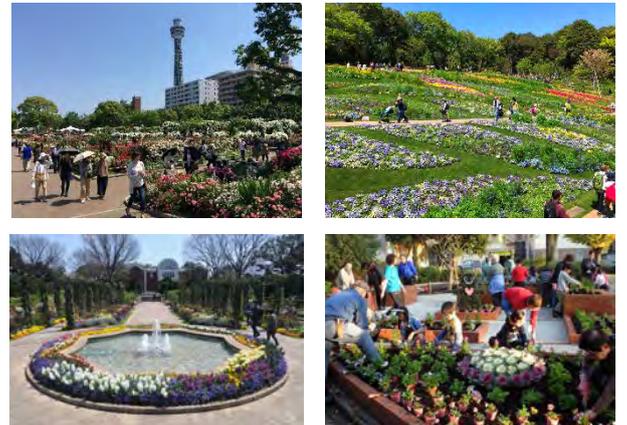
フェア来場者アンケート「花や緑への関心について」回答結果



▲フェア来場者アンケートで「以前は関心が高かったが、高まった」「以前から関心があったが、さらに高まった」と回答した人を合算すると約93%の人が「高まった」と回答

●緑や花は街の魅力や賑わいの創出に大きく貢献します

地域や施設に合わせた季節感のある緑や花は、街の魅力を高め、賑わいを創出するほか、緑や花を育む活動が地域のコミュニティ形成にもつながっています。



4 これからの緑の取組の進め方

「横浜みどりアップ計画」に基づき、土地所有者の理解と協力をいただきながら緑地保全制度に基づく指定による樹林地の保全を進めてきたほか、市民の森の愛護会や森づくり活動団体、さらにはCSR（企業の社会的責任）活動や研修などの場として森や農地を活用する企業、保育園・幼稚園・小中学校・高校・大学など、様々な主体との連携により、樹林地や農地の保全・活用、街の魅力を高める緑や花の創出・育成に取り組んできました。

第33回全国都市緑化よこはまフェアでは、これまで培われた緑や花に関する市民活動をもとに、それぞれの地域で様々な緑や花の取組が活発に行われ、緑や花に親しむ機運が大いに高まりました。

「これからの緑の取組」では、この機運を継承し、樹林地や農地の土地所有者、市民、企業、学校などの多様な主体との連携を一層推し進めながら、「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を目指していきます。



第2章

これからの緑の取組

1 取組の方針

取組の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

5か年の目標

取組の理念のもと、2019（平成31）年度から2023（平成35）年度までの5か年の目標を、次のとおりとします。

1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全管理など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

3 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

取組の柱

5か年の目標の実現に向けて、「これからの緑の取組」では、次の3つの取組の柱と、効果的な広報に重点的に取り組めます。取組の体系や具体的な内容は、次頁以降に記載しています。

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

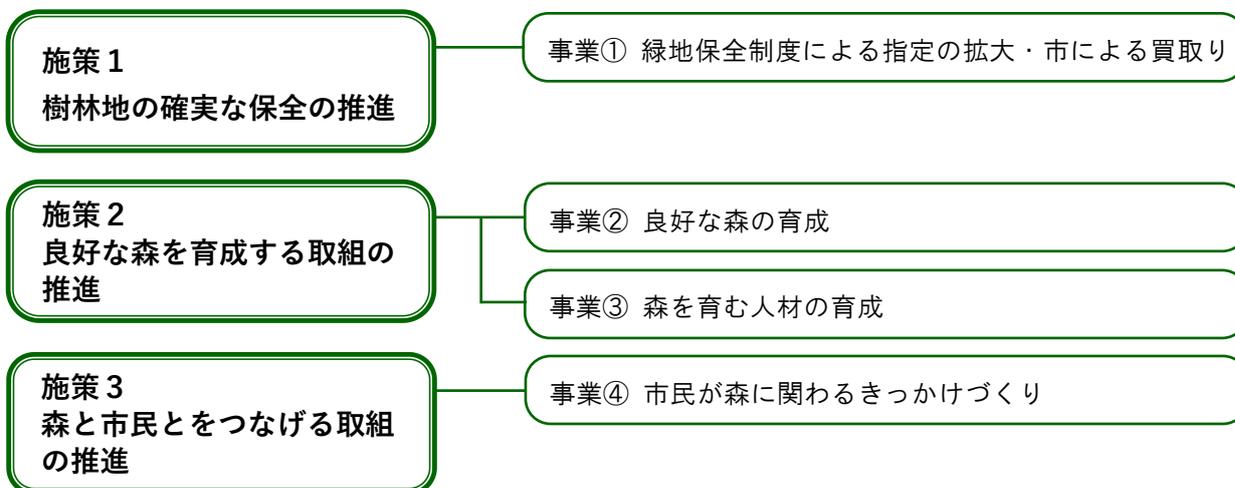
街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組めます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

効果的な
広報の
展開

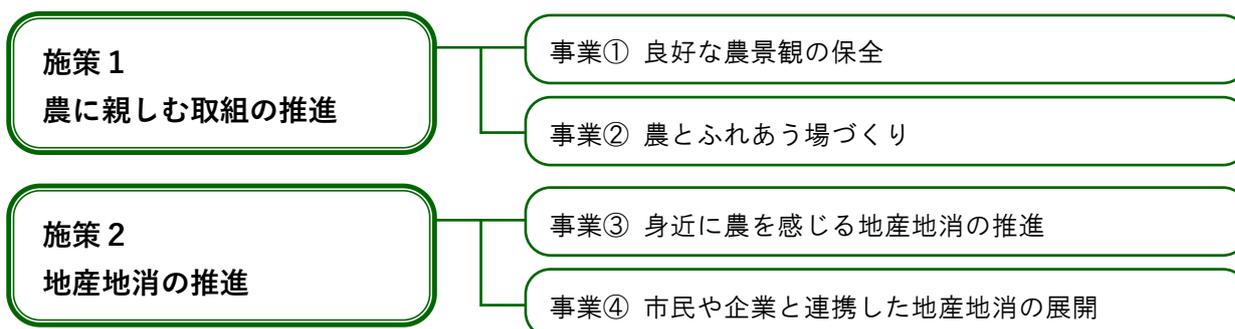


2 取組の体系

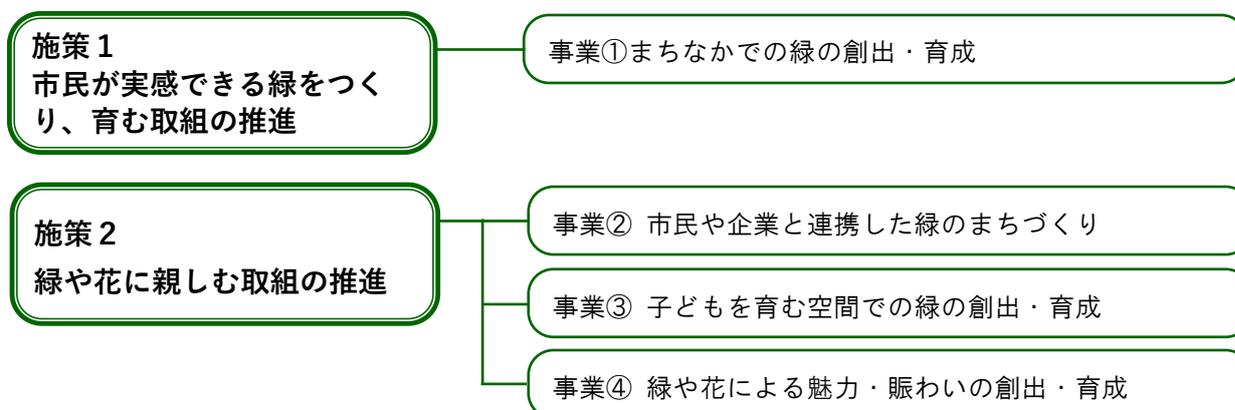
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

3 取組の内容

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森（樹林地）の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

概要

都市における森は、都市の骨格をつくり、貴重なオープンスペースであると同時に、生き物の生息・生育の場であり、ヒートアイランド現象の緩和、気候変動の影響への適応策としての浸水対策などの防災・減災、市民のレクリエーションの場など、多くの機能や役割があります。さらには、樹林地や農地が一体となって横浜らしく美しい景観を形成している地域も存在します。これらを次世代に引き継いでいくため、森の持つ多様な機能や役割に配慮しながら、土地の所有者や地域の住民など、市民・事業者とともに森の保全、育成、活用に取り組めます。



市内に残るまとまりのある樹林地

取組の内容

施策1 樹林地の確実な保全の推進	事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り (1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り
施策2 良好な森を育成する取組の推進	事業② 良好な森の育成 (1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進 (2) 指定した樹林地における維持管理の支援
	事業③ 森を育む人材の育成 (1) 森づくりを担う人材の育成 (2) 森づくり活動団体への支援
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり (1) 森の楽しみづくり (2) 森に関する情報発信

施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

市内に残る樹林地の多くは民有地であり、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐためには、土地を所有する方が、できるだけ持ち続けられるよう支援することが必要です。そこで、緑地保全制度に基づく指定により土地所有者へ優遇措置を講じることで、樹林地を保全します。

また、土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に対応します。

(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

●緑地保全制度に基づく地区指定による樹林地の保全

土地所有者ができるだけ樹林地を持ち続けられるよう、固定資産税の減免などの優遇措置の適用や維持管理などの負担軽減が可能となる緑地保全制度による指定を進め、樹林地等を保全します。

樹林地の指定目標：5か年で300haの指定を目指します

「これからの緑の取組 [2019-2023]」(原案)の5か年の計画期間では、緑の10大拠点内の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進し、300haの指定を目指します。



緑の10大拠点内の樹林地



市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地

●土地所有者の不測の事態等による土地の買取り

特別緑地保全地区の指定地等で、所有者に不測の事態等が発生し、市へ土地の買入れ申し出があった場合に、市が買取りに対応します。

●保全した樹林地の整備

市民の森や市が取得した樹林地について、良好に維持管理するため、管理に必要なスペースの確保、柵の設置やのり面の安全対策、越境している樹木等のせん定や間伐などを行います。また、市民の森では、散策路やトイレなどの市民が自然に親しむために必要な施設の整備を行います。

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画(計画期間:平成26-30年度)に基づき実施した事業の実績及び2018(平成30)年度までの5か年の目標値を示しています(実績値/目標値)

事業	取組	5か年の目標	備考
①	(1)緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	<ul style="list-style-type: none"> ●緑地保全制度による新規指定：300ha ●保全した樹林地の整備：推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・'14-'17実績:328.4ha/500ha ・緑の10大拠点内の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進 ・市による買取りの想定面積：113ha

緑地保全制度とは...

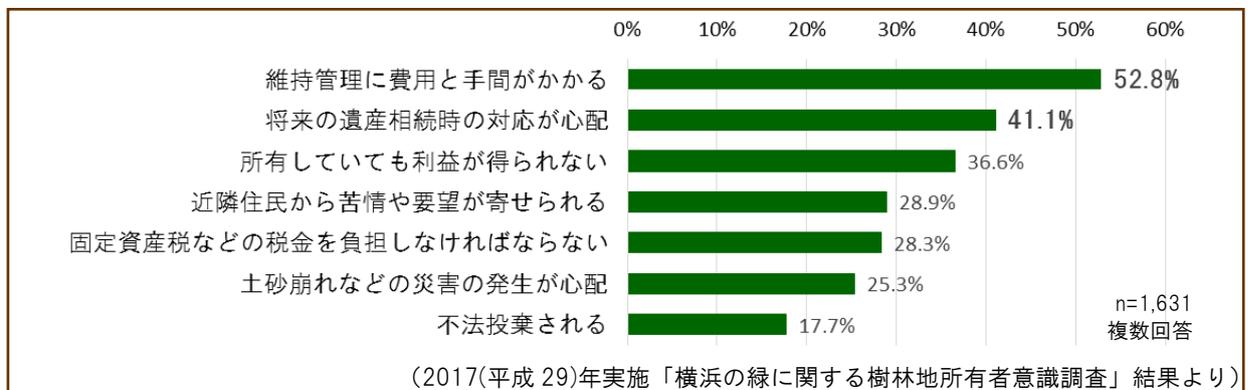
緑地保全制度は、樹林地を中心とする緑地を保全するための制度で、法律に基づく制度と条例に基づく制度があり、土地所有者の意向や土地の特性に合わせて制度の指定を進めます。緑地保全制度により指定されると、土地の形質の変更（木竹の伐採、建築等）などに制限を受けますが、様々な優遇措置があります。

代表的な緑地保全制度の特徴

制度の名称	根拠法令	特徴	主な優遇措置
特別緑地保全地区	都市緑地法	おおむね 1,000 ㎡以上のまとまりのある貴重な緑地を、都市計画により永続的に保全します。	①固定資産税評価額が 1/2 ②相続税評価額 8 割減 (山林・原野) ③市への買入れ申し出が可能
近郊緑地特別保全地区	首都圏近郊緑地保全法	近郊緑地保全区域内で良好な自然環境を形成する相当規模の緑地を、都市計画により永続的に保全します。	
市民の森	・緑の環境をつくり育てる条例 ・各制度の詳細を定める要綱	所有者のご協力のもと、おおむね 2ha 以上の緑地を保全するとともに市民の憩いの場として利用させていただく制度です。	①固定資産税及び都市計画税の減免 ②緑地育成奨励金の交付 ③契約更新時に継続一時金の交付 ④不測の事態等が発生した場合、市は買入れ希望に対応
緑地保存地区		市街化区域に残る 500 ㎡以上の身近な緑地を保全する制度です。	①固定資産税及び都市計画税の減免 ②契約更新時に継続一時金の交付
源流の森保存地区		市街化調整区域に残る 1,000 ㎡以上の良好な緑地を保全する制度です。	①固定資産税の減免 ②契約更新時に継続一時金の交付

樹林地を所有するうえで困っていると感じていることは...

横浜の緑に関する土地所有者意識調査で、樹林地をお持ちの方へ聞きました



緑地保全制度に基づく指定により、維持管理に対する助成や固定資産税等の減免などの優遇措置を受けることで、土地所有者の負担軽減につながります。

施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業② 良好な森の育成

生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など、森に期待される多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮し、愛護会や森づくりボランティア、企業等様々な主体と連携しながら、良好な森づくりを進めます。また、樹林地を所有する方が、できるだけ樹林地として持ち続けられるよう、緑地保全制度による指定地における維持管理の負担を軽減するための支援を行います。

(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

市民の森、ふれあいの樹林、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林を対象に、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など森が持つ多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮しながら、良好な森づくりを進めます。森づくりにあたっては、地域の特性等を踏まえて策定した管理計画に沿って、愛護会など多様な主体と連携しながら実施します。



良好な森づくり

(2) 指定した樹林地における維持管理の支援

土地所有者の維持管理負担を軽減し、樹林地の安全性の向上などを図るため、緑地保全制度により指定した樹林地の外周部で土地所有者が行う危険・支障樹木のせん定・伐採や草刈りなどの維持管理作業や、樹林地内部の倒木や枯れ木の撤去処分などの費用の一部を助成します。これにより、緑地保全制度による指定を推進します。

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
②	(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進	●森の維持管理：推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保安全管理計画の策定 ・保安全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理 <対象> （取組中間（2021）年での見込） 市民の森、市有緑地などの樹林地：約800ha 都市公園内のまとまった樹林：約200ha
	(2) 指定した樹林地における維持管理の支援	●維持管理の助成：500件	<ul style="list-style-type: none"> ・'14-'17実績：405件/650件 ・対象：外周部の危険支障樹木のせん定・伐採、草刈り、樹林地内部の倒木・枯れ木の撤去処分、不法投棄防止のためのフェンス設置、簡易土留めの設置など

事業③ 森を育む人材の育成

市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。また、森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援を行います。

(1) 森づくりを担う人材の育成

森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象に、基本的な知識と安全確保を学ぶための研修や、活動のスキルアップのための研修を開催します。

また、ニュースレターやウェブサイトを活用し、森づくりに関する情報発信を行うほか、森づくりボランティアが団体の活動に参加できる取組を推進します。



森づくり活動団体による森の維持管理

(2) 森づくり活動団体への支援

市民の森や都市公園内のまとまった樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。

維持管理作業の際に発生した間伐材などを樹林地内でチップ化したり、樹名板を作成するなどの活用を推進します。



専門家派遣による現地での研修

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
③	(1) 森づくりを担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●森づくりを担う人材の育成：推進 ●広報誌等での森づくり活動に関する情報発信：20回 	
	(2) 森づくり活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●森づくり活動団体への支援：150団体 ●森づくり活動団体への専門家派遣：20回 ●チップターの貸出し：推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・'14-'17実績：森づくり活動団体への支援（樹林地）延べ108団体/延べ50団体（公園）延べ36団体/延べ50団体 ・150団体の内訳： 市民の森、市有緑地などの樹林地で活動する100団体 都市公園内のまとまった樹林地で活動する50団体

良好な森の育成に向けて

森には、その植生により常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、竹林、植栽林など、様々な種類があり、それぞれの環境に適応した多様な生き物が生育・生息しています。また、生物多様性の保全、レクリエーションの場、良好な景観形成など、多様な機能も有しています。

横浜市の森は、「都市の中の森」として多様な利用ニーズが求められる一方、安全で快適な周辺の住環境への配慮も必要です。

さらに、土地所有者、利用者、森づくり活動をする人など、森にかかわる人も多様で、それぞれの立場によって森に対する期待も様々です。

そこで、森の植生や機能、周辺環境、かかわる人の意見とともに、その土地の立地や歴史を踏まえて、目標とする森の将来像や管理方法を定めたものが「保全管理計画」です。

この「保全管理計画」に基づき、作業を行い、成果を確認し、必要に応じて作業内容や方法を見直しながら、目標となる森の姿を目指して維持管理を行うことで、良好な森の育成を目指します。



▲良好な森づくりのための維持管理作業にあたっては、具体的な手法・技術などを整理した「森づくりガイドライン（2013（平成25）年3月策定）」を活用しています。

多様な生き物を育む横浜の森

「横浜市陸域の生物相・生態系調査(平成11年)」において、確認された生き物 1,046 種のうち、796 種が樹林地で確認されるなど、横浜の森は、多くの生き物を育む貴重な場です。

「保全管理計画」を定めた森では、この計画に基づき、植生や生き物に配慮した維持管理も行っています。手入れが行き届かず暗くなっている森に、間伐や下刈りなどの人の手をいれることで、林床に適度に光が入るようになり、ヤマユリやキンランなど、暗い森で見られなくなっていた植物が再び姿を見せてくれるようになった事例も増えています。



市民の森

横浜の森の多くは、薪や炭などを得るために、古くから人が手を入れることで、人の営みに寄り添いながら、豊かな動植物を育ててきました。現在では、生活様式の変化に伴い、森に手を入れる機会が減ったことで、暗くうっそうとした森に変わってしまったところも多くあります。そのひとつであった池辺市民の森（都筑区）は、2017（平成29）年4月の開園にあたり、散策路や広場の整備、間伐などを行ったことで、森が明るくなり、夏は涼しい風が生まれ、秋は紅葉を楽しめる森になりました。

市民の森制度は、1971（昭和46）年度に始まった横浜市独自の制度で、緑を守り育てるとともに、山林所有者の方々のご協力により、市民の憩いの場として公開しています。また、市民の森は、間伐などの保全作業や森の魅力伝える観察会の開催などの「森づくり活動」を行う森づくりボランティアのほか、巡回や清掃などの日常の維持管理を行う愛護会などの市民により、開かれた場として支えられています。

市民の森は、現在45か所（※）に増え、それぞれの森が、子どもたちの自然観察の場や、近隣にお住まいの方の散策コースになるなど、身近に森に親しみ、憩える空間となっています。ぜひ一度、遊びにでかけてみませんか。

※2018（平成30）年3月31日時点、開園37か所・未開園8か所



池辺市民の森（都筑区）の様子（左上：整備前、右上・下：整備後）



季節を感じながら散策できる小机城址市民の森（港北区）

ウェルカムセンター



上：舞岡ふるさと村虹の家外観、左下：ウェルカムセンターが実施したイベント（水辺の生きもの調査隊）、右下：企業のCSR活動の支援（外来種セイタカアワダチソウ除去）

市内に5館ある「ウェルカムセンター」では、子どもから大人まで幅広い市民が、横浜の森を訪れ、学び、楽しむことができるよう、森を楽しく安全に散策するための情報や、生き物情報の発信、自然観察会などの講座の開催を行っています。

「ウェルカムセンター」のひとつである、横浜自然観察の森自然観察センターでは、レンジャーによる自然解説や、小学校の自然体験教室のコーディネート、企業のCSR活動の支援等を行っています。

また、環境活動支援センターでは、隣接することも植物園と連携し、周辺地域の生き物の解説を行うなど、各施設の特色を生かした事業を行っています。

寺家ふるさと村四季の家、いはる里山交流センター及び舞岡ふるさと村虹の家は、横浜らしい里山景観である谷戸の中に位置しているため、センター周辺の景色を楽しみながら、里山の暮らしにちなんだ講座やイベントに参加することができます。森や自然に興味を持たれたら、ぜひウェルカムセンターにお立ち寄りください。

施策3 森と市民とをつなげる取組の推進

事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり

横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや講座の開催により、市民が森に関わるきっかけを提供します。また、市内5か所にあるウェルカムセンターの活用などにより、情報発信等に取り組みます。

(1) 森の楽しみづくり

●森に関わるきっかけとなるイベントや広報の実施

各区での催し等において、森に関わるきっかけとなり環境を学ぶ機会にもなるイベントや広報の取組を展開します。特に、森に関わる第一歩として、親子で参加できるイベントの充実などに取り組みます。

●自然解説、プログラムリーダーの育成

森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座などを開催します。



森の中でのイベント

(2) 森に関する情報発信

●市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップ作成

市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。

●ウェルカムセンターの運営

ウェルカムセンターにおける展示解説や自然体験、環境学習の機会の提供等を、企業のCSR活動などと連携しながら実施し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
④	(1) 森の楽しみづくり	●市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：180回	・'14-'17実績：466回/180回 ・森をつなぐ「ウォーキング」、森を活用した体験や学習など
	(2) 森に関する情報発信	●ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等：50回	・新規に指定された市民の森等のガイドマップの作成・リニューアル ・ウェルカムセンター（全5館：自然観察センター、いいはる里山交流センター、虹の家、四季の家、環境活動支援センター）

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

概要

農地は、新鮮な農畜産物の供給の場であることに加えて、里山などの良好な景観の形成、生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養や災害時の避難場所になるなど多様な機能や役割を有しています。このような農地の機能や役割に着目しながら、市民農園の開設や農体験教室の開催、地産地消の推進などにより、市民が身近に農を感じる場や機会をつくる取組を進めます。

また、農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興、担い手支援、農地の利用促進など持続できる都市農業を推進する取組とあわせ、「これからの緑の取組[2019-2023]」（原案）を進めます。



さらに「横浜農場の展開」により、横浜の食や農による都市の魅力向上にもつなげます。



横浜らしい農景観

横浜都市農業推進プラン(2019-2023)(素案)

市民が身近に農を感じる場をつくる取組 (「これからの緑の取組[2019-2023]」(原案))

- ・農に親しむ取組の推進
- ・地産地消の推進

持続できる都市農業を推進する取組

- ・農業経営の安定化・効率化に向けた農業振興
- ・横浜の農業を支える多様な担い手に対する支援
- ・農業生産の基盤となる農地の利用促進

横浜市の農業施策の全体像

取組の内容

施策1

農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

- (1)水田の保全
- (2)特定農業用施設保全契約の締結
- (3)農景観を良好に維持する活動の支援
- (4)多様な主体による農地の利用促進

事業② 農とふれあう場づくり

- (1)様々な市民ニーズに合わせた農園の開設
- (2)市民が農を楽しみ支援する取組の推進

施策2

地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

- (1)地産地消にふれる機会の拡大

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

- (1)地産地消を広げる人材の育成
- (2)市民や企業等との連携

横浜農場の展開

● 横浜農場とは

横浜は大都市でありながら、市民に身近な場所で、野菜や米をはじめ肉などの畜産物まで多品目の農畜産物が生産され、美しい農景観が広がっています。また、意欲的な生産者、市内産農畜産物を利用する飲食店・事業者、「農」に関心が高い市民（消費者）など様々な主体が関わって地産地消を進めているのも横浜の特徴です。

このような、横浜らしい農業全体（生産者、市民、企業などの農に関わる人々、農地・農景観、農業生産活動など）を一つの農場に見立て、「横浜農場」という言葉で表しています。

● 横浜農場の展開

「横浜農場」の特徴を生かし、様々な主体が積極的にかつ互いに連携し合い、基本理念である「活力ある都市農業を未来へ」を目指し、「横浜農場の展開」を図ります。

また、観光や食育との連携を進め、横浜の食や農による都市の魅力向上にもつなげます。

なお、「横浜農場の展開」に当たっては以下の取組を強化しながら進めていきます。

・人材・場の活用や各分野との連携

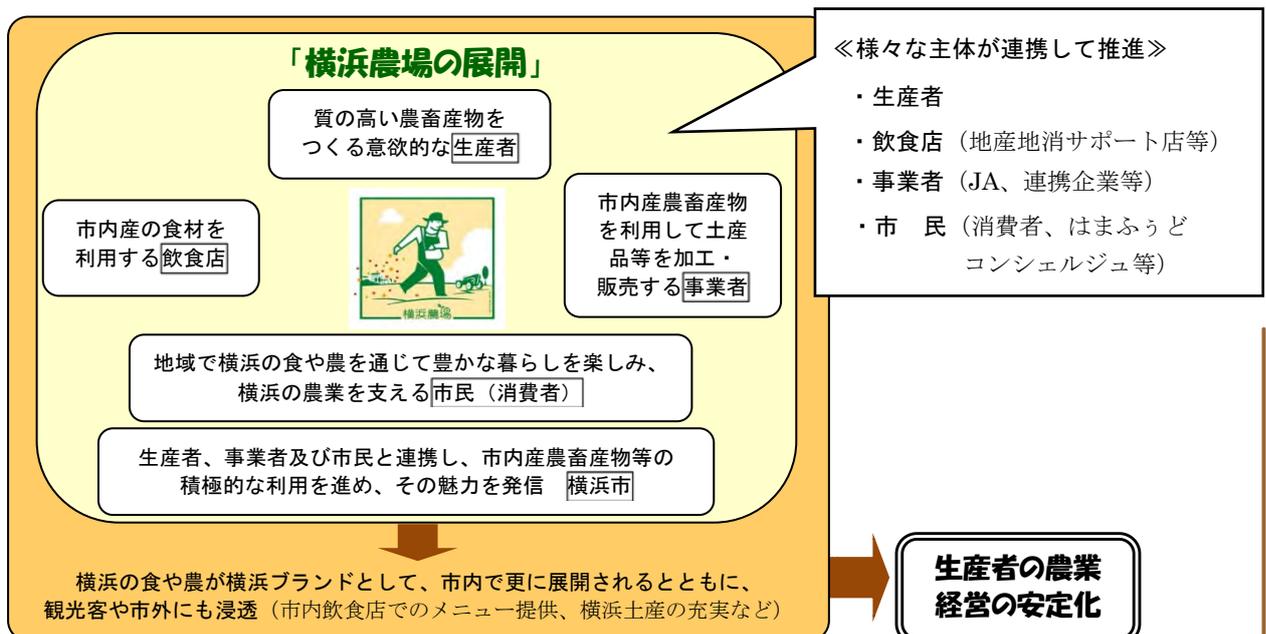
特に地産地消に関わる人材の育成や企業との連携を強化し「農のプラットフォーム」として位置づけ、協働して横浜ならではの都市農業の活性化を目指します。

・都心臨海部での展開

市内産農畜産物を購入・味わえる場や機会の拡大を、農地が少ない都心臨海部を重点に取り組みます。

・プロモーションの強化

「横浜農場」のロゴの市内産農畜産物等への表示、イベントや広報等での積極的な活用を進めます。



施策1 農に親しむ取組の推進

事業① 良好な農景観の保全

農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能など多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。農業専用地区（※）に代表される、集団的な農地から構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などにより農地を維持する取組を支援します。

（1）水田の保全

●水田の継続的な保全の支援

土地所有者が水田を維持し、水田景観の保全や多様な機能が発揮できるよう、水稻の作付を10年間継続することを条件に、奨励金を交付します。

●良好な水田景観保全のための水源・水路の確保

水田景観を保全するために必要な水源や水路を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸や水路等の設置・改修を支援します。



保全された水田

（2）特定農業用施設保全契約の締結

農地を10年間適正に管理することと、農地の保全に不可欠な農業用施設を10年間継続利用することを条件として、農家の住宅敷地内等にある農業用施設用地の固定資産税・都市計画税を10年間軽減することにより、農地所有者の負担軽減と農地の保全を図ります。



特定農業用施設

（※）農業専用地区：都市農業の確立と都市環境の保全を目指し、まとまりのある農地を横浜市独自の制度により指定した地区（平成29年度末現在、28地区1,071ha）

(3) 農景観を良好に維持する活動の支援

市街化調整区域のまとまりのある農地や市街化区域の生産緑地地区などを対象に、周辺環境と調和した良好な農景観を維持する活動を支援します。

●まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

良好な農景観を形成するため、水路等での清掃活動や農地縁辺部への植栽、水源の確保のための井戸の改修などに対して支援します。また、農地周辺の環境を良好に維持するため、土砂流出を防止する活動に対する支援や農地周辺の不法投棄対策を進めます。



農地縁辺部への植栽

●周辺環境に配慮した活動への支援

都市の中で農景観を維持するためには、農地の周辺にお住いの方々の農業への理解が必要です。このため、農地周辺の環境に配慮して、農地からの土ぼこりの飛散を予防・解消するために牧草等を栽培する活動や、農作業等により生じるせん定枝などを野焼きせずに、たい肥化する活動などに対して支援します。

(4) 多様な主体による農地の利用促進

遊休化して荒れた農地は、貸し借りが進まず、良好な農景観が損なわれます。このため、意欲ある農家や新規に参入を希望する者など多様な主体へ農地を貸し付けられるよう遊休化した農地の復元を支援することで、良好な農景観を保全します。

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
①	(1) 水田の保全	●水田保全面積：125ha ●水源・水路の確保：10か所	・'14-'17実績：119.8ha/125ha ・'14-'17実績：水源確保施設整備7か所/10か所
	(2) 特定農業用施設保全契約の締結	●制度運用	・'14-'17実績：48件 ・対象：1,000㎡以上の農地を耕作し、その農地と農業用施設について10年間継続利用する農家
	(3) 農景観を良好に維持する活動の支援	●まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援： 集団農地維持面積730ha 農地縁辺部への植栽55件 井戸の改修5地区 土砂流出防止対策15件	・'14-'17実績：良好に維持されている農地の面積675ha/680ha
		●周辺環境に配慮した活動への支援： 牧草等による環境対策20ha たい肥化設備等の支援25件	・'14-'17実績：共同利用設備の整備14件/25件
(4) 多様な主体による農地の利用促進	●遊休農地の復元支援：1.5ha		

（横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）での「長期貸付奨励金」は、2018（平成30）年度までの利用権設定分のみ支援）

事業② 農とふれあう場づくり

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を市内各地で進めます。また、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村（※1）や恵みの里（※2）を中心に、市民が農とふれあう機会の提供や、農家への援農活動を支援します。

（1）様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

●収穫体験農園の開設支援

野菜の収穫や果物のもぎとりなどを気軽に体験することができる収穫体験農園の開設に必要な施設整備等を支援します。

●市民農園の開設支援

〈栽培収穫体験ファーム、環境学習農園、認定市民菜園（※3）〉

農作業の経験がない人でも農家から指導を受けることで栽培から収穫までを楽しめる農園や、利用者が自由に農作業を楽しめる農園など、土地所有者等が農園を開設するための支援を行います。

また、農園の開設のノウハウを持った市民農園コーディネーター（※4）の活用などにより、円滑な農園開設に向けた支援を行います。

●農園付公園の整備

土地所有者による維持管理が難しくなった農地等を公園として市が買取るなどして、市民が農作業を楽しめる農園を公園に開設します。



果物のもぎとり体験



利用者が農作業を楽しめる
農園付公園

（※1 横浜ふるさと村：良好な田園景観の保全と地域の活性化を目的に、農作物の生産基盤の整備や、樹林地の保全活用などにより、市民が自然と農業に親しむ場として整備している地域）

（※2 恵みの里：市民と農とのふれあいを通じて、地域ぐるみで農のあるまちづくりを進める地区）

（※3 認定市民菜園：横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）での「特区農園」を名称変更）

（※4 市民農園コーディネーター：横浜市が主催する研修を受講し、農園の開設に必要な知識・技術を身につけ、横浜市から認定を受けた法人。市民農園の計画・整備及び周辺環境や地域農業との調和対策に関する支援を行う）

市民が農にふれあえる場が増えています

横浜には、身近なところに農地があり、市民の様々なライフスタイルに応じた、農とのふれあいを楽しめる場づくりを進めています。まずは、気軽楽しめる収穫体験から、横浜の農にふれてみませんか。

ちょっと気軽に農体験

□収穫体験農園

農家が栽培した旬の果物や野菜の収穫が体験できます。ナシやブドウ、ミカンなどのもぎ取りやイチゴやブルーベリーの摘み取り等、様々な収穫体験ができ、気軽に農体験を楽しみたい方々が身近なところで農にふれることができる場となっています。

□横浜ふるさと村・恵みの里

横浜ふるさと村では、横浜らしい里山景観を楽しめるだけでなく、四季を通じて様々な農作物の収穫体験や、地域の農畜産物を使った料理教室などが行われ、市民が自然・農業・農村文化などにふれあうことができます。

また、恵みの里では、米作りや味噌作り等の体験教室や直売会等が定期的に行われ、市民に身近な農業が展開されています。



収穫体験農園 ブルーベリー狩り



都岡地区恵みの里 農体験教室

農家から指導を受けて農業体験

□栽培収穫体験ファーム

農家の指導のもと一緒に農作業を行うことで、農業に関する知識や経験がない方でも、プロ並みの野菜作りを経験することができます。

□環境学習農園

幼稚園や小学校の近くにある農地で園児や小学生が、農園を開設した農家からの指導を受けながら、ダイコンやコマツナ等の野菜作りや水田での米作りなどの農体験ができます。



環境学習農園 みたけっ子田んぼ

自分で考え、自由に農作業

□認定市民菜園・農園付公園

区画割りされた農園で、自分で考えた栽培プランで自由に野菜作りを楽しむことができます。また、一部の農園付公園では収穫祭が開催され、農園利用者に加えて地域の方々も参加されるなど、地域コミュニティの場としても活用されています。



農園付公園 ハマヤク農園

(2) 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

●横浜ふるさと村・恵みの里等における農を楽しむ取組の推進

横浜ふるさと村や恵みの里等で、苗の植え付けや農産物の収穫などを行う農体験教室、横浜の農を知ってもらうアグリツーリズムの推進など、市民が農とふれあう機会を提供します。また、恵みの里については、新規地区の指定を進めます。



田奈恵みの里の体験水田

●農体験の場の提供と援農の推進

市民農業大学講座や農体験講座を開催し、市民が栽培技術などを学ぶ場を提供します。子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座の充実に取り組めます。また、援農コーディネーター（※5）等を活用し、市民農業大学講座修了生などによる農家への援農活動を支援します。



家族で学ぶ農体験講座

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
②	(1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	●様々なニーズに合わせた農園の開設：22.8ha	・'14-'17実績：19.2ha/25.8ha ・22.8haの内訳：収穫体験農園7.5ha、市民農園10ha、農園付公園5.3ha
	(2) 市民が農を楽しみ支援する取組の推進	●横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：450回	・'14-'17実績：356回/500回 ・横浜ふるさと村：寺家、舞岡 ・恵みの里：田奈、都岡、新治、柴シーサイド
		●市民農業大学講座：100回 ●農体験講座の開催：30回	・'14-'17実績：20回/25回

（横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度)での「農のある地域づくり協定」は、2018（平成30）年度までの締結分のみ支援）

（※5 援農コーディネーター：労働力不足の農家と農家への手伝いを希望している市民を結び、農家の営農を支援する組織）

施策2 地産地消の推進

事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

身近に市内産農畜産物や加工品を買える場や機会があることへの市民ニーズは高く、地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の取組は、身近に農を感じ、横浜の農への理解を深めるきっかけにもなります。そこで、「横浜農場の展開」による地産地消を推進するため、地域でとれた農畜産物などを販売する直売所等の整備・運営支援や、市内で生産される苗木や花苗を配布するなどの取組を進めます。あわせて、地産地消に関わる情報の発信など、PR活動を推進します。

(1) 地産地消にふれる機会の拡大

●直売所等の整備・運営支援

直売所や加工所に必要な設備の導入等を支援します。
また、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市やマルシェの開催等を支援します。

●市民が市内産植木や草花に親しめる機会の創出

市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や公共施設、農地の縁辺部への植栽に活用し、市民が市内産植木や草花に親しめる機会を創出します。

●情報発信・PR活動の推進

情報誌やパンフレットなどの制作・発行や、ウェブサイトなどの活用、地産地消に関する各区局での取組の支援により、地産地消の取組のPRを推進します。また、「横浜農場」を活用した市内産農畜産物のブランド化に向けたプロモーションの強化を図ります。



青空市の開催



市内産苗木や花苗の配布

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
③	(1) 地産地消にふれる機会の拡大	●直売所・青空市等の支援：285件	・'14-'17実績：直売所等の支援39件/52件、青空市運営支援17件/25件 ・285件の内訳：直売所・加工所85件、青空市・マルシェ等200件
		●緑化用苗木の配布：125,000本	・'14-'17実績：107,057本/125,000本
		●情報発信・PR活動： 情報誌などの発行30回	

事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

市内産農畜産物を食材として活用し、加工販売したいと考える企業や、横浜の農業の魅力を伝える活動を行う野菜ソムリエや料理人などが増え、市民や企業、学校など農業関係者以外の主体が地産地消の取組を実施する活動が広がっています。この動きをさらに拡大するため、市民の「食」と、農地や農畜産物といった「農」をつなぐ「はまふうどコンシェルジュ」(※1)などの地産地消に関わる人材の育成やネットワークの強化を図り「農のプラットフォーム」(※2)を充実するとともに、農と市民・企業等が連携した「横浜農場の展開」を推進します。

(1) 地産地消を広げる人材の育成

●はまふうどコンシェルジュの育成

講座の開催により、地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成します。また、コンシェルジュの自発的な活動を支援します。

●地産地消活動の情報交換の場づくり

直売を行う生産者や地産地消サポート店(※3)、はまふうどコンシェルジュ、地産地消に取り組む市民・企業等をつなげる交流会等を開催し、ネットワークづくりを支援することで、「農のプラットフォーム」の充実を図ります。



地産地消サポート店
ステッカー

(2) 市民や企業等との連携

●市民や企業等との連携の推進

地産地消を広げるため、生産者と企業等とのマッチングなどにより、連携を推進します。

●地産地消ビジネス創出の推進

地産地消に貢献する新たなビジネスに取り組む意欲のある市民や市内中小企業等を対象に、ビジネスプランを策定するための講座を開催し、認定されたプランを支援します。

●学校給食での市内産農産物の利用促進

小学校の給食メニューにおける市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業などと連携し、学校給食での市内産農産物の一斉供給や、小学生を対象とした料理コンクールを開催します。

(※1) はまふうどコンシェルジュ：横浜市が横浜の「食」と「農」をつなぎ地産地消を広めるため講座で育成した市民)

(※2) 農のプラットフォーム：生産者・事業者・消費者など地産地消に関わる様々な主体のネットワーク、つながる場)

(※3) 地産地消サポート店：市内産の農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店などで横浜市に登録されているもの)

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
④	(1) 地産地消を広げる人材の育成	●はまふうどコンシェルジュの活動支援等：150件	・'14-'17実績：86件/100件
		●地産地消ネットワーク交流会の開催：5回	・'14-'17実績：フォーラムの開催4回/5回
	(2) 市民や企業等との連携	●市民や企業等との連携：50件	・'14-'17実績：37件/50件
		●ビジネス創出支援：16件	・'14-'17実績：15件/25件
		●学校給食での市内産農産物の一斉供給：推進	
	●料理コンクールの開催：5回		

横浜らしい農畜産物の付加価値向上

● 高い市民力と多様な事業者の存在が強み

横浜市には、「はまふうどコンシェルジュ」をはじめとした食や農に関心の高い市民や、食品加工業、流通業、ホテルや飲食店といった企業が多く立地しており、農畜産物への多様なニーズが存在します。

● 農のプラットフォームから様々な連携が誕生

こうした多数の市民・企業等の繋がりや、その繋がりを更に拡大していく場を「農のプラットフォーム」として位置づけ、ネットワークづくりを支援・充実させます。そして、市民や企業等と連携した6次産業化（※）の推進や、新たな地産地消ビジネス創出の支援につなげていきます。

● 市内産農畜産物が味わえるレストラン等

近年では地産地消への関心の高まりから、新鮮で旬な横浜市内産の野菜や果物、卵や“はまぽーく”などの畜産物を素材に取り入れるレストラン等が増えています。

横浜市では、市内産の農畜産物を多くの方々に味わっていただくために、これらの飲食店等を「よこはま地産地消サポート店」として、市民の皆様にご紹介しています。

● 横浜の食や農の魅力をPRする「横浜農場」

このような、市民・企業等と連携した横浜らしい取組による市内産農畜産物の付加価値の向上なども「横浜農場の展開」として進めています。

ビジネス創出支援から生まれた加工品



▲みかん栽培の過程で発生する、摘果された青みかんを使用したドレッシング



▲市内産農産物等、生産者から直接仕入れた旬の素材を使用したコンフィチュール（ジャム）

企業との連携から生まれた商品



▲横浜の特産品である「浜なし」を使ったゼリー

（※）6次産業化：農林漁業者（第1次産業）が第2次・第3次産業（加工・販売など）まで関わった取組や農商工連携の取組など

取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

概要

都市の緑は、市民に潤いや安らぎをもたらすほか、街の良好な景観形成や賑わい創出、生き物の生息・生育空間となるなどの重要な役割を果たし、都市の魅力を高めます。そうした緑があふれる都市で暮らす豊かさを、市民が「実感」できるような取組が求められています。

多くの人を訪れ、市民の緑や花への関心が高まった、第33回全国都市緑化よこはまフェアの成果も継承しながら、多くの人を訪れる市街地や、生活に身近な住宅地などでの緑や花の創出、育成を進めます。

また、防災・減災に資するグリーンインフラとしての取組を推進し、気候変動の影響に適應した安全・安心なまちづくりにもつなげます。



季節の花や緑で彩られた街並み

取組の内容

施策1

市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

- (1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成
- (2) 街路樹による良好な景観の創出・育成
- (3) シンボリックな緑の創出・育成
- (4) 建築物緑化保全契約の締結
- (5) 名木古木の保存

施策2

緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

- (1) 地域緑のまちづくり
- (2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり
- (3) 人生記念樹の配布

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

- (1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

- (1) 都心臨海部等の緑花りよくかによる魅力ある空間づくり

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業① まちなかでの緑の創出・育成

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成

各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。

また、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理します。



公共施設での緑の創出

(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成

●街路樹の再生

老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽柵への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。

●街路樹の良好な維持管理

駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。



地域で愛されている桜並木

(3) シンボリックな緑の創出・育成

●公有地化によるシンボリックな緑の創出・育成

多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。

また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボリックな空間として保全します。

●公開性のある緑空間の創出支援

多くの人を訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。



公開性のある場所での緑化

(4) 建築物緑化保全契約の締結

緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

(5) 名木古木の保存

地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を、保存すべき樹木として指定します。また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。



名木古木に指定された樹木

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
①	(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成	●緑の創出：36か所 ●緑の維持管理：推進	・'14-'17実績：75か所/58か所 ・対象：区庁舎、公会堂、地区センター、図書館、駅前広場等多くの市民が利用する公共施設や公有地など
	(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成	●並木の再生：10路線 ●空き枿の補植：推進	・対象：駅周辺や区の代表的な街路樹などの路線
		●良好な維持管理：18区で推進	・都心臨海部の街路樹はより重点的に実施
	(3) シンボリックな緑の創出・育成	●公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理：推進 ●公開性のある緑空間の創出支援：推進	・想定箇所：継続2か所、新規2か所 ・対象：駅前や都心部などでの公開性のあるオープンスペースの緑化 ・想定箇所：10か所程度
		(4) 建築物緑化保全契約の締結	●制度運用
(5) 名木古木の保存	●推進	・名木古木指定樹木 1,003本（2017年度末時点）	

市街地に開かれた緑をつくる取組

～公開性のある緑空間の創出支援～

緑の持つ、憩いの場としてのレクリエーション機能や、街の魅力向上・賑わい創出機能を生かし、公有地だけでなく、民有地でも、建築や開発に伴う公開性のある質の高い緑地の整備や、空き地等を活用し緑地を創出する事例も増えてきています。

こうした取組を行う市民や、事業者の皆様を支援することで、緑・花による街の魅力や賑わいの向上につなげます。



憩いの場となる緑空間

建築物の新築・増築、開発の際に緑をつくる仕組み

市街地で緑を創出するため、建築物の新築・増築、開発の際に、事業者や建築物の所有者・管理者に緑化の意義や必要性を充分ご理解いただき、法律や条例などに基づいた緑をつくる取組を推進しています。

建築行為に伴う緑化協議

建築物の新築、増築などの際に、敷地面積、用途地域及び建築物の区分によって、敷地面積の5～20%以上の緑化の指導を行い、緑を創出します。

<根拠> 緑の環境をつくり育てる条例

開発事業における緑化

開発事業に対して、緑化又は既存の樹木の保存計画の審査、指導を行い、開発の際に緑を保全・創出します。

<根拠> 横浜市開発事業の調整等に関する条例

緑化地域制度の運用

都市計画で緑化地域を定め、敷地面積 500 m²以上で建築物の新築・増築を行う際に、一定割合以上の緑化を義務づけています。

<根拠> 都市緑地法

横浜市緑化地域に関する条例

特定工場の緑化

工場立地が環境保全を図りつつ適正に行われるよう、敷地内の緑地の面積率を定め、緑化を義務づけています。

<根拠> 工場立地法

横浜市工場立地法市準則条例

地区計画における緑化

地区計画等の区域内において、条例で建築物の緑化率の最低限度を定めることができる制度です。緑化地域制度同様に、建築物の新築等の際に、一定割合以上の緑化を義務づけることで緑化を推進します。

<根拠> 都市緑地法、都市計画法、

横浜市地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例

風致地区における緑化

風致地区は、緑豊かな生活環境が形成されることをめざして定められており、建築物・工作物の新築、宅地の造成や木竹の伐採行為等の際に、必要な緑化を義務づけています。

<根拠> 都市計画法、横浜市風致地区条例

建築物緑化認定証・緑化認定ラベルの発行



緑化の公的な評価を行い、更なる緑化を促していくため、法令・制度に定める基準以上の緑化を行っていただいた建築物について、建築物緑化認定証と緑化認定ラベルを発行しています。

施策2 緑や花に親しむ取組の推進

事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

(1) 地域緑のまちづくり

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。

ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。

また、2018（平成30）年度までに地域緑化計画を策定した地区については、継続して支援を行います。

(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や、それを担う人材育成等を推進します。



地域に根差した緑や花の取組
(オープンガーデンの開催イメージ)

(3) 人生記念樹の配布

多くの市民の皆様は緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、希望した市民に、苗木を無料で配布します。

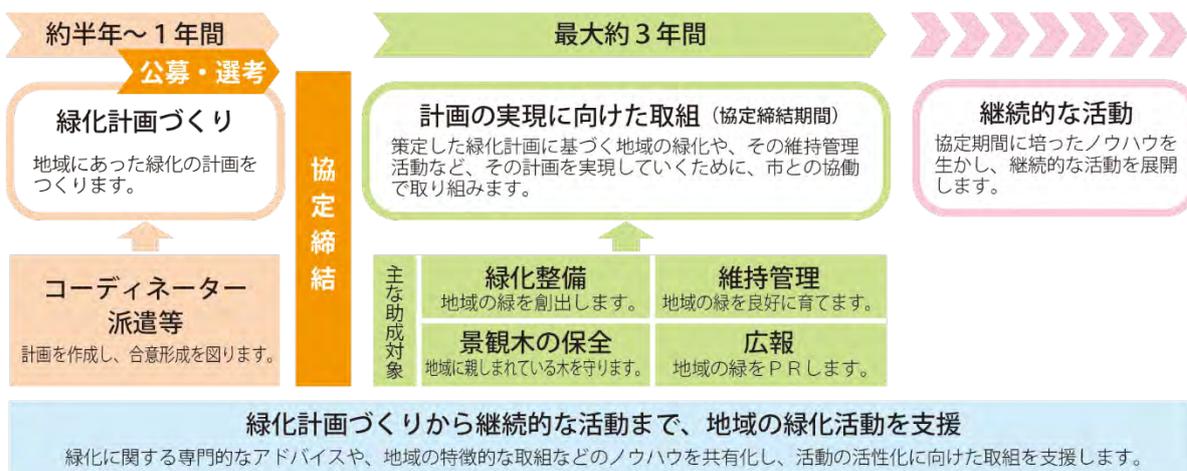
取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
②	(1) 地域緑のまちづくり	●新規30地区	・'14-'17実績：42地区（新規26、継続16）/46地区（新規30、継続16） ・2018年度までに着手した地区の継続11地区（見込み）
	(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり	●緑や花を身近に感じる各区の取組：18区で推進	・オープンガーデンや、緑や花に関するイベントの開催、地域と連携した緑化活動の拡充等
	(3) 人生記念樹の配布	●40,000本配布	・'14-'17実績：30,436本/40,000本

地域が取り組む緑や花のまちづくり

● 「地域緑のまちづくり」の仕組み



● 地域に根差した緑化活動の展開

これまで、各地域が主体的に取り組む中で、緑化整備では、道路沿いの空地や、住宅の擁壁など、地域住民等が実感しやすい緑の創出が進んでいます。また、地域住民をはじめ、企業や、学校、商店街など、多様な主体が連携した緑や花の維持管理活動や、講習会、イベントなどが精力的に開催され、地域で緑や花を楽しむ機運が生み出されています。



緑化事例①（北寺尾地区／鶴見区）



緑化事例②（江田駅周辺地区／青葉区）



緑の維持管理活動や、講習会の開催

● 継続的な緑化活動を目指して

継続的な活動を続けられるよう、種から育てる育苗施設の設置やその活用のためのノウハウを習得するなど、各地域が主体となり、様々な取組が行われています。

市としても、こうした各地域の自立的な活動を支援し、さらなる活動の活性化を図るため、情報交換の場を設けるなど、各地域のノウハウの共有化を行っています。



交流会開催時の様子

● 地域の緑や花に対する関心の高まり

こうした取組を通じて、「家の内側に向いていた庭の緑が、地域全体に見てもらえるよう、外に向くようになり、より緑や花を感じるようになった。」という声や、「緑や花の活動を通じ、これまで関わりのなかった方々との交流が増え、地域のコミュニティをより強く感じるようになった。」という声などがあがっています。

事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。

また、創出した緑を良好に維持するとともに、芝生やビオトープに関する技術支援を行います。

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
③	(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	<ul style="list-style-type: none"> ●緑の創出：100か所 ●緑の維持管理：推進 	'14-'17実績：緑の創出153か所/100か所

子どもたちと一緒に、緑や花をつくり育てています

緑、花や生き物とふれ合ったり、育てる体験は、子どもの豊かな感性を育むとともに、子どもたちが地域の緑や環境に関心を持つきっかけともなります。また、花を教育や地域活動等につなげていく取組である「花育」も注目を集めています。

●芝生の園庭を楽しむ



緑の芝生で、のびのびと遊んだり、寝転んだりできます。

きもちいいなー！

来年の春が楽しみ！

●花を育てる



花のタネを植えて、学校を花いっぱいにします。

●ビオトープの再生に取り組む

どんな環境が必要かな？

どんな生き物がいるかな？



専門家のアドバイスを受けながら、児童が計画図を作成します。

活用のルールづくりもするよ！



児童が水草の植替えに参加し、整備完了。授業等で活用します。

事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人を訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

(1) 都心臨海部等の^{りよくか}緑花による魅力ある空間づくり

みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特徴に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。

また、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

取組の目標

備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

事業	取組	5か年の目標	備考
④	(1)都心臨海部等の ^{りよくか} 緑花による魅力ある空間づくり	● ^{りよくか} 緑花による空間づくりと維持管理：推進	・想定箇所：山下公園、港の見える丘公園、こども自然公園などの都市公園、日本大通りなどの街路樹、東横線跡地などの遊歩道、港湾緑地、文化施設などの公共空間、新横浜駅などの主要な駅前、里山ガーデン

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜へ

本市では、2009（平成 21）年度から「横浜みどりアップ計画」に取り組み、樹林地の保全や市民が農にふれあう場の創出、身近な緑の創出などを進めてきました。

2017（平成 29）年春に開催した第 33 回全国都市緑化よこはまフェア（以下、フェア）では、これまでのみどりアップ計画の成果が発揮され、市内外からの 600 万人を超える方々に花と緑で美しく彩られた横浜の街を楽しんでいただきました。フェア開催中に実施した来場者アンケート調査では、約 93%の人が花や緑への関心が高まったと回答しており、フェアのような取組や演出が、市民の花や緑への関心を高めることがわかりました。

「これからの緑の取組」では、フェアなどのこれまでの取組により、整備された魅力ある空間や、市民・企業等様々な主体が多様なかたちで花や緑の活動に参画する機運などを生かしながら、市民が花と緑あふれる都市で暮らす豊かさを「実感」できる取組を一層進めます。

これらの取組により、花や緑に関する各施策への理解を深め、行動につなげるとともに、洗練された魅力と活力にあふれる街「ガーデンシティ横浜」として、横浜の都市のブランド力向上に資するとともに、花や緑に関わり、楽しむ豊かなライフスタイルを実現し、みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜を目指します。



効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します。

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

○具体的な取組

- ・ 広報よこはま等の広報紙での特集
- ・ 実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明や回覧
- ・ 広告、動画等の各種メディアを活用したPR
- ・ ホームページの充実
- ・ メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信
- ・ 緑に関するイベントでのPR
- ・ 取組に基づいて実施したことを示す現地掲示（プレート）

対象に応じた広報

年代や属性、認知度、緑の活動への参加の程度をもとに、主な対象を設定し、対象に応じて多様なメディアを活用します。

主要な対象と媒体の組合せイメージ

●非認知層(20代~30代)

テーマ:認知度の向上

媒体:ウェブサイト、ソーシャルメディア(SNS)

●認知層(50~70代)

テーマ:計画への参画と、広がり

媒体:実績リーフレット回覧、広報よこはま

●ファミリー層(20~40代)

テーマ:家族と楽しみながら緑を身近に感じる

媒体:広報よこはま、イベント

●若年層(学生)(10代~30代)

テーマ:緑の役割や取組の学び

媒体:イベント、教育機関

●市民全般、首都圏

テーマ:シティープロモーション

媒体:PR動画の活用、ウェブサイト



多様なメディアを活用

4 取組一覧・事業費

※事業費は、端数調整により、合計値が一致しない場合があります

※備考欄に記載されている「'14-'17実績」は、横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度）に基づき実施した事業の実績及び2018（平成30）年度までの5か年の目標値を示しています（実績値/目標値）

取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む 事業費 367 億円

施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			事業費 327 億円
	(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	● 緑地保全制度による新規指定：300ha	・ '14-'17実績：328.4ha/500ha ・ 緑の10大拠点内の樹林地や、市街化区域内の身近なまとまりのある樹林地の指定を重点的に推進 ・ 市による買取りの想定面積：113ha
		● 保全した樹林地の整備：推進	

施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
② 良好な森の育成			事業費 36 億円
	(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進	● 森の維持管理：推進	・ 保全管理計画の策定 ・ 保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理 <対象> (取組中間(2021)年での見込) 市民の森、市有緑地などの樹林地：約800ha 都市公園内のまとまった樹林：約200ha
	(2) 指定した樹林地における維持管理の支援	● 維持管理の助成：500件	・ '14-'17実績：405件/650件 ・ 対象：外周部の危険支障樹木のせん定・伐採、草刈り、樹林地内部の倒木・枯れ木の撤去処分、不法投棄防止のためのフェンス設置、簡易土留めの設置など
③ 森を育む人材の育成			事業費 1 億円
	(1) 森づくりを担う人材の育成	● 森づくりを担う人材の育成：推進 ● 広報誌等での森づくり活動に関する情報発信：20回	
	(2) 森づくり活動団体への支援	● 森づくり活動団体への支援：150団体 ● 森づくり活動団体への専門家派遣：20回 ● チッパーの貸出し：推進	・ '14-'17実績：森づくり活動団体への支援（樹林地）延べ108団体/延べ50団体（公園）延べ36団体/延べ50団体 ・ 150団体の内訳： 市民の森、市有緑地などの樹林地で活動する100団体 都市公園内のまとまった樹林で活動する50団体

施策3 森と市民とをつなげる取組の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
④ 市民が森に関わるきっかけづくり		事業費3億円	
(1) 森の楽しみづくり	●市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施：180回	・'14-'17実績：466回/180回 ・森をつなぐ「ウォーキング」、森を活用した体験や学習など	
(2) 森に関する情報発信	●ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等：50回	・新規に指定された市民の森等のガイドマップの作成・リニューアル ・ウェルカムセンター (全5館：自然観察センター、にいはる里山交流センター、虹の家、四季の家、環境活動支援センター)	

取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

事業費41億円

施策1 農に親しむ取組の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
① 良好な農景観の保全		事業費12億円	
(1) 水田の保全	●水田保全面積：125ha	・'14-'17実績：119.8ha/125ha	
	●水源・水路の確保：10か所	・'14-'17実績：水源確保施設整備7か所/10か所	
(2) 特定農業用施設保全契約の締結	●制度運用	・'14-'17実績：48件 ・対象：1,000㎡以上の農地を耕作し、その農地と農業用施設について10年間継続利用する農家	
(3) 農景観を良好に維持する活動の支援	●まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援： 集団農地維持面積730ha 農地縁辺部への植栽55件 井戸の改修5地区 土砂流出防止対策15件	・'14-'17実績：良好に維持されている農地の面積675ha/680ha	
	●周辺環境に配慮した活動への支援： 牧草等による環境対策20ha たい肥化設備等の支援25件	・'14-'17実績：共同利用設備の整備14件/25件	
(4) 多様な主体による農地の利用促進	●遊休農地の復元支援：1.5ha		
② 農とふれあう場づくり		事業費25億円	
(1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	●様々なニーズに合わせた農園の開設：22.8ha	・'14-'17実績：19.2ha/25.8ha ・22.8haの内訳：収穫体験農園7.5ha、市民農園10ha、農園付公園5.3ha	
(2) 市民が農を楽しむ支援する取組の推進	●横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施：450回	・'14-'17実績：356回/500回 ・横浜ふるさと村：寺家、舞岡 ・恵みの里：田奈、都岡、新治、柴シーサイド	
	●市民農業大学講座：100回		
	●農体験講座の開催：30回	・'14-'17実績：20回/25回	

施策2 地産地消の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
③ 身近に農を感じる地産地消の推進			事業費3億円
(1) 地産地消にふれる機会の拡大	●直売所・青空市等の支援：285件	・'14-'17実績：直売所等の支援39件/52件、青空市運営支援17件/25件 ・285件の内訳：直売所・加工所85件、青空市・マルシェ等200件	
	●緑化用苗木の配布：125,000本	・'14-'17実績：107,057本/125,000本	
	●情報発信・PR活動：情報誌などの発行30回		
④ 市民や企業と連携した地産地消の展開			事業費0.7億円
(1) 地産地消を広げる人材の育成	●はまふうどコンシェルジュの活動支援等：150件	・'14-'17実績：86件/100件	
	●地産地消ネットワーク交流会の開催：5回	・'14-'17実績：フォーラムの開催4回/5回	
(2) 市民や企業等との連携	●市民や企業等との連携：50件	・'14-'17実績：37件/50件	
	●ビジネス創出支援：16件	・'14-'17実績：15件/25件	
	●学校給食での市内産農産物の一斉供給：推進 料理コンクールの開催：5回		

取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

事業費 93 億円

施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
① まちなかでの緑の創出・育成			事業費 55 億円
(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成	●緑の創出：36 か所	・'14-'17 実績：75 か所/58 か所 ・対象：区庁舎、公会堂、地区センター、図書館、駅前広場等多くの市民が利用する公共施設や公有地など	
	●緑の維持管理：推進		
(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成	●並木の再生：10 路線	・対象：駅周辺や区の代表的な街路樹などの路線	
	●空き樹の補植：推進		
	●良好な維持管理：18 区で推進	・都心臨海部の街路樹はより重点的に実施	
(3) シンボリックな緑の創出・育成	●公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理：推進	・想定箇所：継続 2 か所、新規 2 か所	
	●公開性のある緑空間の創出支援：推進	・対象：駅前や都心部などでの公開性のあるオープンスペースの緑化 ・想定箇所：10 か所程度	
(4) 建築物緑化保全契約の締結	●制度運用		
(5) 名木古木の保存	●推進	・名木古木指定樹木 1,003 本(2017 年度末時点)	

施策2 緑や花に親しむ取組の推進

事業	取組	5か年の目標	備考
② 市民や企業と連携した緑のまちづくり			事業費 7 億円
(1) 地域緑のまちづくり	●新規 30 地区	・'14-'17 実績：42 地区(新規 26、継続 16)/46 地区(新規 30、継続 16) ・2018 年度までに着手した地区の継続 11 地区(見込み)	
(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり	●緑や花を身近に感じる各区の取組：18 区で推進	・オープンガーデンや、緑や花に関するイベントの開催、地域と連携した緑化活動の拡充等	
(3) 人生記念樹の配布	●40,000 本配布	・'14-'17 実績：30,436 本/40,000 本	
③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成			事業費 4 億円
(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	●緑の創出：100 か所 ●緑の維持管理：推進	・'14-'17 実績：緑の創出 153 か所/100 か所	
④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成			事業費 27 億円
(1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	●緑花による空間づくりと維持管理：推進	・想定箇所：山下公園、港の見える丘公園、こども自然公園などの都市公園、日本大通りなどの街路樹、東横線跡地などの遊歩道、港湾緑地、文化施設などの公共空間、新横浜駅などの主要な駅前、里山ガーデン	

これからの緑の取組 [2019-2023] の事業費

これからの緑の取組 [2019-2023] の総事業費は、502 億円と計画しており、その内訳は次の通りです。なお、事業費については、毎年度の予算状況により変更することがあります。

これからの緑の取組 [2019-2023] の事業費

(億円)

取組		事業費 (うち一般財源)
取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む		367 (110)
事業①	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	327
事業②	良好な森の育成	36
事業③	森を育む人材の育成	1
事業④	市民が森に関わるきっかけづくり	3
取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる		41 (25)
事業①	良好な農景観の保全	12
事業②	農とふれあう場づくり	25
事業③	身近に農を感じる地産地消の推進	3
事業④	市民や企業と連携した地産地消の展開	0.7
取組の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる		93 (80)
事業①	まちなかでの緑の創出・育成	55
事業②	市民や企業と連携した緑のまちづくり	7
事業③	子どもを育む空間での緑の創出・育成	4
事業④	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	27
効果的な広報の展開		0.8 (0.8)
合 計		502 (216)

※端数調整により、合計値が整合しない場合があります

資料編

1 横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査の結果（概要）

2019（平成 31）年度以降の緑施策を検討するにあたり、2017（平成 29）年 7 月に横浜市民、市内に農地や樹林地を所有する方を対象として意識調査を実施しました。

●調査の対象

市民：5,000 人（住民基本台帳の満 20 歳以上から無作為抽出）

樹林地所有者：4,612 人（一筆 500 m²以上の山林所有者）

農地所有者：5,903 人（1,000 m²以上の農地所有者）

●実施期間

2017（平成 29）年 7 月 6 日(木)から 21 日(金)まで（7 月 31 日までに到着したものを集計）

●回収数（回収率）

市民：1,675 票（33.5%）

樹林地所有者：1,631 票（35.4%）

農地所有者：2,216 票（37.5%）

(1) 市民意識調査の結果

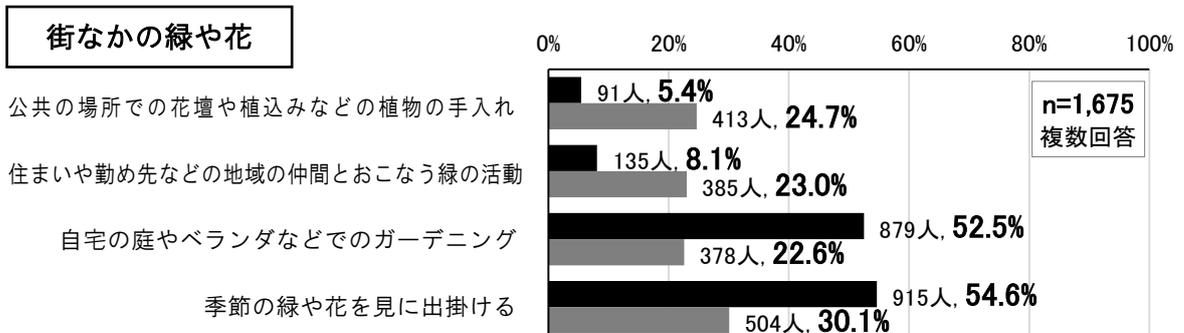
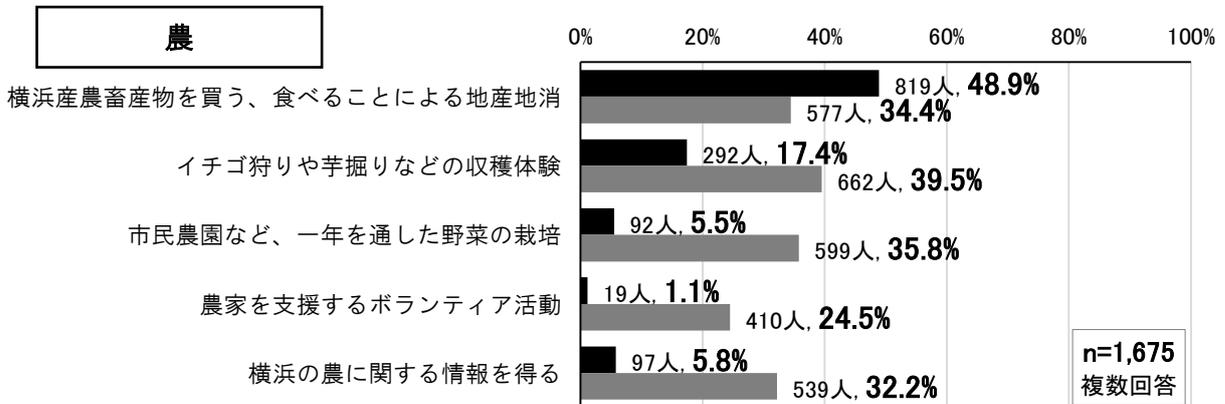
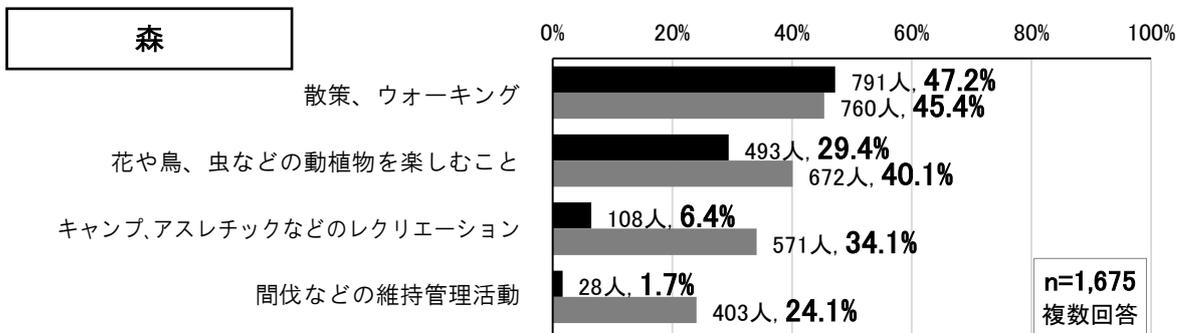
緑との関わりや活動について

森に関しては、現在おこなっているもの、今後おこなってみたいことのいずれも「散策、ウォーキング」が最も多く、次いで「花や鳥、虫などの動植物を楽しむこと」、「キャンプ、アスレチックなどのレクリエーション」でした。散策の場などとしての関心の高さがうかがえます。

農に関しては、「横浜産農畜産物を買う、食べることによる地産地消」を約49%の方がおこなっている一方で、「イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験」、「市民農園など、一年を通した野菜の栽培」をおこないたいという声も多く、農体験ができる場の創出が求められます。

街なかの緑や花に関しては、現在おこなっていること、今後おこないたいことのいずれも「季節の緑や花を見に出掛ける」が最も多く、観賞できる緑や花へのニーズが高い結果となりました。

●緑との関わりや活動について、市民が「現在おこなっていること」「今後おこなってみたいこと」

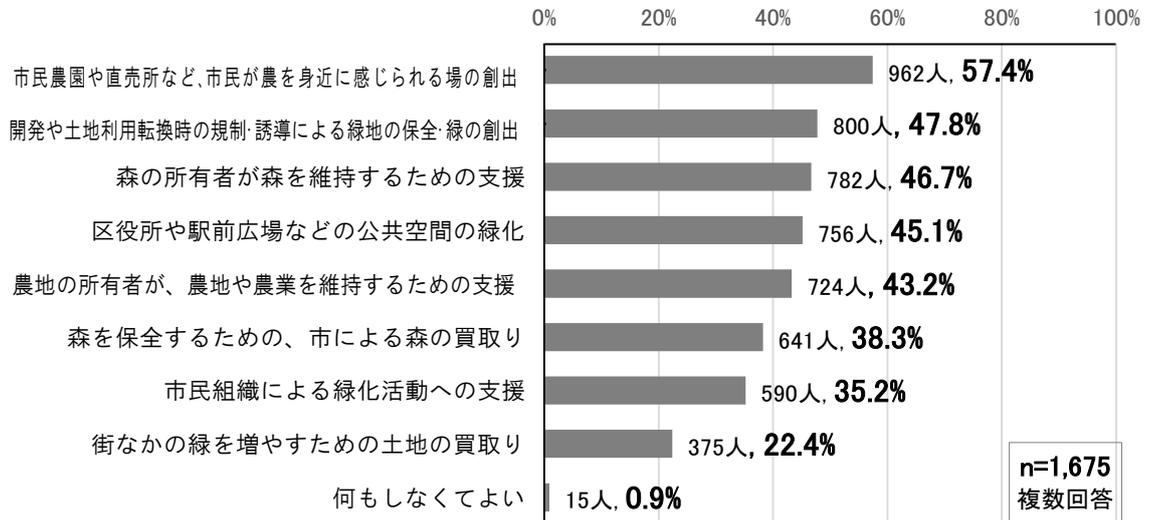


■ 現在おこなっている ■ 今後おこなってみたい

緑に関して行政に求めること

市は緑や花に関する取組として何をすべきかについて、「市民農園や直売所など、市民が農を身近に感じられる場の創出」が最も多く、約57%と半数以上で、次いで「開発や土地利用転換時の規制・誘導による緑地の保全・緑の創出」でした。農を感じる場の創出が求められています。

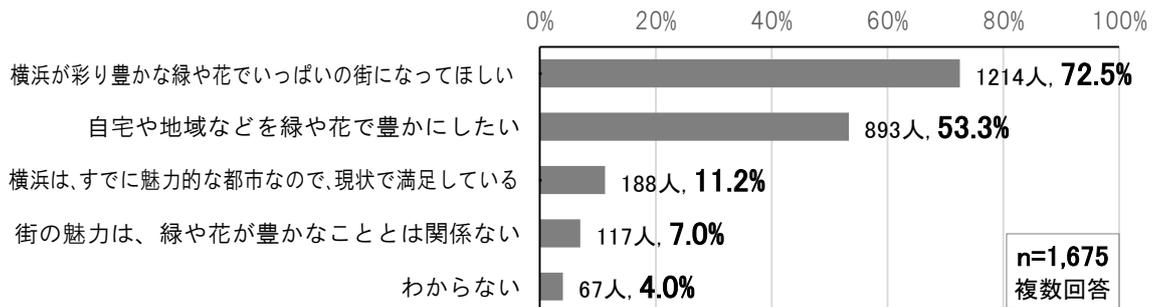
●横浜市は緑や花に関わる取組として、何をすべきか



全国都市緑化よこはまフェアの開催に関する考え

「横浜が彩り豊かな緑や花でいっぱいの街になってほしい」が約73%と最も多く、次いで「自宅や地域などを緑や花で豊かにしたい」が約53%と、緑や花を用い、横浜の魅力を向上させてほしい、または、向上させたいと考えている方が多いことがわかりました。

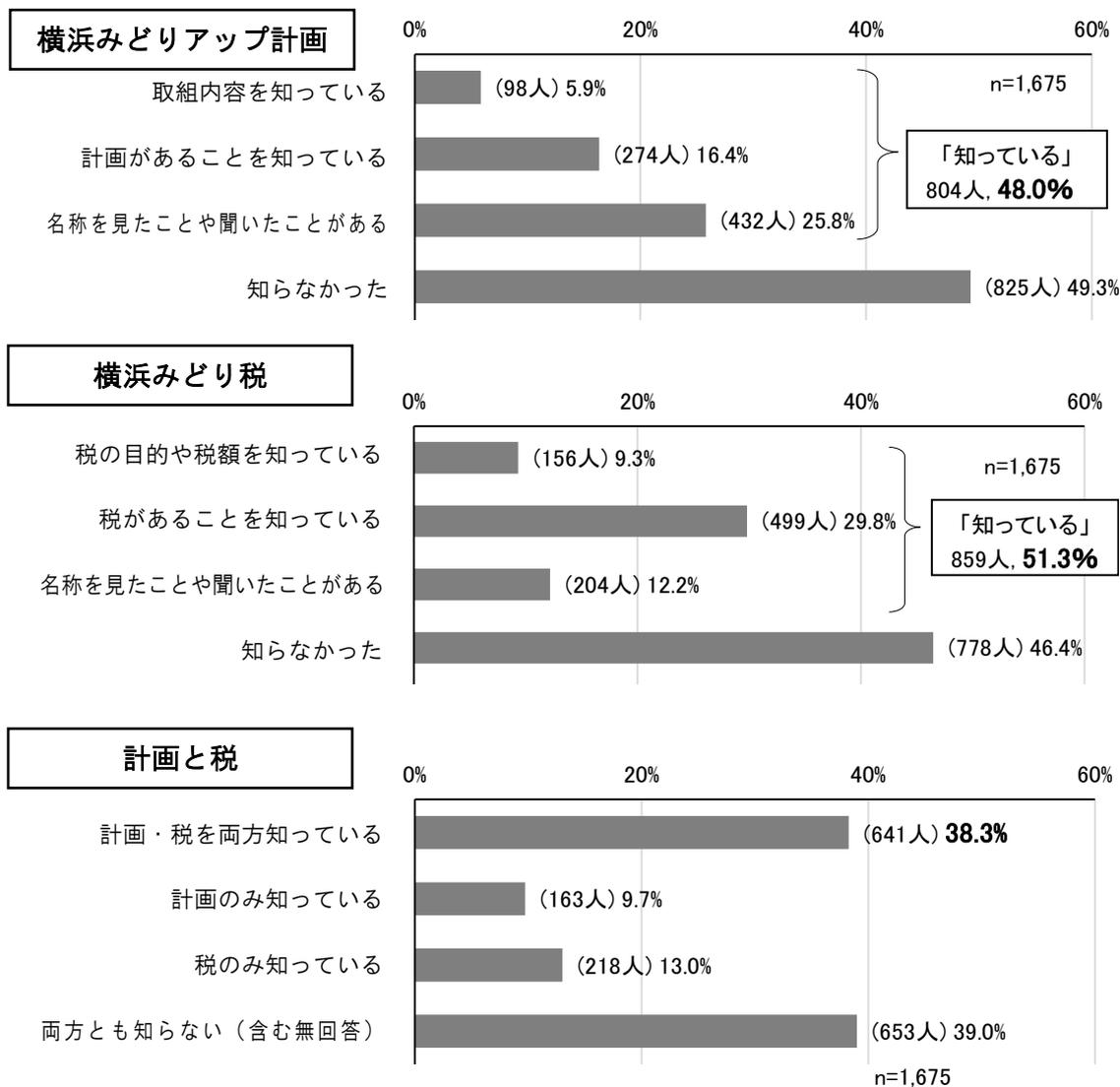
●第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催に関連して、どう考えますか



横浜みどりアップ計画や横浜みどり税の認知度

横浜みどりアップ計画を知っていると答えた方は約 48%、横浜みどり税を知っていると答えた方は約 51%、ともに知っていると答えた方は約 38%でした。

●横浜みどりアップ計画、横浜みどり税を知っていますか



●横浜みどりアップ計画に対する主な自由意見

- ・土地を買い取るか土地所有者と話をし、住宅を増やすより、森や林を残すことをしてほしい。
- ・子どもたちの豊かな感性や日本人としての心を育てるために、森をはじめとした緑の環境は非常に大切と考える。首都東京に隣接する横浜が、この運動を進めることに意義を感じます。
- ・これ以上、緑や花が増えると、虫などが飛んでくるので非常に迷惑です。山の木の葉が落ちてきたり、それを掃除しなくてはならなくて面倒です。これ以上、緑や花を植えないでください。現状のままが良いです。
- ・街路樹が途中でなくなっている箇所があちこちで見られるので、できるだけ幹線道路には街路樹を植栽してほしい。
- ・夏の暑さがひどいので、街路樹が並ぶ道路にしてほしい。
- ・市民が多く利用する駅周辺や憩いの場となる場所（公園・商業施設の周りの空間）にお花を植えたりして、美しい街づくりを目指してほしい。
- ・全国都市緑化よこはまフェア開催は良い取組だと思いますが、フェアを開催している期間や場所だけでなく、地味でも通年で管理し、四季それぞれの花や緑を楽しむことができるといい。
- ・地域によって格差がありすぎ。都市開発、街並みの開発含め、道路整備を解決しないで緑化などあり得ない。やるべきことを先行させ、もっと市民のために努力すべき。
- ・「緑や花」を増やすことには賛成だが、メンテナンス費用とのバランスを考慮してほしい。
- ・市民から税金を取るなら、よく見られるところだけでなく、市民が暮らしているところも改善してください。

(2) 樹林地所有者意識調査の結果

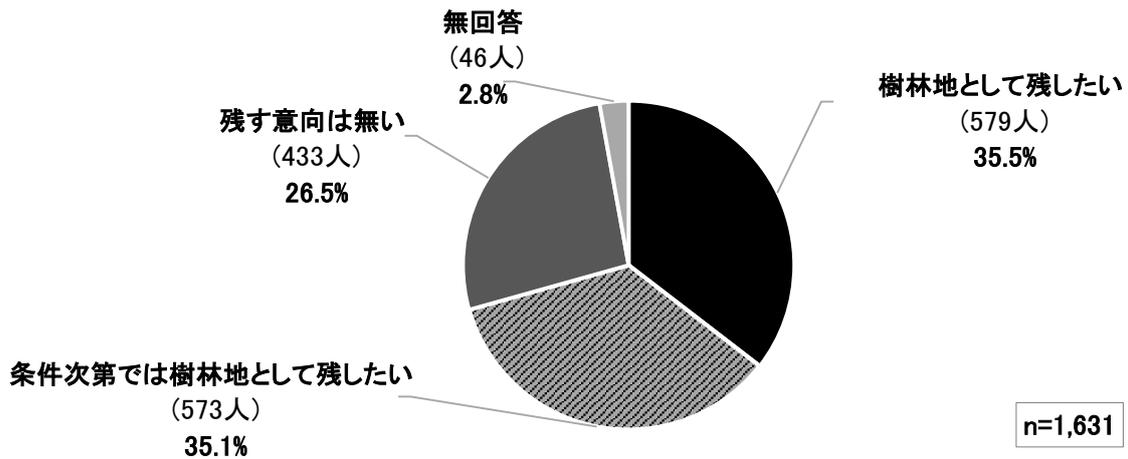
樹林地の所有について

樹林地の所有について、今後も「樹林地として残したい」「条件次第では樹林地として残したい」という意向をお持ちの方は、合わせて約7割でした。また、樹林地を所有するうえで困っていることとして、「維持管理に費用と手間がかかる」が最も多く半数（約53%）を超え、「将来の遺産相続時の対応が心配」が次いで多い結果（約41%）でした。

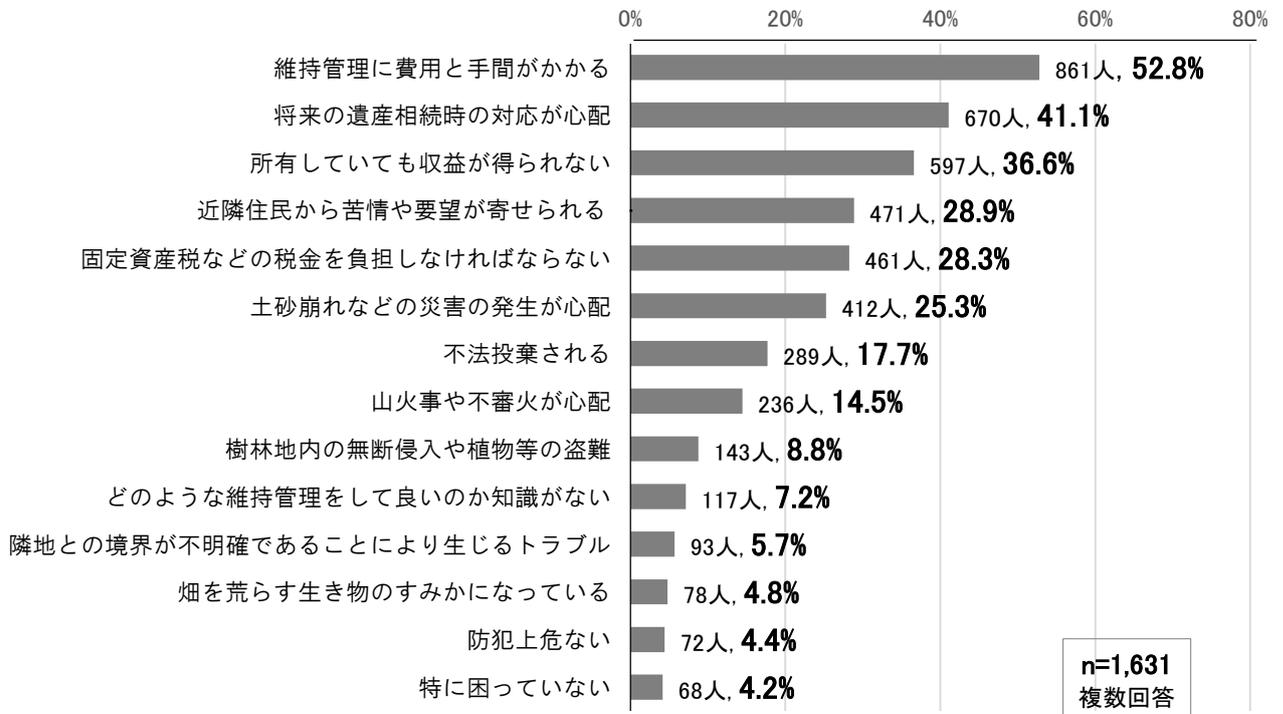
樹林地の緑地保全制度による指定を受けた理由として、「固定資産税・都市計画税の減免・優遇を受けられるため」が最も多く（約65%）、「樹林地のまま将来にわたって保全できるため」が次いで多い結果（約34%）でした。緑地保全制度のうち、特別緑地保全地区または近郊緑地特別保全地区に指定された樹林地は相続税の優遇を受けられますが、指定を受けた理由として、約20%の方が「相続税の軽減が受けられるため」と回答しました。

樹林地所有者の方々に樹林地のまま残していただくためには、引き続き、緑地保全制度による指定を進め、固定資産税や相続税などの税の軽減を図っていくことや、維持管理に対する支援の充実が求められています。

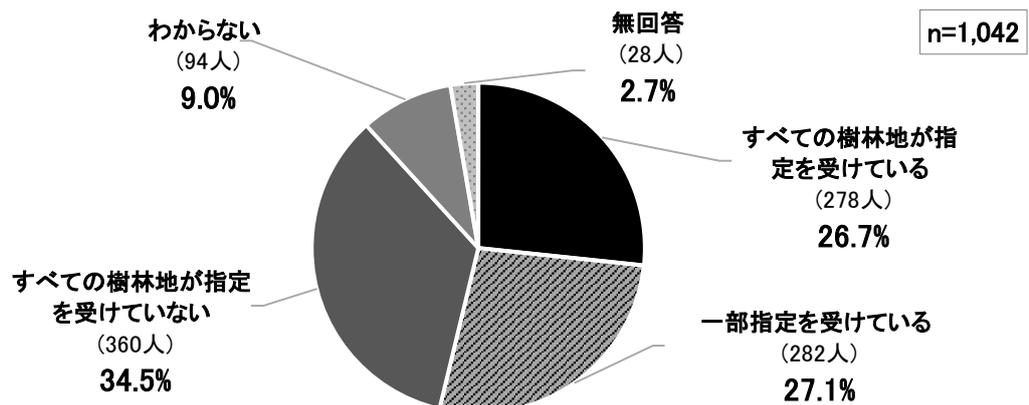
●所有する樹林地を今後も樹林地として残していきたいですか



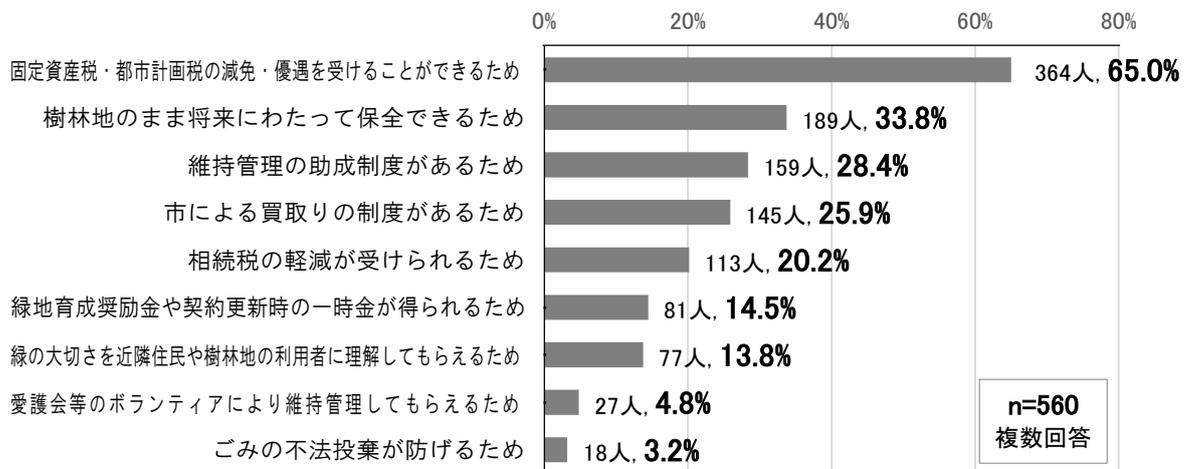
●樹林地を所有するうえで困っていると感じていることは何ですか



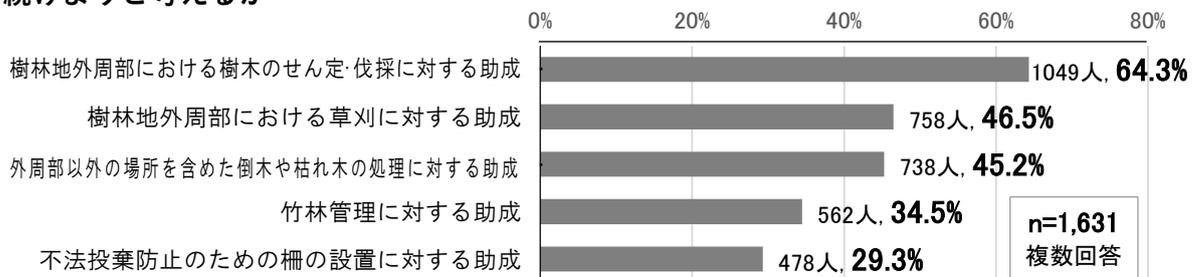
●所有する樹林地の緑地保全制度による指定状況は（緑地保全制度について知っているかという問に「知っている」を選択した人が回答）



●**樹林地の緑地保全制度による指定を受けた理由は**〈所有する樹林地の指定状況について「すべて指定を受けている」または「一部指定を受けている」を選択した人が回答〉



●**行政からどのような支援があれば緑地保全制度による指定をしても良い、または指定を続けようとするか**



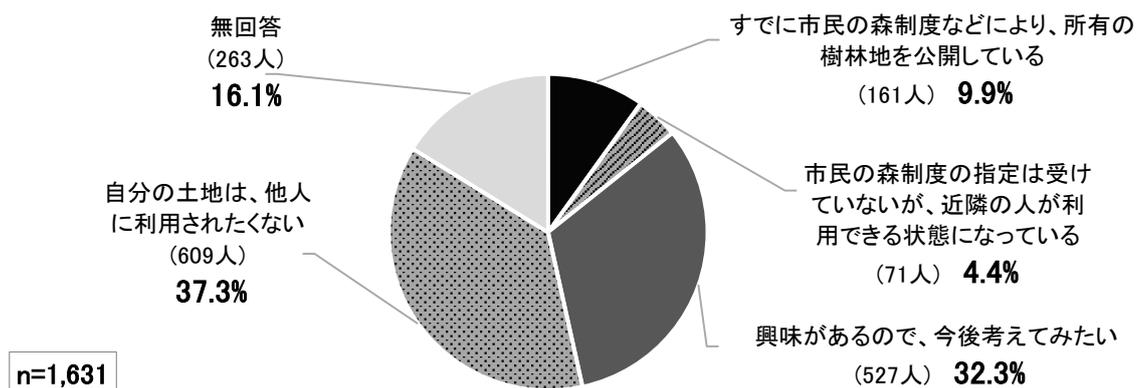
市民との関わりについて

市民の森として所有する樹林地を公開することについて、「自分の土地は、他人に利用されたくない」が最も多く（約 37%）、「興味があるので、今後考えてみたい」という公開に前向きな意見が次いで多い結果（約 32%）でした。

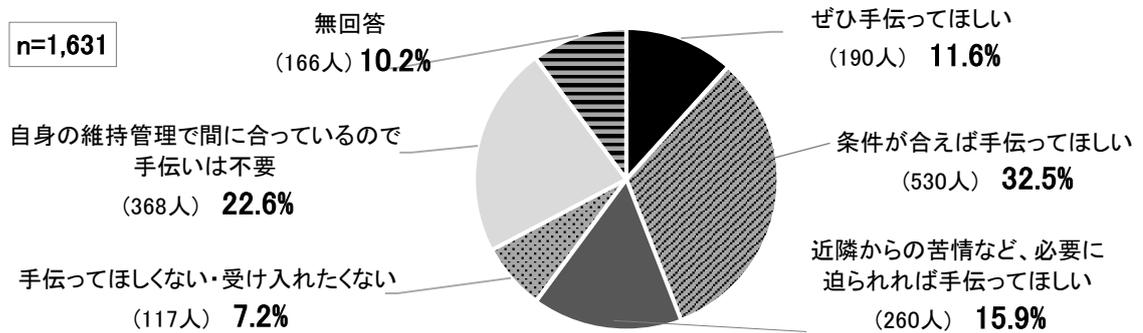
また、維持管理をボランティアの人などに手伝ってもらうことについて、「手伝ってほしい」（「ぜひ手伝ってほしい」「条件が合えば手伝ってほしい」「近隣からの苦情など、必要に迫られれば手伝ってほしい」を合算）が約 60%と半数を超える方が回答しました。

保全した樹林地を土地所有者の方々の同意を得ながら、市民に公開し、散策などの場として活用できる森を増やせる可能性があります。また、樹林地の維持管理について、多様な主体の参画を得ながら取り組んでいくことが求められています。

●**所有する樹林地を公開することについて、どのように考えるか**



●所有している樹林地の維持管理を、ボランティアの人または団体に手伝ってもらうことについて、どのように考えるか



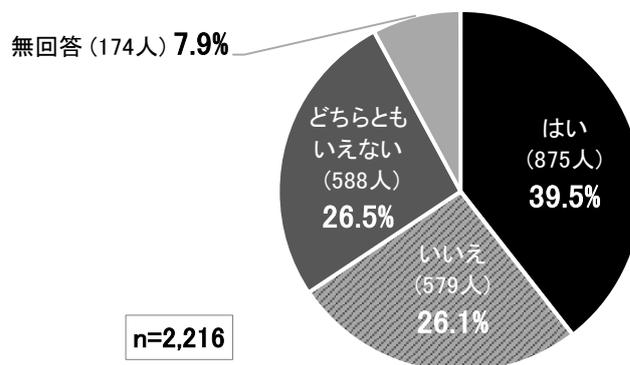
(3) 農地所有者意識調査の結果

営農の意向や課題について

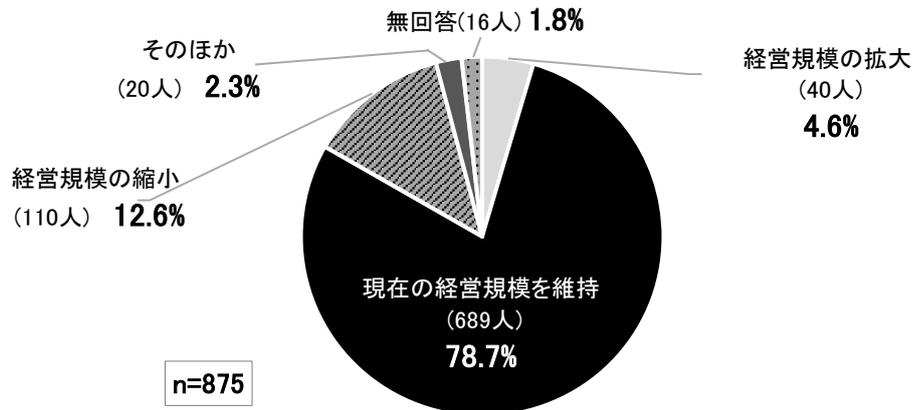
今後も農業を続けることについて、「いいえ」が約 26%、「どちらともいえない」が約 27%でした。また、農業を続ける意向のある方に対して、今後の経営規模について尋ねたところ、「現在の経営規模を維持」が最も多く（約 79%）、「経営規模の縮小」が次いで多い結果（約 13%）でした。今後、営農継続を断念する方や経営規模を縮小する方の増加がうかがえます。

また、農地を所有し耕作し続けるうえでの課題については、「相続税の支払いに不安がある または 負担が大きい」が最も多く（約 48%）、「高齢のため農作業が難しい」が次いで多い結果（約 46%）でした。農業後継者の有無について、「現時点ではわからない」が約 38%、「後継者がいない」が約 30%でした。農地を次世代に引き継いでいくためには、相続税などの税の軽減や担い手の支援が求められます。

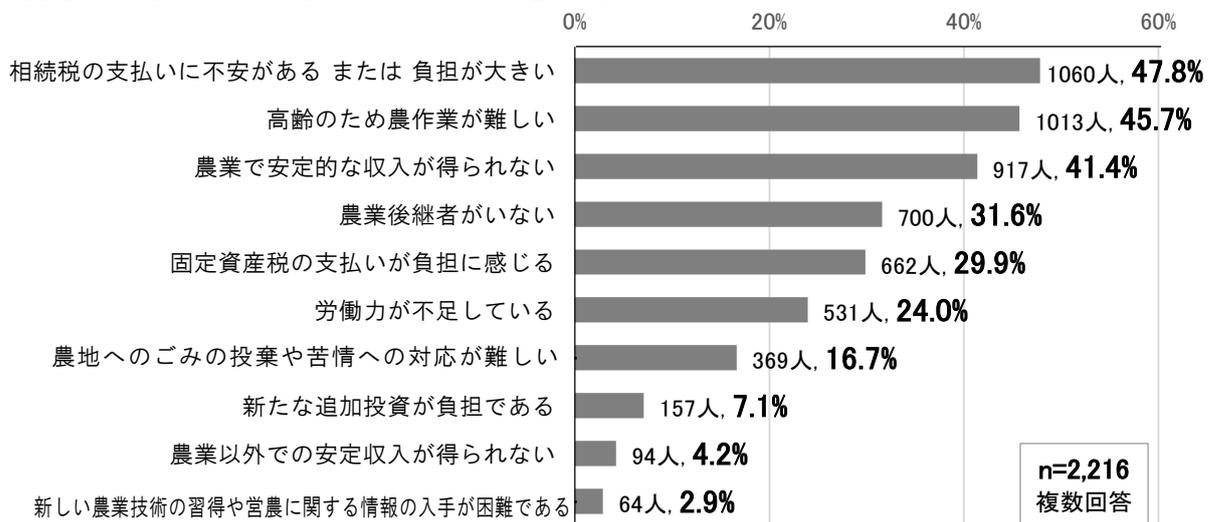
●今後も農業を続けていきたいか



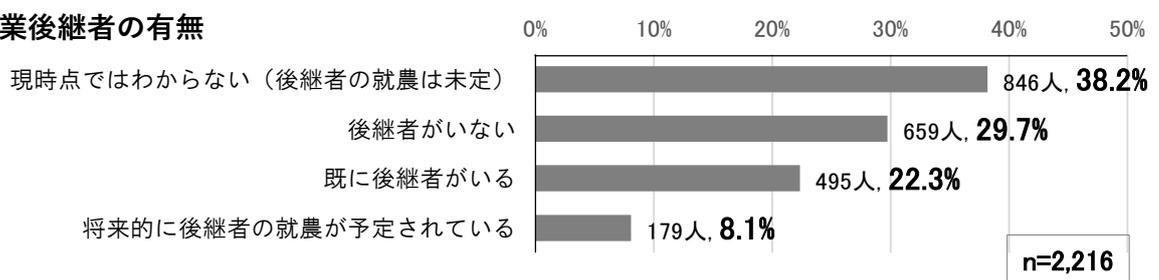
●今後の経営規模についてどのように考えているか（今後も農業を続けていきたいかという問いに「はい」を選択した人が回答）



●農地を所有し耕作を続けるうえでの課題は何ですか



●農業後継者の有無



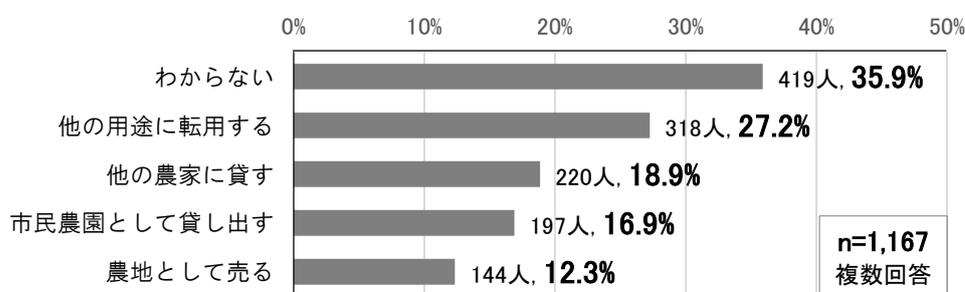
農地を貸すことについて

農業を継続する意向について、「意向がない」「どちらともいえない」を選択した方に、農業を続けていくことができなくなった場合、所有する農地はどのように管理するか聞いたところ、「わからない」が約36%、「他の用途に転用する」が約27%でした。

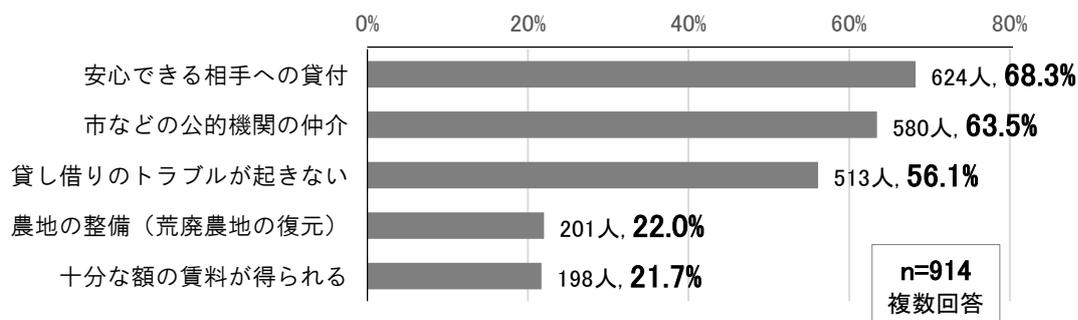
また、耕しきれなくなった農地を他の農家に貸すことについて、「農地を貸しても良い」を選択した方に、農地を貸す条件を聞いたところ、「安心できる相手への貸付」が約68%、「市などの公的機関の仲介」が約64%、「貸し借りのトラブルが起きない」が約56%でした。

農地の保全を進めるためには、他の農家への農地の貸借や市民農園として貸し出すなど、多様な担い手による耕作を促す方策が求められます。また、農地の貸借を進めるうえでは、信頼できる相手への貸し借りを求める方が多いことから、市による仲介などの取組を引き続きおこなう必要があります。

●農業を続けていくことができなくなった場合、所有する農地はどのように管理するか（今後も農業を続けていきたいかという間に「いいえ」「どちらともいえない」を選択した人が回答）



●農地を貸す条件について、どのように考えるか（耕しきれない農地を他の農家に貸すことについて「貸しても良い」を選択した人が回答）

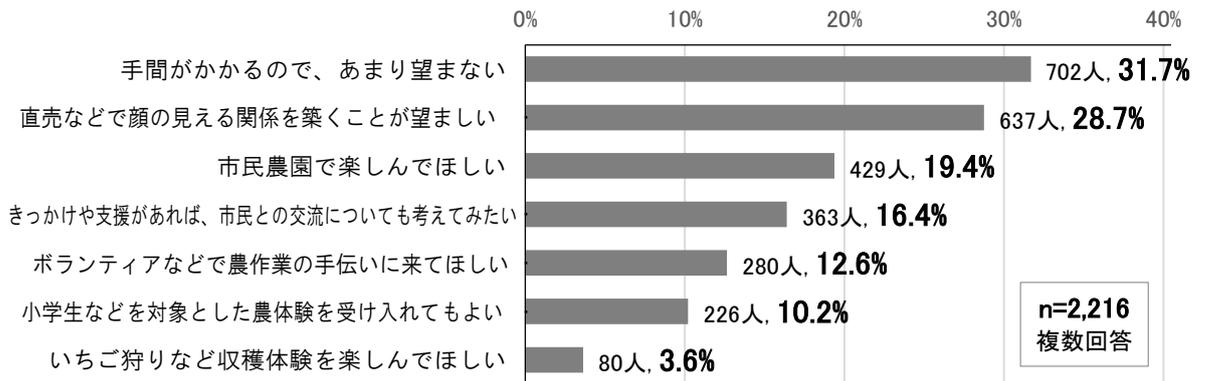


市民との関わりについて

市民と交流することについて聞いたところ、「手間がかかるのであまり望まない」が最も多く（約32%）、消極的な意見が多いものの、農業経営の継続意向がある方に今後展開したい農業経営を聞いたところ、「収穫体験などの観光型農園経営」が最も多く（約12%）、「加工品の製造販売」が次いで多い回答（約10%）でした。

市民意識調査の結果から、直売所や収穫体験ができる農園など、農にふれる機会や場に対するニーズは未だ高いため、農にふれる機会や場の創出への支援が求められますが、市民との交流や、市民が農に親しむ場を提供することに積極的な農家に対して支援することが効果的であるといえます。

●市民と交流することについて、どのように考えるか



●現在どのような農業経営をしているか。また、今後、どのような農業を展開したいか〈今後も農業を続けていきたいかという間に「はい」を選択した人が回答〉

